

横手市
健康と福祉に関するアンケート調査
報告書

平成 29 年 2 月

横手市 健康福祉部 高齢ふれあい課

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	1
5. 対象者の属性	2
第2章 調査結果の分析（第1号被保険者）	7
1. 本人やご家族、生活状況について	7
2. からだを動かすことについて	12
3. 食べることについて	18
4. 毎日の生活について	26
5. 地域での活動について	32
6. たすけあいについて	37
7. 健康について	41
8. 相談ごと・情報・災害対応について	47
9. 介護保険について	51
10. 高齢者施策について	54
11. 生活機能評価の結果	57
12. 生活機能評価の項目別結果	58
第3章 調査結果の分析（第2号被保険者）	73
1. お住まいと世帯などについて	73
2. 健康・医療について	76
3. 介護保険について	83
4. 相談ごと・災害対応について	93
5. 地域の支え合い・日常生活支援について	98
6. 食事の準備と食生活について	101
7. 生きがいや社会参加の状況について	106
8. 高齢者施策について	110
資料	113
1. 自由意見	113
2. 各種調査票	139

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、高齢者が住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせる社会を実現するために、日常生活圏域における地域の課題や高齢者のニーズを的確に把握し、平成 29 年度に策定する「第7期横手市介護保険事業計画・高齢者福祉計画」に役立てることを目的として実施した。

2. 調査設計

調査対象	第1号被保険者（65歳以上の在宅高齢者）※要介護認定者を除く 第2号被保険者（40歳以上65歳未満）※要介護認定者を除く
抽出方法	上記対象者から無作為抽出
調査方法	郵送配付－郵送回収
調査期間	平成28年12月22日～平成29年1月6日 (平成29年1月23日までの回収票も有効とした)
企画実施	横手市健康福祉部高齢ふれあい課
集計・分析	株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所

3. 回収結果

	対象者数	回収数	有効回収数	有効回収率
第1号被保険者 (65歳以上の方)	4,000人	2,392人	2,388人	59.7%
第2号被保険者 (40歳以上65歳未満の方)	1,000人	460人	460人	46.0%

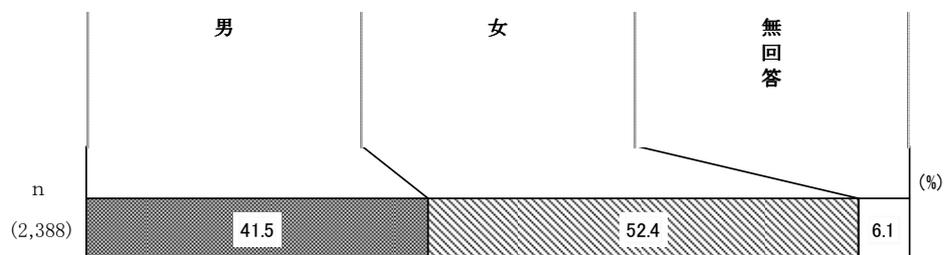
4. 報告書の見方

- ◆ 調査数（n=Number of cases）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ◆ 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。
- ◆ 回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ◆ 調査票における設問及び選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。

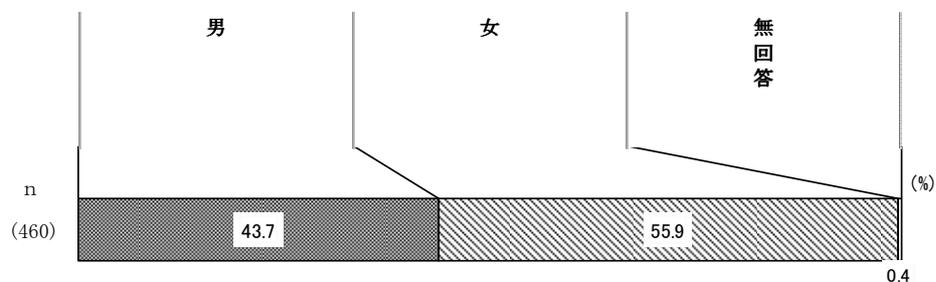
5. 対象者の属性

(1) 性別

《第1号被保険者（65歳以上）》

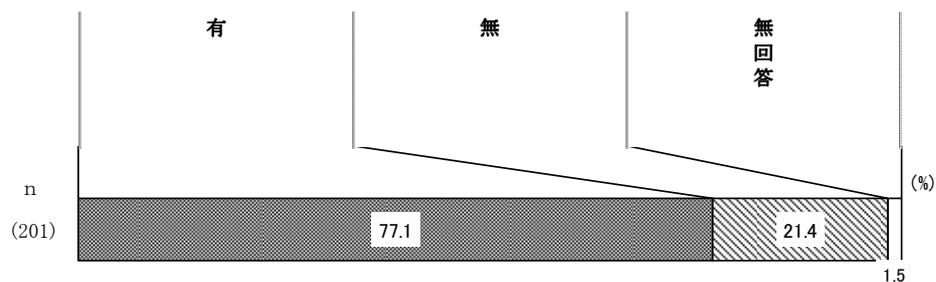


《第2号被保険者（40～64歳）》

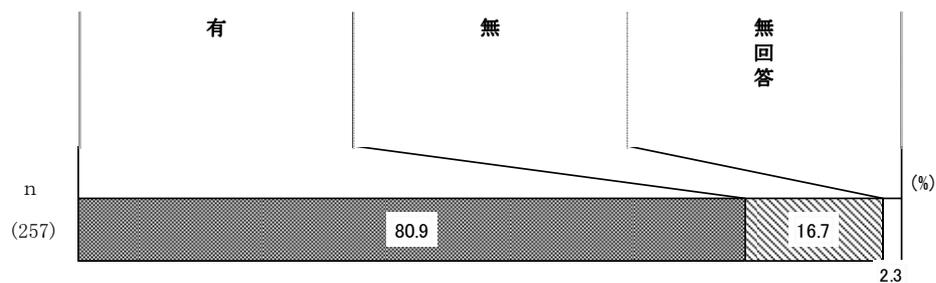


(2) 配偶者の有無

《第2号被保険者（40～64歳）（男）》

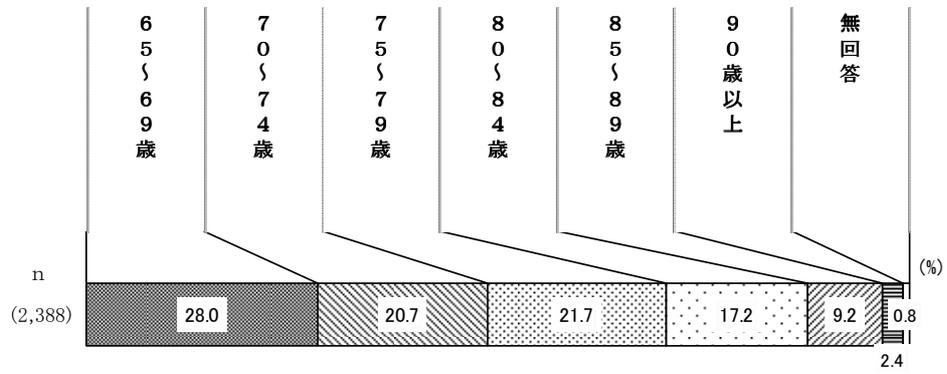


《第2号被保険者（40～64歳）（女）》

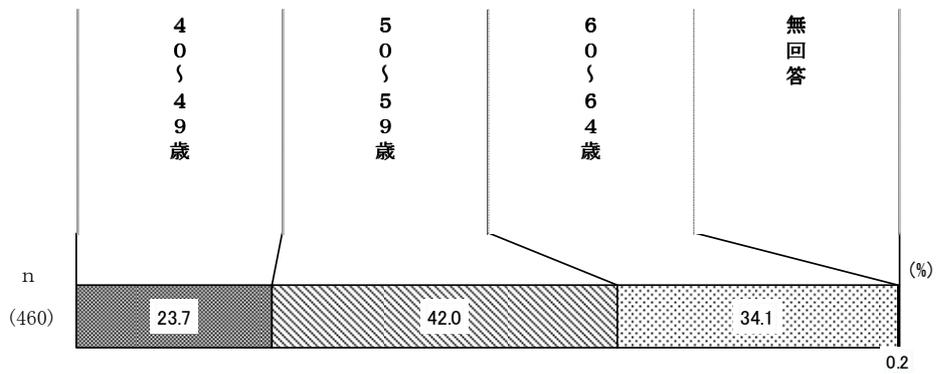


(3) 年齢

《第1号被保険者（65歳以上）》

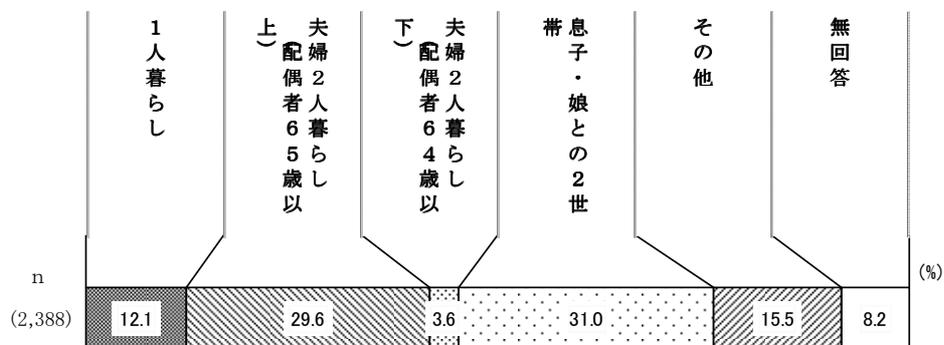


《第2号被保険者（40～64歳）》

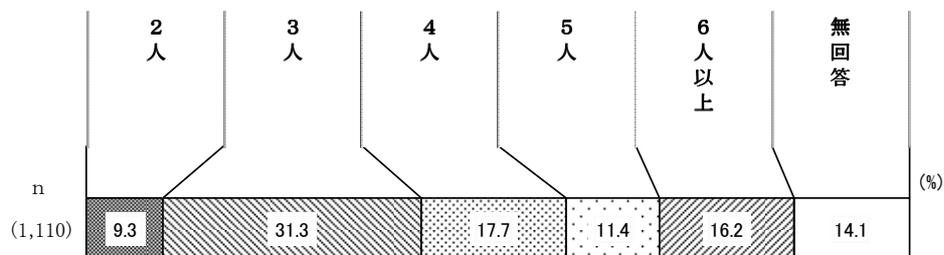


(4) 家族構成

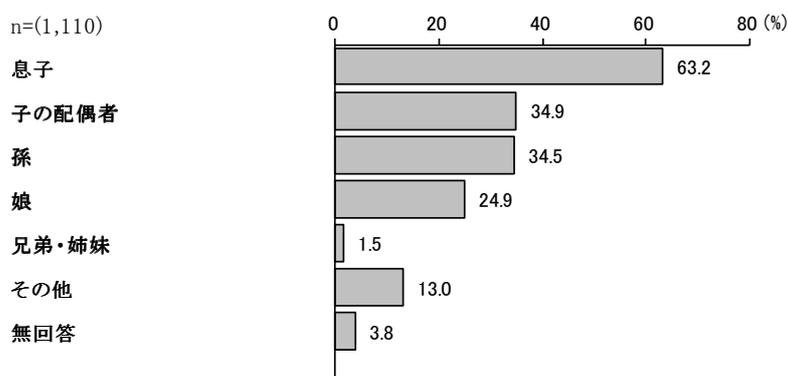
《第1号被保険者（65歳以上）》



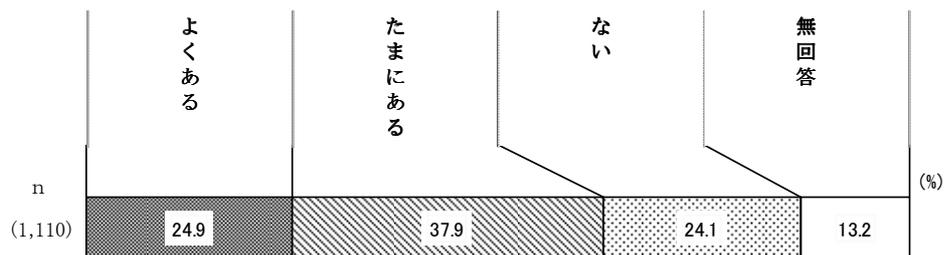
【同居人数】（息子・娘との2世帯・その他を選んだ人）



【同居者】（息子・娘との2世帯・その他を選んだ人）

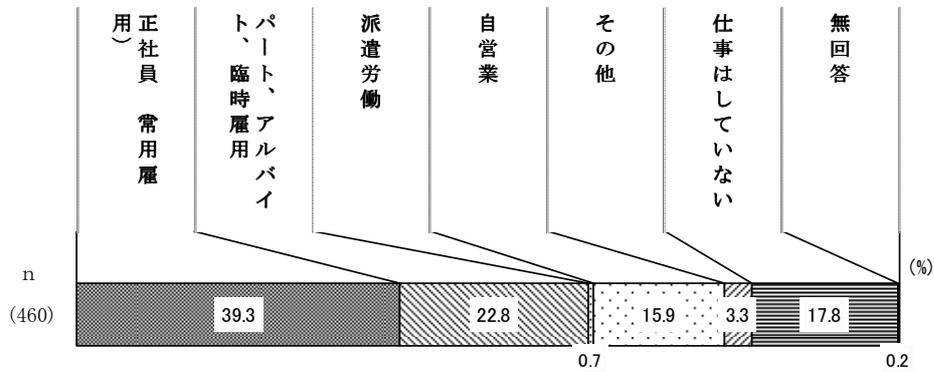


【日中、1人になる頻度】（息子・娘との2世帯・その他を選んだ人）



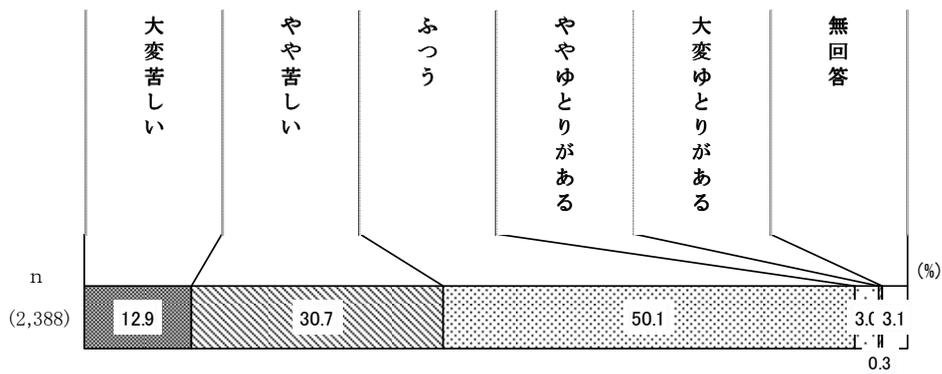
(5) 就労状況

《第2号被保険者 (40～64歳)》

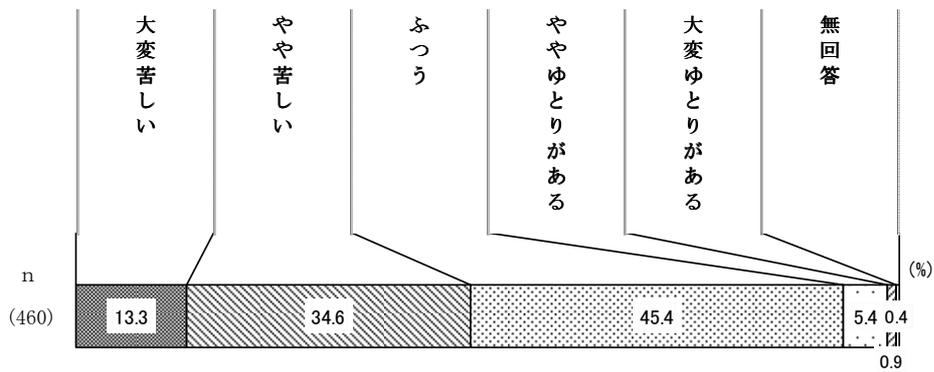


(6) 暮らしの状況

《第1号被保険者 (65歳以上)》

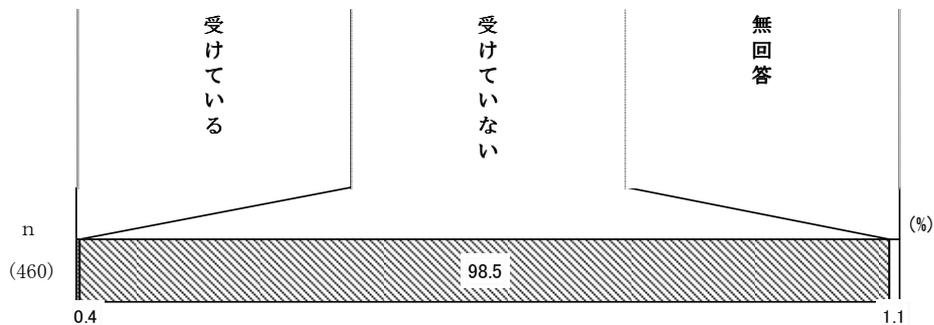


《第2号被保険者 (40～64歳)》



(7) 介護保険の要介護認定状況

《第2号被保険者（40～64歳）》



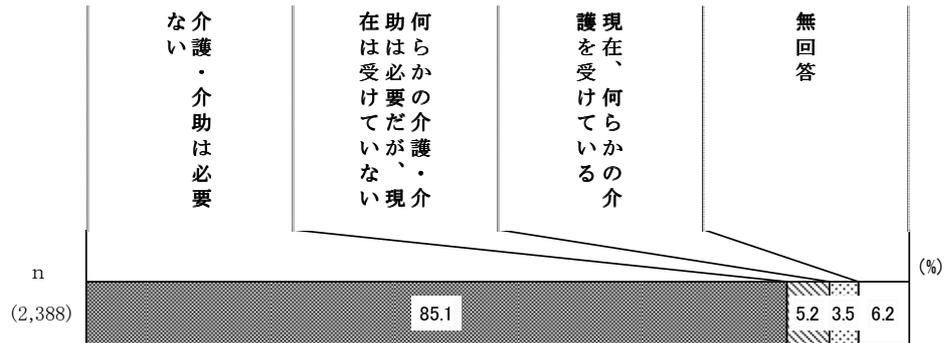
第2章 調査結果の分析（第1号被保険者）

第2章 調査結果の分析（第1号被保険者）

1. 本人やご家族、生活状況について

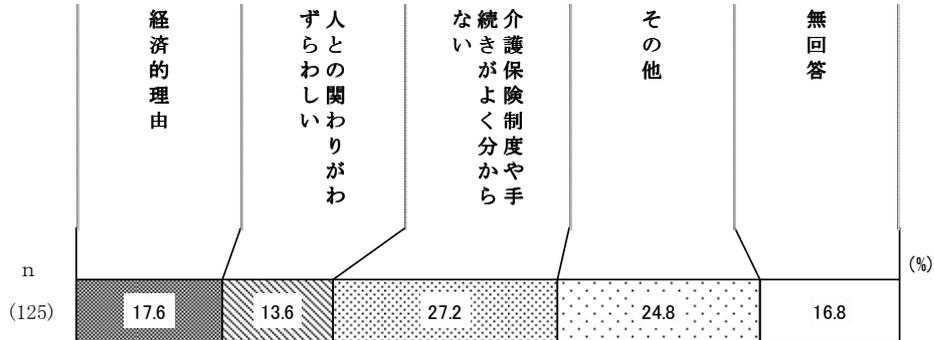
(1) 介護・介助の状況

1-問4 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか



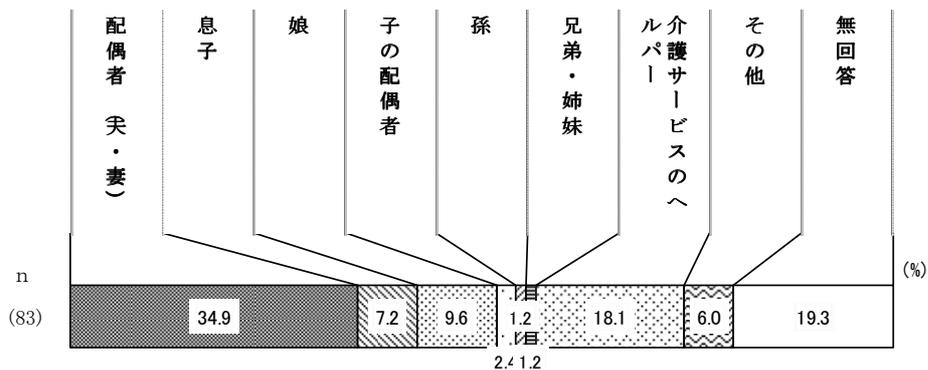
【「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」を選択した方にお聞きします】

1-問4-1 主な理由は、次のどれですか

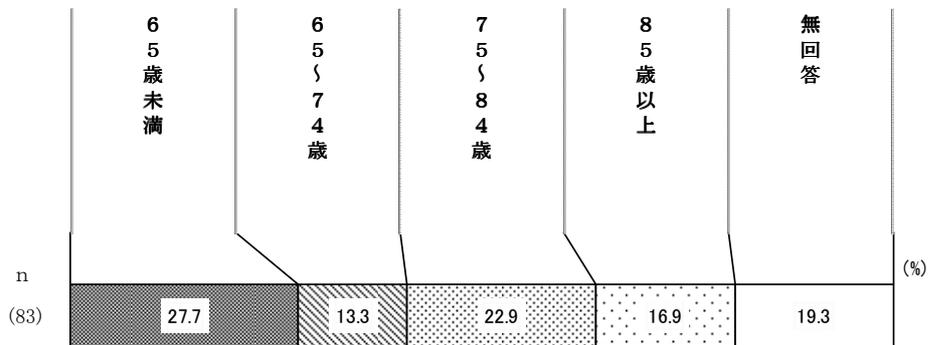


【「現在、何らかの介護を受けている」を選択した方にお聞きします】

1-問4-2 主にどなたの介護を受けていますが（1つに○）



1-問4-3 主に介護している方の年齢は、次のどれですか



介護・介助の必要性についてたずねたところ、「介護・介助は必要ない」が 85.1%を占めているが、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている」を合わせた“介護が必要”な人は 8.7%となっている。

介護・介助を受けていない理由としては、「介護保険制度や手続きがよく分からない」(27.2%)、「経済的理由」(17.6%)、などがあげられている。

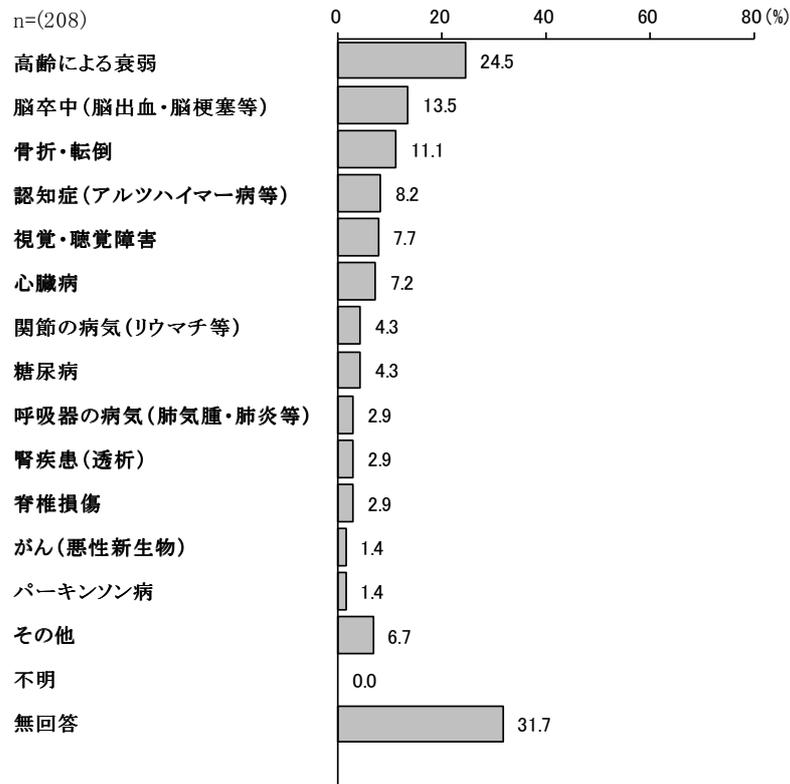
主な介護・介助者は、「配偶者(夫・妻)」(34.9%) が最も多く、以下「介護サービスのヘルパー」(18.1%)、「娘」(9.6%)、「息子」(7.2%) などとなっている。

主な介護・介助者の年齢は、「65歳未満」が 27.7%と最も多く、次いで「75～84歳」(22.9%)、「85歳以上」(16.9%)となっている。

(2) 介護・介助が必要になった原因

【1-問4で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている」を選択した方にお聞きします】

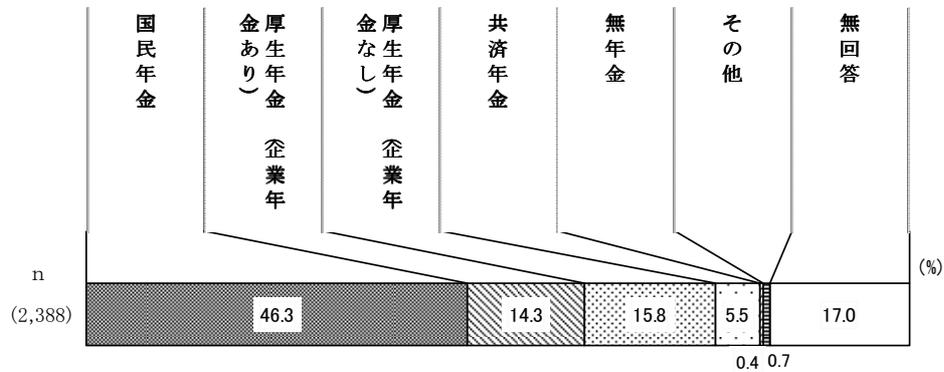
1-問5 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）



介護・介助が必要になった原因をたずねたところ、「高齢による衰弱」が24.5%と最も多く、以下「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」（13.5%）、「骨折・転倒」（11.1%）、「認知症（アルツハイマー病等）」（8.2%）、「視覚・聴覚障害」（7.7%）、「心臓病」（7.2%）などとなっている。

（3）年金の種類

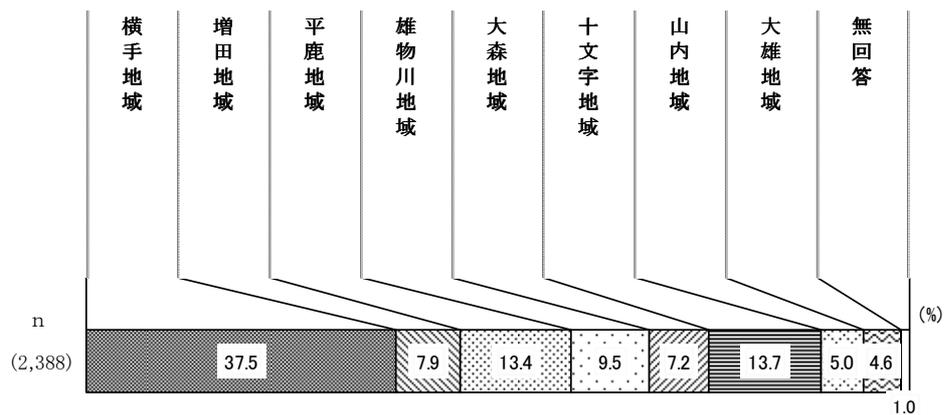
1-問6 年金の種類は次のどれですか



年金の種類についてたずねたところ、「国民年金」が46.3%と最も多く、以下「厚生年金（企業年金なし）」（15.8%）、「厚生年金（企業年金あり）」（14.3%）、「共済年金」（5.5%）となっている。

（4）居住地域

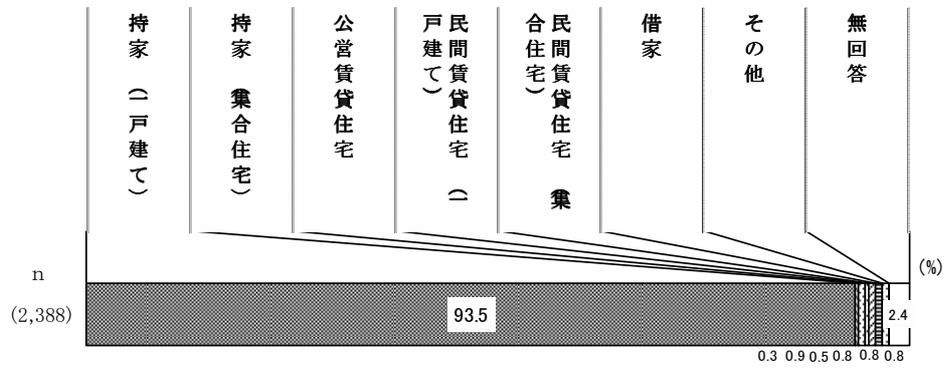
1-問8 あなたのお住まいの地域はどこですか



居住地域についてたずねたところ、「横手地域」が37.5%と最も多く、以下「十文字地域」（13.7%）、「平鹿地域」（13.4%）、「雄物川地域」（9.5%）、「増田地域」（7.9%）、「大森地域」（7.2%）、「山内地域」（5.0%）、「大雄地域」（4.6%）となっている。

(5) 居住所有形態

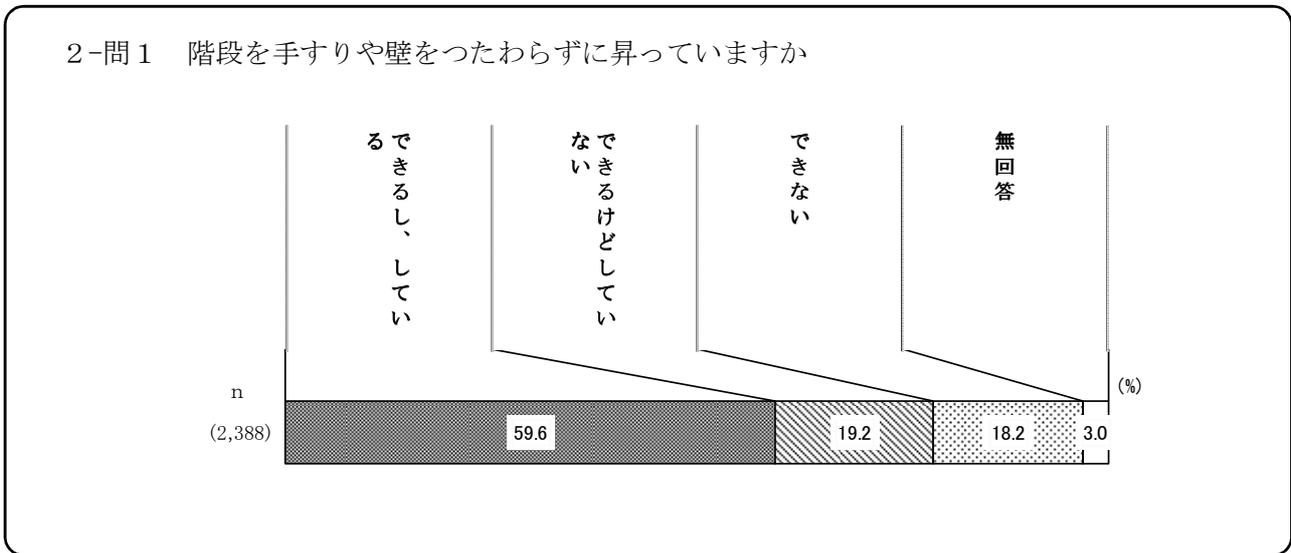
1-問9 お住まいは戸建て、または集合住宅のどちらですか



居住所有形態についてたずねたところ、「持家（戸建て）」が93.5%を占めている。

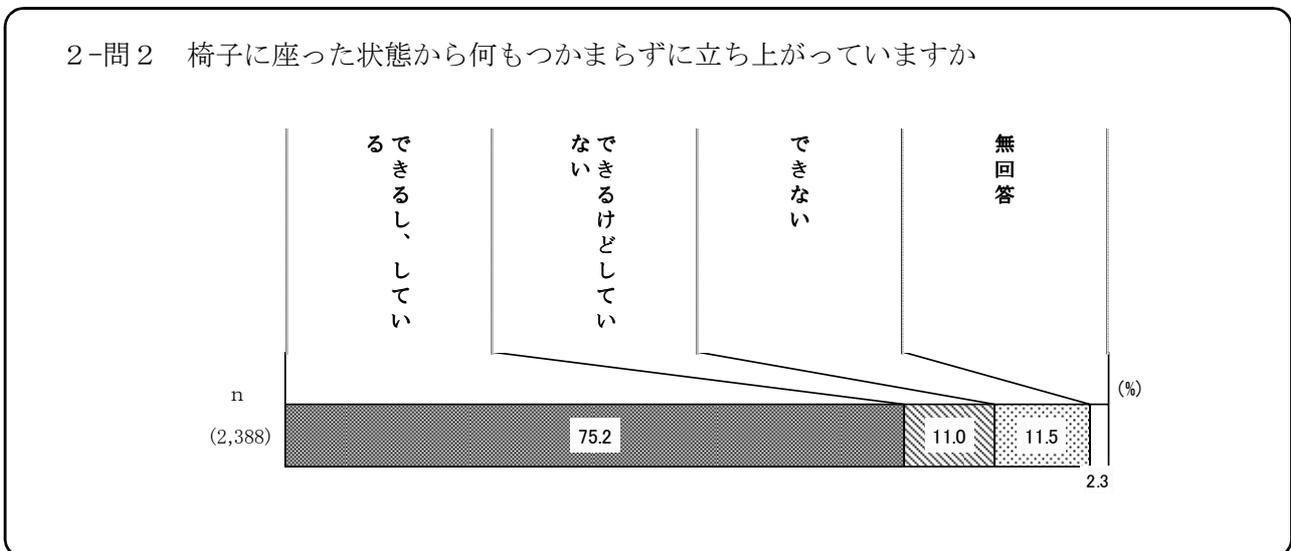
2. からだを動かすことについて

（1）階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか



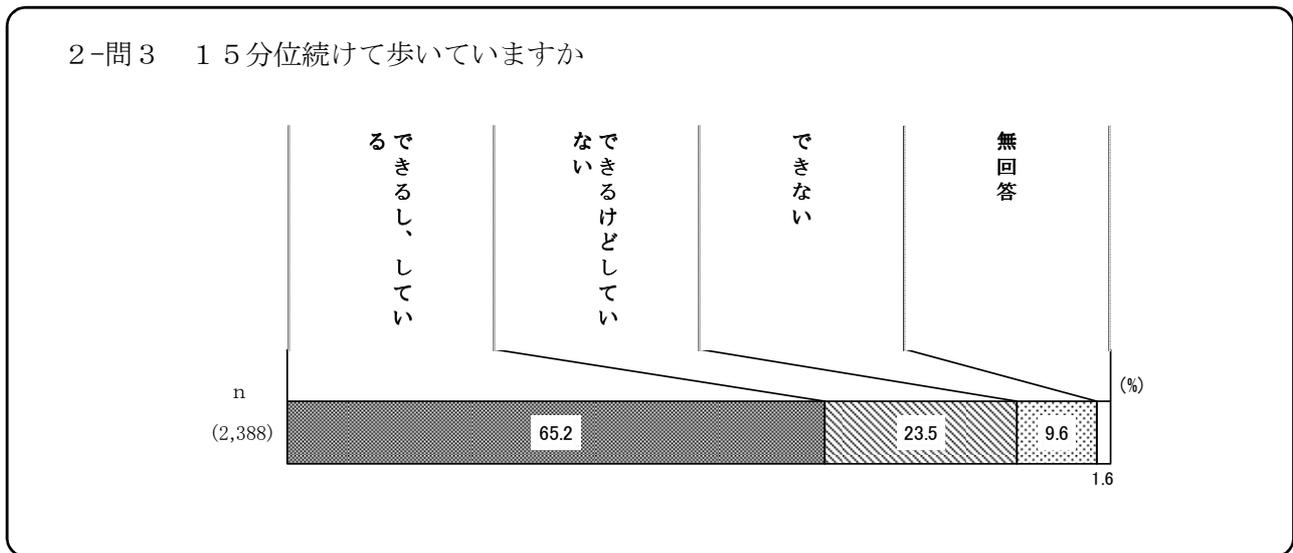
階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかたずねたところ、「できない」は 18.2%となっている。

（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ちあがれるか



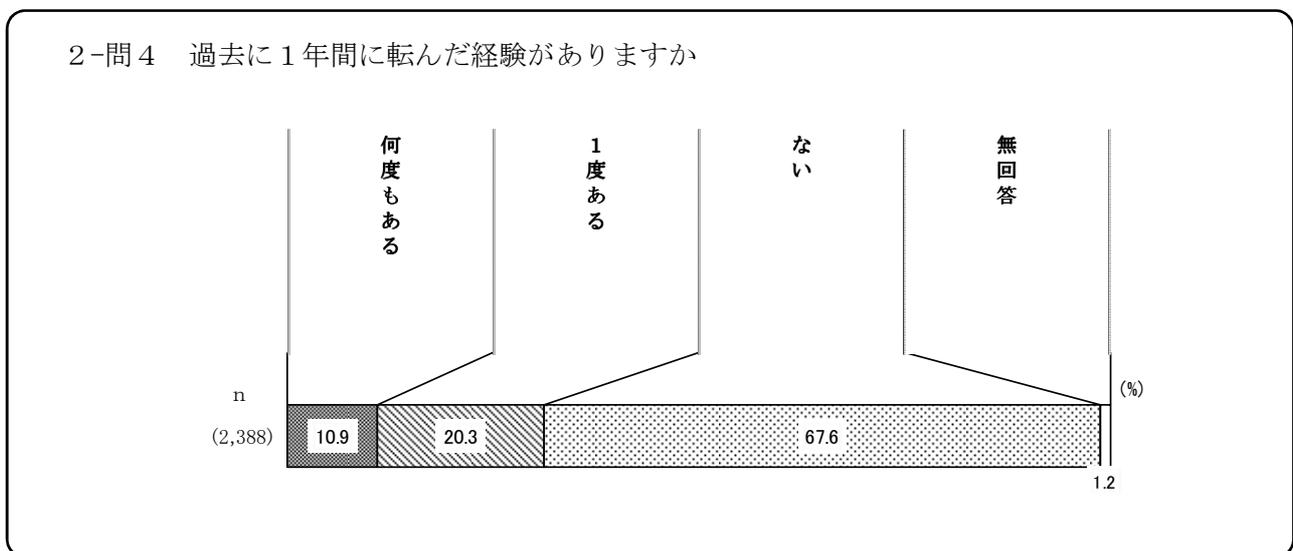
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ちあがれるかたずねたところ、「できない」は 11.5%となっている。

(3) 15分位続けて歩いているか



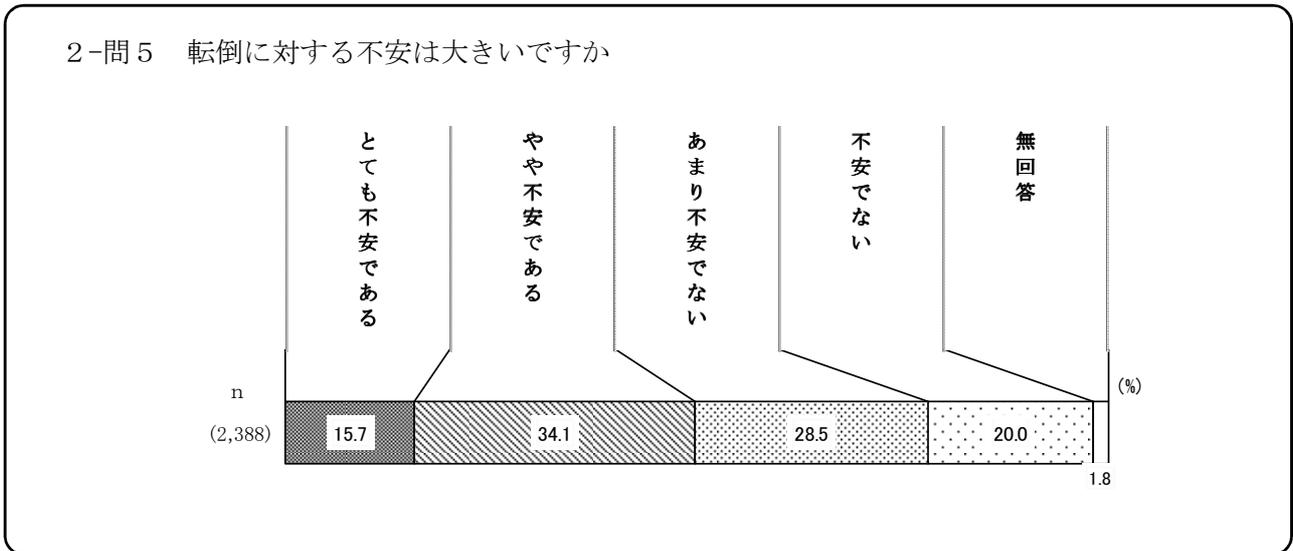
15分位続けて歩いているかたずねたところ、「できない」は9.6%となっている。

(4) 過去1年間に転んだ経験があるか



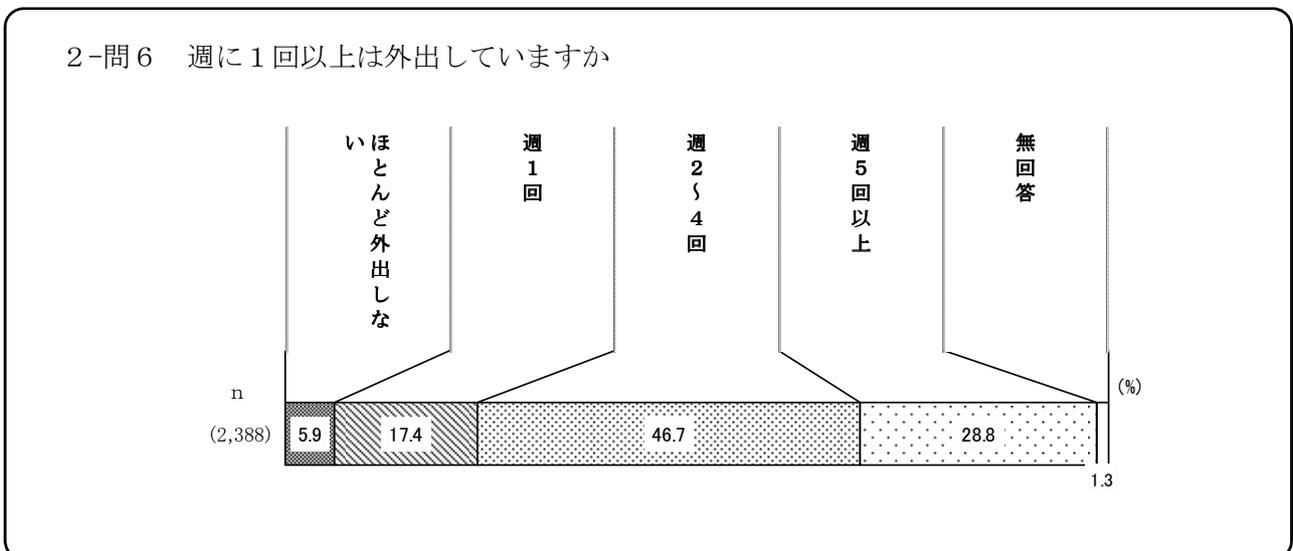
過去1年間に転んだ経験があるかたずねたところ、「何度もある」は10.9%となっている。

（5）転倒に対する不安は大きいか



転倒に対する不安は大きいかたずねたところ、「やや不安である」(34.1%)と「とても不安である」(15.7%)を合わせた“不安である”は49.8%、「あまり不安でない」(28.5%)と「不安でない」(20.0%)を合わせた“不安ではない”は48.5%とほぼ半々に分かれている。

（6）週に1回以上は外出しているか

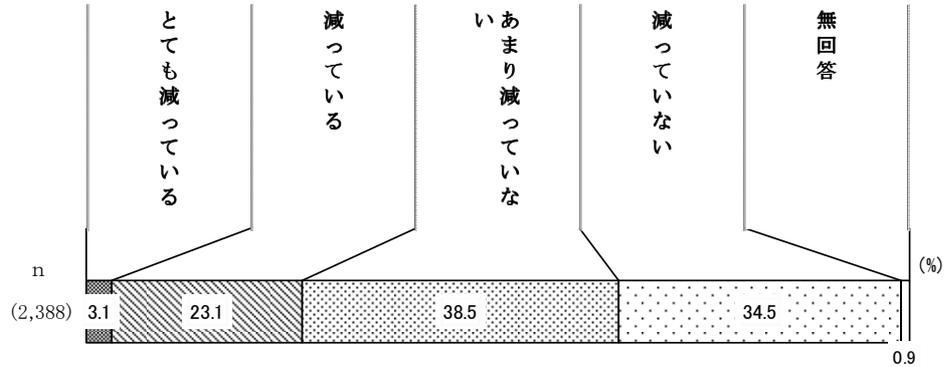


週に1回以上は外出しているかたずねたところ、「週2～4回」が46.7%と最も多く、以下「週5回以上」(28.8%)、「週1回」(17.4%)となっている。

一方、「ほとんど外出しない」は5.9%と1割未満となっている。

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っているか

2-問7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

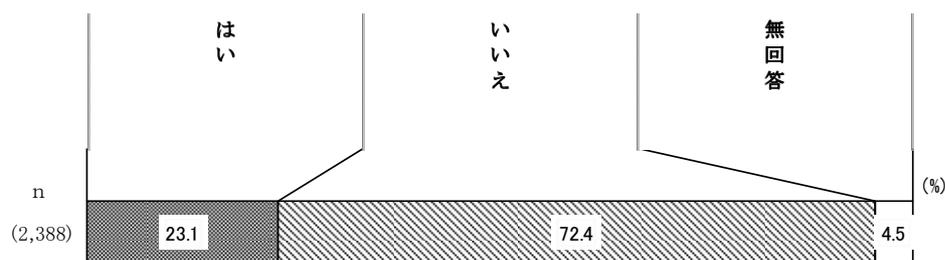


昨年と比べて外出の回数が減っているかたずねたところ、「あまり減っていない」が 38.5%と最も多く、「減っていない」(34.5%)を合わせた“減っていない”人は 73.0%となっている。

一方、「とても減っている」、「減っている」を合わせた“減っている”は 26.2%となっている。

(8) 外出を控えているか

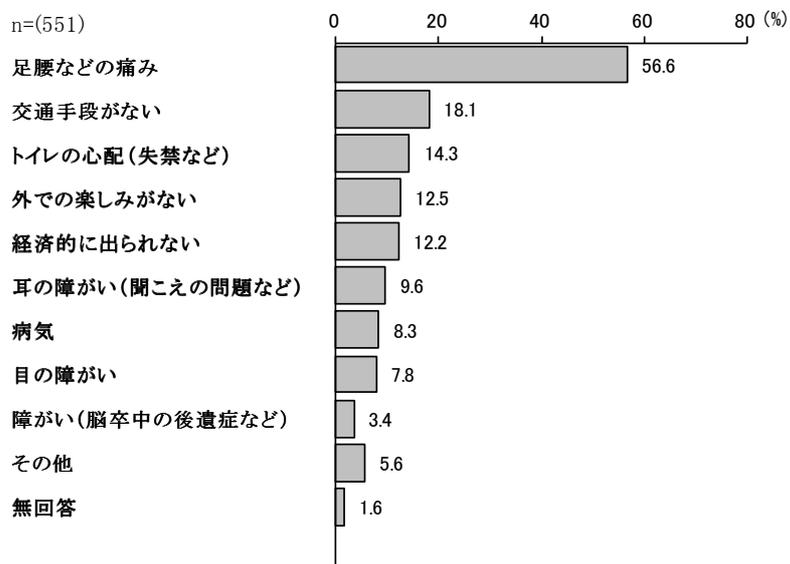
2-問8 外出を控えていますか



外出を控えているかたずねたところ、「いいえ」は 72.4%、「はい」が 23.1%となっている。

(9) 外出を控えている理由

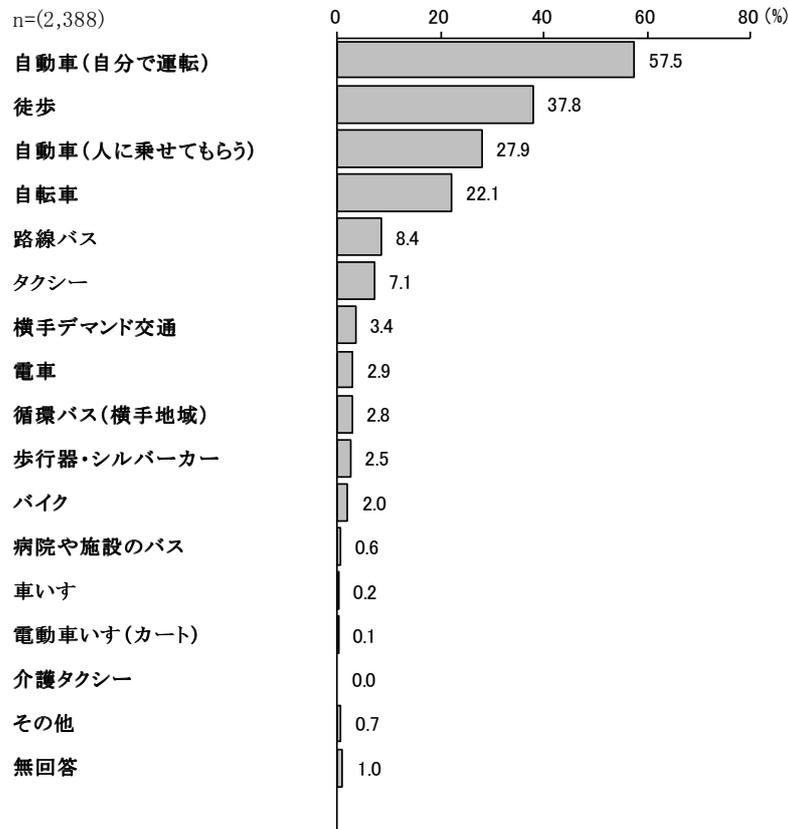
2-問8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）



外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が 56.6%と最も多く、以下「交通手段がない」(18.1%)、「トイレの心配(失禁など)」(14.3%)、「外での楽しみがない」(12.5%)、「経済的に出られない」(12.2%) などとなっている。

(10) 外出する際の移動手段

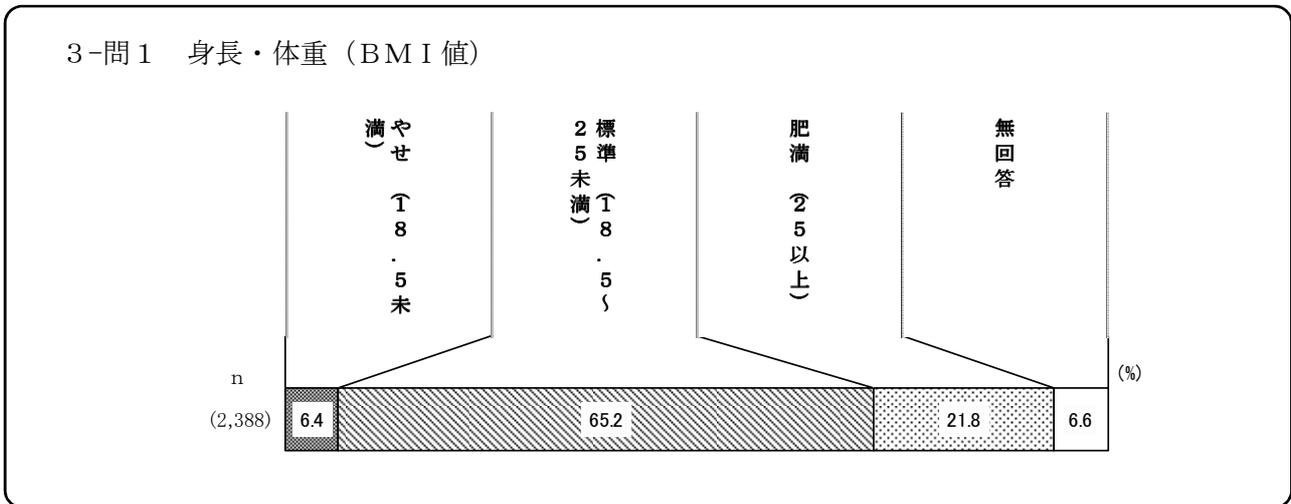
2-問9 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）



外出時の移動手段についてたずねたところ、「自動車（自分で運転）」が 57.5%と最も多く、以下「徒歩」（37.8%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（27.9%）、「自転車」（22.1%）などとなっている。

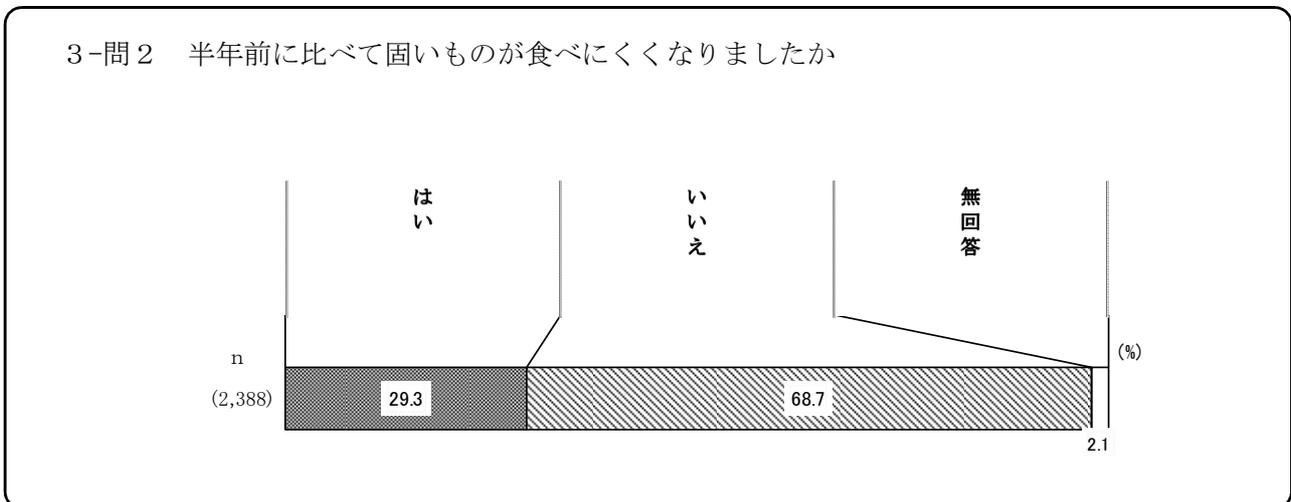
3. 食べることについて

(1) 身長・体重（BMI）



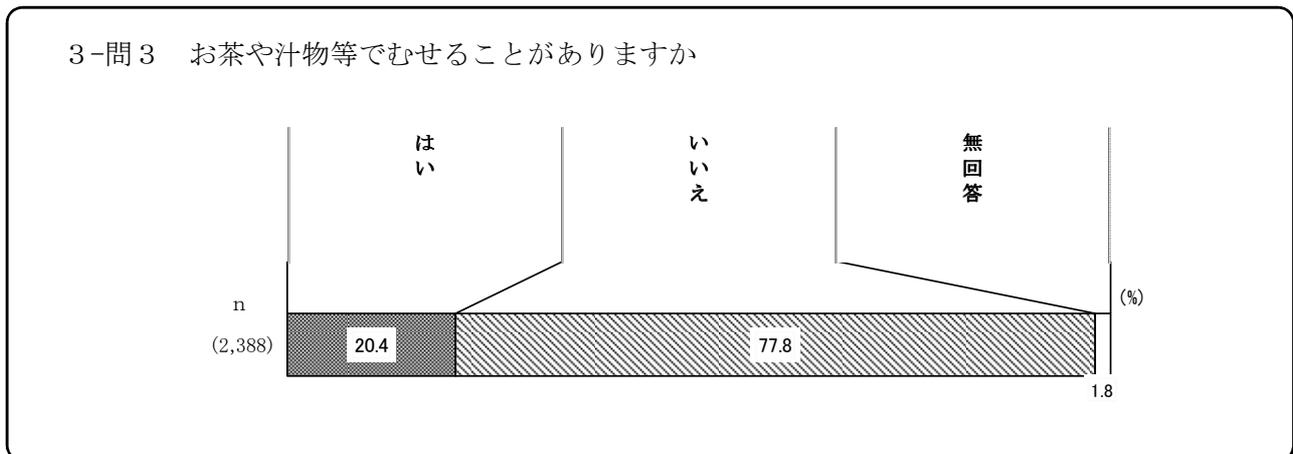
身長・体重をたずねてBMI値を算出したところ、「標準（18.5～25未満）」が65.2%を占めている。「肥満（25以上）」は21.8%、「やせ（18.5未満）」は6.4%となっている。

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか



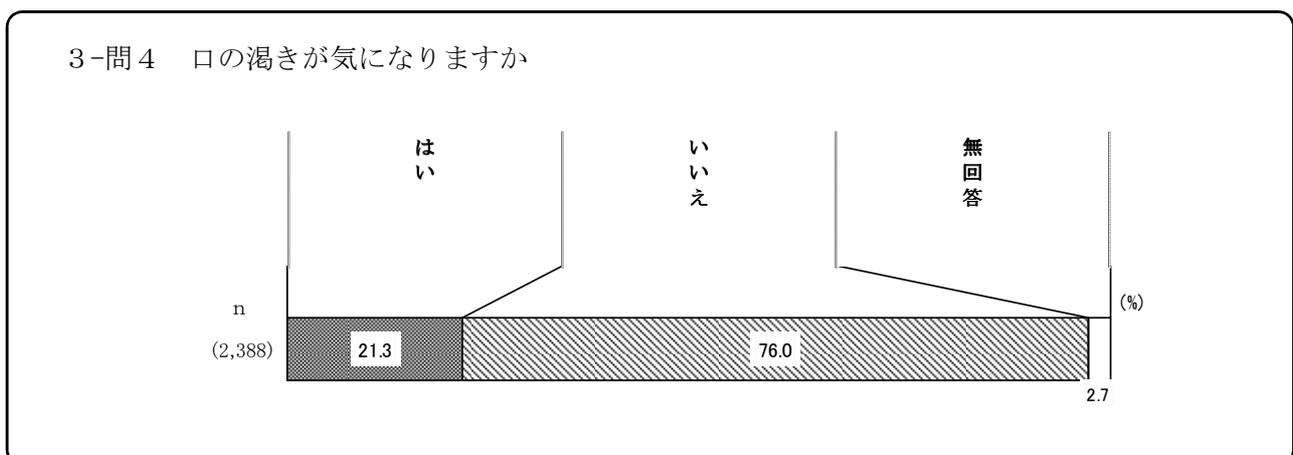
半年前に比べて固いものが食べにくくなったかたずねたところ、「はい」が29.3%となっている。

（3）お茶や汁物等でむせることがあるか



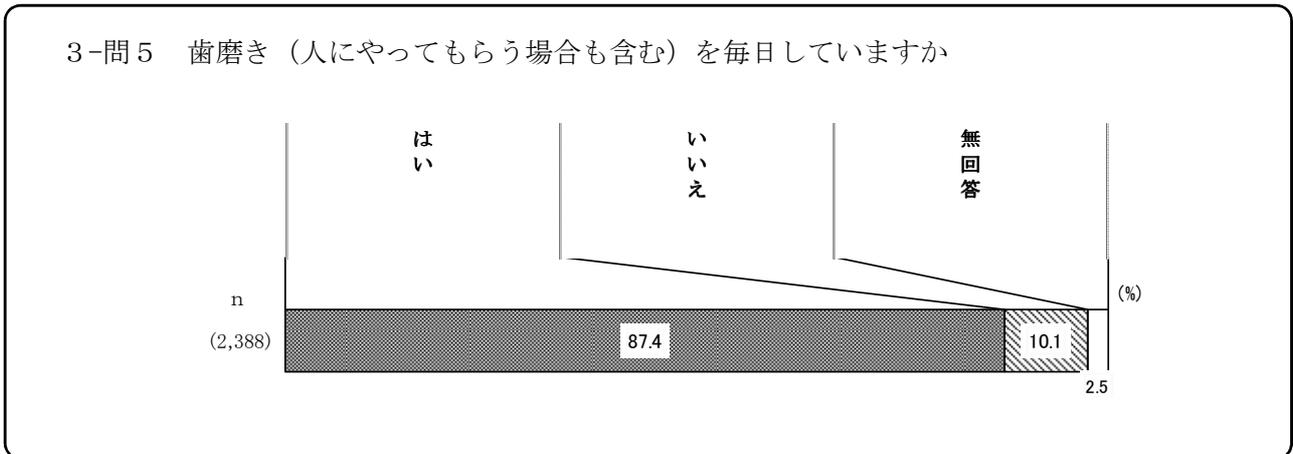
お茶や汁物等でむせることがあるかたずねたところ、「はい」が20.4%となっている。

（4）口の渇きが気になるか



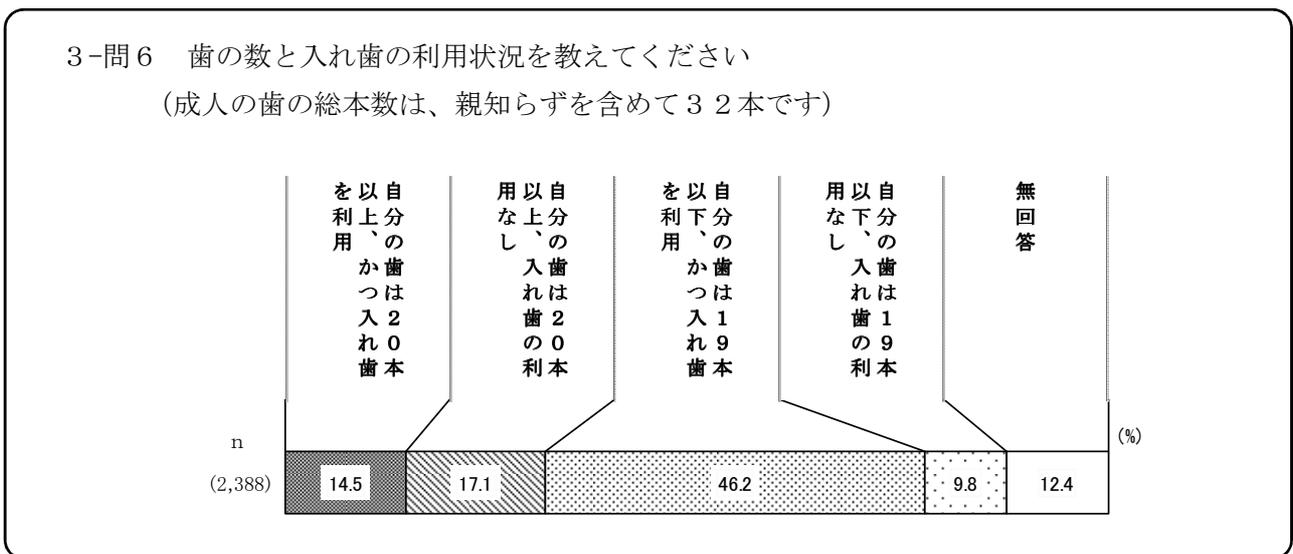
口の渇きが気になるかたずねたところ、「はい」が21.3%となっている。

（5）歯磨きを毎日しているか



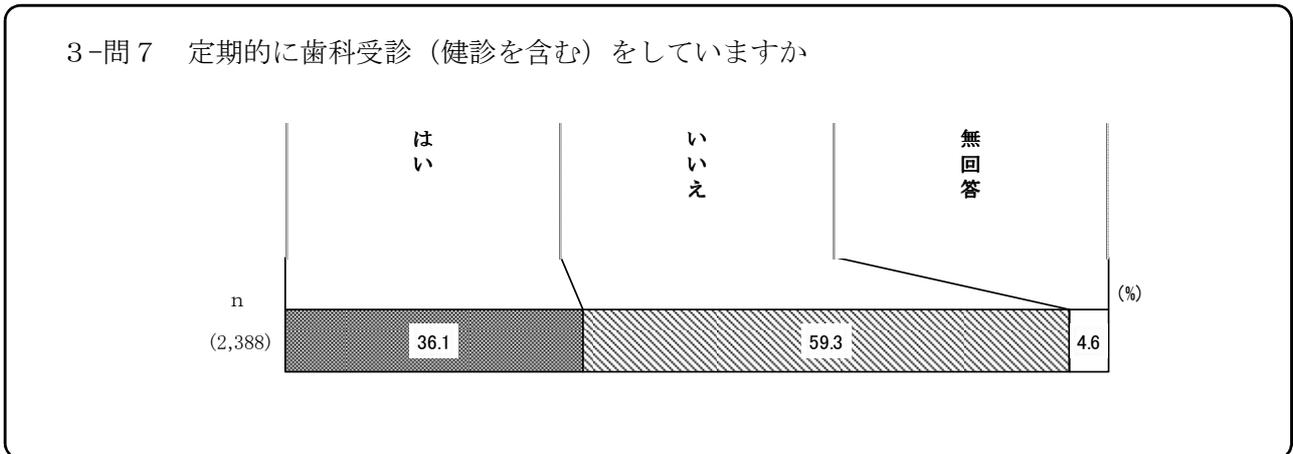
歯磨きを毎日しているかたずねたところ、「いいえ」は10.1%となっている。

（6）歯の数と入れ歯の利用状況



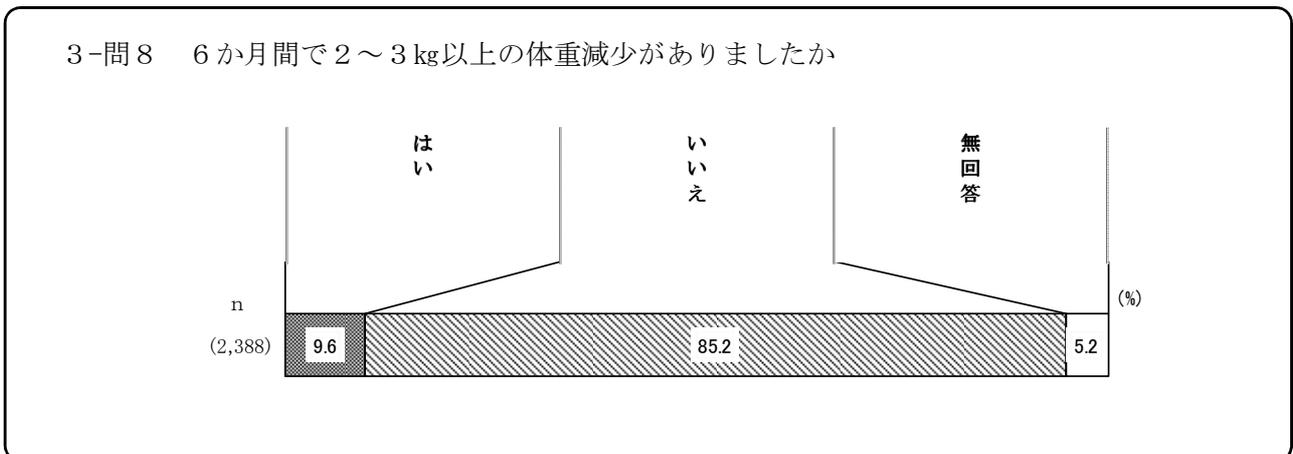
歯の数と入れ歯の利用状況についてたずねたところ、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が46.2%と最も多く、以下「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(17.1%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(14.5%)、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」は9.8%となっている。

(7) 定期的に歯科受診（健診を含む）をしているか



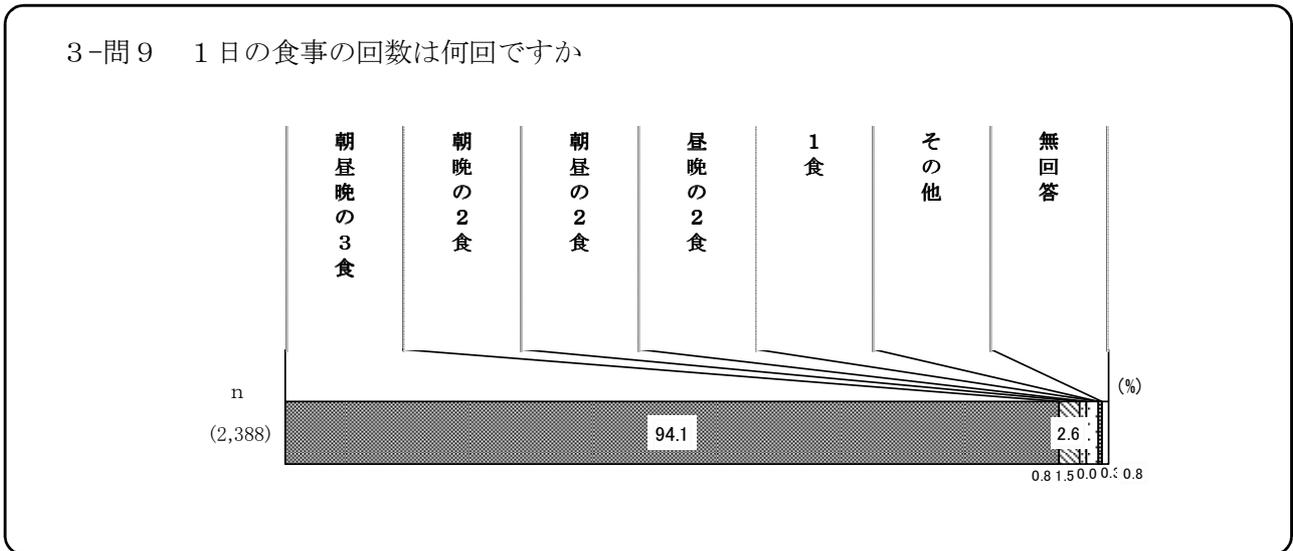
定期的に歯科受診（健診を含む）をしているかたずねたところ、「いいえ」は59.3%と多くなっている。

(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか



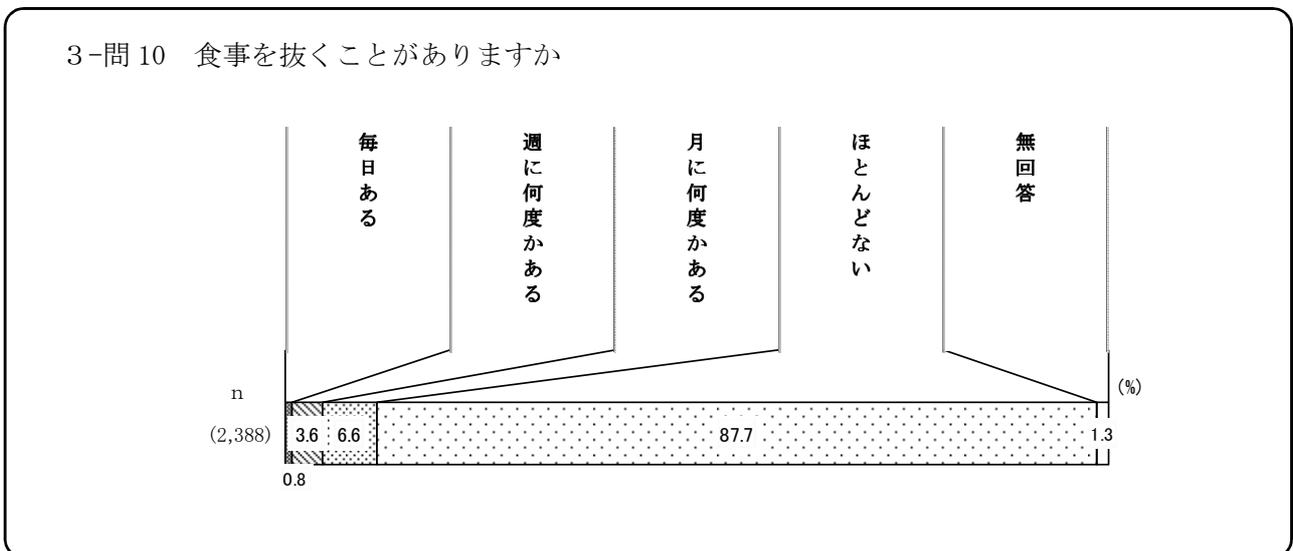
6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかたずねたところ、「はい」は9.6%となっている。

(9) 1日の食事の回数



1日の食事の回数についてたずねたところ、「朝昼晩の3食」が9割以上を占めている。

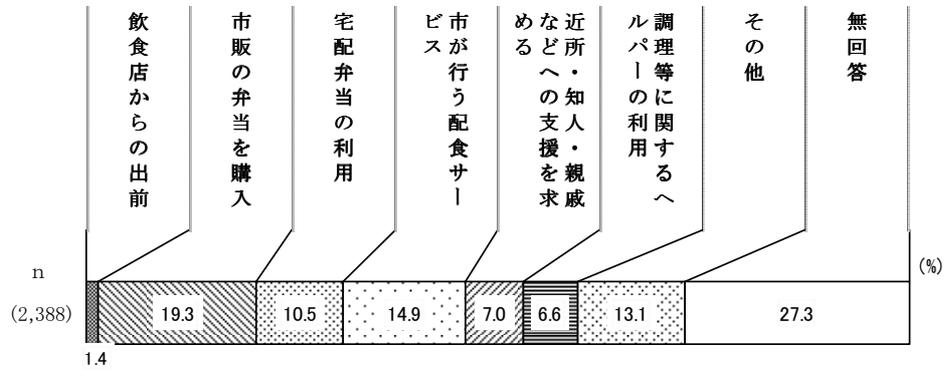
(10) 食事を抜くことがあるか



食事を抜くことがあるかたずねたところ、「ほとんどない」が87.7%を占めている。一方、「毎日ある」、「週に何度かある」、「月に何度かある」を合わせた“食事を抜くこと”がある人は11.0%となっている。

(11) 食事の準備が困難になった時の対応意向

3-問 11 食事の準備が困難になった時に、どのような対応をしたいと思いますか（1つだけ）

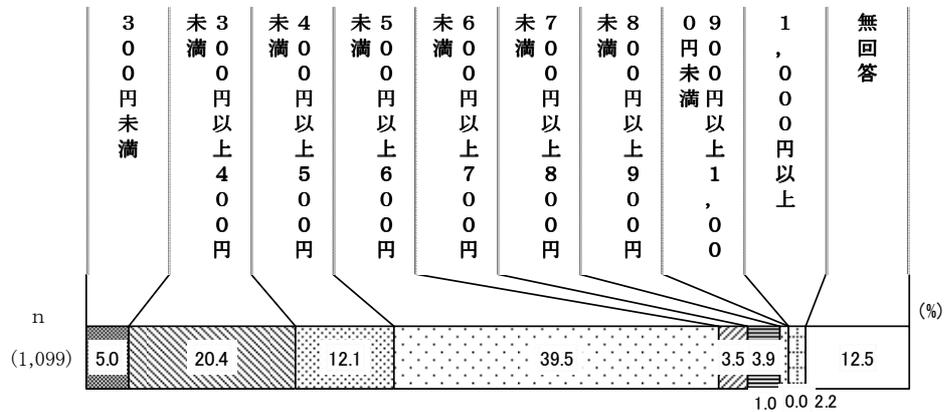


食事の準備が困難になった時の対応意向についてたずねたところ、「市販の弁当を購入」が19.3%と最も多く、次いで「市が行う配食サービス」(14.9%)、「宅配弁当の利用」(10.5%)、などとなっている。

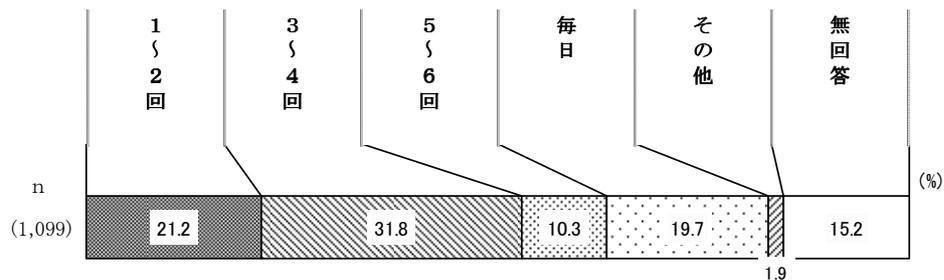
(12) 弁当等を利用する内容

【3-問 11 で「飲食店からの出前」「市販の弁当を購入」「宅配弁当の利用」「市が行う配食サービス」を選択した方にお聞きします】

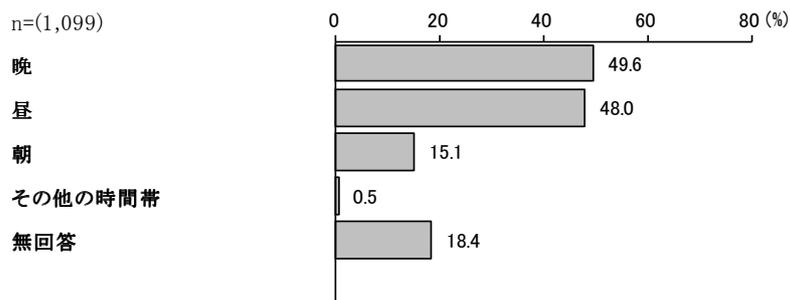
3-問 11-1 料金の負担はいくらまでと考えていますか



3-問 11-2 週何回まで利用したいですか



3-問 11-3 どの時間帯に利用したいですか（当てはまるもの全てに○）



弁当等を利用する場合の1食あたりの負担額については、料金の負担は「5000円以上6000円未満」が39.5%と最も多く、以下「3000円以上4000円未満」(20.4%)、「4000円以上5000円未満」(12.1%)となっており、「6000円未満」が77.0%となっている。

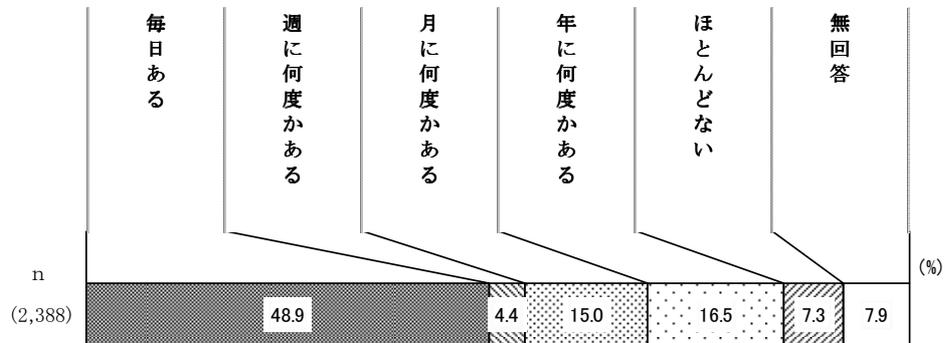
平均金額は458.5円となっている。

希望の1週間の利用頻度(回数)については、「3日～4日」が31.8%と最も多く、以下「1日～2日」(21.2%)、「毎日」(19.7%)、「5日～6日」(10.3%)となっている。

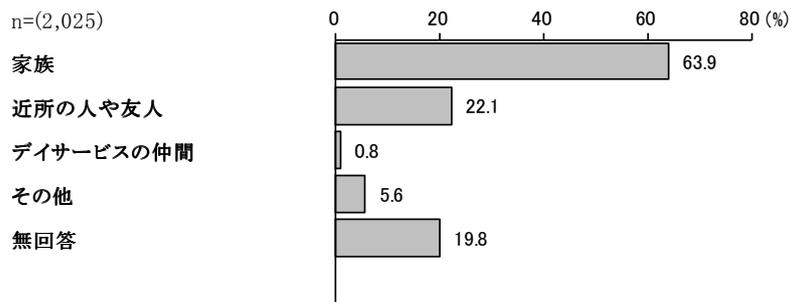
希望の利用時間帯については、「晩」が49.6%、「昼」が48.0%とほぼ同率となっている。「朝」は15.4%と約1割程度にとどまっている。

(13) 食事を誰かとともにする機会

3-問 12 どなたかと食事をともにする機会がありますか



3-問 12-1 食事をともにする人はどなたですか（いくつでも）



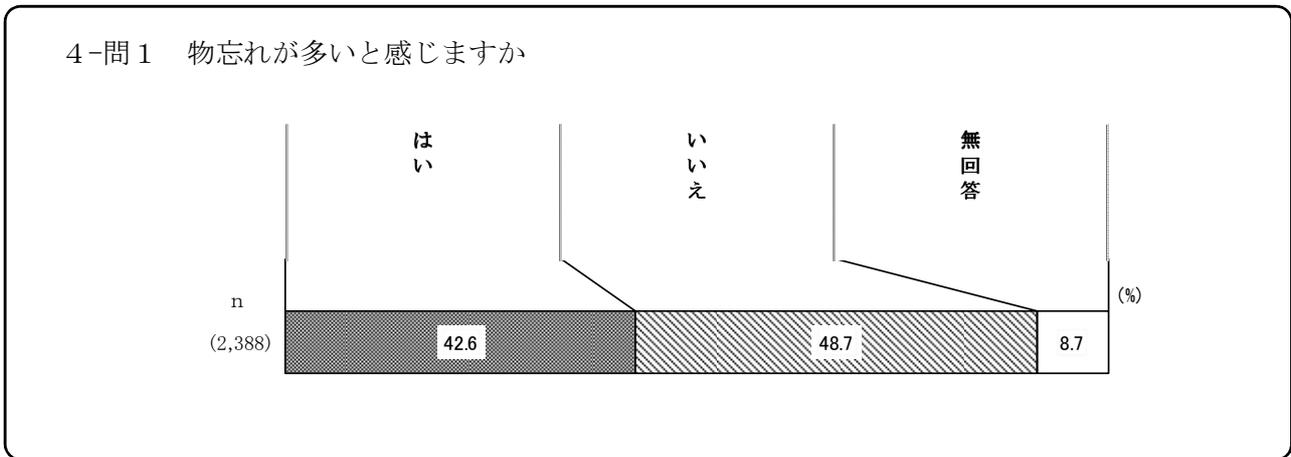
食事を誰かとともにする機会があるかたずねたところ、「毎日ある」が 48.9%と最も多く、以下「年に何度かある」(16.5%)、「月に何度かある」(15.0%)、「週に何度かある」(4.4%)となっている。

一方、「ほとんどない」は 7.3%となっている。

食事をともにする人については、「家族」が 63.9%を占めている。

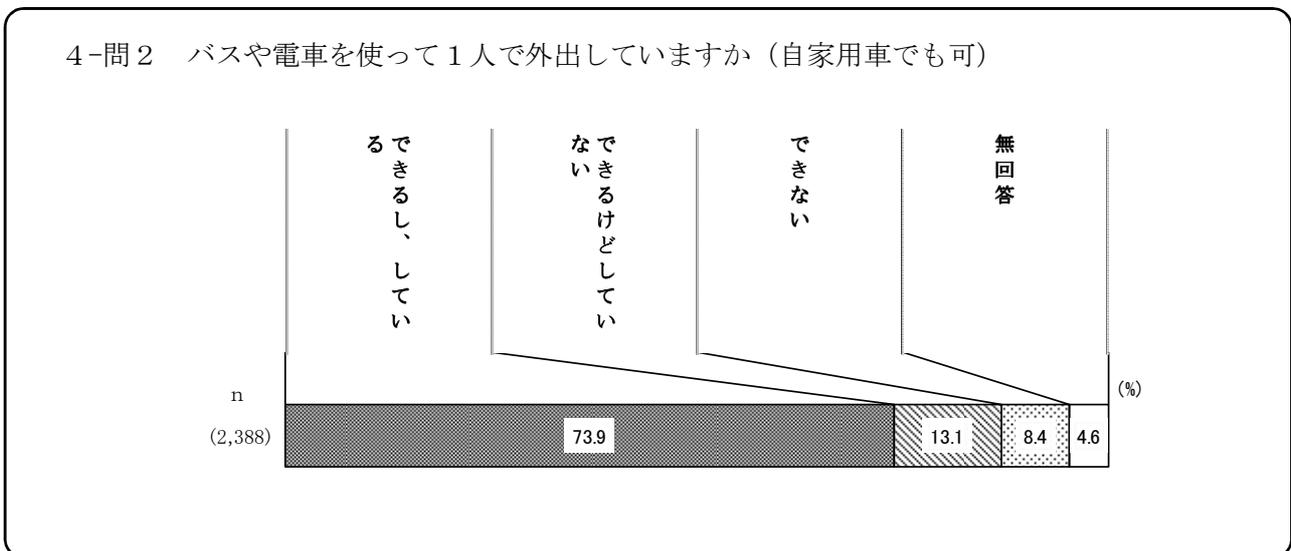
4. 毎日の生活について

（1）物忘れが多いと感じるか



物忘れが多いと感じるかたずねたところ、「いいえ」が48.7%と約半数となっているものの、「はい」が42.6%となっている。

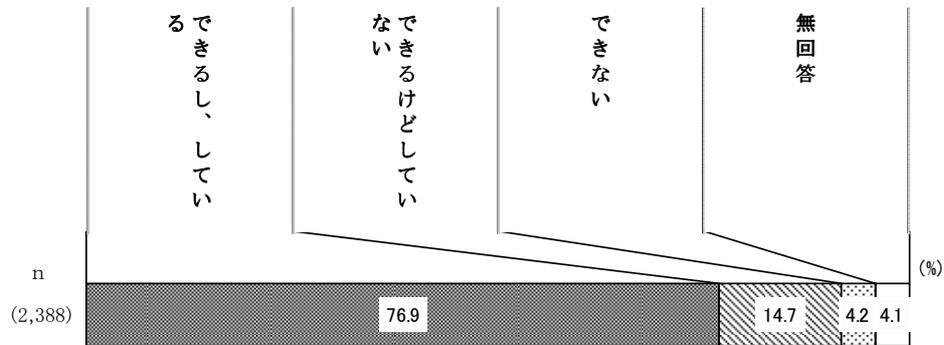
（2）バスや電車を使って、1人で外出しているか（自家用車でも可）



バスや電車を使って、1人で外出しているか（自家用車でも可）たずねたところ、「できない」は8.4%となっている。

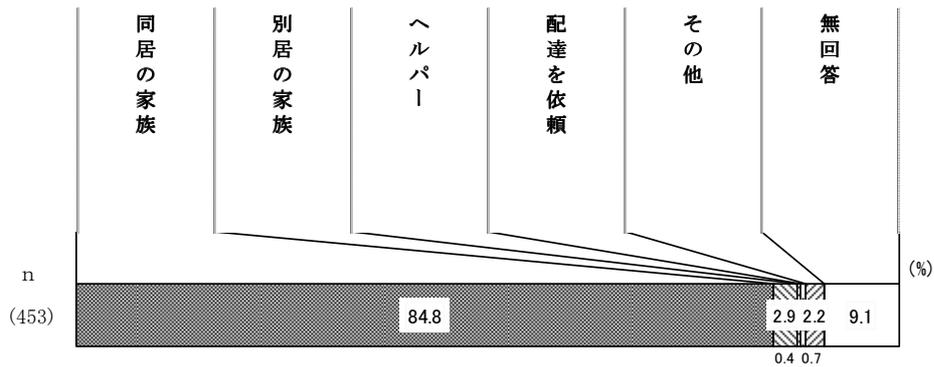
(3) 食品・日用品の買物をしているか

4-問3 自分で食品・日用品の買物をしていますか



【4-問3で「できるけどしていない」「できない」を選択した方のみ】

4-問3-1 日用品の買物をする人は主にどなたですか（1つだけ）

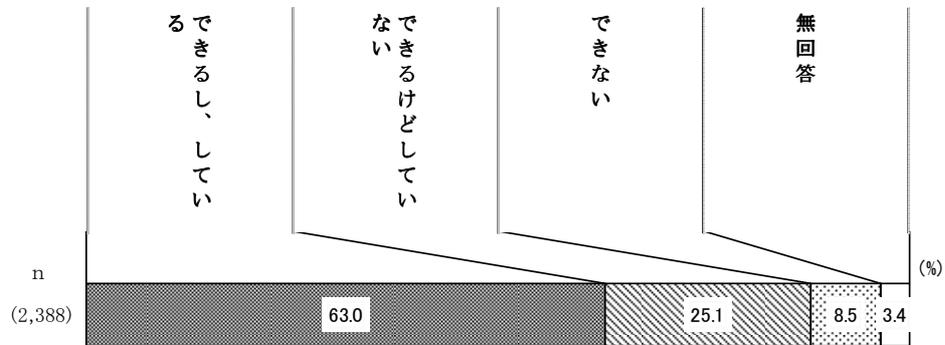


日用品の買物をしているかたずねたところ、「できるけどしていない」(14.7%)と「できない」(4.2%)を合わせた“自分でしていない、できない人”は18.9%となっている。

自分でしていない、できない人に日用品の買物をする人についてたずねたところ、「同居の家族」が84.8%を占めている。

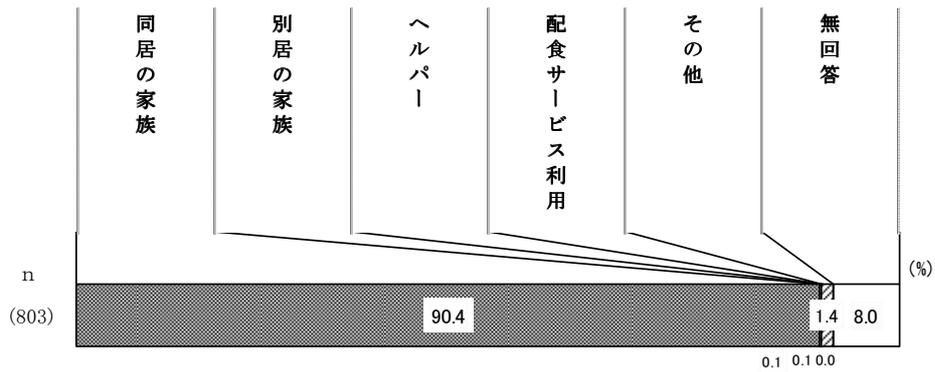
（4）食事の用意をしているか

4-問4 自分で食事の用意をしていますか



【4-問4で「できるけどしていない」「できない」を選択した方のみ】

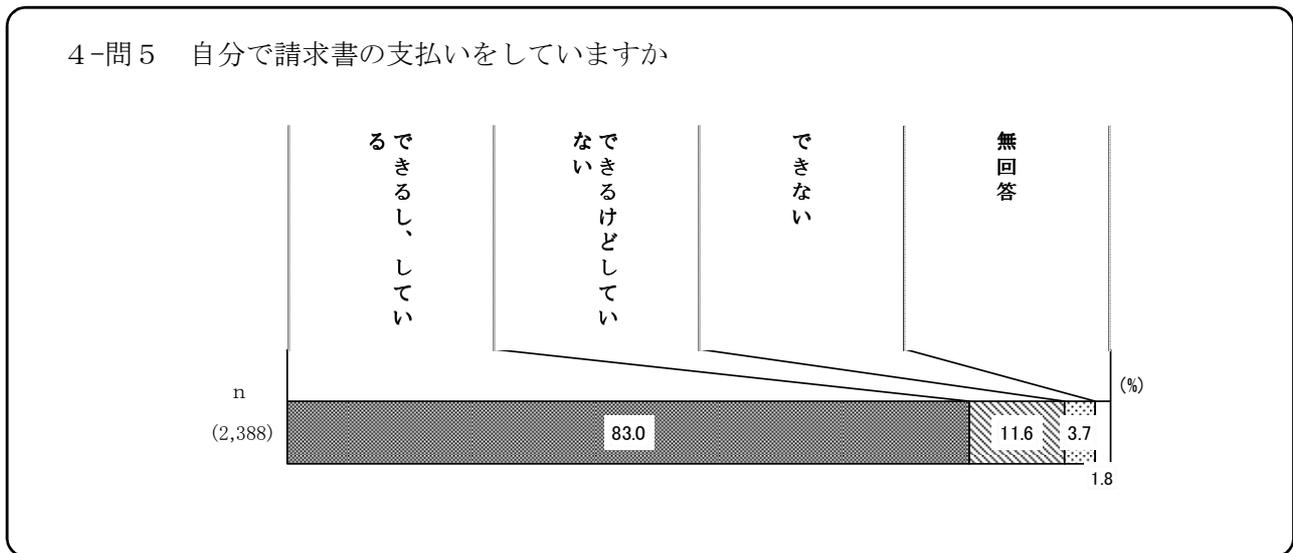
4-問4-1 食事の用意をする人は主にどなたですか（1つだけ）



自分で食事の用意をしているかたずねたところ、「できるけどしていない」（25.1%）と「できない」（8.5%）を合わせた“自分でしていない、できない人”は33.6%となっている。

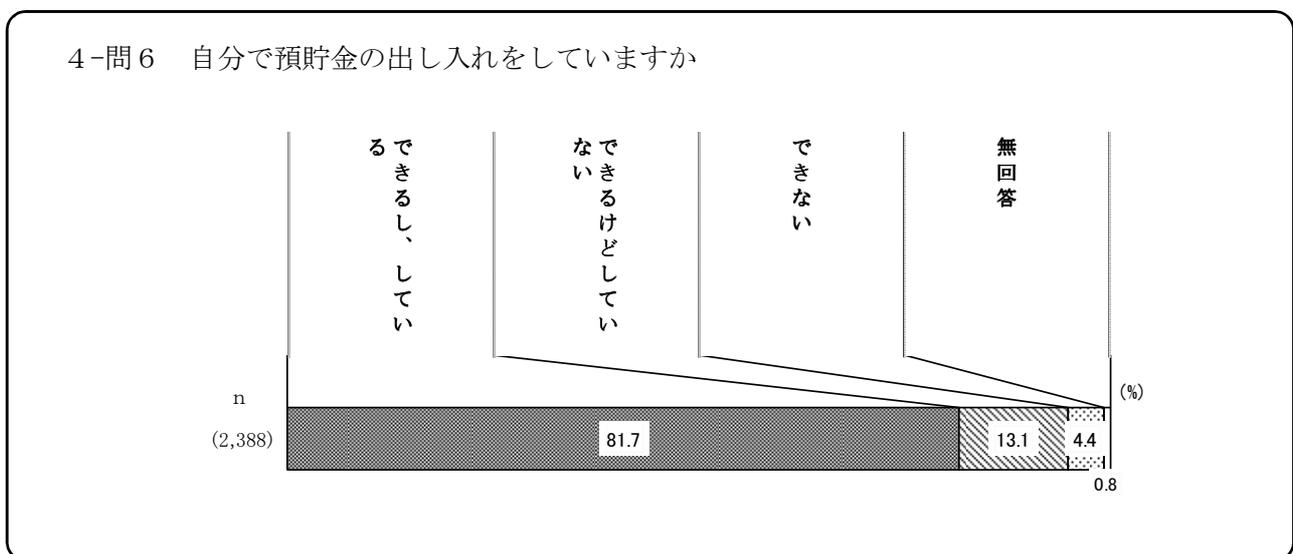
自分でしていない、できない人に食事の用意をする人をたずねたところ、「同居の家族」が90.4%を占めている。

（5）請求書の支払いをしているか



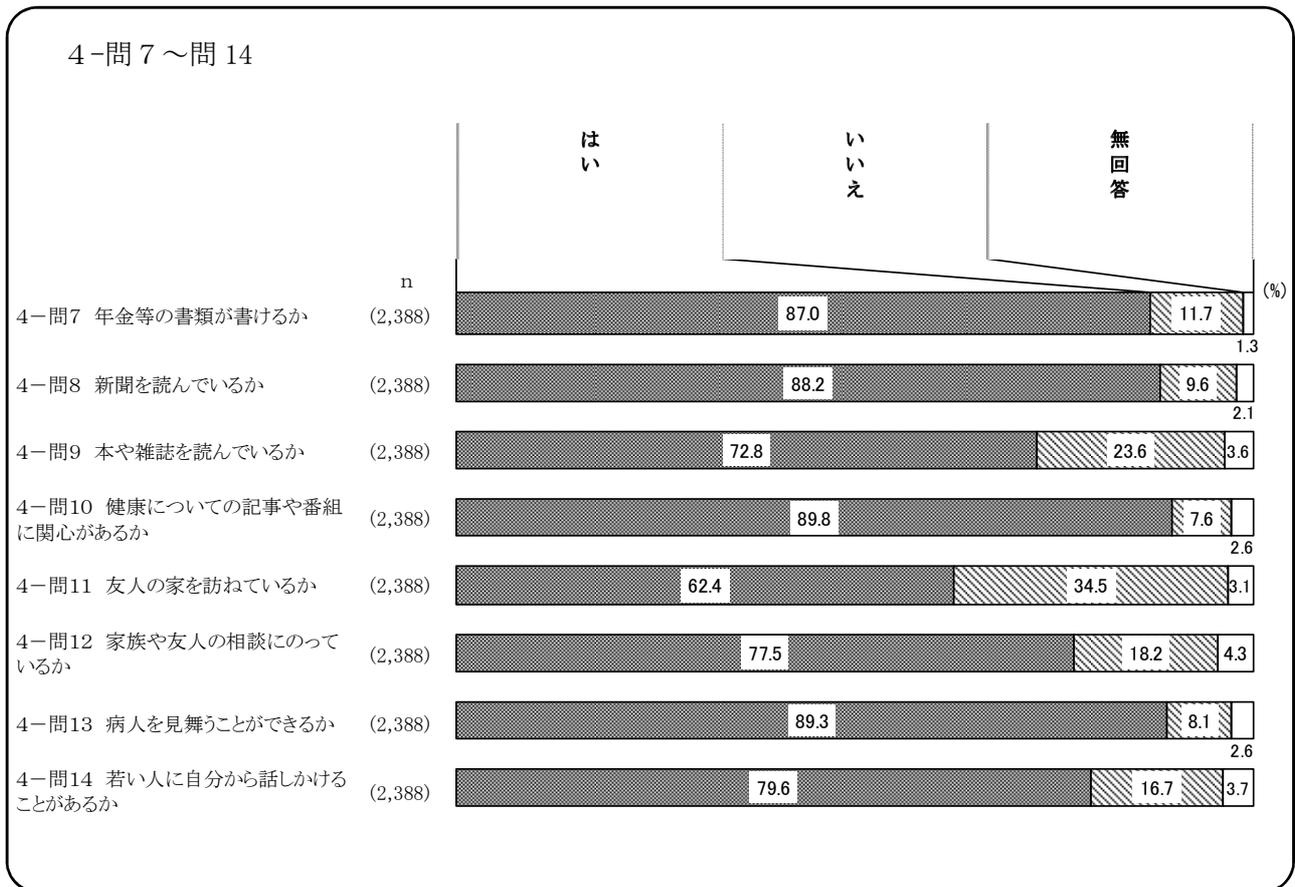
請求書の支払いをしているかたずねたところ、「できない」は3.7%となっている。

（6）預貯金の出し入れをしているか



預貯金の出し入れをしているかたずねたところ、「できない」は4.4%となっている。

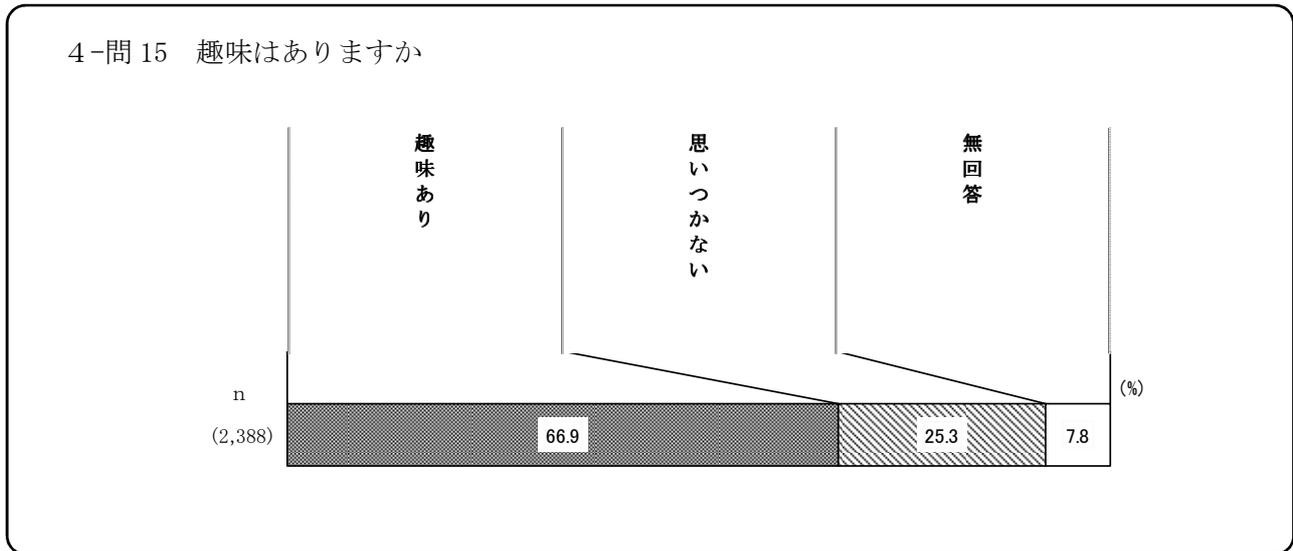
（7）社会参加についての日常生活状況



社会参加についての日常生活状況についてたずねたところ、『健康についての記事や番組に関心があるか』（89.8%）、『病人を見舞うことができるか』（89.3%）、『新聞を読んでいるか』（88.2%）、『年金等の書類が書けるか』（87.0%）では「はい」が8割以上を占めている。

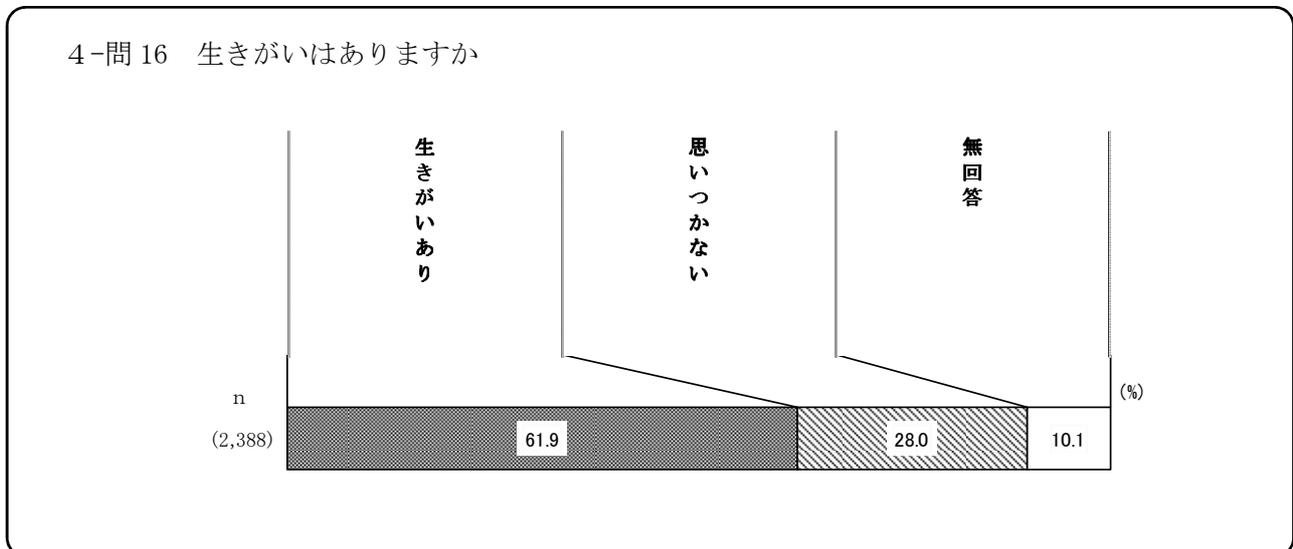
一方、『友人の家を訪ねているか』（34.5%）、『本や雑誌を読んでいるか』（23.6%）では「いいえ」がやや多い。

(8) 趣味はあるか



趣味はあるかたずねたところ、「趣味あり」が66.9%となっているものの、「思いつかない」が25.3%となっている。

(9) 生きがいはあるか



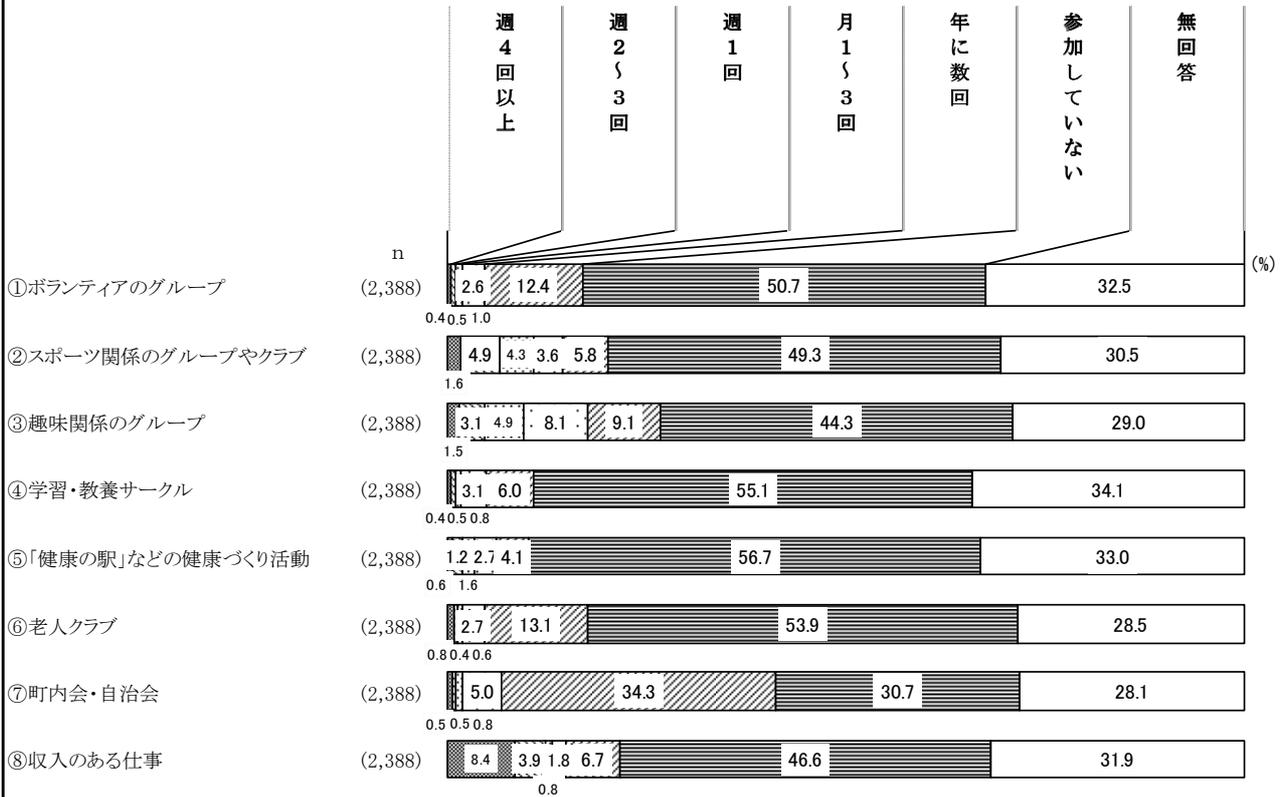
生きがいはあるかたずねたところ、「生きがいあり」が61.9%となっているものの、「思いつかない」が28.0%となっている。

5. 地域での活動について

（1）地域活動への参加頻度

5-問1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

①～⑧それぞれに回答してください

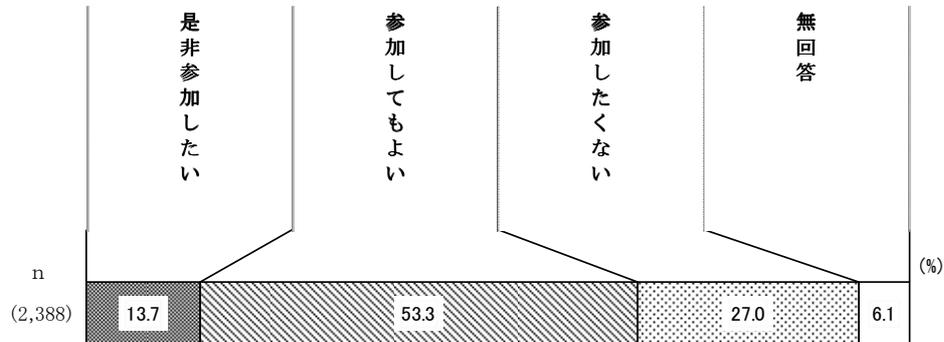


地域活動への参加頻度についてたずねたところ、『⑦町内会・自治会』以外の項目で「参加していない」が4割以上を占めている。

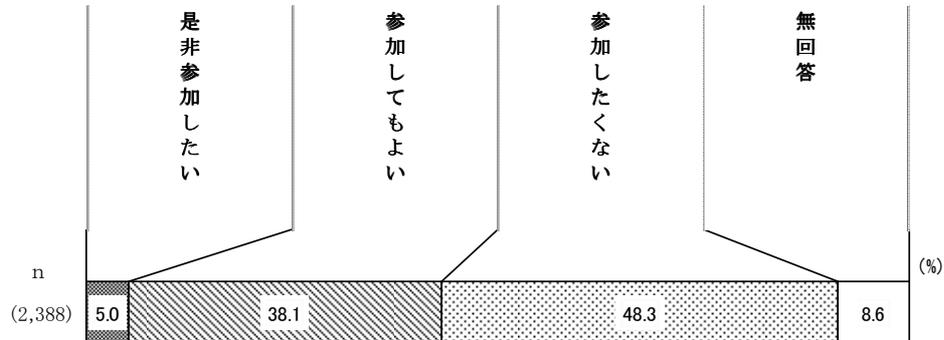
一方、『⑦町内会・自治会』では34.3%が「年に数回」と回答し、参加頻度は他より多い。

（2）地域活動への参加

5-問2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか



5-問3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか



地域の健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向についてたずねたところ、「参加してもよい」(53.3%)と「是非参加したい」(13.7%)を合わせた“参加してもよい”は67.0%となっている。

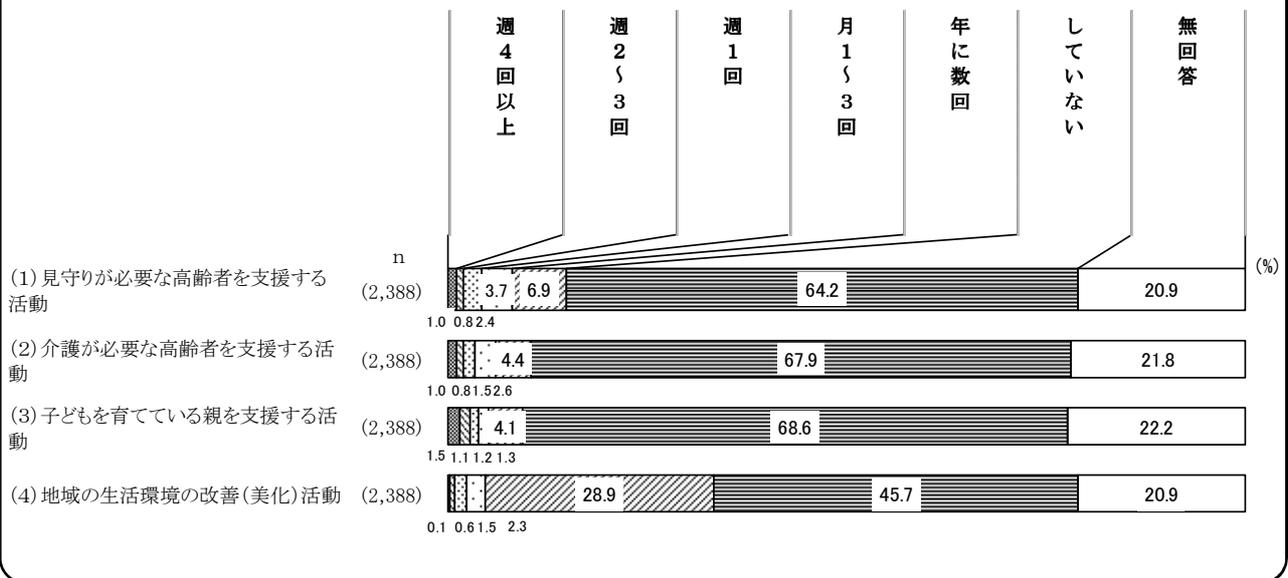
一方、「参加したくない」も27.0%と3割近くとなっている。

地域の健康づくり活動や趣味等のグループ活動の企画・運営への参加意向についてたずねたところ、「参加してもよい」(38.1%)と「是非参加したい」(5.0%)を合わせた“参加してもよい”は43.1%となっている。

一方、「参加したくない」が48.3%と約半数を占めている。

（3）支援や改善への参加頻度

5-問4 以下のような活動をどのくらいの頻度でしていますか
 （※個人で行っている日頃の見守りや支援も含まれます）

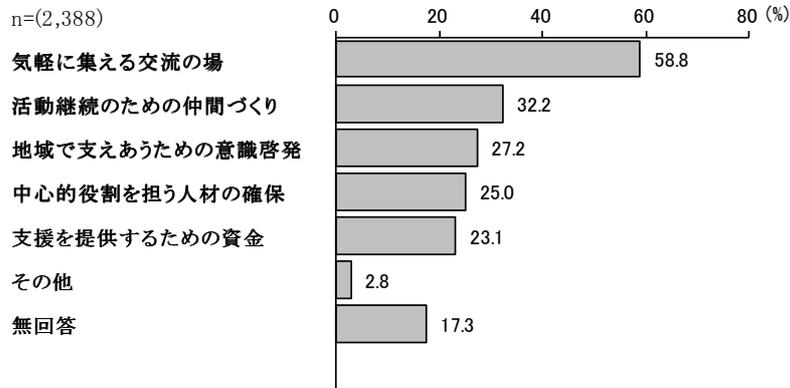


支援や改善への参加頻度をたずねたところ、『(4) 地域の生活環境の改善（美化）活動』以外の項目で「していない」が6割以上を占めている。

一方、『(4) 地域の生活環境の改善（美化）活動』では28.9%が「年に数回」と回答し、頻度は他より多い。

（4）地域で高齢者を支えるために必要なこと

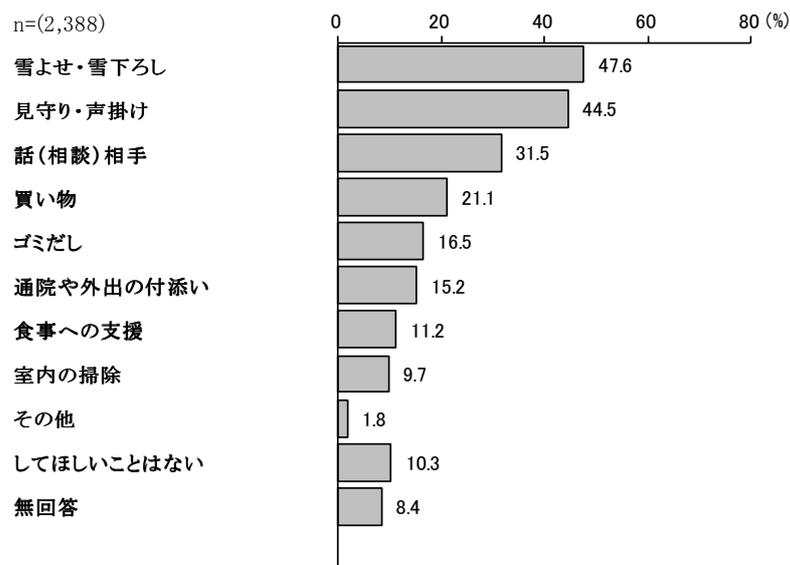
5-問5 地域高齢者を支えるために必要なものは何であると考えますか（いくつでも）



地域で高齢者を支えるために必要なことについてたずねたところ、「気軽に集える交流の場」が 58.8%と最も多く、以下「活動継続のための仲間づくり」(32.2%)、「地域で支えあうための意識啓発」(27.2%)、「中心的役割を担う人材の確保」(25.0%)、「支援を提供するための資金」(23.1%)となっている。

（5）日常生活に困ったとき地域や近所の方からして欲しいこと

5-問6 あなたが日常生活に困ったとき、地域や近所の方からどのようなことをしてほしいと思いますか（いくつでも）

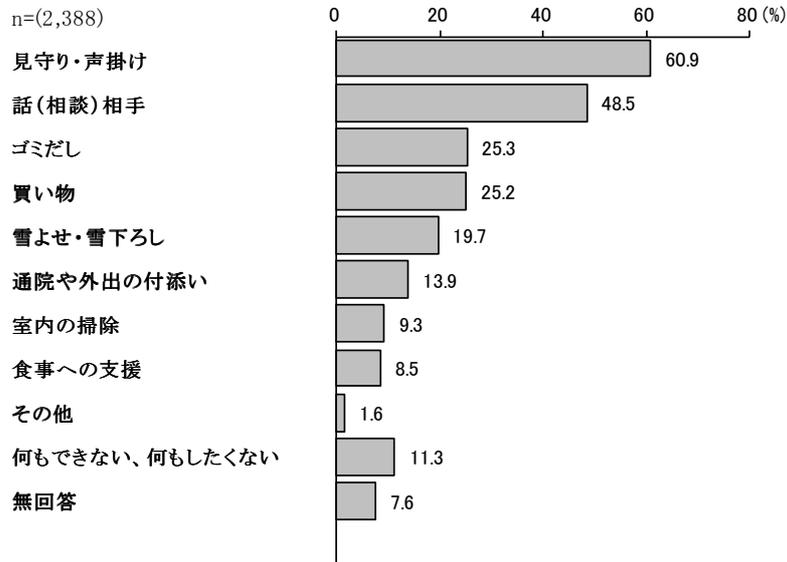


日常生活に困ったとき地域や近所の方からして欲しいことをたずねたところ、「雪よせ・雪下ろし」が 47.6%と最も多く、次いで「見守り・声掛け」(44.5%)、「話(相談)相手」(31.5%)、「買い物」(21.1%)などとなっている。

一方、「してほしいことはない」は約1割となっている。

（6）地域や近所の方が日常生活に困ったときできること

5-問7 地域や近所の方が日常生活に困ったとき、あなたはどのようなことができると思いますか（いくつでも）



地域や近所の方が日常生活に困ったときできることをたずねたところ、「見守り・声掛け」が60.9%と最も多く、以下「話(相談)相手」(48.5%)、「ゴミだし」(25.3%)、「買い物」(25.2%)、「雪よせ・雪下ろし」(19.7%) などとなっている。

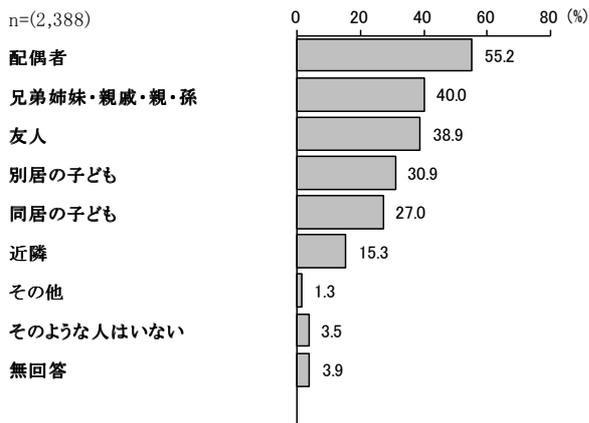
一方、「何もできない、何もしたくない」は約1割となっている。

6. たすけあいについて

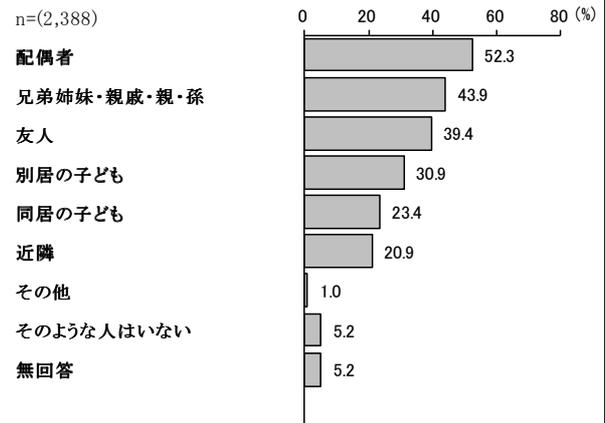
（1）まわりの人との「たすけあい」について

6 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

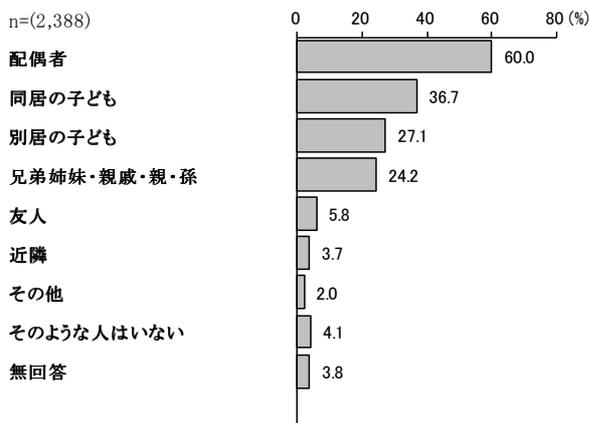
6-問1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）
を聞いてくれる人（いくつでも）



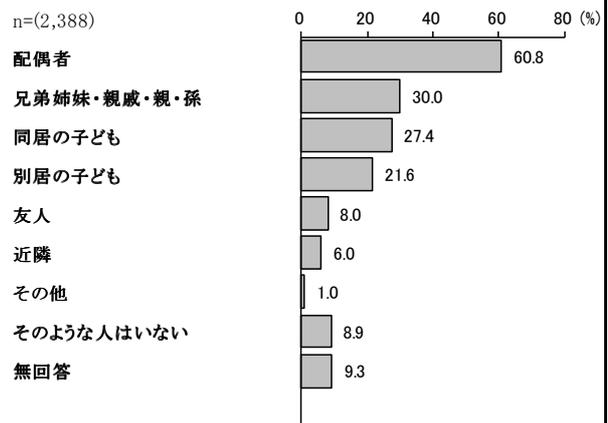
6-問2 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）
を聞いてあげる人（いくつでも）



6-問3 あなたが病気で数日間寝込んだ
ときに、看病や世話をしてくれる
人（いくつでも）



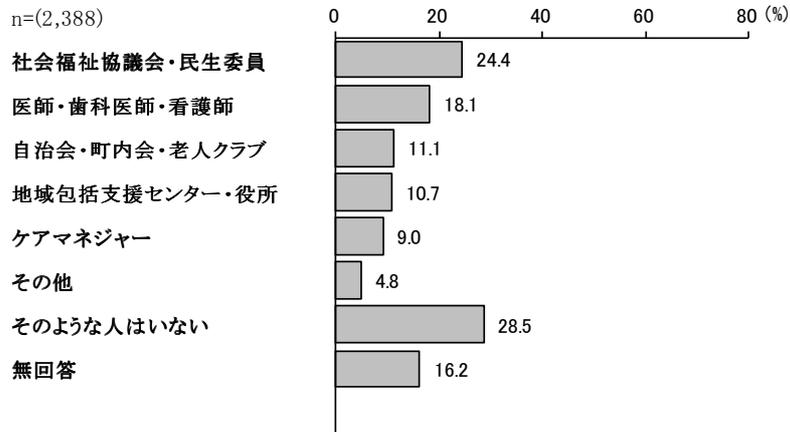
6-問4 反対に、看病や世話をし
てあげる人（いくつでも）



まわりの人との「たすけあい」についてたずねたところ、『問1 心配事や愚痴を聞いてくれる人』、『問2 心配事や愚痴を聞いてあげる人』では、1位「配偶者」、2位「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、3位「友人」の順になっている。『問3 病気のとときに看病や世話をしてくる人』では、1位「配偶者」、2位「同居の子ども」、3位「別居の子ども」で、『問4 病気のとときに看病や世話をしあげる人』では、1位「配偶者」、2位「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、3位「同居の子ども」の順になっている。

(2) 家族や友人・知人以外の相談相手

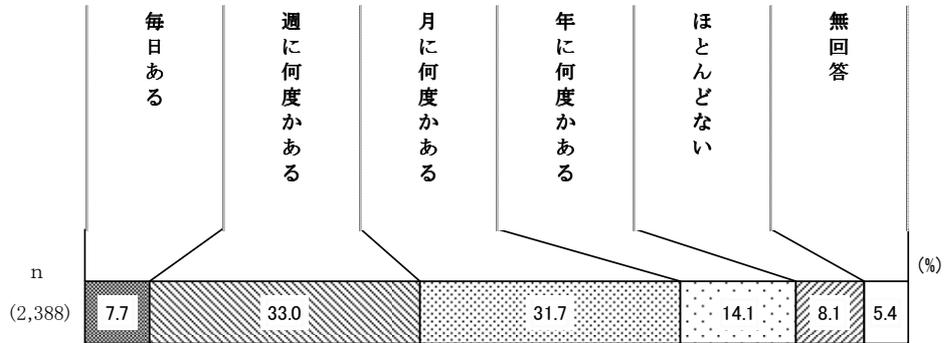
6-問5 家族や友人・知人以外で、何かあった時の相談相手を教えてください（いくつでも）



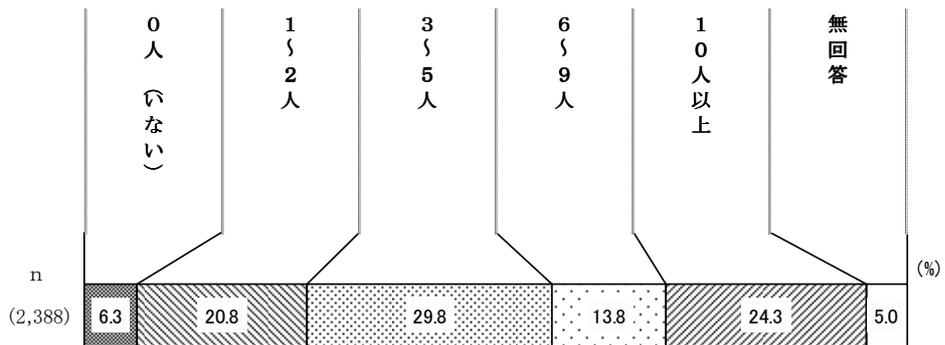
家族や友人・知人以外の相談相手をたずねたところ、「社会福祉協議会・民生委員」(24.4%)が最も多く、以下「医師・歯科医師・看護師」(18.1%)、「自治会・町内会・老人クラブ」(11.1%)、「地域包括支援センター・役所」(10.7%)、「ケアマネジャー」(9.0%)となっている。一方、「そのような人はいない」は28.5%となっている。

(3) 友人関係

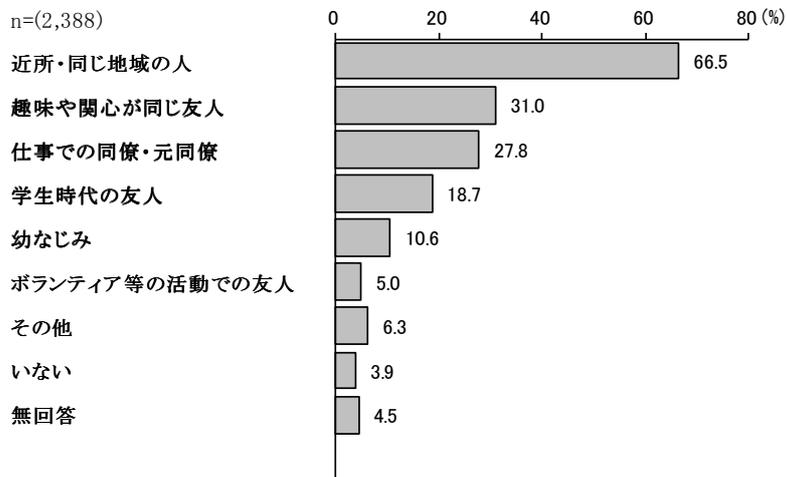
6-問6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか



6-問7 この1ヶ月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします



6-問8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)



友人・知人と会う頻度をたずねたところ、「週に何度かある」（33.0%）、「月に何度かある」（31.7%）が多く、以下「年に何度かある」（14.1%）、「毎日ある」（7.7%）となっている。

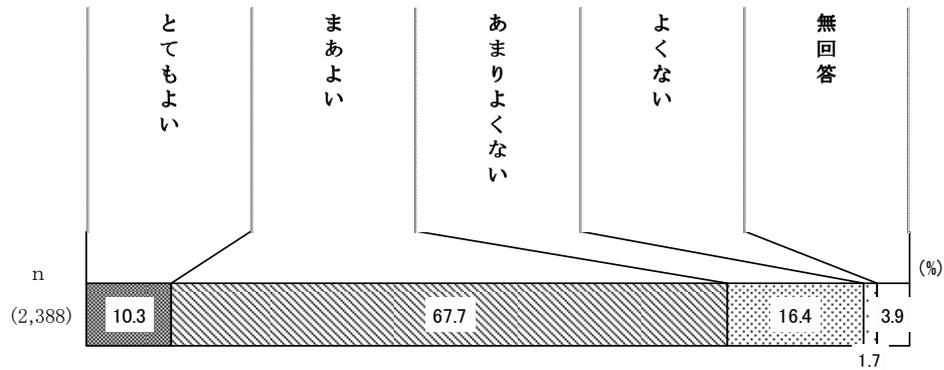
この1ヶ月間に会った友人・知人の人数は、「3～5人」が29.8%と最も多く、以下「10人以上」（24.3%）、「1～2人」（20.8%）、「6～9人」（13.8%）、「0人（いない）」（6.3%）となっている。

よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」が66.5%と最も多く、以下「趣味や関心と同じ友人」（31.0%）、「仕事での同僚・元同僚」（27.8%）、「学生時代の友人」（18.7%）などとなっている。

7. 健康について

（1）自身の健康状態

7-問1 現在のあなたの健康状態はいかがですか



自身の健康状態についてたずねたところ、「まあよい」が67.7%と最も多く、「とてもよい」(10.3%)を合わせた“健康”な人は78.0%となっている。

一方、「あまりよくない」、「よくない」を合わせた“健康でない”人は18.1%となっている。

（2）現在の幸福度

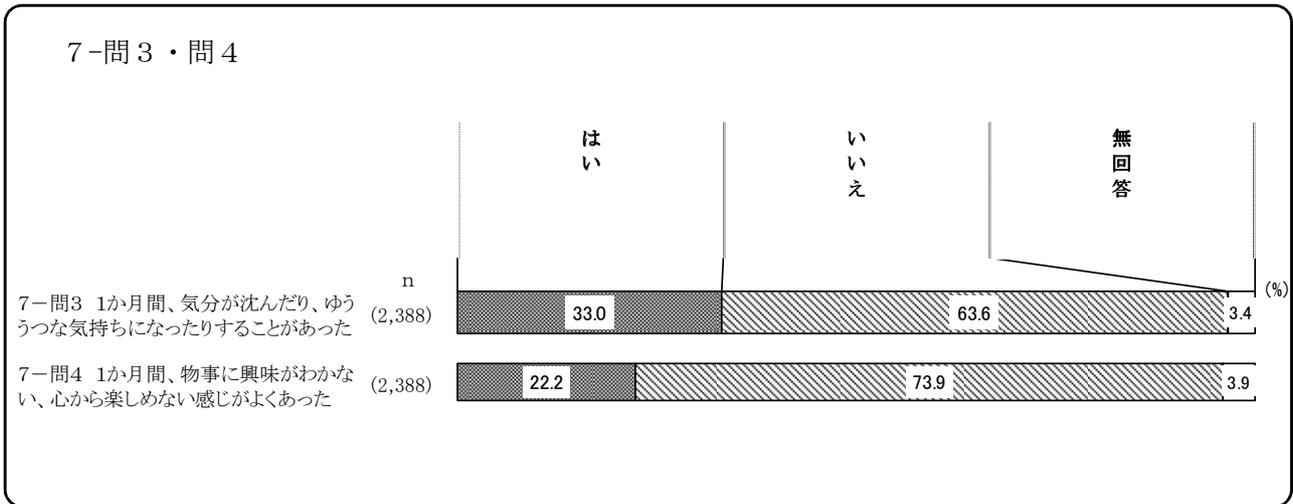
7-問2 あなたは、現在どの程度幸せですか

（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

調査数	平均	標準偏差	最小値	最大値
2,270 100.0	16,068 7.1	2.14	0	10

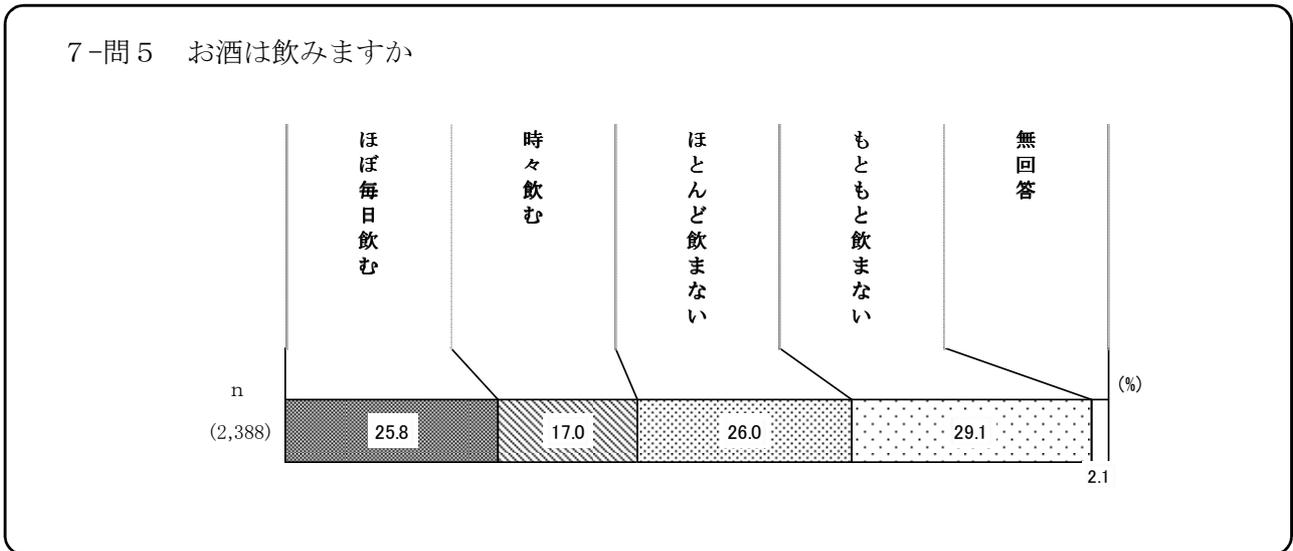
現在の幸福度についてたずねたところ、平均は7.08点となっている。

（3）毎日の生活の様子



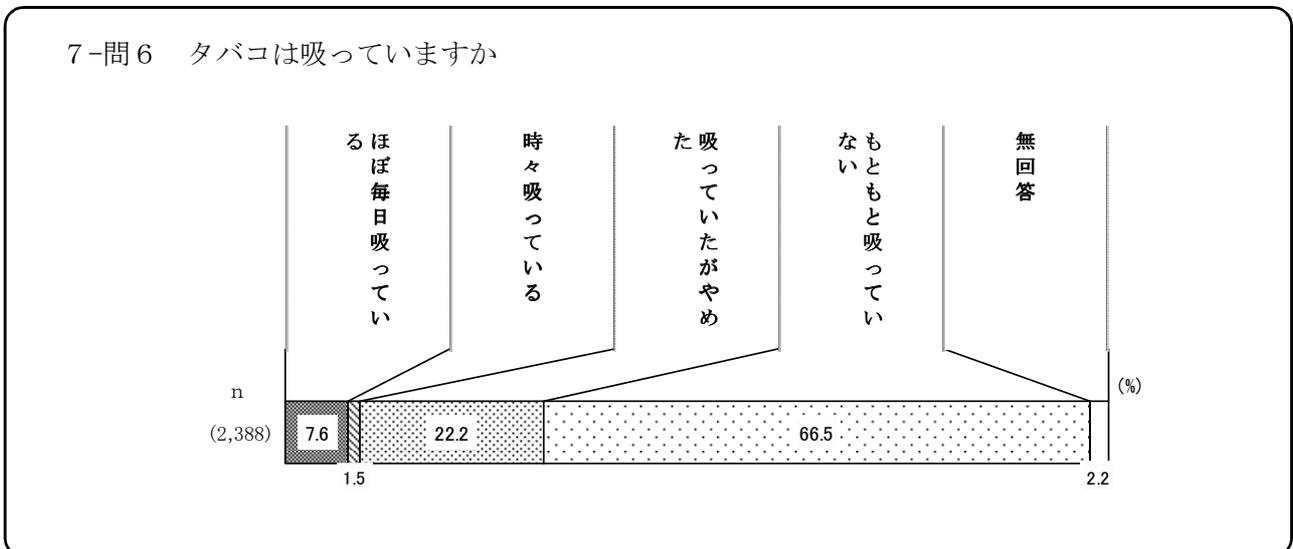
毎日の生活の様子についてたずねたところ、すべての項目で「いいえ」が6割以上を占めているが、『1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあった』では「はい」が33.0%とやや多い。

(4) 飲酒状況



飲酒状況をたずねたところ、「もともと飲まない」が29.1%と最も多く、以下「ほとんど飲まない」(26.0%)、「ほぼ毎日飲む」(25.8%)、「時々飲む」(17.0%)となっている。

(5) 喫煙状況

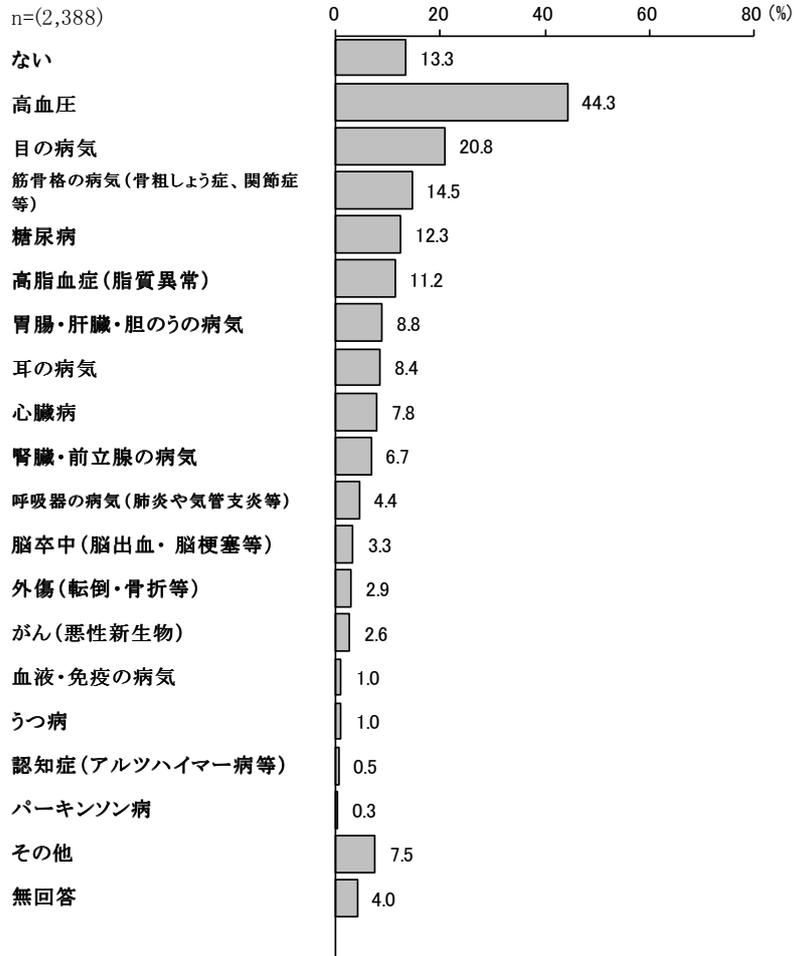


喫煙状況をたずねたところ、「もともと吸っていない」が66.5%と最も多く、「吸っていたがやめた」(22.2%)を合わせた“吸っていない”人は88.7%となっている。

一方、「ほぼ毎日吸っている」(7.6%)、「時々吸っている」(1.5%)を合わせた“吸っている”人は1割未満となっている。

（6）現在の疾病状況

7-問7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

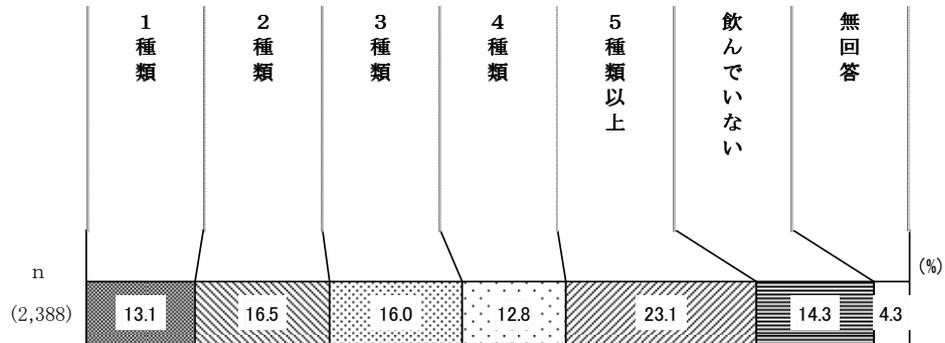


現在の疾病状況をたずねたところ、「高血圧」が44.3%と最も多く、以下「目の病気」(20.8%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(14.5%)、「糖尿病」(12.3%)、「高脂血症(脂質異常)」(11.2%)などとなっている。

一方、「ない」は13.3%となっている。

(7) 医師が処方した薬を何種類飲んでいるか

7-問8 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでますか

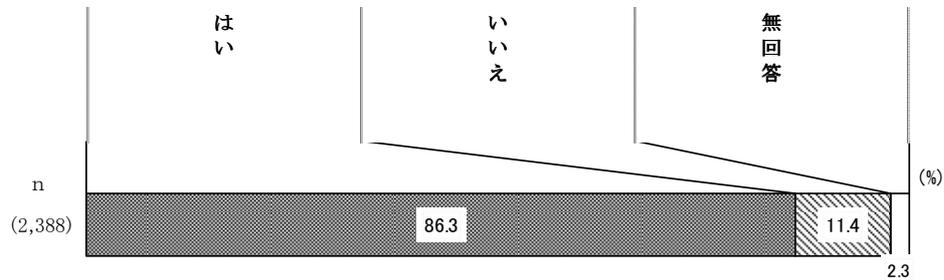


医師の処方した薬を何種類飲んでいるかたずねたところ、「5種類以上」が23.1%と最も多く、以下「2種類」(16.5%)、「3種類」(16.0%)、「1種類」(13.1%)、「4種類」(12.8%)となっている。

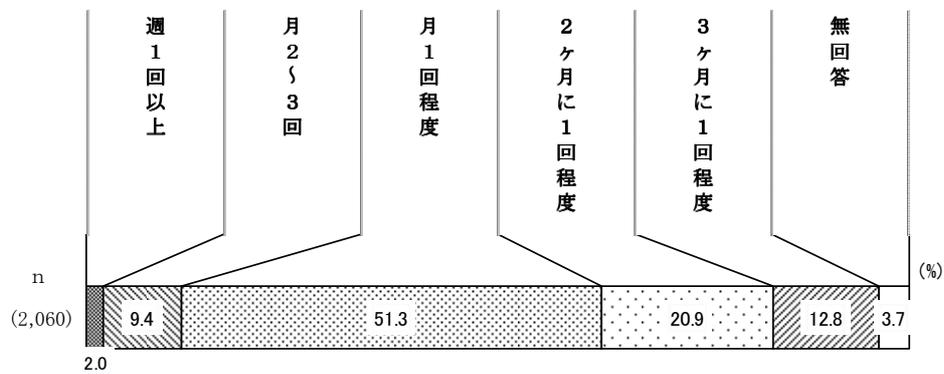
一方、「飲んでいない」は14.3%となっている。

（8）通院状況

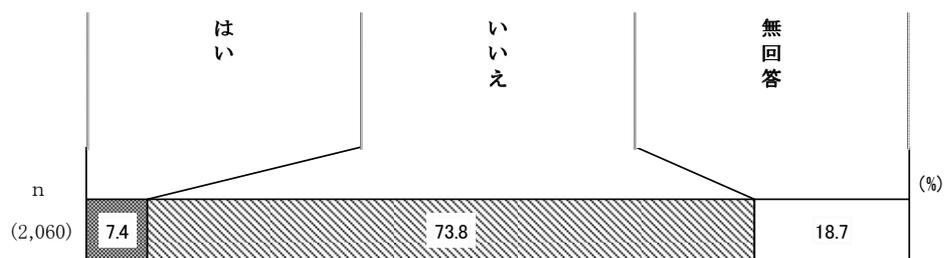
7-問9 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか



7-問9-1 その頻度は次のどれですか



7-問9-2 通院に介助が必要ですか



通院状況をたずねたところ、「はい」が86.3%を占め、「いいえ」は11.4%となっている。

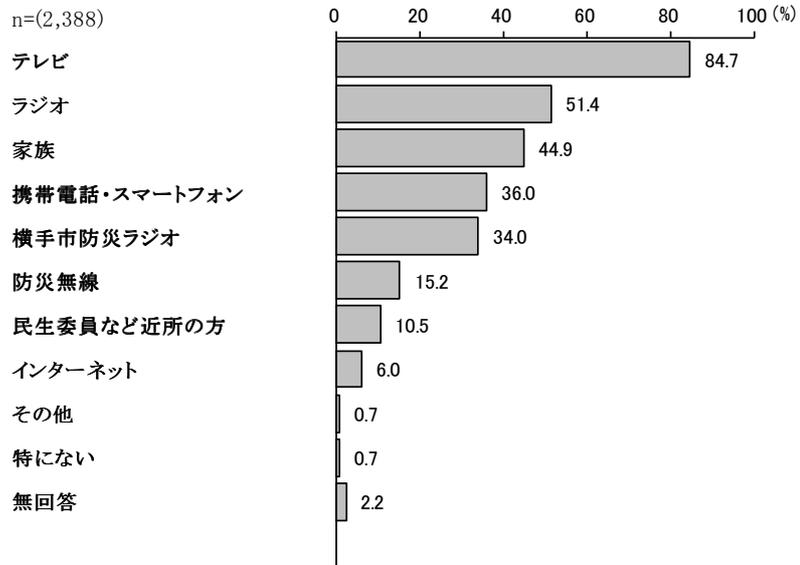
通院している人に通院頻度をたずねたところ、「月1回程度」が51.3%と最も多く、以下「2ヶ月に1回程度」(20.9%)、「3ヶ月に1回程度」(12.8%)、「月2〜3回」(9.4%)となっている。

通院時に介助が必要な人は7.4%で、必要ではない人が73.8%を占めている。

8. 相談ごと・情報・災害対応について

（1）地震などの災害発生時、緊急情報を入手する方法

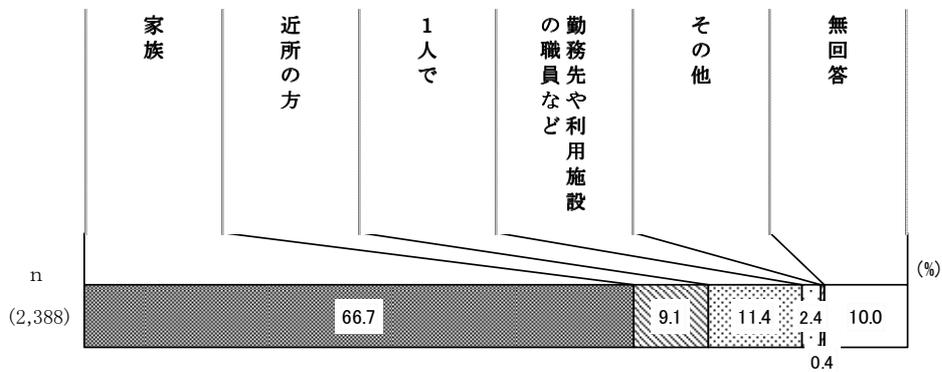
問1 地震など災害が発生した場合、緊急の情報を得る方法がありますか
（あてはまる項目すべてに○）



地震などの災害発生時に緊急情報を入手する方法についてたずねたところ、「テレビ」が84.7%と最も多く、以下「ラジオ」(51.4%)、「家族」(44.9%)、「携帯電話・スマートフォン」(36.0%)「横手市防災ラジオ」(34.0%) などとなっている。

（2）平日の日中に、地震などの災害が発生した場合、一緒に行動する人

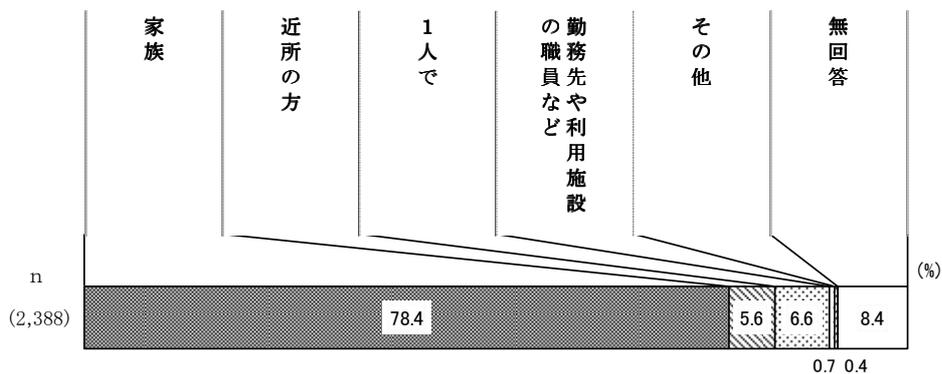
問2 平日の日中に、地震などの災害が発生した場合、誰と一緒に行動しますか
 （最も可能性の高い項目1つに○）



平日の日中に、地震などの災害が発生した場合、一緒に行動する人についてたずねたところ、「家族」が66.7%と最も多く、以下「1人で」（11.4%）、「近所の方」（9.1%）などとなっている。

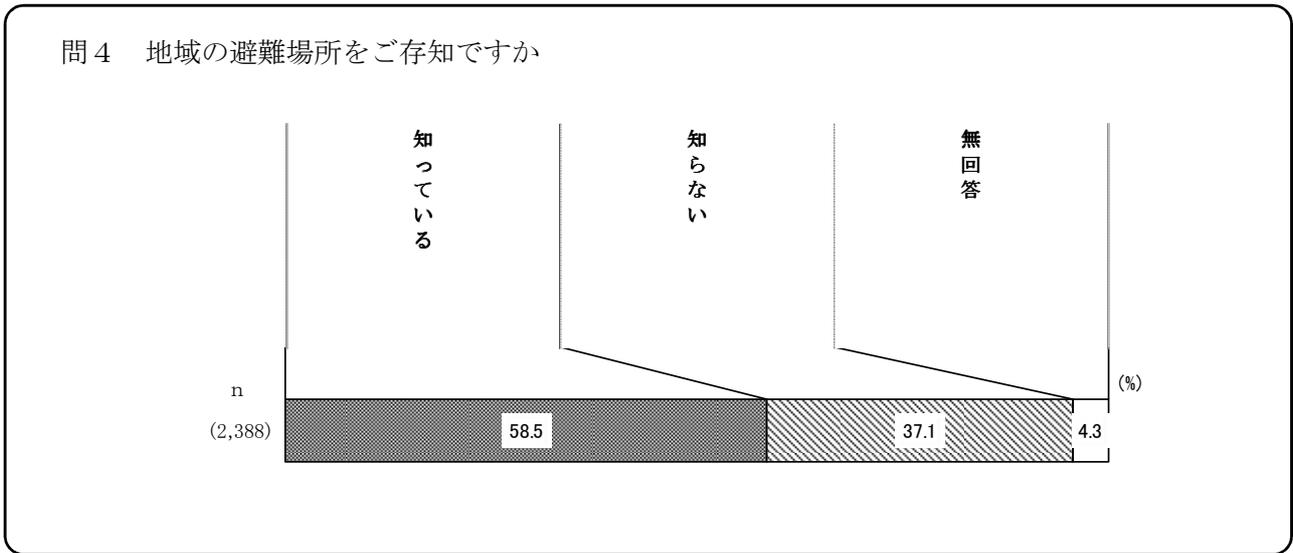
（3）休日や夜間に、地震などの災害が発生した場合、一緒に行動する人

問3 休日や夜間に、地震などの災害が発生した場合、誰と一緒に行動しますか
 （最も可能性の高い項目1つに○）



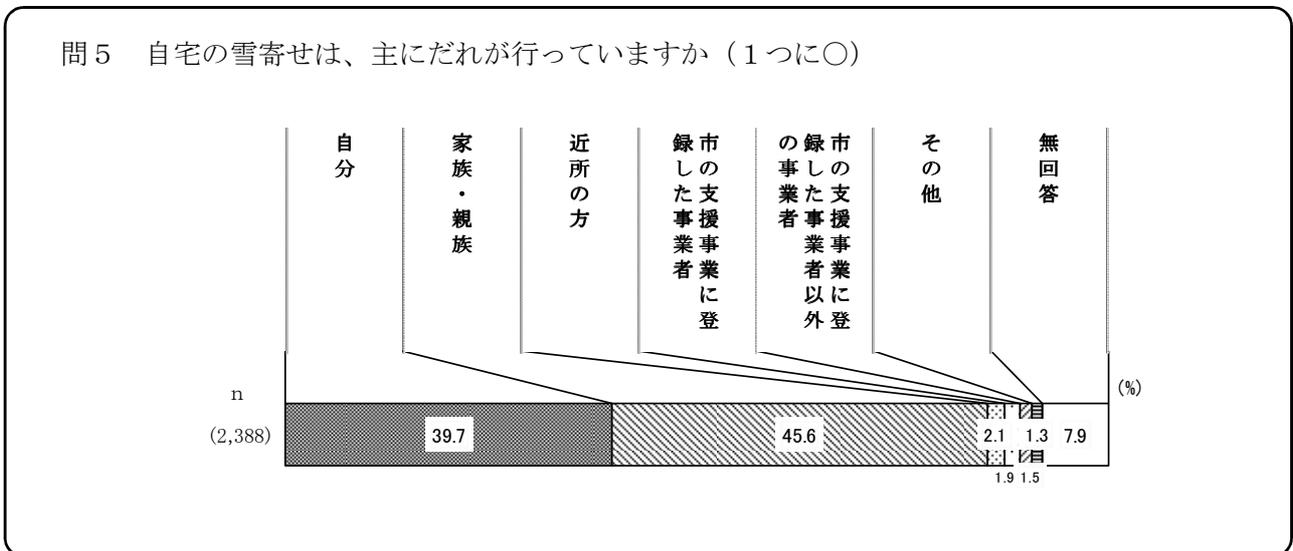
休日や夜間に、地震などの災害が発生した場合、一緒に行動する人についてたずねたところ、78.4%を「家族」が占めている。「1人で」との回答は6.6%となっている。

（4）地域の避難場所の認知度



地域の避難場所の認知度についてたずねたところ、「知っている」が 58.5%、「知らない」(37.1%) となっている。

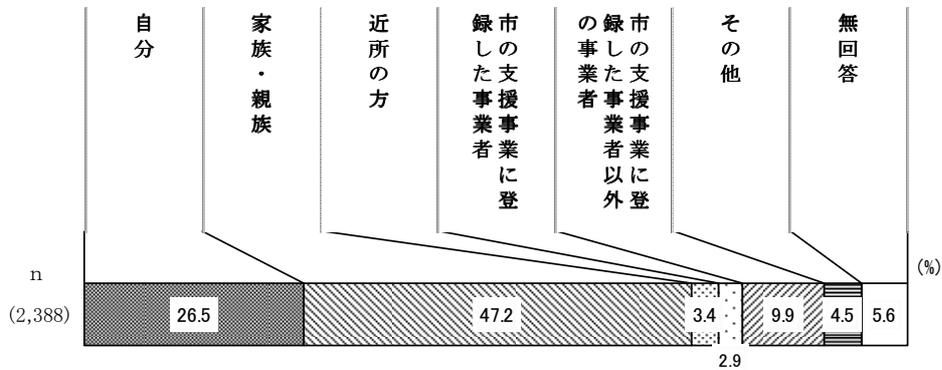
（5）自宅の雪寄せをする人



自宅の雪寄せをする人をたずねたところ、「家族・親族」が 45.6%と最も多く、以下「自分」(39.7%) などとなっている。

（6）自宅の雪下ろしをする人

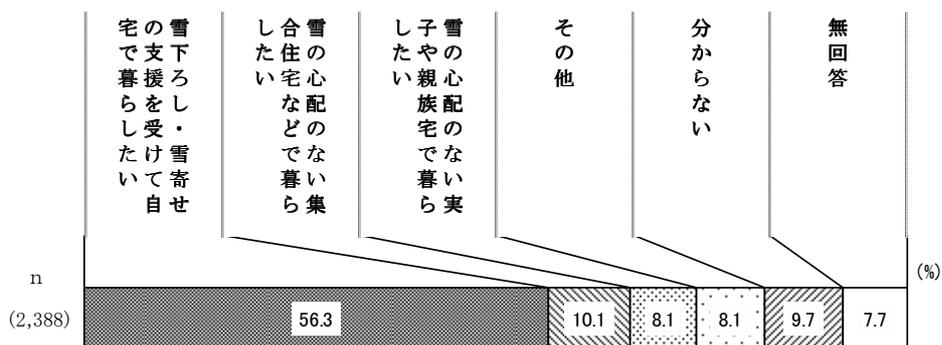
問6 自宅の雪下ろしは、主にだれが行っていますか（1つに○）



自宅の雪下ろしをする人をたずねたところ、「家族・親族」が47.2%と最も多く、以下「自分」(26.5%)、「市の支援事業に登録した事業者以外の事業者」(9.9%)となっており、雪寄せ作業と違い、事業者へお願いしているケースもみられる。

（7）冬期間、暮らしたい場所

問7 冬期間どこで暮らしたいと思いますか（1つに○）

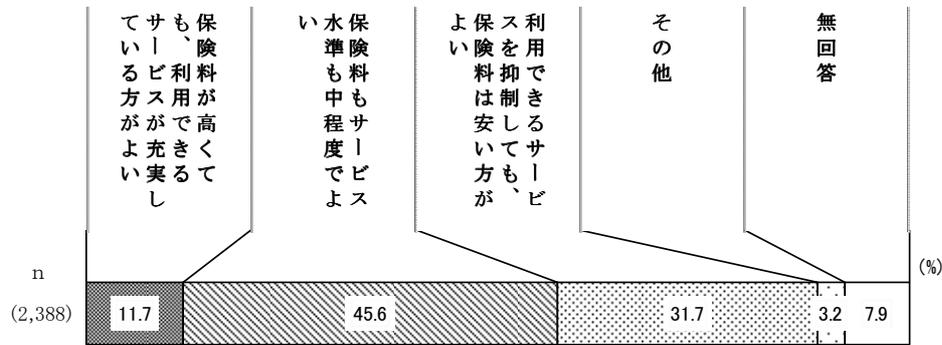


冬期間、暮らしたい場所についてたずねたところ、「雪下ろし・雪寄せの支援を受けて自宅で暮らしたい」が56.3%を最も多く、以下「雪の心配のない集合住宅などで暮らしたい」(10.1%)、「雪の心配のない実子や親族宅で暮らしたい」(8.1%)となっている。

9. 介護保険について

（1）負担（介護保険料）と給付（介護保険サービス）の関係について

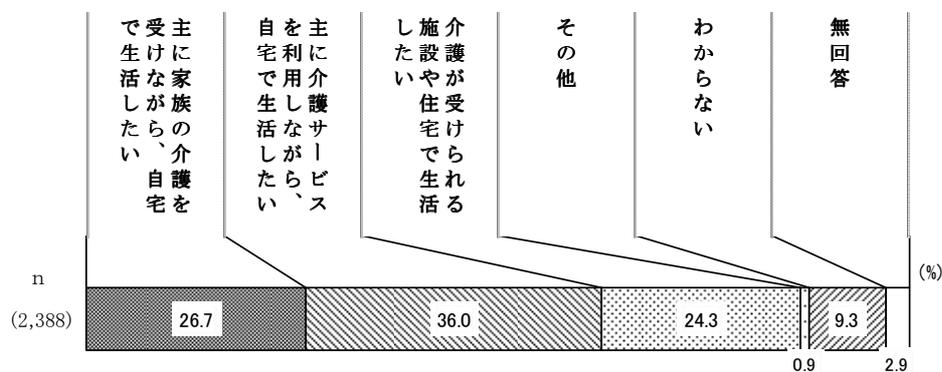
問8 負担（介護保険料）と給付（介護保険サービス）の関係について、あなたのお考えに最も近い項目1つに○をつけてください



負担（介護保険料）と給付（介護保険サービス）の関係についてたずねたところ、「保険料もサービス水準も中程度でよい」が45.6%と最も多く、以下「利用できるサービスを抑制しても、保険料は安い方がよい」（31.7%）、「保険料が高くても、利用できるサービスが充実している方がよい」（11.7%）となっている。

（2）自分に介護が必要になったとき、希望する介護形態

問9 あなたは、ご自分に介護が必要な状態になったとき、どのような介護を受けたいと思いますか（1つに○）



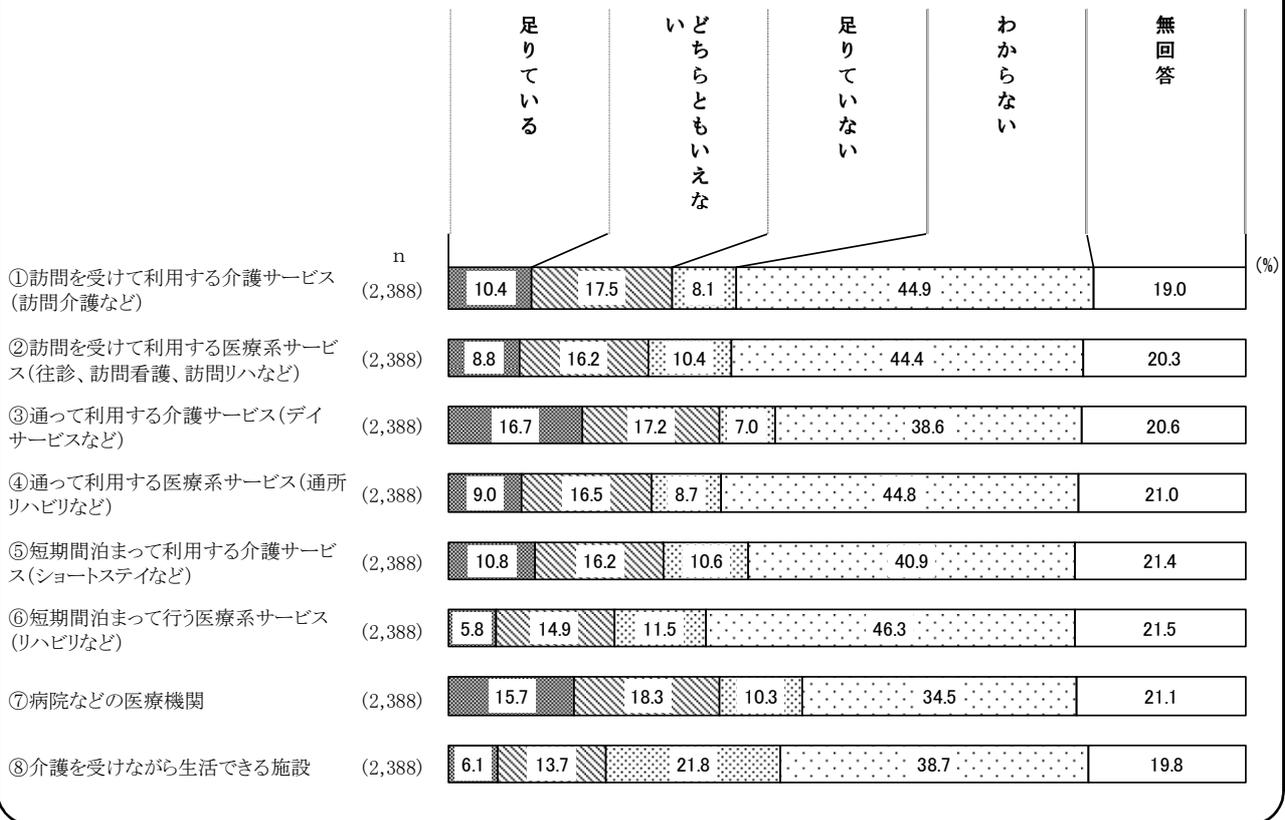
自分に介護が必要な状態になったとき希望する介護形態についてたずねたところ、「主に介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」が36.0%と最も多く、「主に家族の介護を受けながら、自宅で生活したい」（26.7%）を合わせた“自宅生活”を希望する人は62.7%となっている。しかし、「介護が受けられる施設や住宅で生活したい」も24.3%となっており、“自宅生活派”に加えて“施設入所派”の希望もみられる。

（3）地域医療や介護のサービスの充足度

問10 地域の医療や介護のサービスについてどう感じていますか

①～⑧それぞれに回答してください

※ サービスの利用をしたことがない方は、周りの様子から感じたことをお知らせください

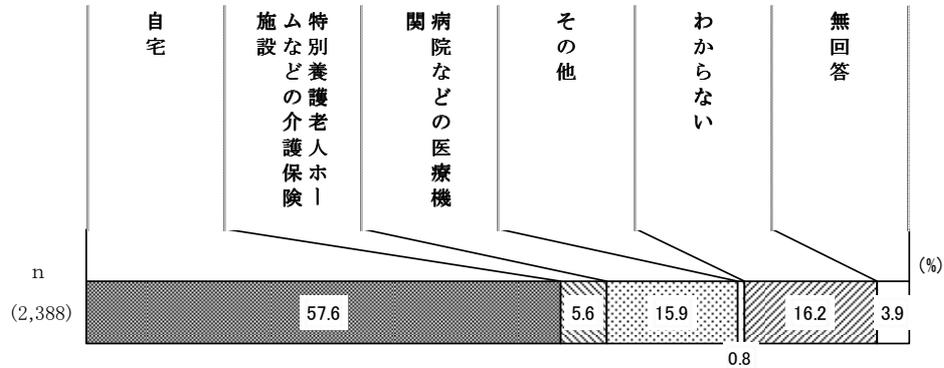


地域医療や介護のサービスの充足度についてたずねたところ、『③通って利用する介護サービス（デイサービスなど）』（16.7%）と『⑦病院などの医療機関』（15.7%）では「足りている」が他よりやや多い。

一方、『⑧介護を受けながら生活できる施設』では「足りていない」が21.8%と他より多い。なお、いずれの間についても、「わからない」が最も多くなっている。

（4）最後を迎える場合、希望する場所

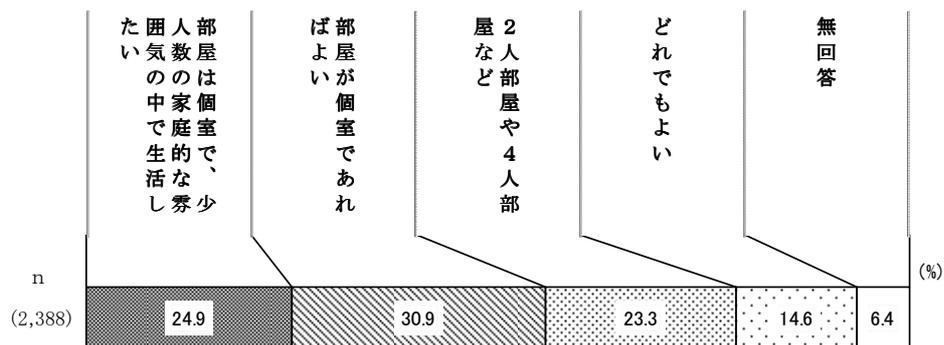
問11 あなたが最後を迎える場合は、どこで迎えたいですか（1つに○）



最後を迎える場合、希望する場所についてたずねたところ、「自宅」が 57.6%と最も多く、以下「病院などの医療機関」(15.9%)、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設」(5.6%)となっている。

（5）自分が介護施設で生活する場合、希望する環境

問12 あなたは、ご自分が介護施設で生活するとしたら、どのような環境を望みますか（1つに○）

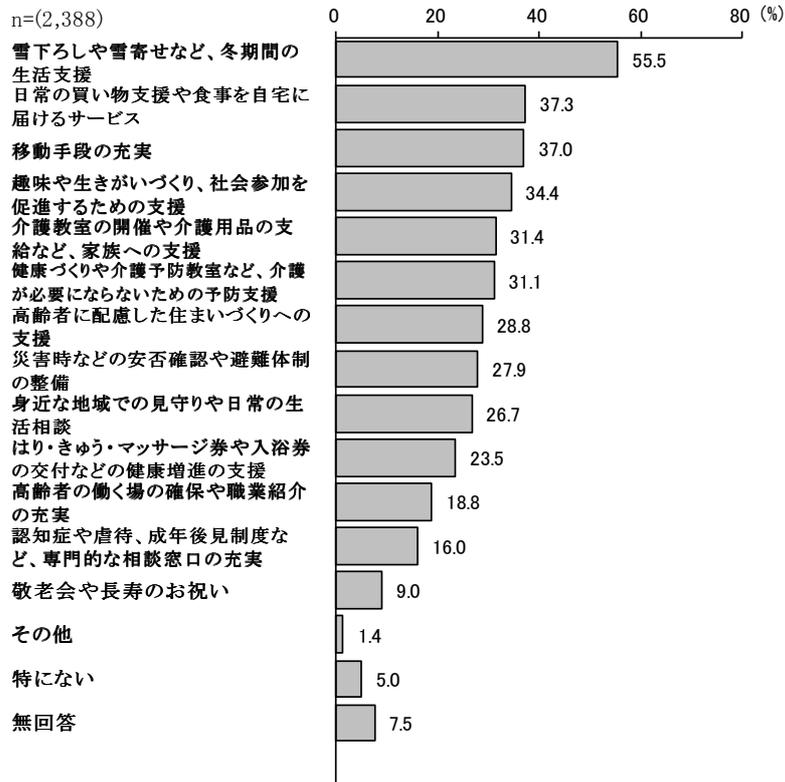


自分が介護施設で生活する場合、希望する環境についてたずねたところ、「部屋が個室であればよい」が 30.9%と最も多く、以下「部屋は個室で、少人数の家庭的な雰囲気の中で生活したい」(24.9%)、「2人部屋や4人部屋」(23.3%)、「どれでもよい」(14.6%)となっている。

10. 高齢者施策について

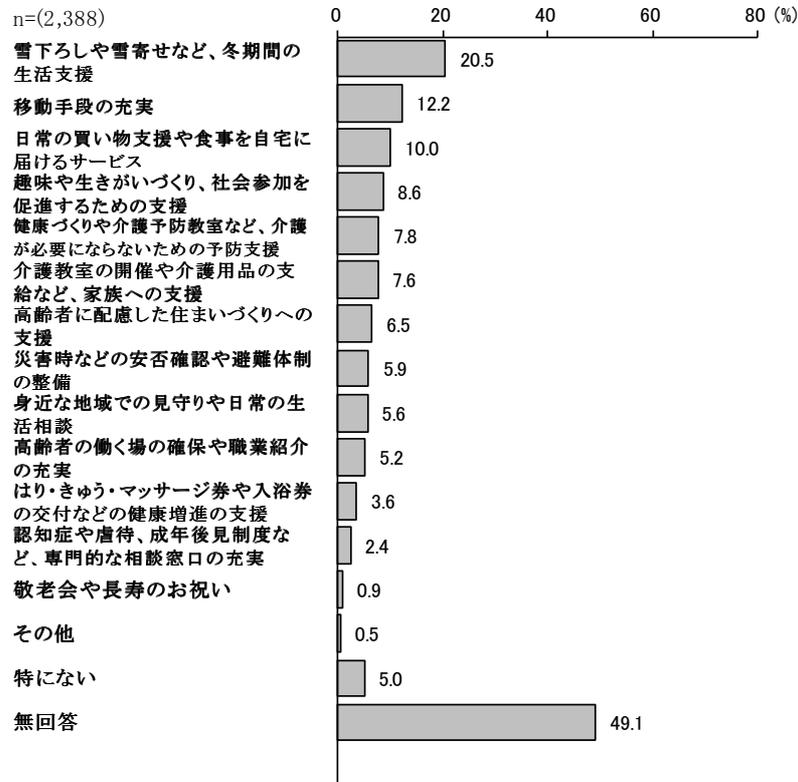
(1) 今後のために重要だと思う施策・事業

問13 今後、あなたが元気でいきいきと暮らし続けるために、どのような施策・事業が重要だと思いますか（あてはまる項目すべてに○）



今後のために重要だと思う施策・事業をたずねたところ、「雪下ろしや雪寄せなど、冬期間の生活支援」が 55.5%と最も多く、以下「日常の買い物支援や食事を自宅に届けるサービス」（37.3%）、「移動手段の充実」（37.0%）、「趣味や生きがいづくり、社会参加を促進するための支援」（34.4%）、「介護教室の開催や介護用品の支給など、家族への支援」（31.4%）、「健康づくりや介護予防教室など、介護が必要にならないための予防支援」（31.1%）などとなっている。

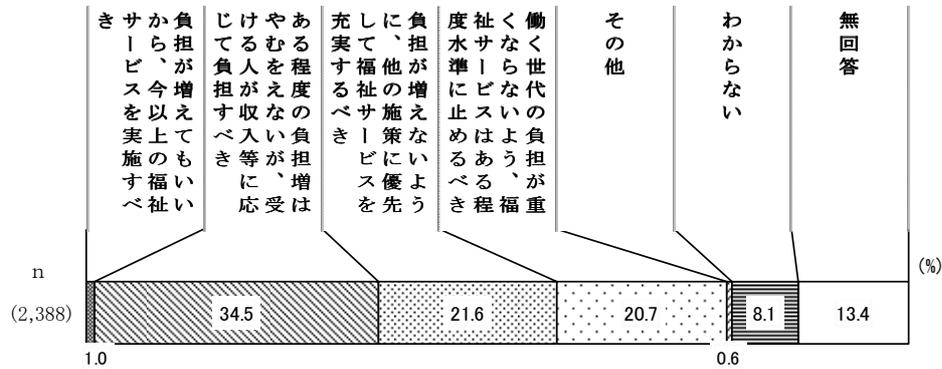
問13 今後、あなたが元気でいきいきと暮らし続けるために、どのような施策・事業が重要だと思いますか（より重要だと思う項目3つに◎）



今後のためにより重要だと思う施策・事業をたずねたところ、「雪下ろしや雪寄せなど、冬期間の生活支援」が20.5%と最も多く、以下「移動手段の充実」(12.2%)、「日常の買い物支援や食事を自宅に届けるサービス」(10.0%)、「趣味や生きがいがづくり、社会参加を促進するための支援」(8.6%)、「健康づくりや介護予防教室など、介護が必要にならないための予防支援」(7.8%)、「介護教室の開催や介護用品の支給など、家族への支援」が7.6%などとなっている。

（2）維持・充実させるための福祉サービス費用負担増について

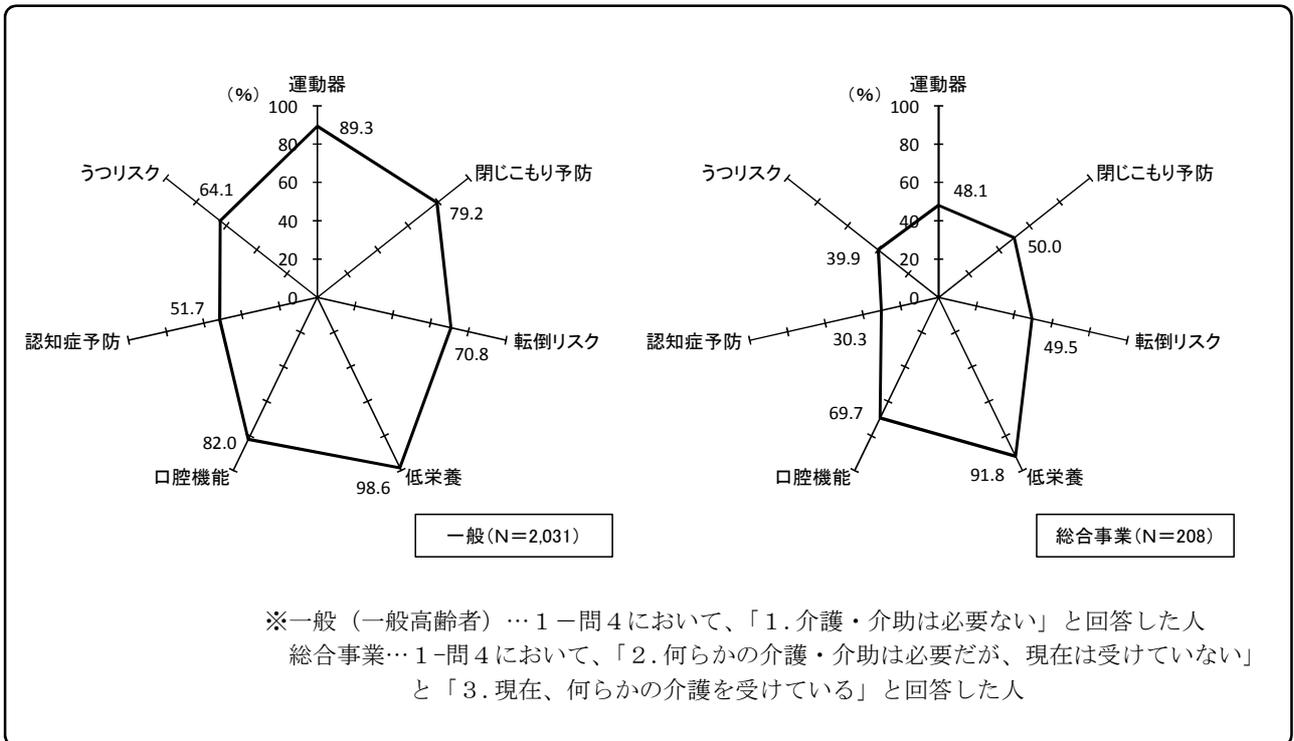
問 14 少子高齢化の進行に伴い、福祉サービスを維持・充実させるためには相応の経費が必要となり、税金など市民の負担増も考えられます。このことについてどのように思いますか
（あなたの考えに最も近いもの一つに○）



維持・充実させるための福祉サービス費用負担増についてたずねたところ、「ある程度の負担増はやむをえないが、受ける人が収入等に応じて負担すべき」が 34.5%と最も多く、以下「負担が増えないように、他の施策に優先して福祉サービスを充実すべき」（21.6%）、「働く世代の負担が重くならないよう、福祉サービスはある程度水準に止めるべき」（20.7%）などとなっている。

11. 生活機能評価の結果

（1）生活機能評価の結果

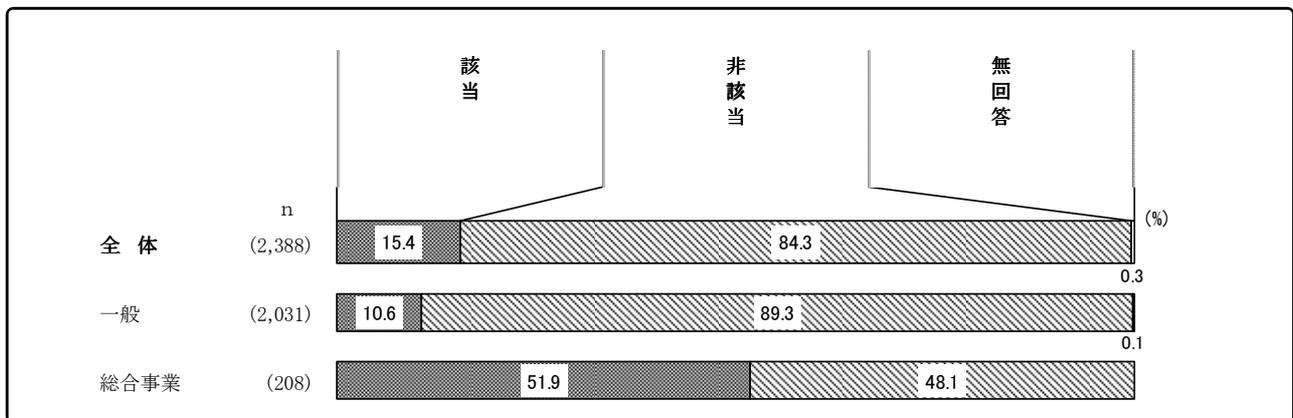


生活機能の各評価項目の非該当者（リスクなし）の割合をみると、一般高齢者、総合事業対象者ともに「低栄養」の非該当者の割合が最も高くなっている。

一方、「認知症予防」、「うつリスク」については、一般高齢者であっても非該当割合が他の項目より低いことから、該当者（リスク者）が相当数いることが考えられる。また、総合事業対象者でも「うつリスク」（39.9%）、「認知症予防」（30.3%）の非該当割合は低くなっている。

12. 生活機能評価の項目別結果

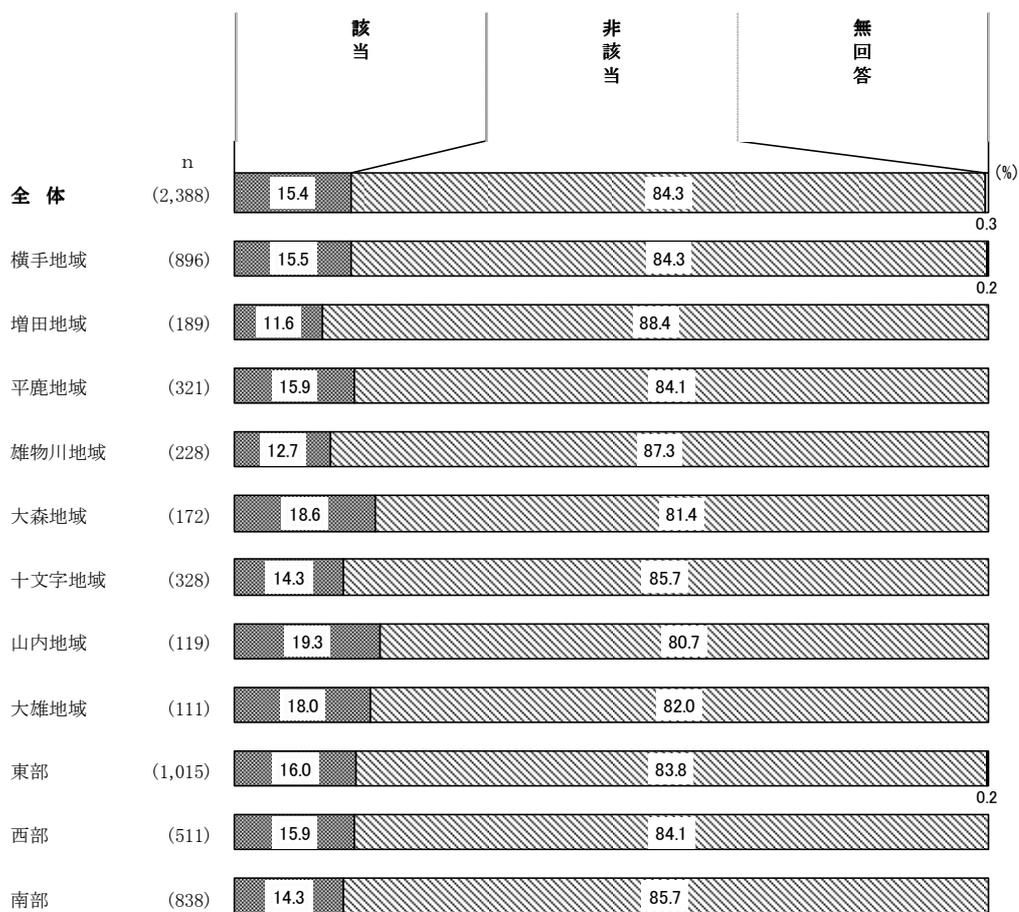
（1）運動器



基本チェックリストに基づく運動器の該当者割合は、全体で15.4%となっている。

介護予防・日常生活支援総合事業別にみると、該当者割合は総合事業対象者で51.9%となっている。

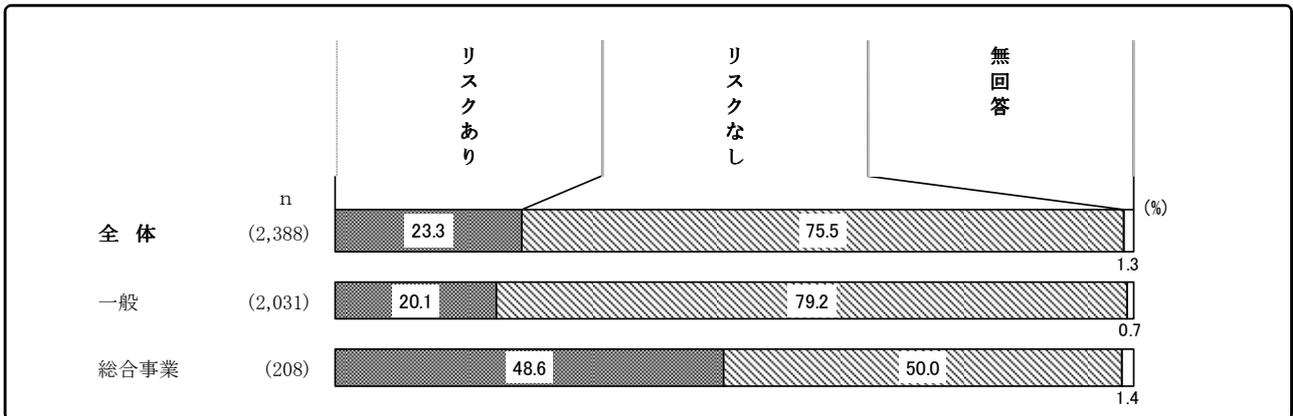
【居住地域別・日常生活圏域別】



居住地域別にみると、「山内地域」（19.3%）、「大森地域」（18.6%）、「大雄地域」（18.0%）と該当者割合がやや多くなっている。

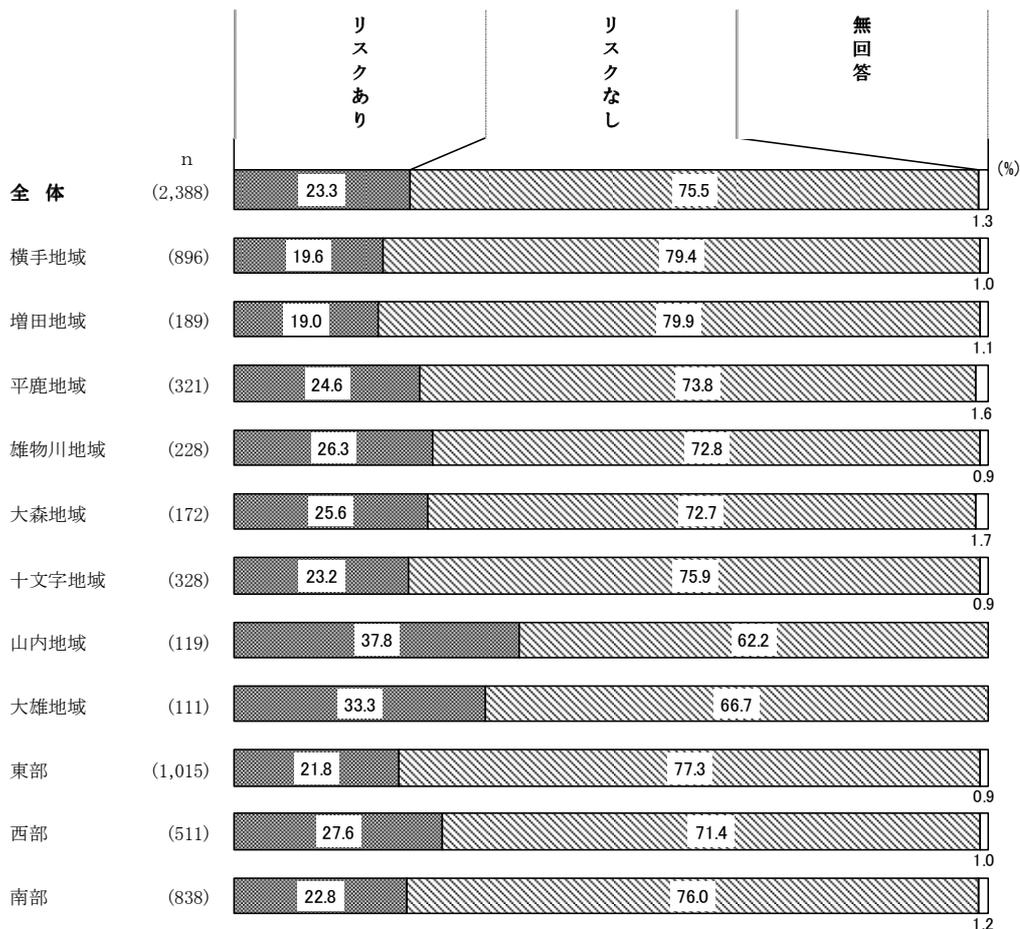
日常生活圏域別にみると、大きな違いはみられない。

(2) 閉じこもり予防



基本チェックリストに基づく閉じこもり予防のリスク者割合は、全体で23.3%となっている。介護予防・日常生活支援総合事業別にみると、リスク者割合は総合事業対象者で48.6%となっている。

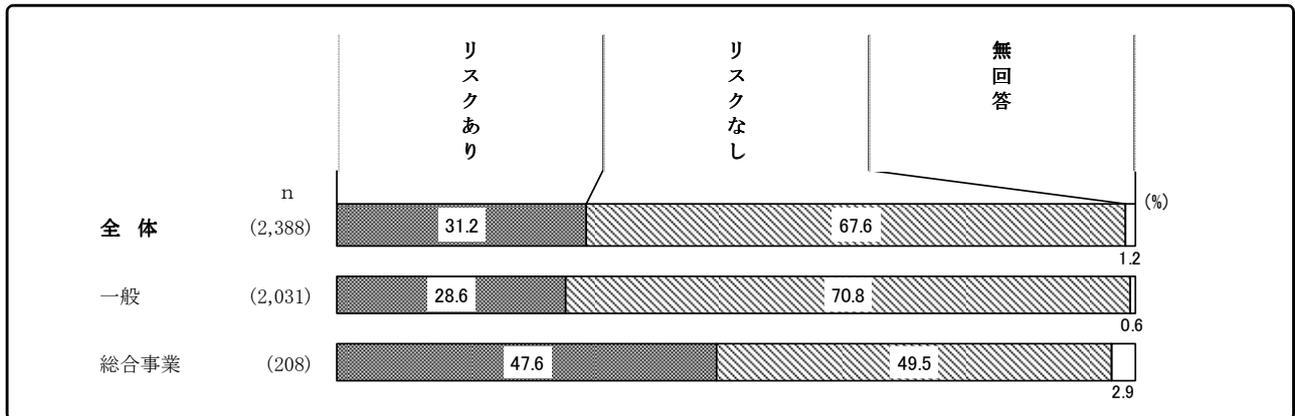
【居住地域別・日常生活圏域別】



居住地域別にみると、「山内地域」(37.8%)、「大雄地域」(33.3%)でリスク者割合が3割以上となっている。

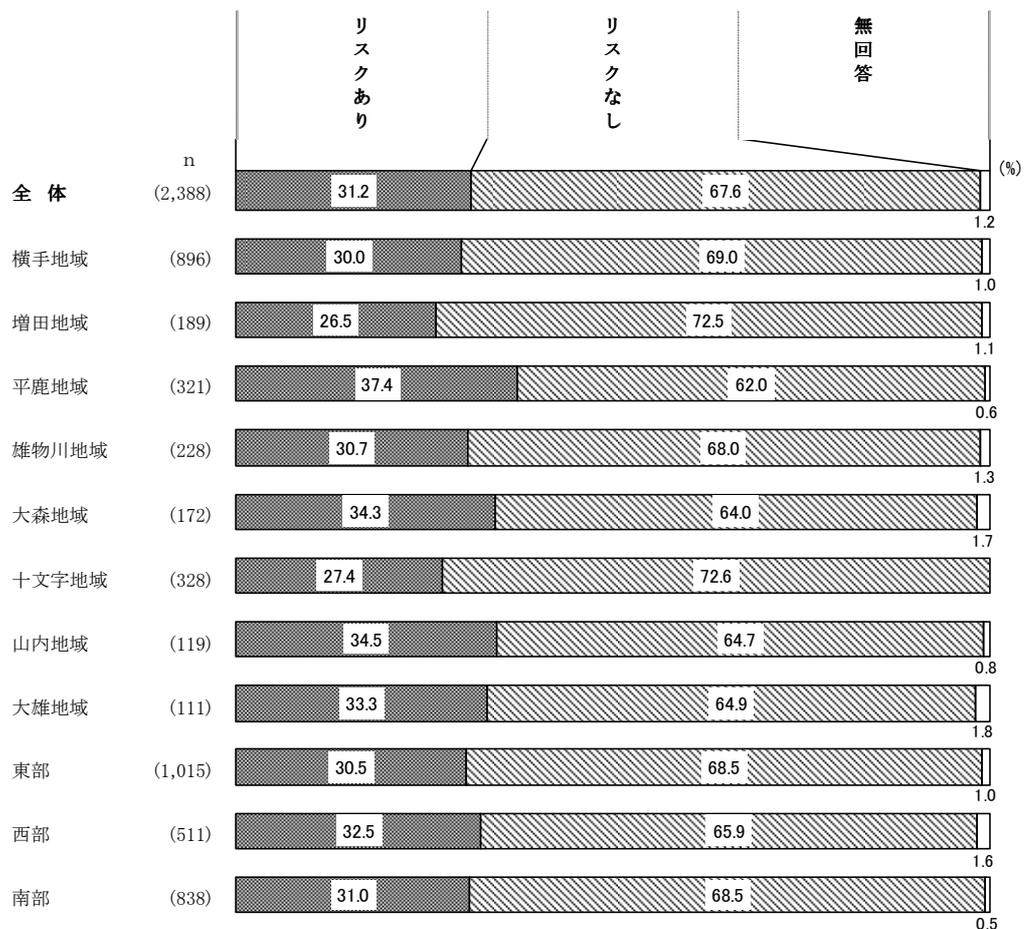
圏域別でみると、「西部」が他の圏域と比べてやや多くなっている。

（3）転倒



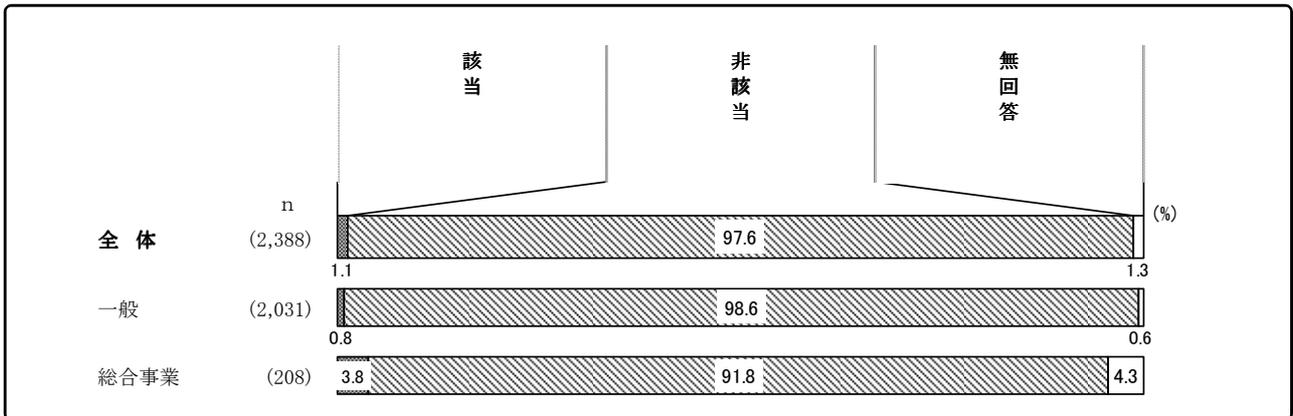
基本チェックリストに基づく転倒のリスク者割合は、全体で31.2%となっている。
 介護予防・日常生活支援総合事業別にみると、リスク者割合は総合事業対象者で47.6%となっている。

【居住地域別・日常生活圏域別】



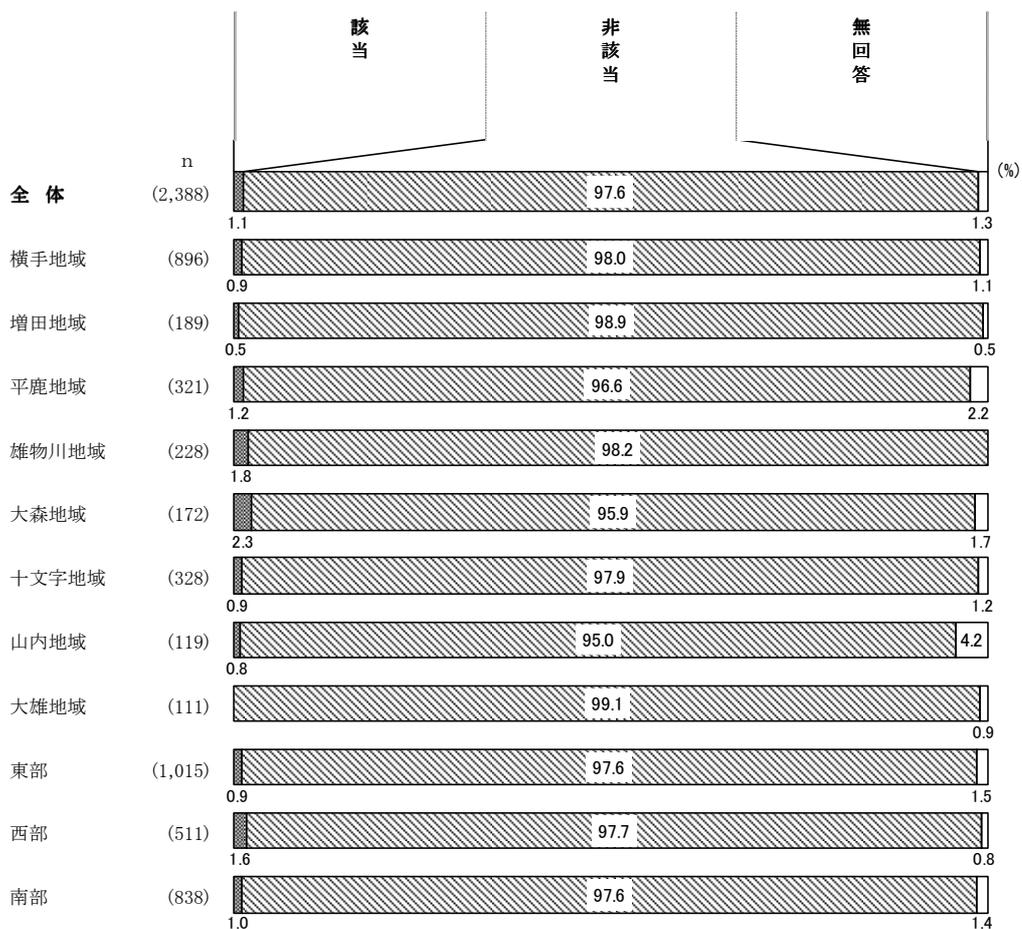
居住地域別にみると、「平鹿地域」(37.4%)でリスク者割合がやや多くなっている。
 圏域別でみると、大きな違いはみられない。

（4）低栄養



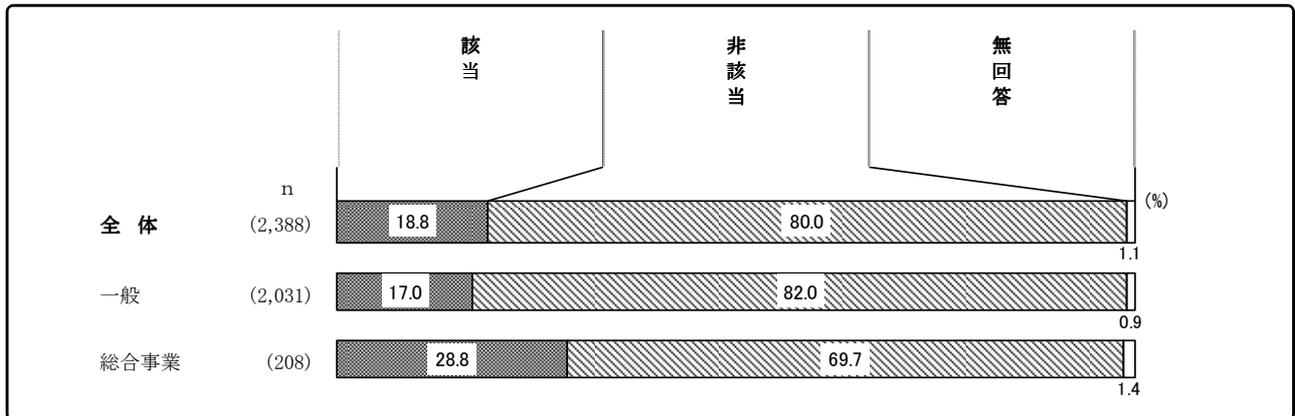
基本チェックリストに基づく栄養改善の評価の該当者割合は、全体で1.1%となっている。介護予防・日常生活支援総合事業別にみると、該当者割合は総合事業対象者で3.8%となっている。

【居住地域別・日常生活圏域別】



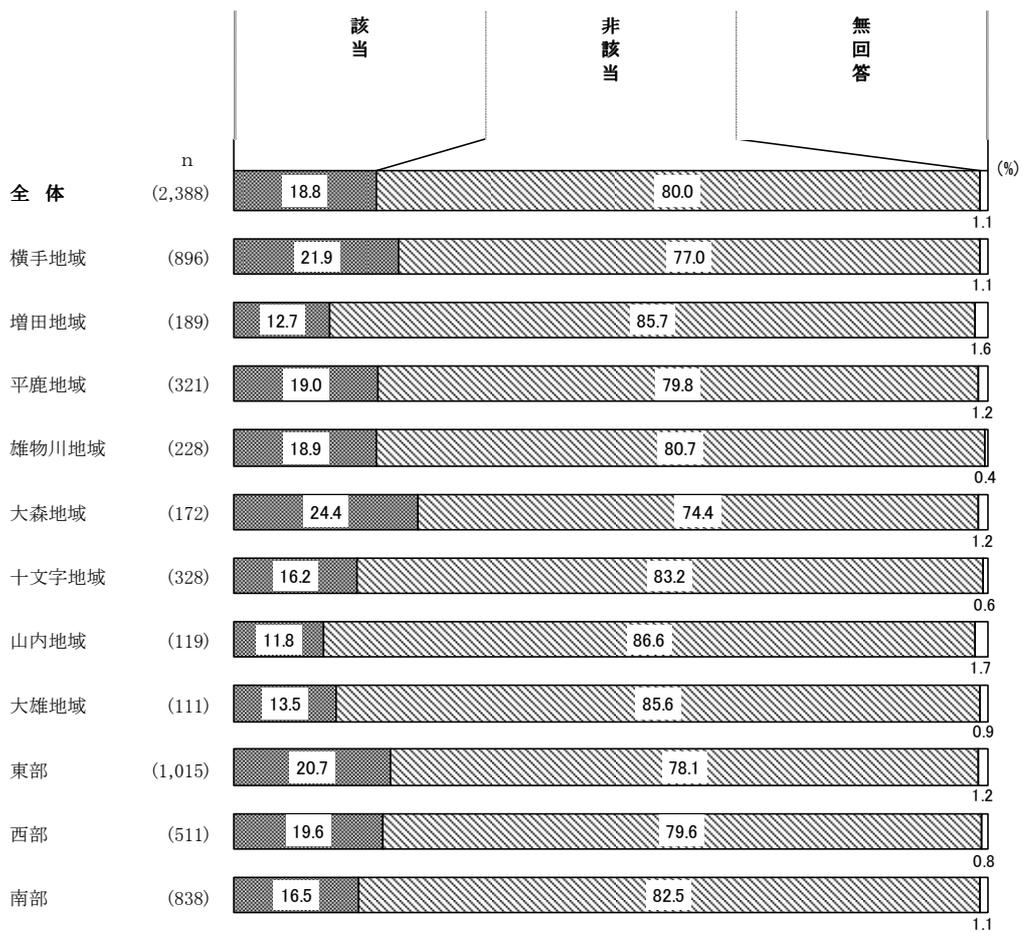
居住地域別・日常生活圏域別ともに、大きな違いはみられない。

(5) 口腔機能



基本チェックリストに基づく口腔機能に関する該当者割合は、全体で18.8%となっている。介護予防・日常生活支援総合事業別にみると、該当者割合は総合事業対象者で28.8%となっている。

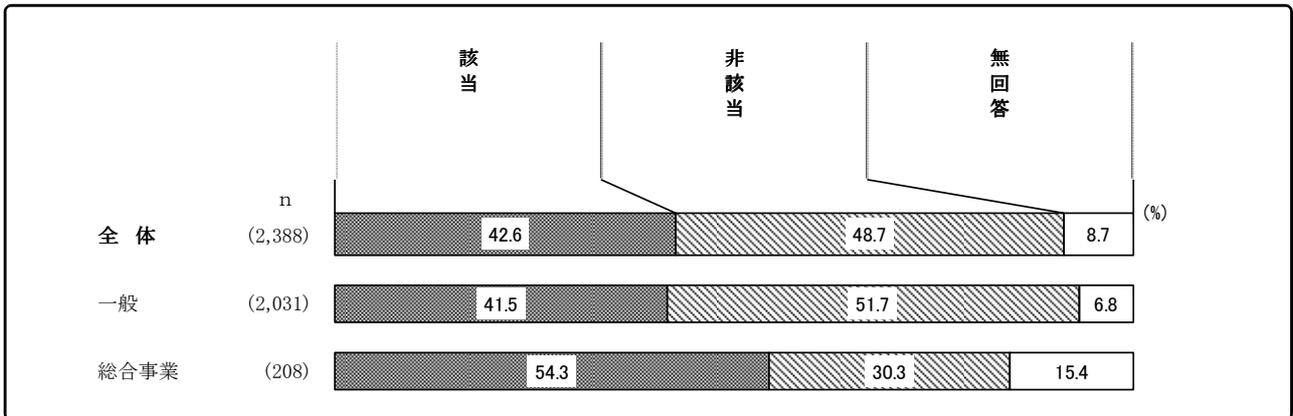
【居住地域別・日常生活圏域別】



居住地域別にみると、「大森地域」(24.4%)、「横手地域」(21.9%)で該当者割合がやや多くなっている。

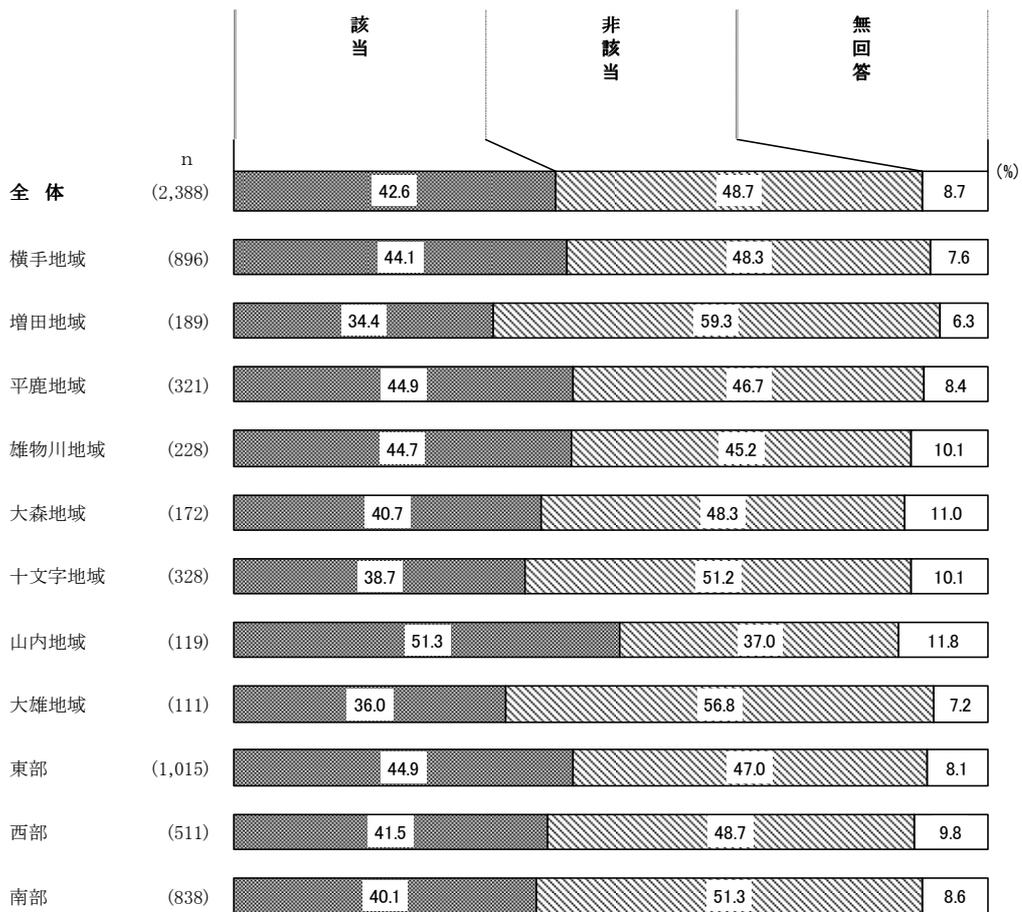
圏域別でみると、「東部」(20.7%)、「西部」(19.6%)でやや多くなっている。

（6）認知症予防



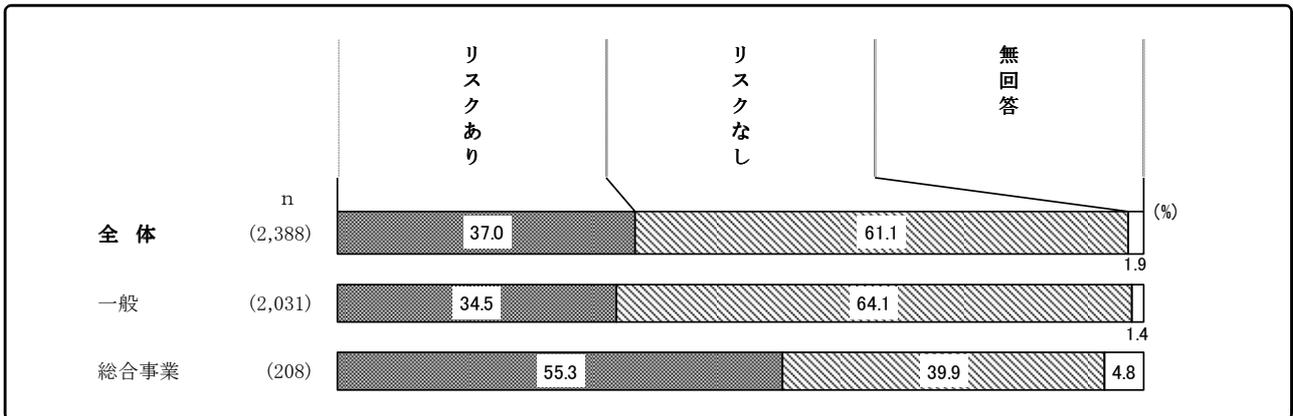
基本チェックリストに基づく認知症予防の該当者割合は、全体で42.6%となっている。介護予防・日常生活支援総合事業別にみると、該当者割合は総合事業対象者で54.3%となっている。

【居住地域別・日常生活圏域別】



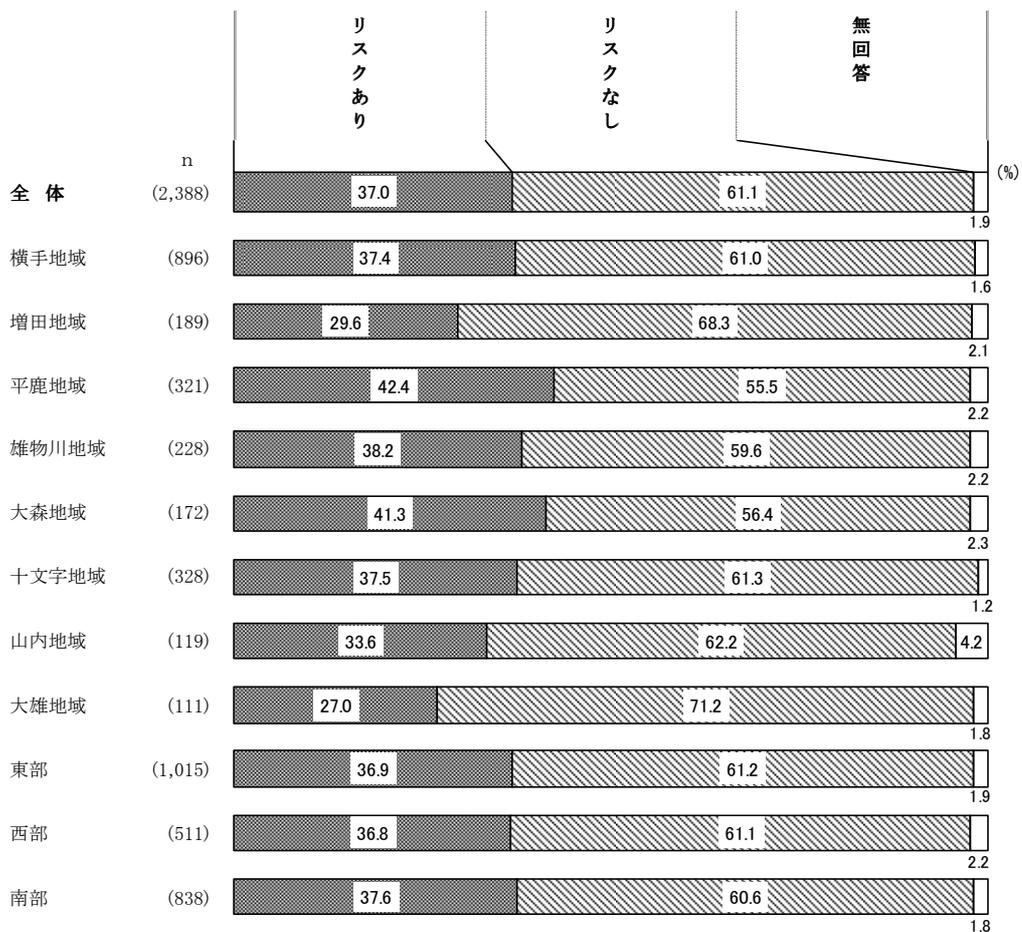
居住地域別にみると、「山内地域」（51.3%）で該当者割合が半数以上となっている。圏域別でみると、「東部」が44.9%と他の圏域よりやや多くなっている。

(7) うつリスク



基本チェックリストに基づくうつリスクのリスク者割合は、全体で37.0%となっている。介護予防・日常生活支援総合事業別にみると、リスク者割合は総合事業対象者で55.3%となっている。

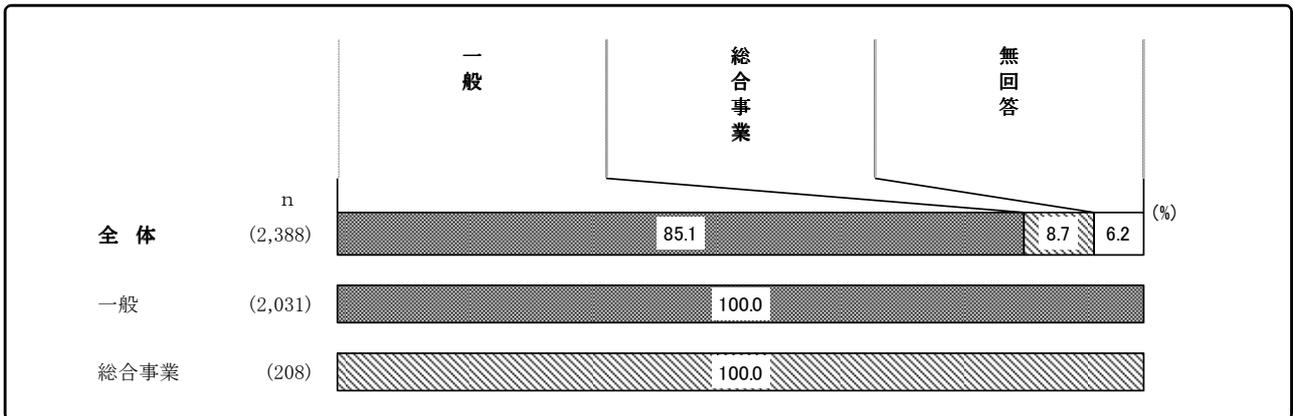
【居住地域別・日常生活圏域別】



居住地域別にみると、「平鹿地域」(42.4%)、「大森地域」(41.3%)でリスク者割合が4割以上となっている。

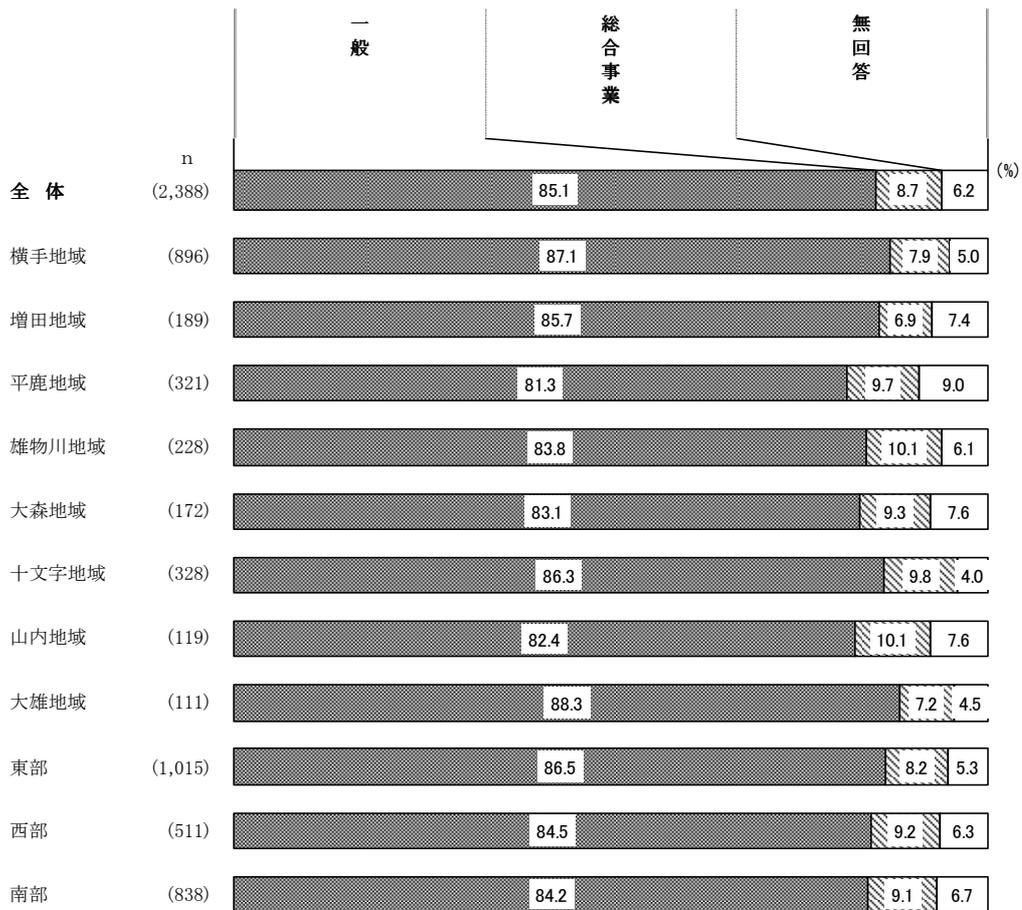
圏域別でみると、大きな違いはみられない。

（8）介護予防・日常生活支援総合事業対象者



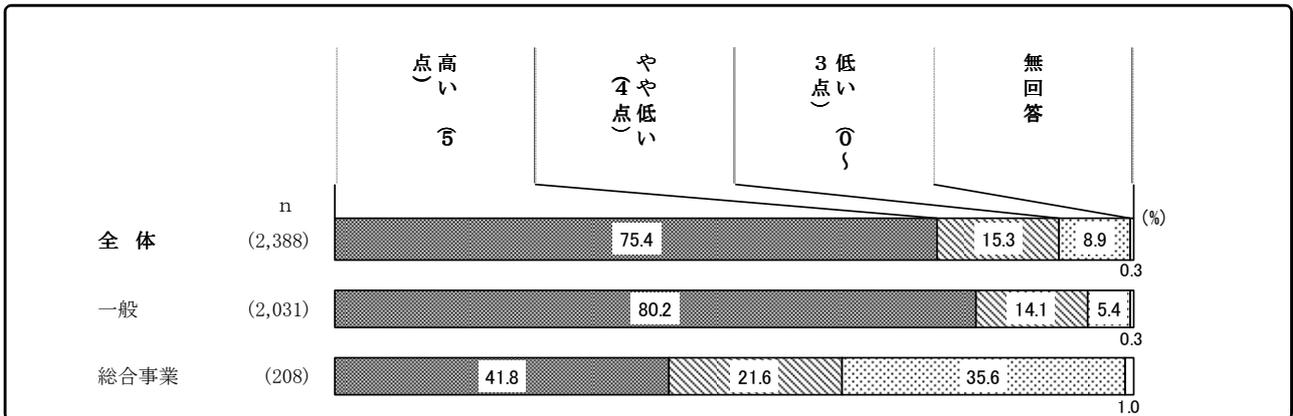
介護予防・日常生活支援総合事業対象者の総合事業対象者割合は、全体で 8.7%となっている。

【居住地域別・日常生活圏域別】



居住地域別・日常生活圏域別ともに、大きな違いはみられない。

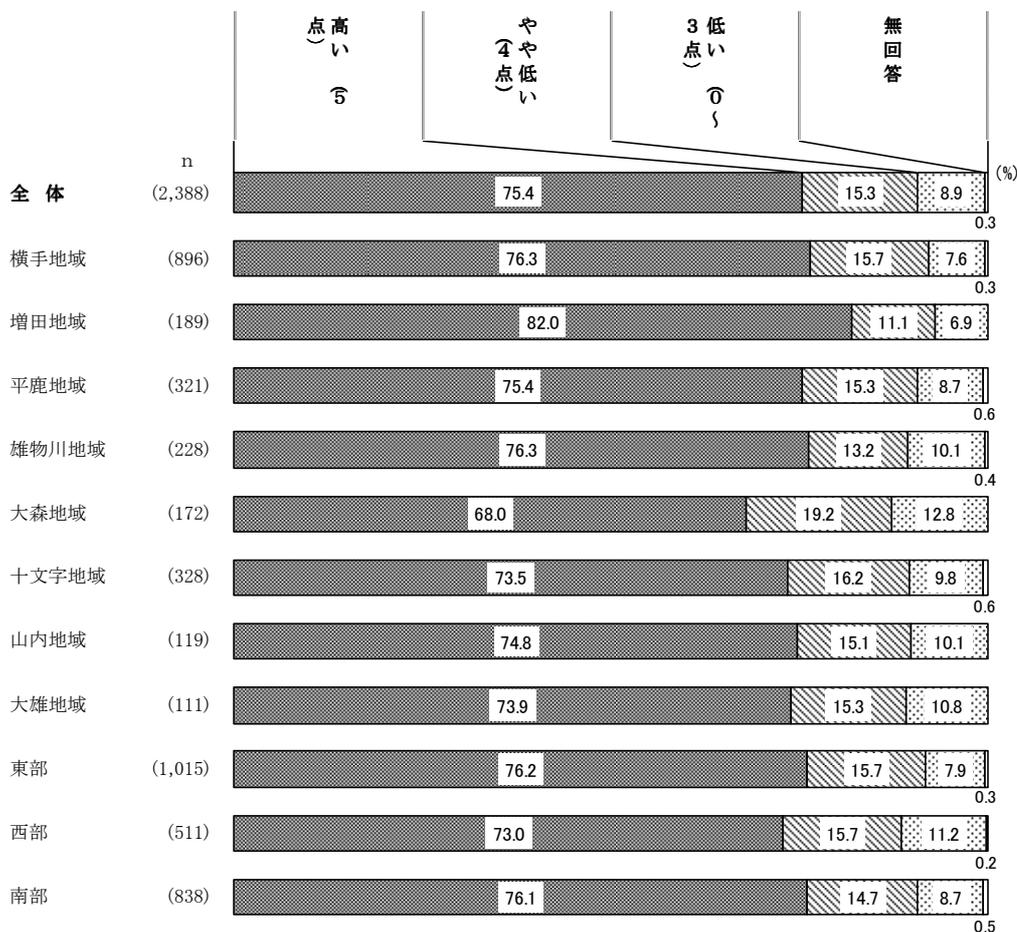
(9) 手段的自立度 (IADL)



本調査では、高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問が設けられている。このうち手段的自立度 (IADL) については、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」として評価している。4点以下を低下者とした評価結果をみると、低下者割合は全体で24.2%となっている。

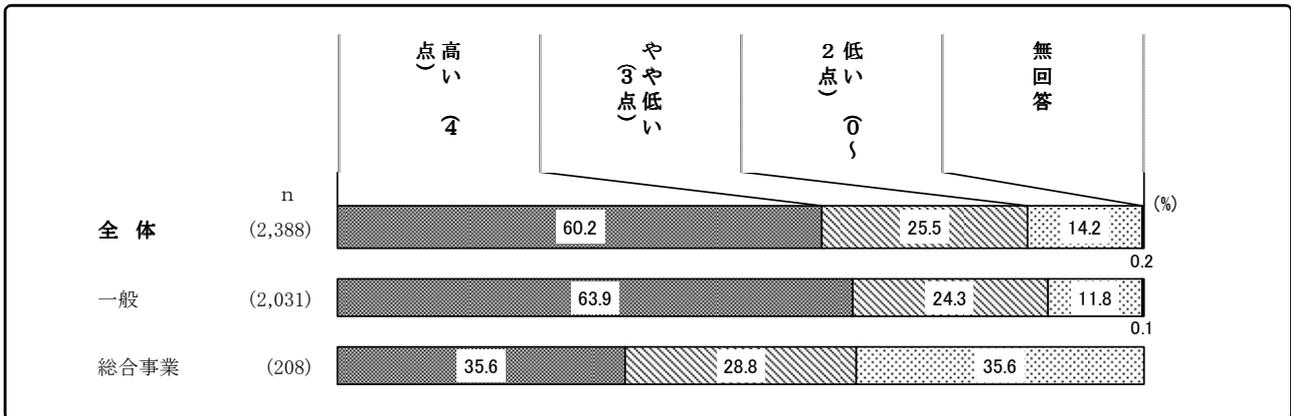
介護予防・日常生活支援総合事業別にみると、低下者割合は総合事業対象者で57.2%となっている。

【居住地域別・日常生活圏域別】



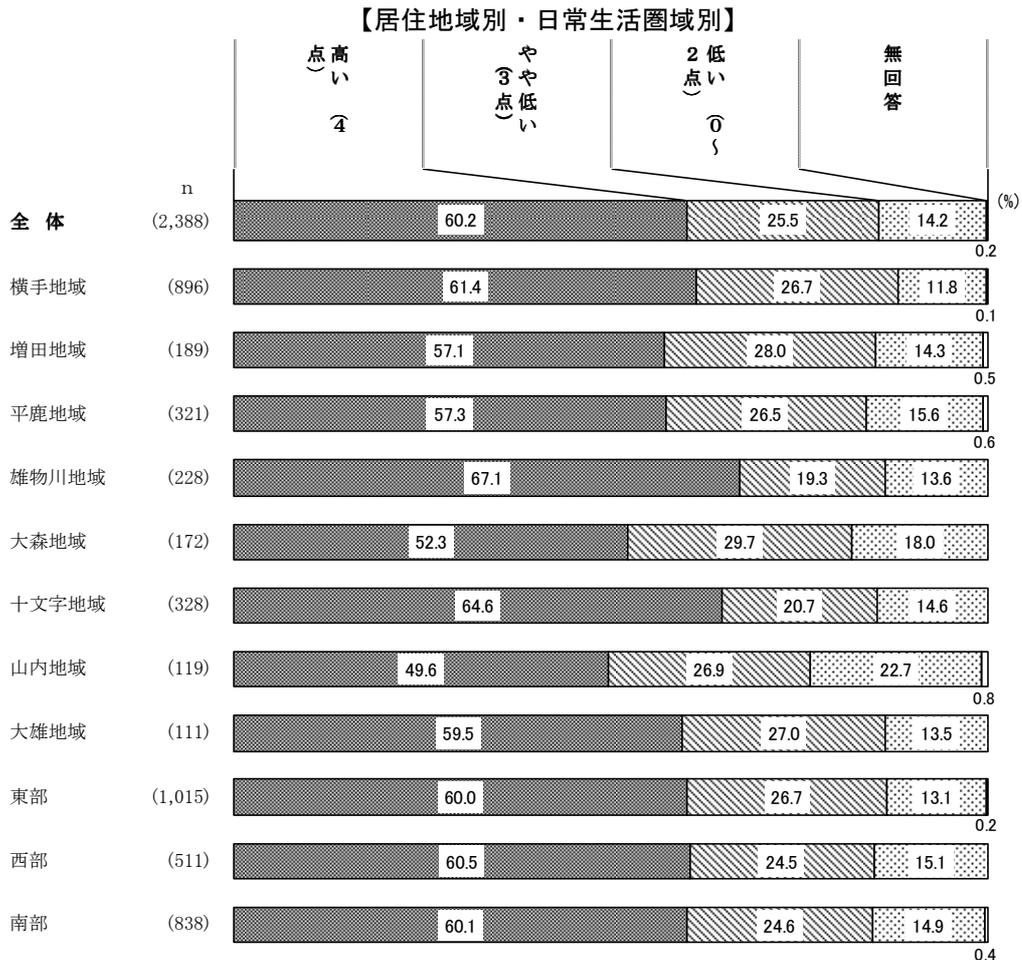
居住地域別にみると、低下者割合は「大森地域」(32.0%)で3割以上となっている。圏域別でみると、大きな違いはみられない。

(10) 知的能動性



老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問設けられ、「知的能動性」として尺度化されている。評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点の4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価している。3点以下を低下者とした評価結果をみると、低下者割合は全体で39.7%となっている。

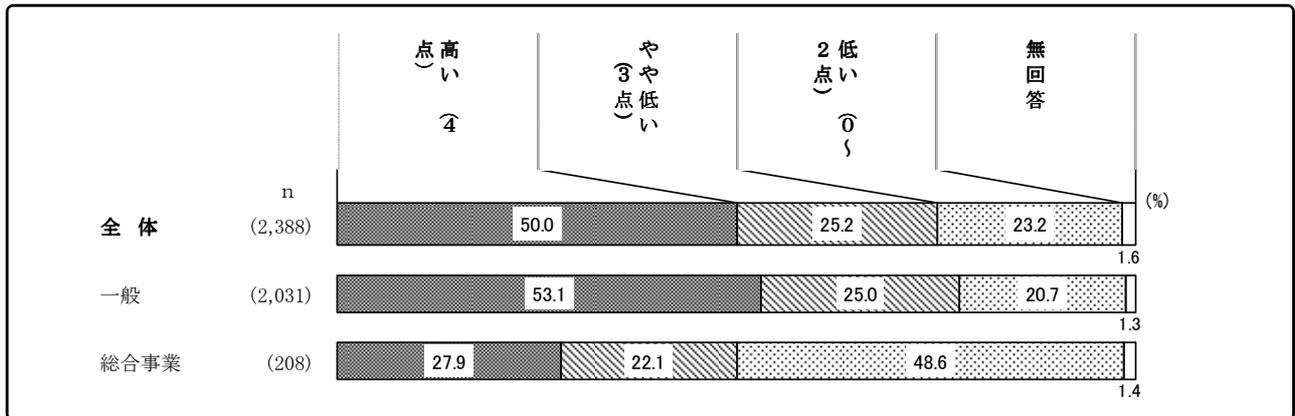
介護予防・日常生活支援総合事業別にみると、低下者割合は総合事業対象者で64.4%となっている。



居住地域別にみると、低下者割合は「山内地域」(49.6%)、「大森地域」(47.7%)となっている。

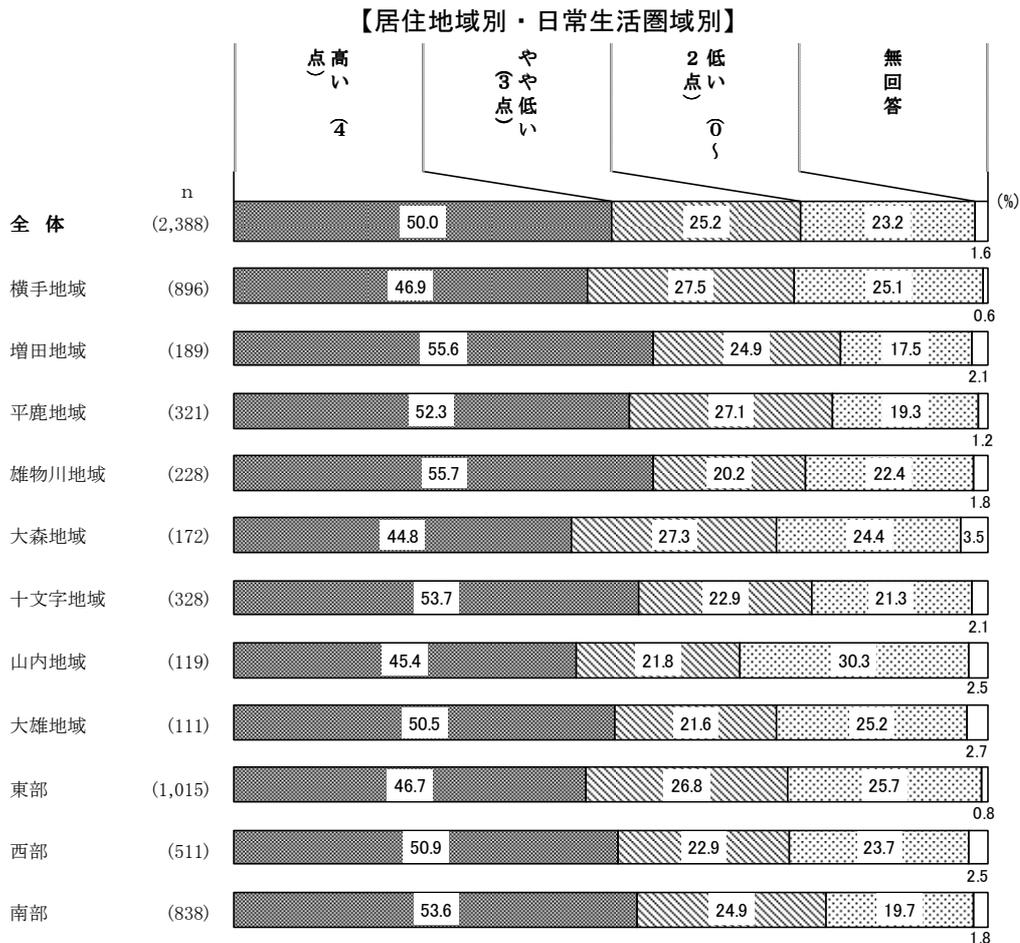
圏域別でみると、大きな違いはみられない。

(11) 社会的役割



老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問設けられ、「社会的役割」として尺度化されている。評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価している。3点以下を低下者とした評価結果をみると、低下者割合は全体で48.4%となっている。

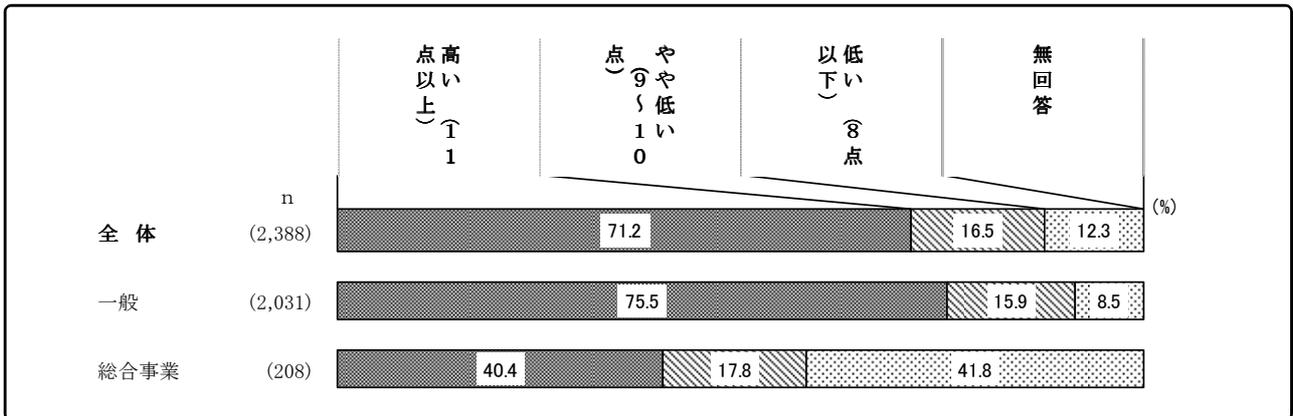
介護予防・日常生活支援総合事業別にみると、低下者割合は総合事業対象者で70.7%となっている。



居住地域別にみると、低下者割合は「横手地域」(52.6%)、「山内地域」(52.1%)、「大森地域」(51.7%)と半数以上を占めている。

圏域別でみると、「東部」で52.5%と他の圏域に比べてやや多くなっている。

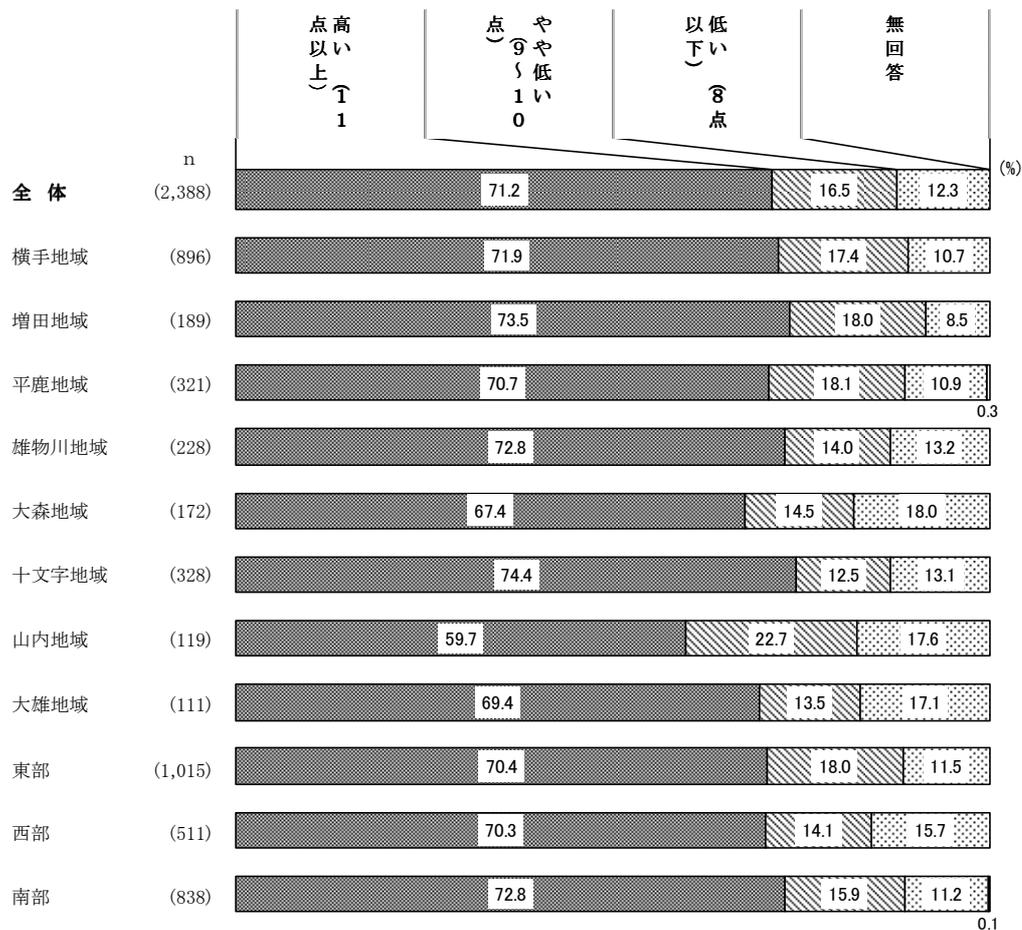
(12) 生活機能総合評価（老研指標総合評価）



この手段的自立度に、知的能動性、社会的役割を加えた老研指標 13 項目での評価は、13 点満点で、11 点以上を「高い」、9～10 点を「やや低い」、8 点以下を「低い」としている。10 点以下を低下者とした評価結果をみると、低下者割合は全体で 28.8%となっている。

介護予防・日常生活支援総合事業別にみると、低下者割合は総合事業対象者で 59.6%となっている。

【居住地域別・日常生活圏域別】



居住地域別にみると、低下者割合は「山内地域」(40.3%) と他の地域を上回っている。圏域別でみると、大きな違いはみられない。

介護予防・日常生活圏域ニーズにおける生活機能判定の概要

1 基本チェックリスト

- ・判定は「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」による。
- ・本調査における該当する設問は以下の通り。
- ・基本得点は、以下の設問20問で該当する選択肢を回答した場合を1点としたときの合計点

番号	設問内容	該当する選択肢
4-問2	バスや電車で1人で外出していますか（自家用車でも可）	「2. できるけどしていない」 or 「3. できない」
4-問3	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「2. できるけどしていない」 or 「3. できない」
4-問6	自分で預貯金の出し入れをしていますか	「2. できるけどしていない」 or 「3. できない」
4-問11	友人の家を訪ねていますか	「2. いいえ」
4-問12	家族や友人の相談にのっていますか	「2. いいえ」
2-問1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「3. できない」
2-問2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「3. できない」
2-問3	15分位続けて歩いていますか	「3. できない」
2-問4	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」 or 「2. 1度ある」
2-問5	転倒に対する不安は大きいですか	「1. とても不安である」 or 「2. やや不安である」
3-問8	6か月間で2～3kg以上の体重減少はありましたか	「1. はい」
3-問1	身長 cm 体重 kg：BMIは18.5未満か？	「18.5未満」
3-問2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」
3-問3	お茶や汁物等でむせることがありますか	「1. はい」
3-問4	口の渴きが気になりますか	「1. はい」
2-問6	週に1回以上は外出していますか	「1. ほとんど外出しない」 or 「2. 週1回」
2-問7	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	「1. とても減っている」 or 「2. 減っている」
4-問1	物忘れが多いと感じますか	「1. はい」
7-問3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「1. はい」
7-問4	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「1. はい」

- ①運動器… 2-問1～問5
- ②閉じこもりリスク… 2-問6
- ③転倒リスク… 2-問4
- ④低栄養… 3-問1・問8
- ⑤口腔機能… 3-問2～問4
- ⑥認知症リスク… 4-問1
- ⑦うつリスク… 7-問3～問4

2 その他の判定・評価

①老研指数 (IADL)

番号	設問内容	選択肢
4-問2	バスや電車で1人で外出していますか（自家用車でも可）	「1. できるし、している」or 「2. できるけどしていない」 1点
4-問3	自分で食品・日用品の買物をしていますか	
4-問4	自分で食事の用意をしていますか	
4-問5	自分で請求書の支払いをしていますか	
4-問6	自分で預貯金の出し入れをしていますか	

5点:高い 4点:やや低い 0~3点:低い

②老研指数 (社会参加・知的能動性)

番号	設問内容	選択肢
4-問7	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	「1. はい」：1点
4-問8	新聞を読んでいますか	
4-問9	本や雑誌を読んでいますか	
4-問10	健康についての記事や番組に関心がありますか	

4点:高い 3点:やや低い 0~2点:低い

③老研指数 (社会参加・社会的役割)

番号	設問内容	選択肢
4-問11	友人の家を訪ねていますか	「1. はい」：1点
4-問12	家族や友人の相談にのっていますか	
4-問13	病人を見舞うことができますか	
4-問14	若い人に自分から話しかけることがありますか	

4点:高い 3点:やや低い 0~2点:低い

④老研指標総合評価 (IADL、知的能動性、社会的役割の合計点)

11点以上:高い 9~10点:やや低い 8点以下:低い

第3章 調査結果の分析（第2号被保険者）

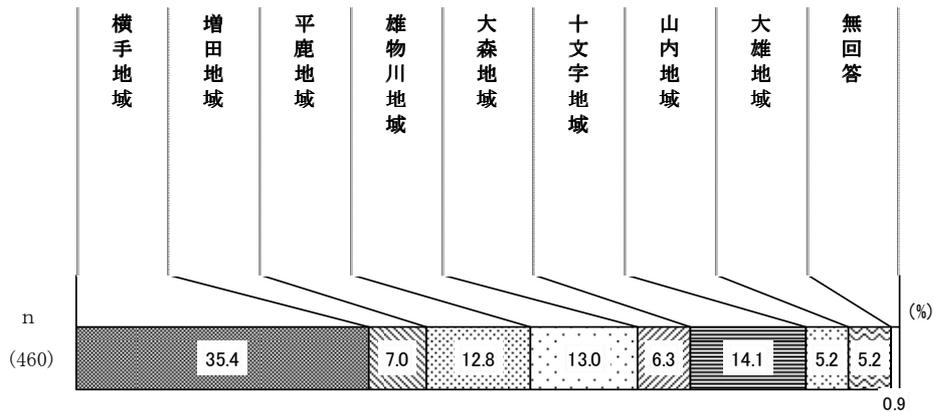
第3章 調査結果の分析（第2号被保険者）

1. お住まいと世帯などについて

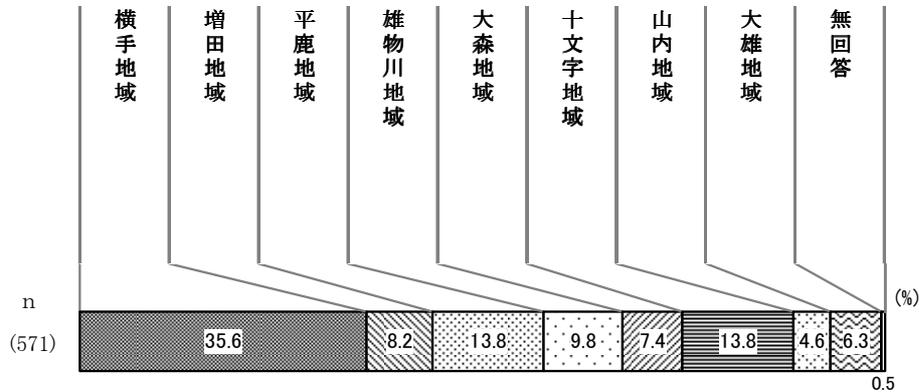
（1）居住地域

問6 あなたがお住まいの地域はどこですか（1つに○）

《今回結果》



《前回結果》



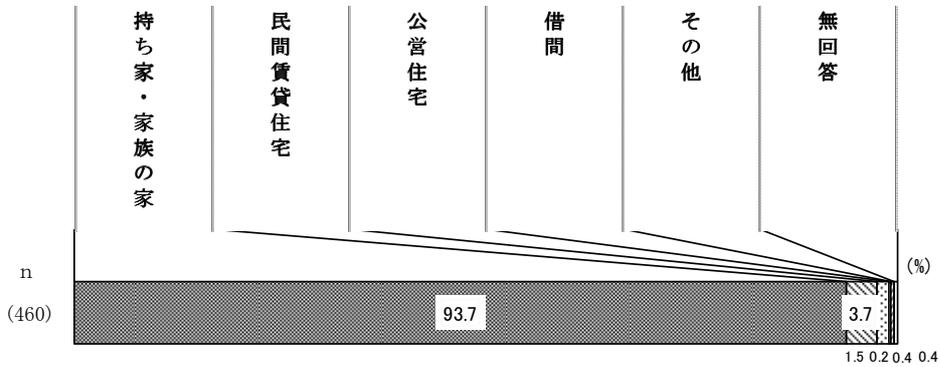
居住地域についてたずねたところ、「横手地域」が 35.4%と最も多く、以下「十文字地域」（14.1%）、「雄物川地域」（13.0%）、「平鹿地域」（12.8%）、「増田地域」（7.0%）、「大森地域」（6.3%）、「大雄地域」、「山内地域」（ともに 5.2%）となっている。

前回結果と比較してみると、前回同様「横手地域」が最も多く、その他の地域も大きく変わらない。

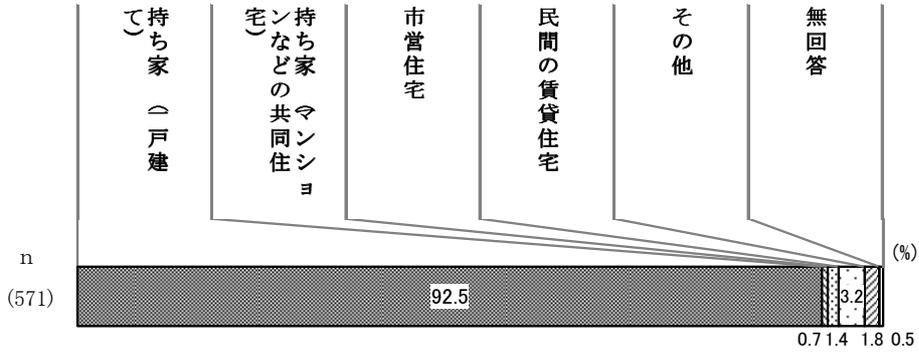
（2）居住所有形態

問7 現在のお住まいについておたずねします（1つに○）

《今回結果》



《前回結果》

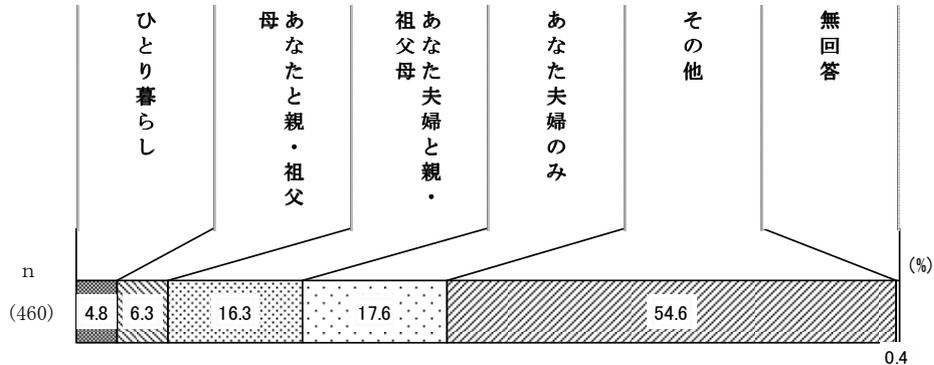


居住所有形態についてたずねたところ、「持ち家（一戸建て）」が93.7%と最も多くなっている。

前回結果と比較してみると、前回同様「持ち家（一戸建て）」が最も多くなっている。

（3）家族構成

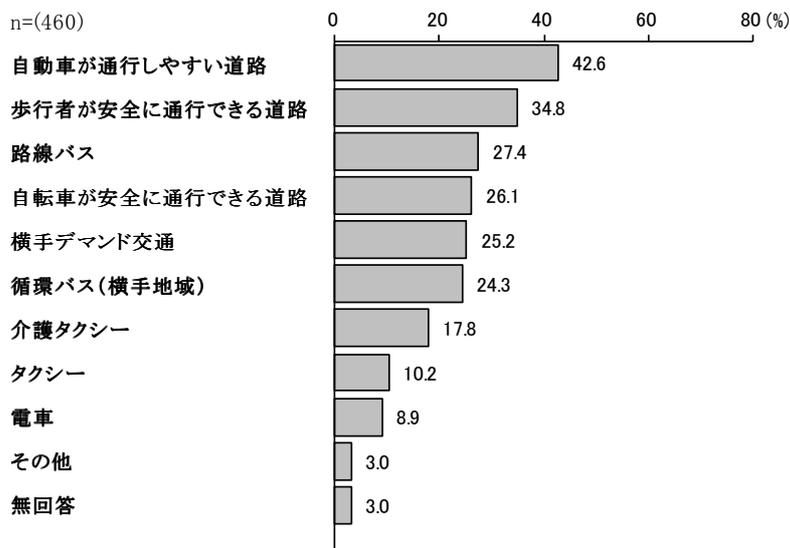
問8 あなたの世帯の状況についておたずねします（1つに○）



家族構成についてたずねたところ、「あなた夫婦のみ」が17.6%と最も多く、以下「あなた夫婦と親・祖父母」(16.3%)、「あなたと親・祖父母」(6.3%)となっている。なお、「ひとり暮らし」は1割未満にとどまっている。

（4）外出のために充実してほしいもの

問9 今後、外出のために充実してほしいものは何ですか（あてはまる項目すべてに○）



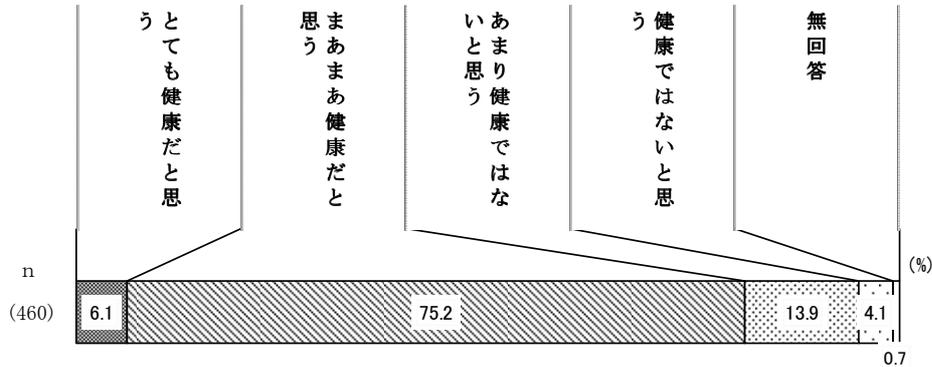
外出するために充実してほしいものをたずねたところ、「自動車が通行しやすい道路」が42.6%と最も多く、以下「歩行者が安全に通行できる道路」(34.8%)、「路線バス」(27.4%)、「自転車が安全に通行できる道路」(26.1%)、「横手デマンド交通」(25.2%)、「循環バス(横手地域)」(24.3%)と続いている。外出時に車で移動する人が多いことから、道路の整備やバスの充実を求めている。

2. 健康・医療について

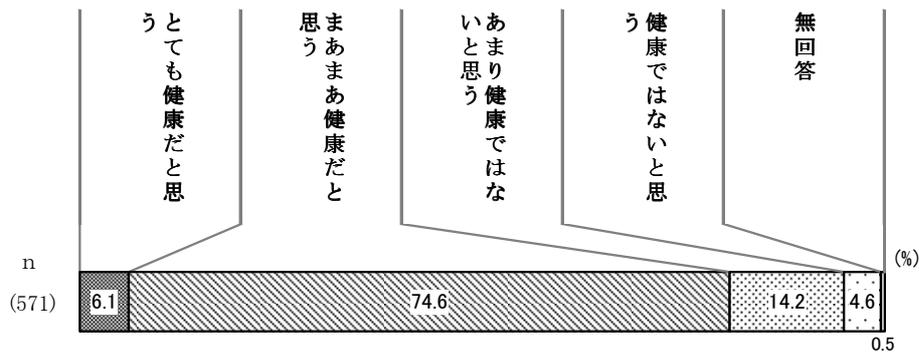
（1）自身の健康状態

問10 ご自分は健康だと思いますか（1つに○）

《今回結果》



《前回結果》



自身の健康状態をたずねたところ、「まあまあ健康だと思う」が75.2%と最も多く、「とても健康だと思う」(6.1%)を合わせた“健康”な人は81.3%となっている。

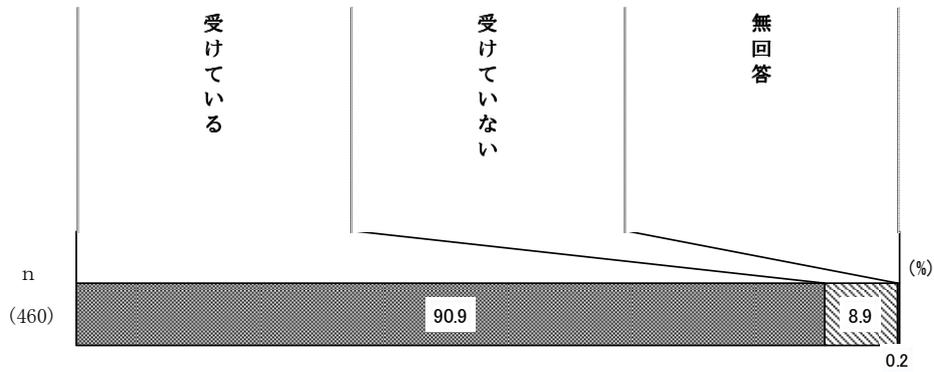
一方、「あまり健康ではないと思う」、「健康ではないと思う」を合わせた“健康ではない”人は18.0%となっている。

前回結果と比較してみると、前回同様「まあまあ健康だと思う」が最も多く、大きな変化はみられない。

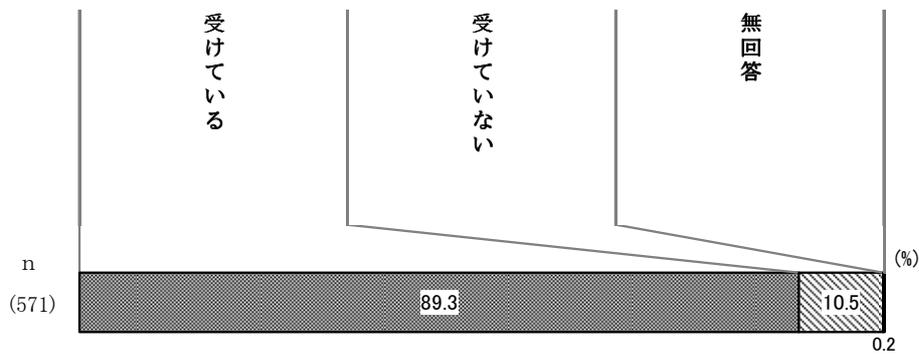
（2）健診の受診状況

問 11 年に1回程度、健診を受けていますか（1つに○）

《今回結果》



《前回結果》



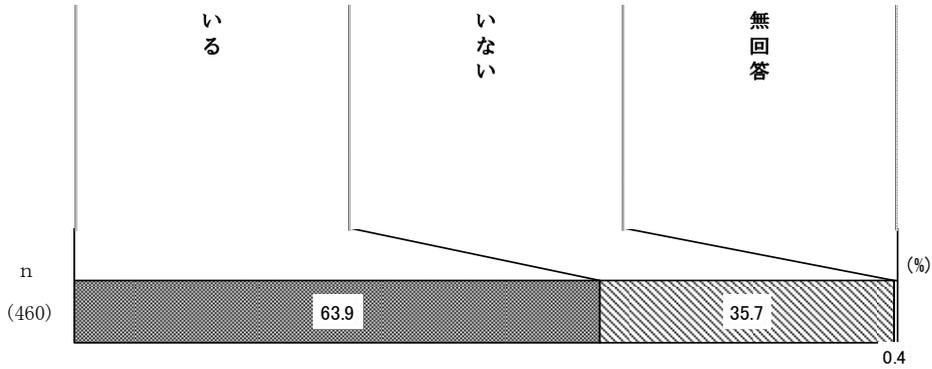
年1回程度の健診を受けているかたずねたところ、「受けている」が90.9%を占めており、「受けていない」は1割未満にとどまっている。

前回結果と比較してみると、大きな変化はみられない。

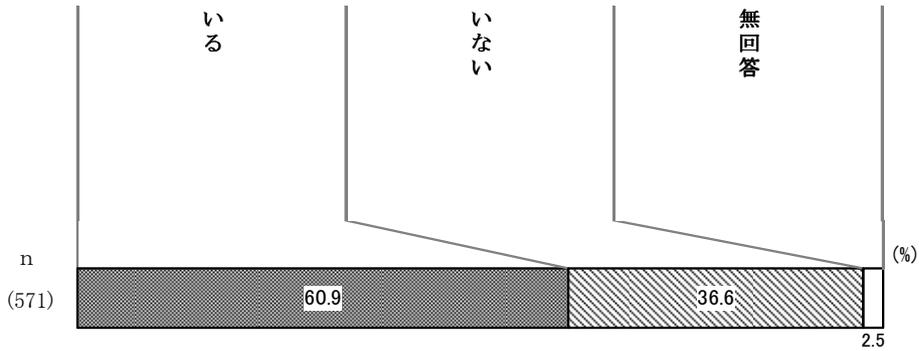
（3）かかりつけ医の有無

問12 あなたは、かかりつけ医がいますか（1つに○）

《今回結果》



《前回結果》



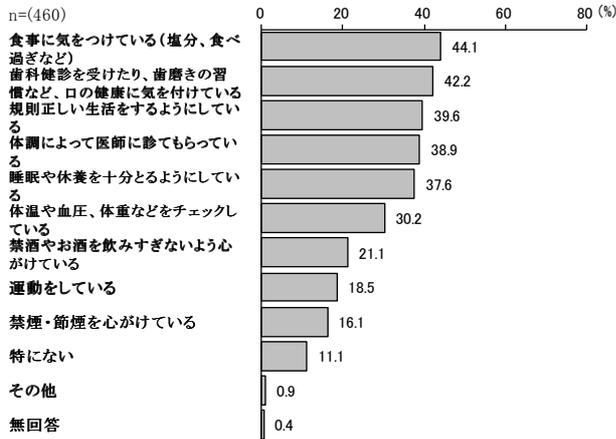
かかりつけ医の有無についてたずねたところ、「いる」が63.9%、「いない」は35.7%となっている。

前回結果と比較してみると、大きな変化はみられない。

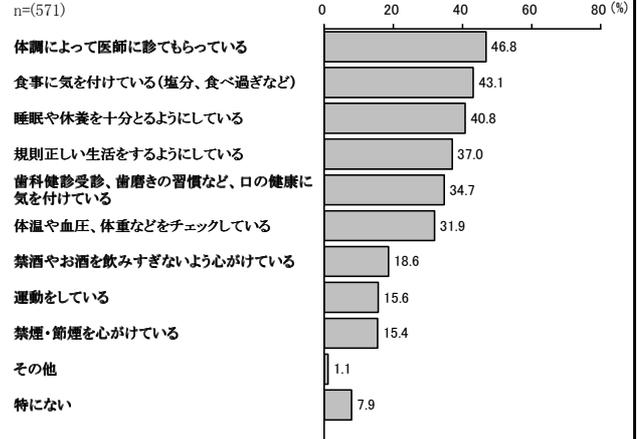
（4）健康のために気を付けていること

問13 健康のために気を付けていることはありますか（あてはまる項目すべてに○）

《今回結果》



《前回結果》

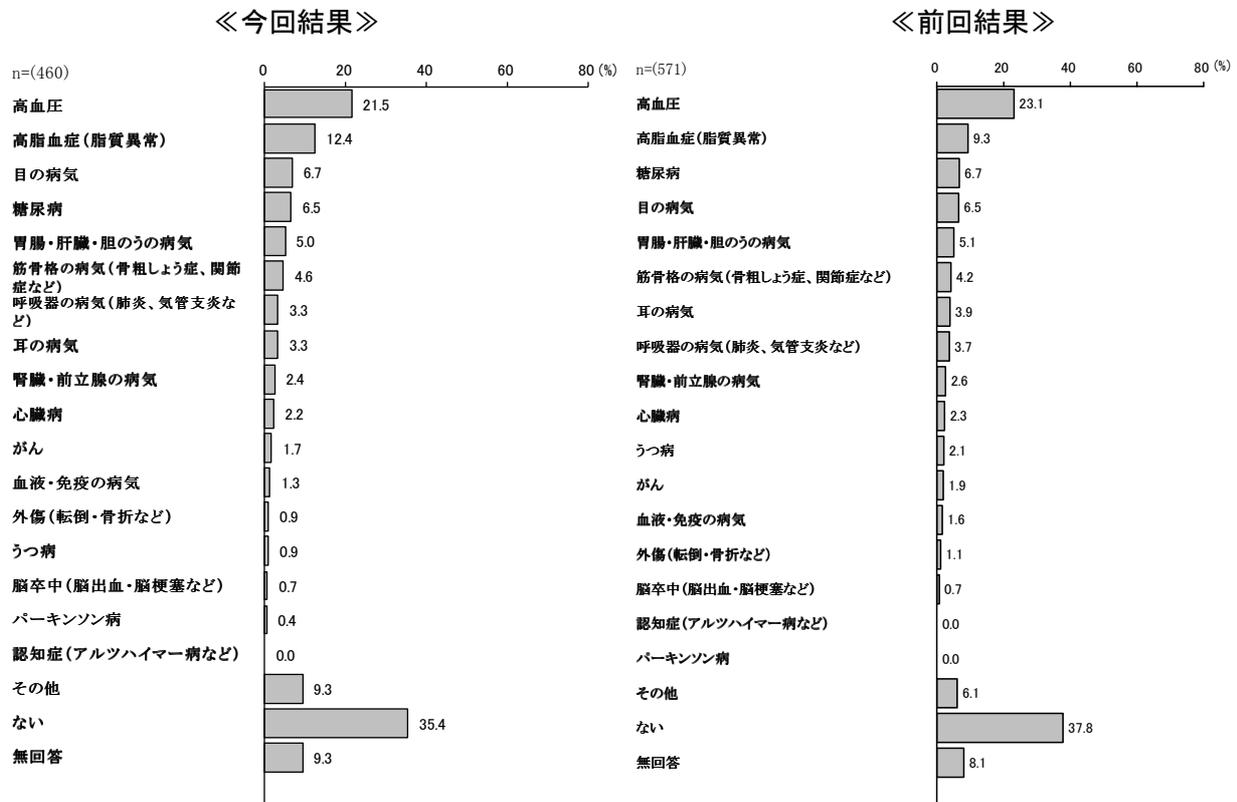


健康のために気を付けていることをたずねたところ、「食事に気を付けている（塩分、食べ過ぎなど）」が 44.1%と最も多く、次いで「歯科健診を受けたり、歯磨きの習慣など、口の健康に気を付けている」（42.2%）、「規則正しい生活をするようにしている」（39.6%）、「体調によって医師に診てもらっている」（38.9%）、「睡眠や休養を十分とるようにしている」（37.6%）、「体温や血圧、体重などをチェックしている」（30.2%）などとなっている。

前回結果と比較してみると、「食事に気を付けている（塩分、食べ過ぎなど）」、「歯科健診を受けたり、歯磨きの習慣など、口の健康に気を付けている」及び、「規則正しい生活をするようにしている」が増加しており、健康を意識して生活している人が多くなっている。

（5）現在の疾病状況

問14 持病または現在治療中の病気、後遺症のある病気はありますか
 （あてはまる項目すべてに○）



現在の疾病状況についてたずねたところ、「高血圧」が21.5%と最も多く、以下「高脂血症（脂質異常）」（12.4%）、「目の病気」（6.7%）、「糖尿病」（6.5%）、「胃腸・肝臓・胆のうの病気」（5.0%）、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症など）」（4.6%）などとなっている。

一方、「ない」と回答した人は35.4%となっている。

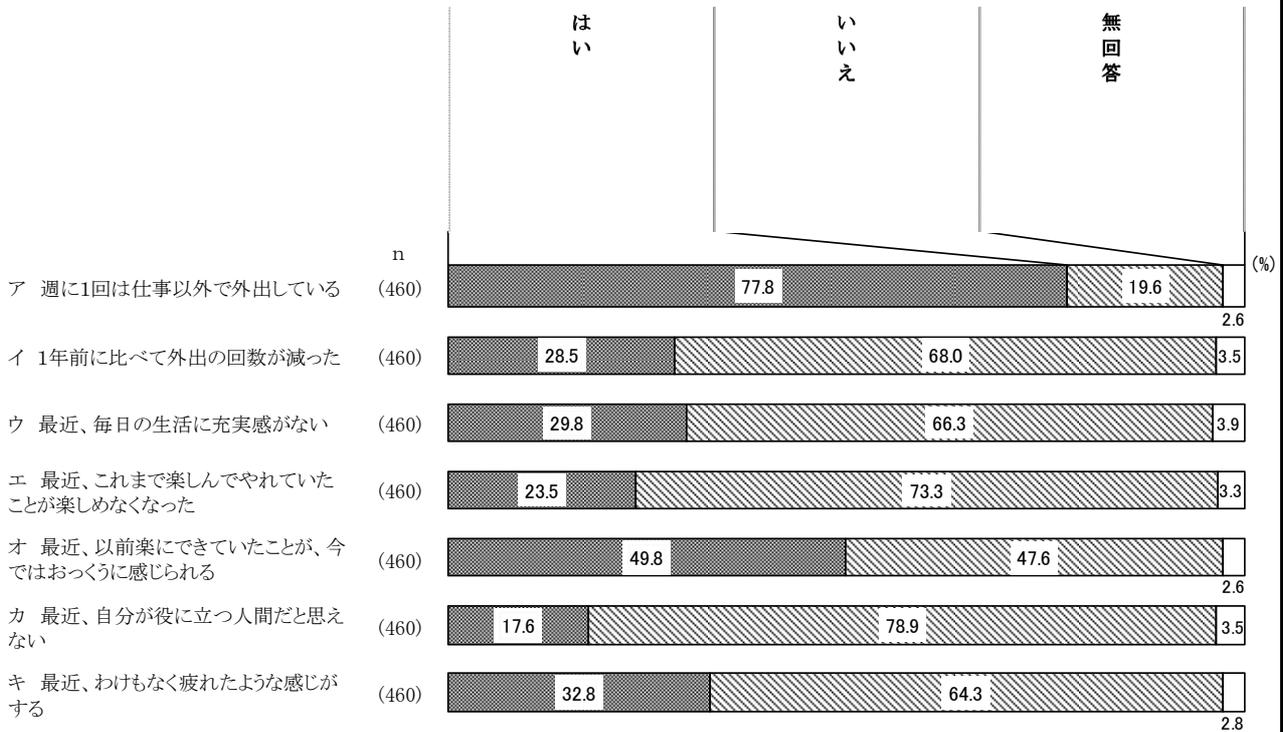
前回結果と比較してみると、前回同様「高血圧」が最も多く、「高脂血症（脂質異常）」が前回をやや上回っている。

（6）毎日の生活の様子

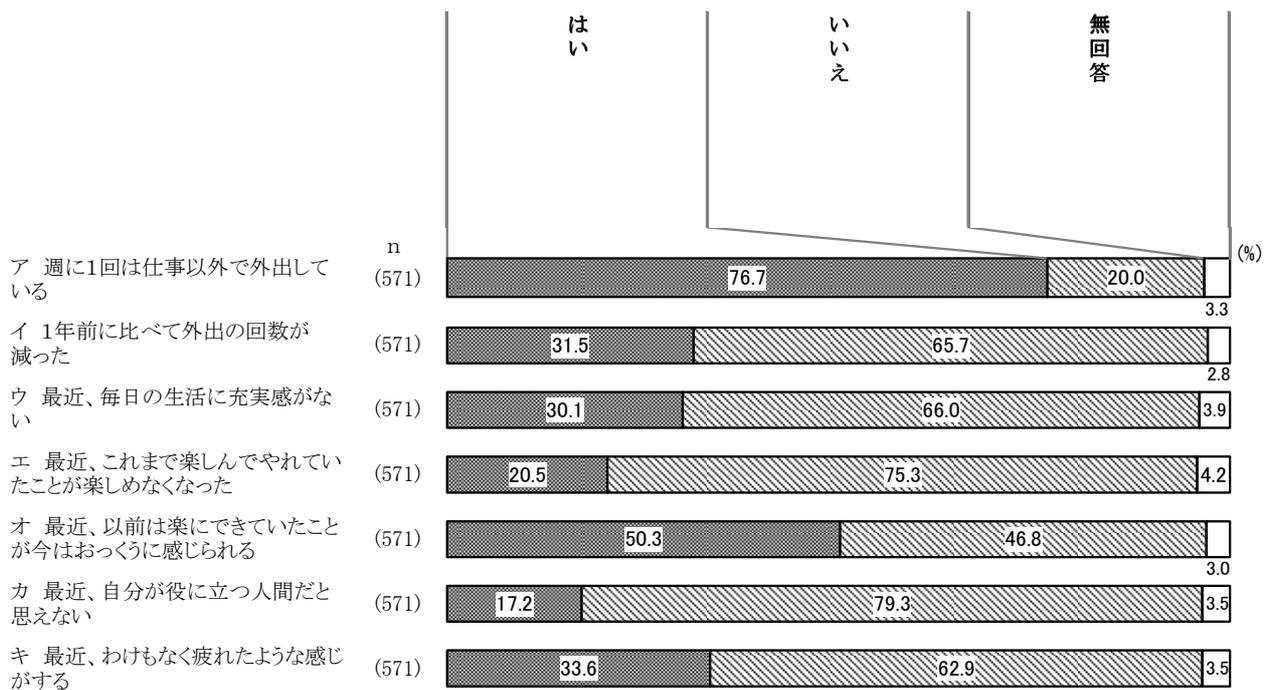
問 15 毎日の生活のご様子についておたずねします

（下記のア～キについて、それぞれあてはまる項目のどちらかに○）

《今回結果》



《前回結果》



毎日の生活の様子をたずねたところ、77.8%が『ア 週に1回は仕事以外で外出している』と回答し外出頻度は高いが、『イ 1年前に比べて外出の回数が減った』では、28.5%が「はい」と回答している。

ウ～キの心の健康についての項目では、『ウ 最近、毎日の生活に充実感がない』、『キ 最近、わけもなく疲れたような感じがする』で約3割が「はい」と回答している。さらに、『オ 最近、以前は楽にできていたことが今はおっくうに感じられる』では約5割が「はい」と回答している。

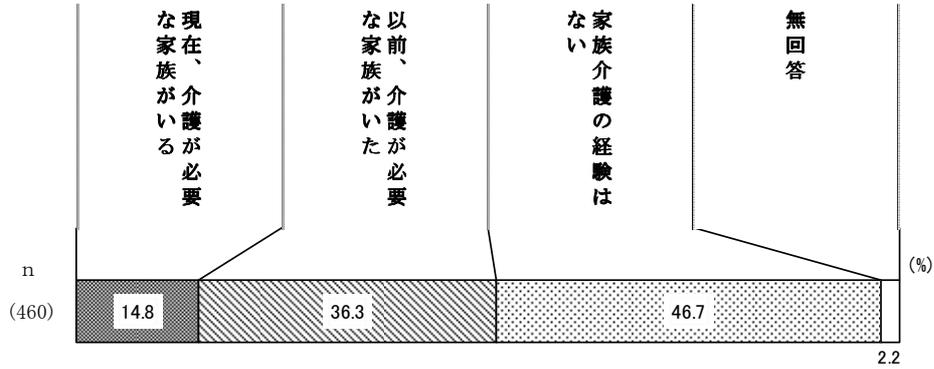
前回結果と比較してみると、大きな変化はみられない。

3. 介護保険について

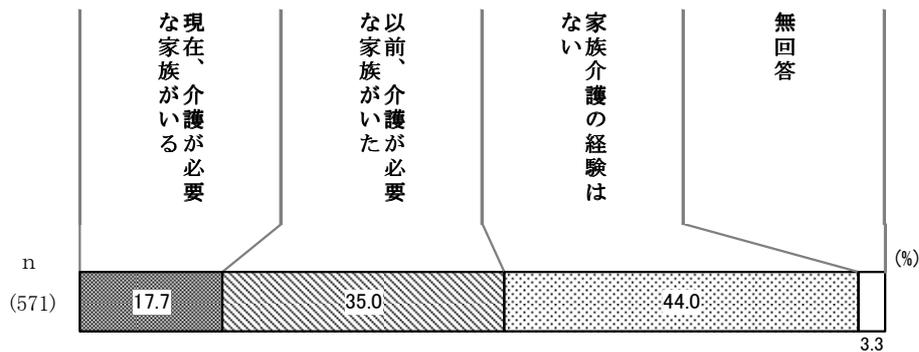
（1）同居家族の介護経験

問 16 同居の家族の介護経験についておたずねします（1つに○）

《今回結果》



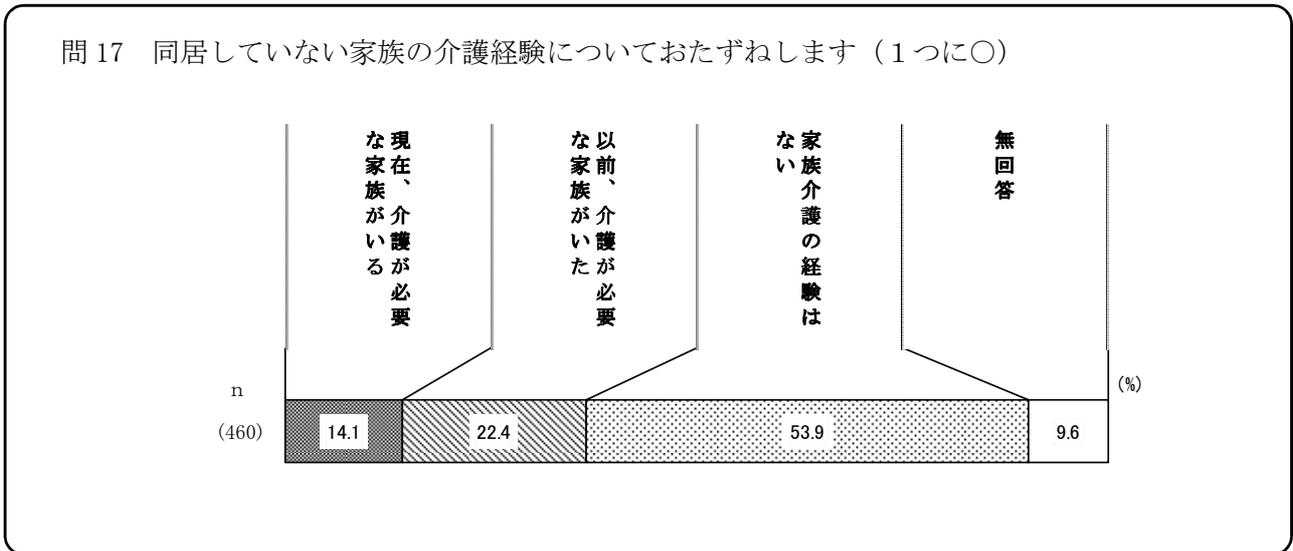
《前回結果》



同居家族の介護経験についてたずねたところ、「家族介護の経験はない」が46.7%と最も多く、以下「以前、介護が必要な家族がいた」(36.3%)、「現在、介護が必要な家族がいる」(14.8%)となっている。

前回結果と比較してみると、大きな変化はみられない。

（2）同居していない家族の介護経験

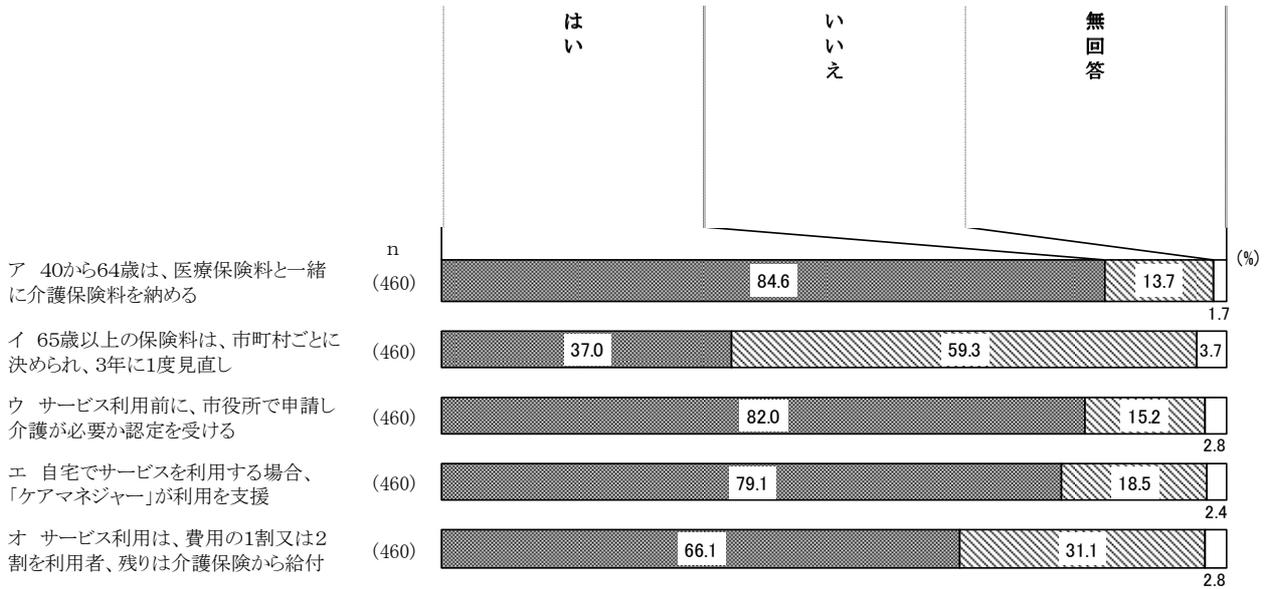


同居していない家族の介護経験についてたずねたところ、「家族介護の経験はない」が53.9%と最も多く、以下「以前、介護が必要な家族がいた」(22.4%)、「現在、介護が必要な家族がいる」(14.1%)となっている。

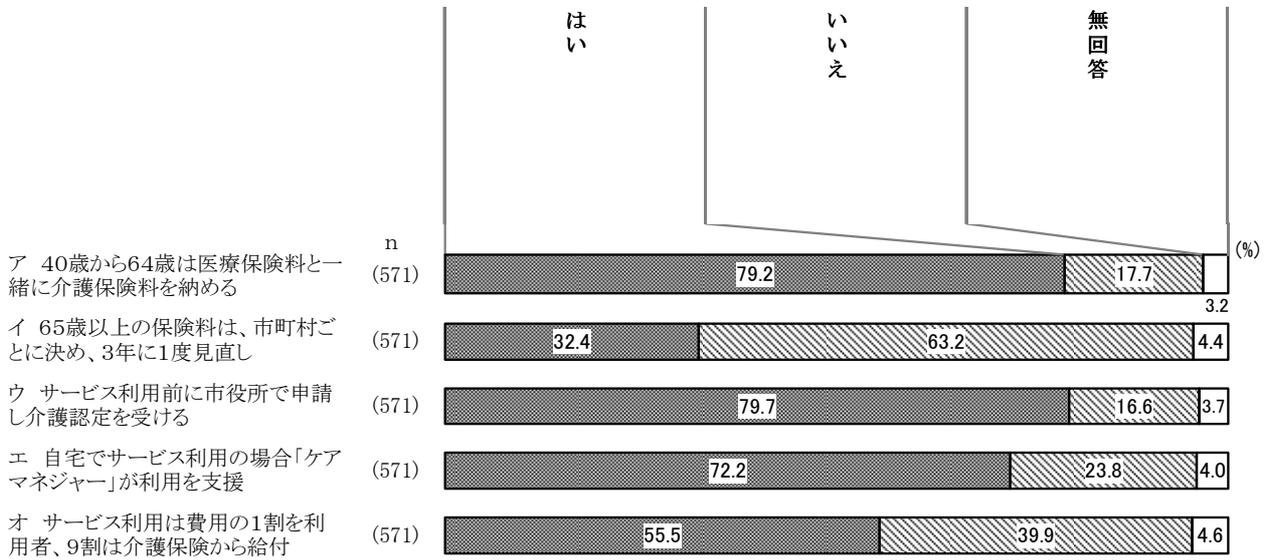
（3）介護保険制度の認知度

問 18 介護保険制度について、次のことを知っていますか
 （下記のア～オについて、それぞれどちらか1つに○）

《今回結果》



《前回結果》



介護保険制度の認知度についてたずねたところ、『ア 40歳から64歳は医療保険料と一緒に介護保険料を納める』、『ウ サービス利用前に市役所で申請し介護認定を受ける』、『エ 自宅でサービス利用の場合「ケアマネジャー」が利用を支援』は認知度が高く約8割前後を占める。

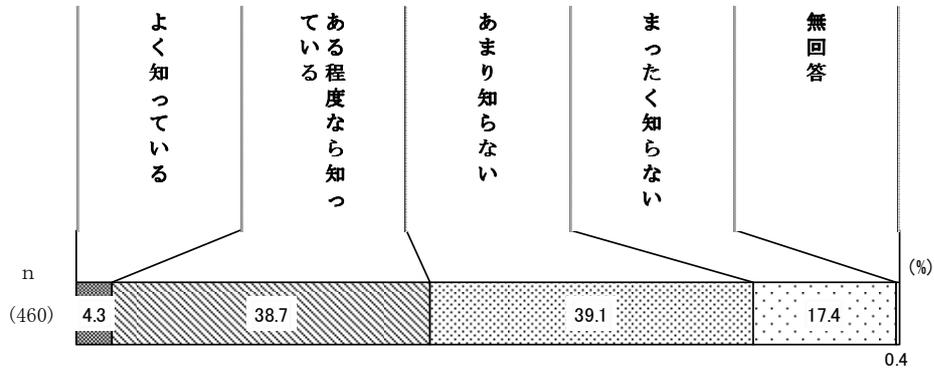
一方、『イ 65歳以上の保険料は、市町村ごとに決め、3年に1度見直し』に関しては37.0%と認知度が低い。

前回結果と比較してみると、前回より全項目、認知度が高くなっている。

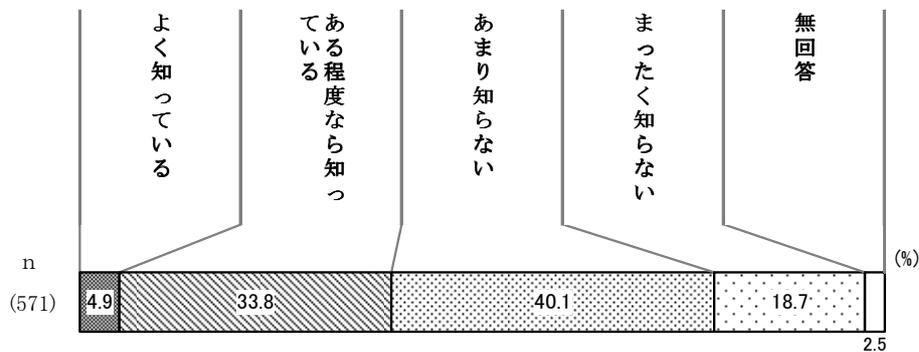
（4）介護保険で利用できるサービスの種類や内容についての認知度

問19 介護保険で利用できるサービスの種類や内容を知っていますか（1つに○）

《今回結果》



《前回結果》



介護保険で利用できるサービスの種類や内容についての認知度をたずねたところ、「あまり知らない」が39.1%と最も多く、「まったく知らない」(17.4%)を合わせた“知らない”人は56.5%となっている。

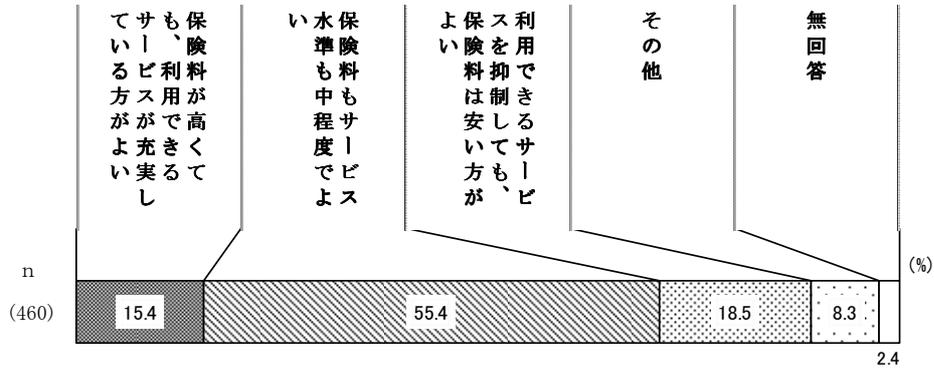
一方、「よく知っている」、「ある程度なら知っている」を合わせた“知っている”人は43.0%となっている。

前回結果と比較してみると、前回より「ある程度なら知っている」人が上回っている。

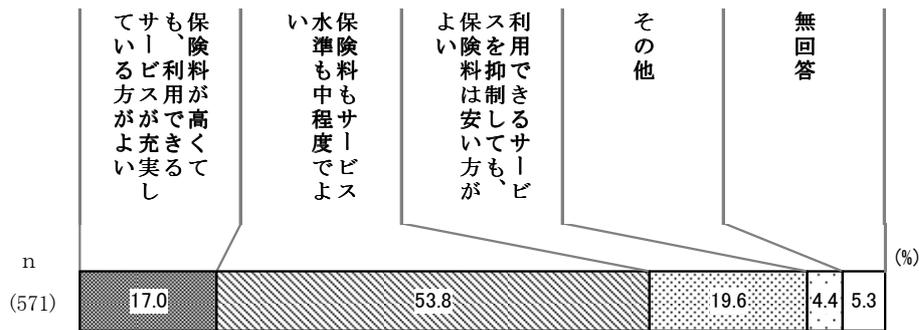
（5）介護保険料負担とサービス給付の関係について

問20 負担（介護保険料）と給付（介護保険サービス）の関係について、あなたのお考えに最も近い項目1つに○をつけてください

《今回結果》



《前回結果》



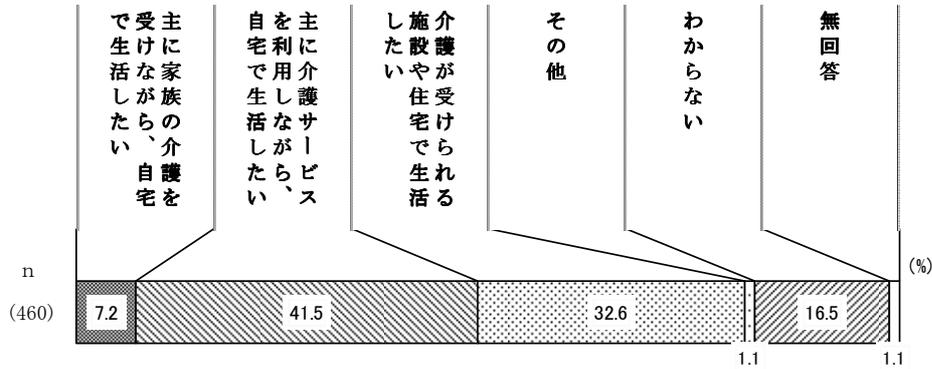
介護保険料負担とサービス給付の関係についてたずねたところ、「保険料もサービス水準も中程度でよい」が55.4%と最も多く、以下「利用できるサービスを抑制しても、保険料は安い方がよい」（18.5%）、「保険料が高くても、利用できるサービスが充実している方がよい」（15.4%）となっている。

前回結果と比較してみると、大きな変化はみられない。

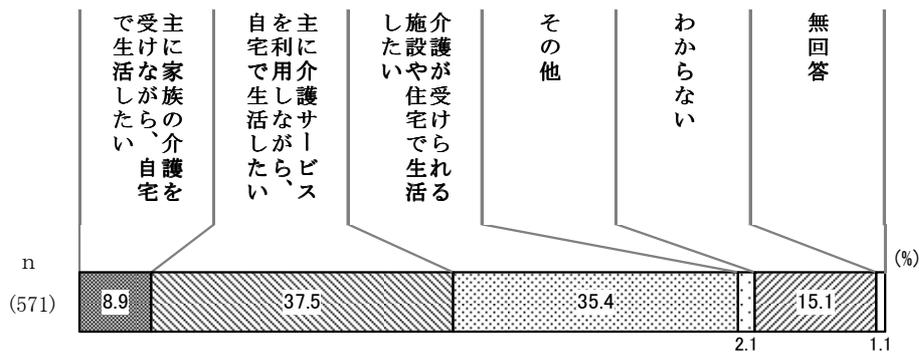
（6）介護が必要になったとき、希望する介護形態

問 21 あなたは、ご自分に介護が必要な状態になったとき、どのような介護を受けたいと思いますか（1つに○）

《今回結果》



《前回結果》



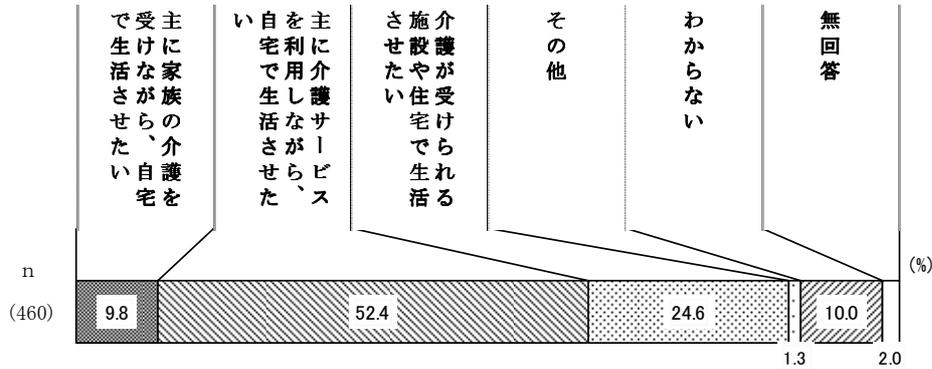
介護が必要な状態になったとき希望する介護形態についてたずねたところ、「主に介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい」が41.5%と最も多く、「主に家族の介護を受けながら、自宅で生活したい」(7.2%)を合わせた“自宅生活”を希望する人は48.7%となっている。しかし、「介護が受けられる施設や住宅で生活したい」も32.6%となっており、“自宅生活派”と“施設入所派”の希望が分かれる。

前回結果と比較してみると、大きな変化はみられない。

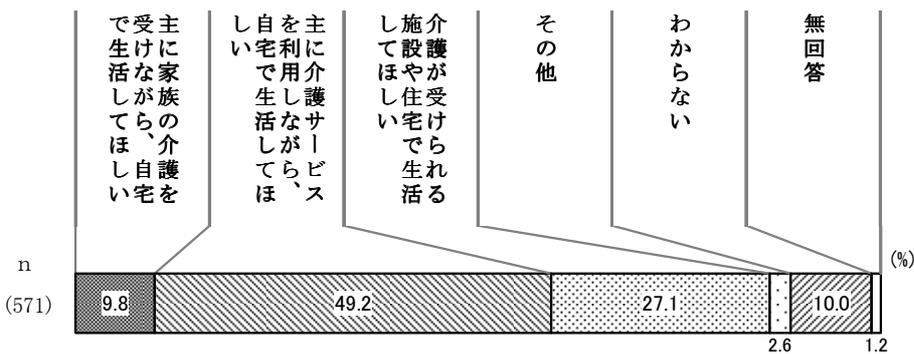
（7）家族に介護が必要になったとき、希望する介護形態

問22 あなたは、ご家族に介護が必要な状態になったとき、どのようにしてあげたいと思いますか（1つに○）

《今回結果》



《前回結果》



家族に介護が必要な状態になったとき希望する介護形態についてたずねたところ、「主に介護サービスを利用しながら、自宅で生活させたい」が 52.4%と最も多く、「主に家族の介護を受けながら、自宅で生活させたい」(9.8%)を合わせた“自宅生活”を希望する人は62.2%となっている。

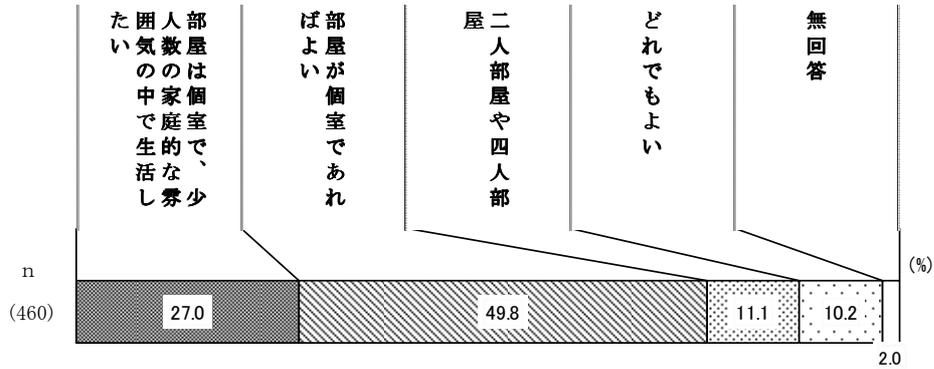
一方、「介護が受けられる施設や住宅で生活させたい」は 24.6%となっており、自分自身が介護が必要になった場合より、家族に介護が必要になった場合の方が、“自宅生活派”の希望が増える。

前回結果と比較してみると、大きな変化はみられない。

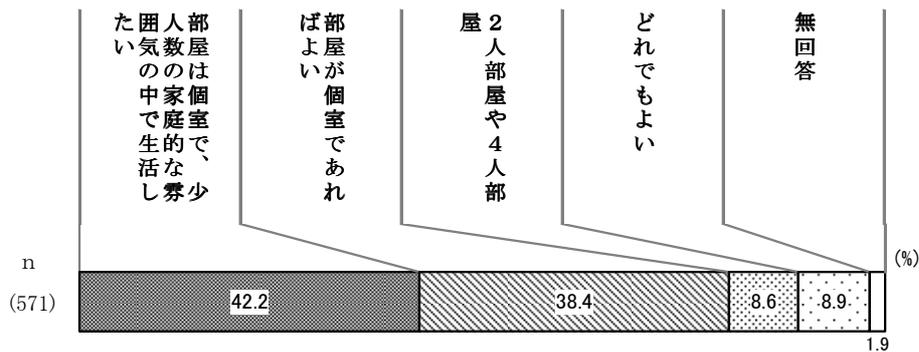
（8）介護施設で生活する場合、希望する環境

問23 あなたは、ご自分が介護施設で生活するとしたら、どのような環境を望みますか
（1つに○）

《今回結果》



《前回結果》



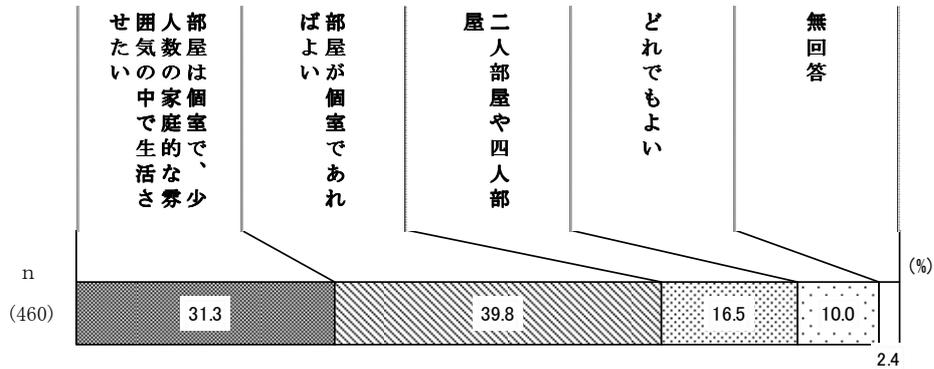
介護施設で生活する場合希望する環境についてたずねたところ、「部屋が個室であればよい」が49.8%と最も多く、以下「部屋は個室で、少人数の家庭的な雰囲気の中で生活したい」（27.0%）、「2人部屋や4人部屋」（11.1%）、「どれでもよい」（10.2%）となっている。

前回結果と比較してみると、前回より「部屋が個室であればよい」が10ポイント以上上回り、「部屋は個室で、少人数の家庭的な雰囲気の中で生活したい」は15ポイント以上下回っている。

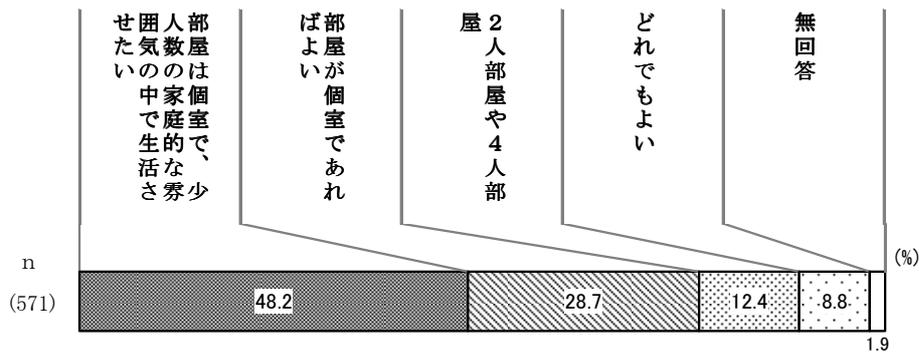
（9）家族が介護施設で生活する場合、希望する環境

問 24 あなたは、ご家族が介護施設で生活するとしたら、どのような環境を望みますか
（1つに○）

《今回結果》



《前回結果》



家族が介護施設で生活する場合希望する環境についてたずねたところ、「部屋が個室であればよい」が39.8%と最も多く、次いで「部屋は個室で、少人数の家庭的な雰囲気の中で生活させたい」（31.3%）、「2人部屋や4人部屋」（16.5%）、「どれでもよい」（10.0%）となっている。

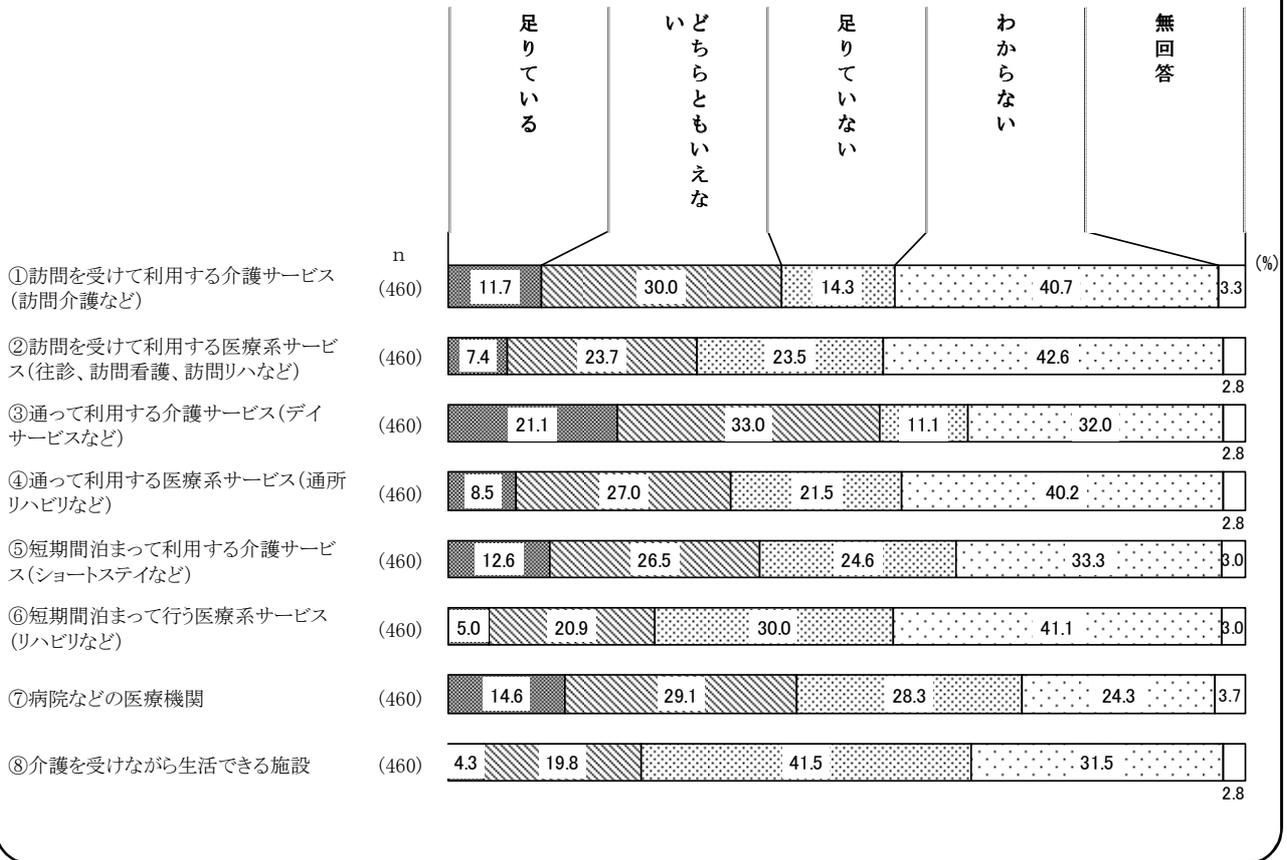
前回結果と比較してみると、前回より「部屋が個室であればよい」が10ポイント以上上回っており、「部屋は個室で、少人数の家庭的な雰囲気の中で生活したい」は15ポイント以上下回っている。

(10) 地域医療や介護サービスの充足度

問 25 地域の医療や介護のサービスについてどう感じていますか

①～⑧それぞれに回答してください

※ サービスの利用をしたことがない方は、周りの様子から感じたことをお知らせください



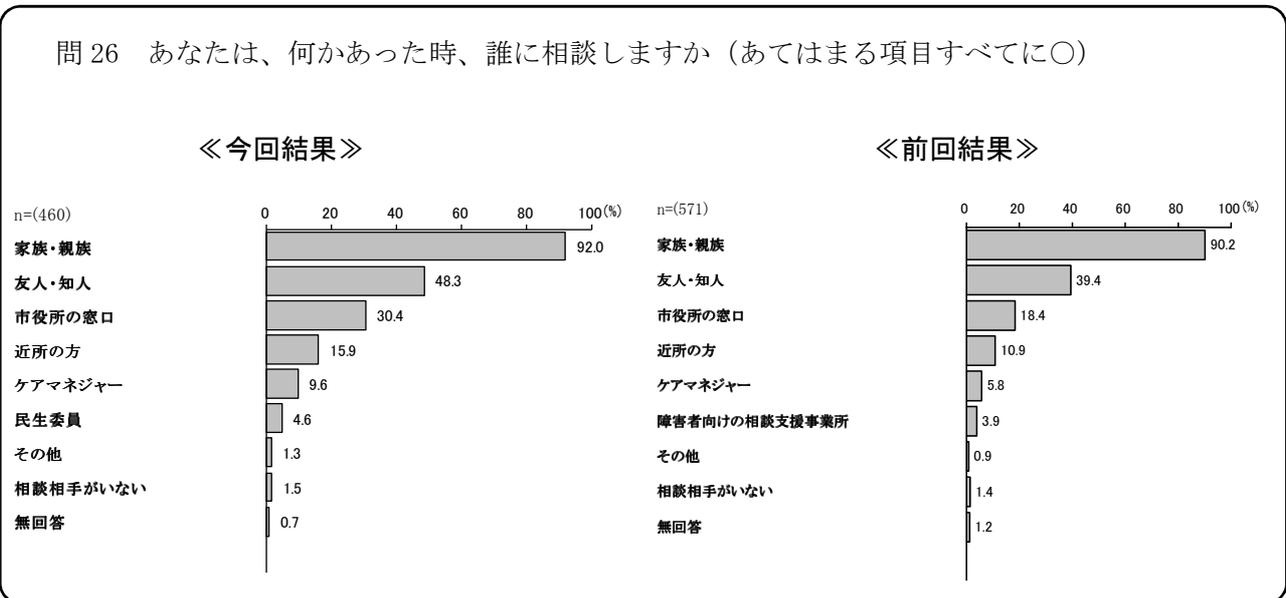
地域医療や介護サービスの充足度についてたずねたところ、『③通って利用する介護サービス (デイサービスなど)』は21.1%が「足りている」と答えている。

一方、『⑧介護を受けながら生活できる施設』(41.5%)、『⑥短期間泊まって行う医療系サービス (リハビリなど)』(30.0%)、『⑦病院などの医療機関』(28.3%) に関しては「足りていない」が多くなっている。

4. 相談ごと・災害対応について

（1）相談相手

問26 あなたは、何かあった時、誰に相談しますか（あてはまる項目すべてに○）

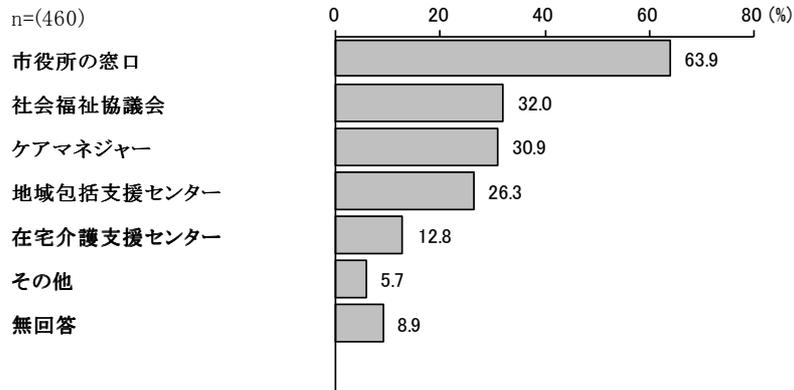


何かあった時、誰に相談するかたずねたところ、「家族・親族」が92.0%と最も多く、以下「友人・知人」(48.3%)、「市役所の窓口」(30.4%)、「近所の方」(15.9%)などとなっている。

前回結果と比較してみると、前回同様「家族・親族」が最も多いが、「友人・知人」及び「市役所の窓口」が前を上回り、特に「市役所の窓口」では10ポイント以上上回っている。

（2）家族が認知症の疑いがある場合、相談する公的窓口の認知度

問 27 ご家族が認知症と疑われるようになった場合、相談できる公的窓口をご存知ですか
（ご存じのものすべてに○）

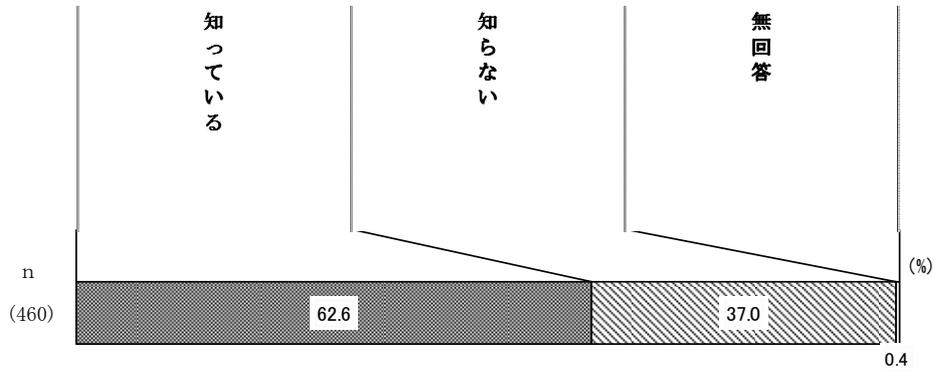


家族が認知症の疑いがある場合、相談する公的窓口の認知度についてたずねたところ、「市役所の窓口」が 63.9%と最も多く、以下「社会福祉協議会」(32.0%)、「ケアマネジャー」(30.9%)、「地域包括支援センター」(26.3%) などとなっている。

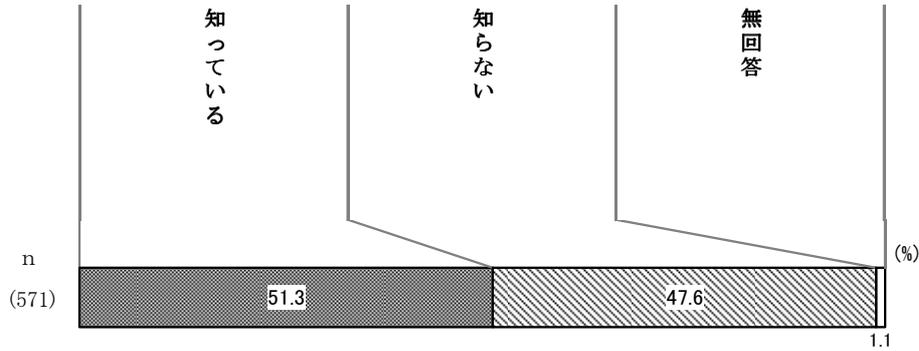
（3）地域の避難場所の認知度

問 28 地域の避難場所をご存知ですか（1つに○）

《今回結果》



《前回結果》



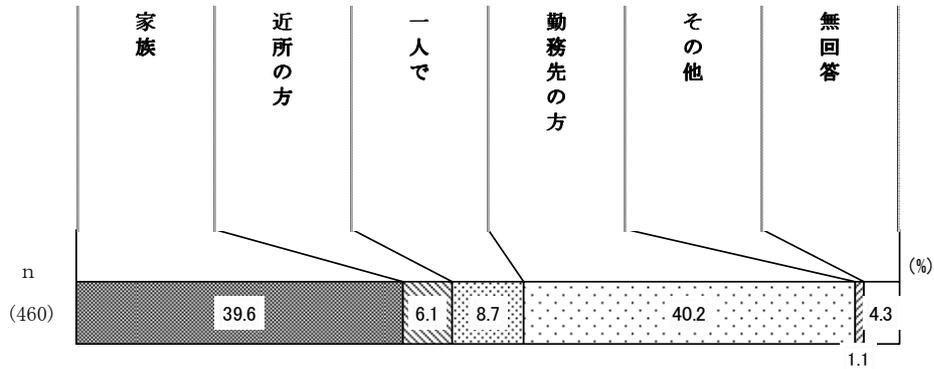
地域の避難場所についての認知度をたずねたところ、「知っている」が 62.6%、「知らない」が 37.0%と知っている人が多くなっている。

前回結果と比較してみると、前回より認知度は 10 ポイント以上上回っている。

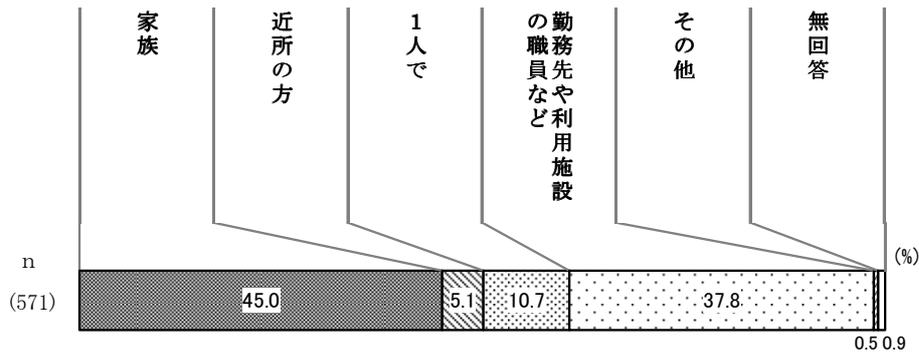
（4）平日の日中、災害発生時に一緒に行動する人

問 29 平日の日中に、地震などの災害が発生した場合、誰と一緒に行動しますか
 （最も可能性の高い項目1つに○）

《今回結果》



《前回結果》



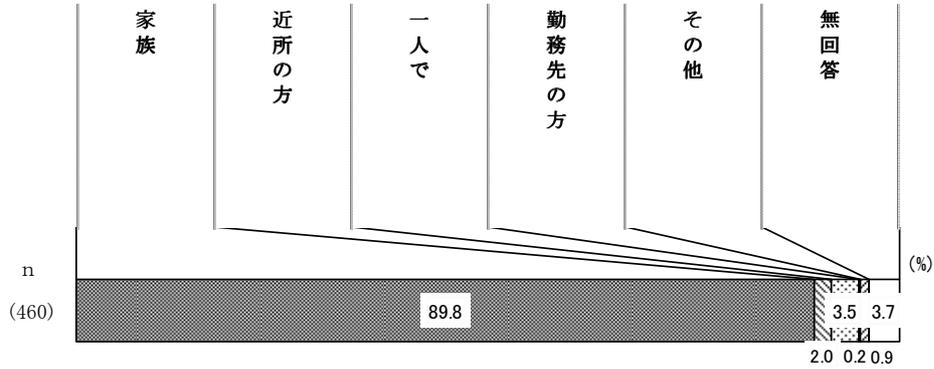
平日の日中、災害発生時に一緒に行動する人についてたずねたところ、「勤務先の方」が40.2%と最も多く、以下「家族」(39.6%)となっている。「1人」でとの回答は1割未満となっている。

前回結果と比較してみると、前回より「家族」はやや下回っている。

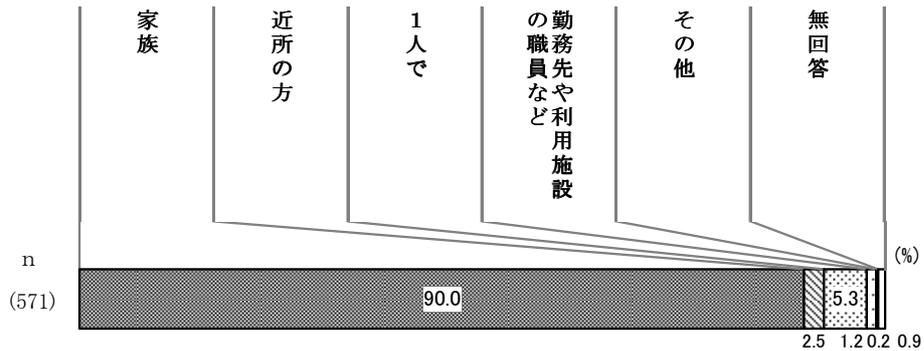
（5）休日や夜間、災害発生時に一緒に行動する人

問 30 休日や夜間に、地震などの災害が発生した場合、誰と一緒に行動しますか
 （最も可能性の高い項目1つに○）

《今回結果》



《前回結果》



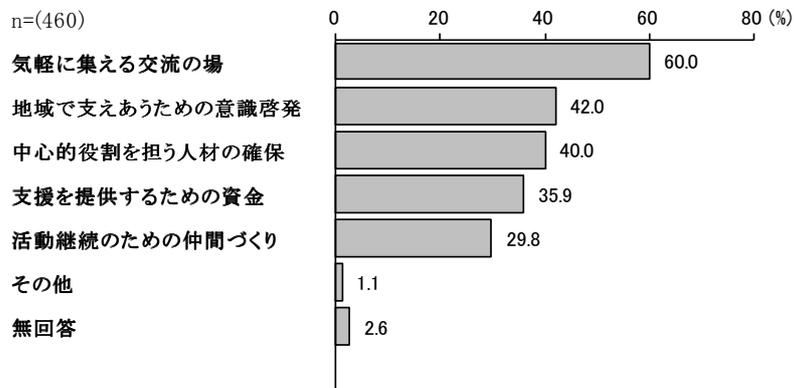
休日や夜間、災害発生時に一緒に行動する人についてたずねたところ、約9割が「家族」を占めている。「1人で」との回答は3.5%となっている。

前回結果と比較してみると、前回同様「家族」が最も多くなっている。

5. 地域の支え合い・日常生活支援について

（1）地域で高齢者を支えるために必要なこと

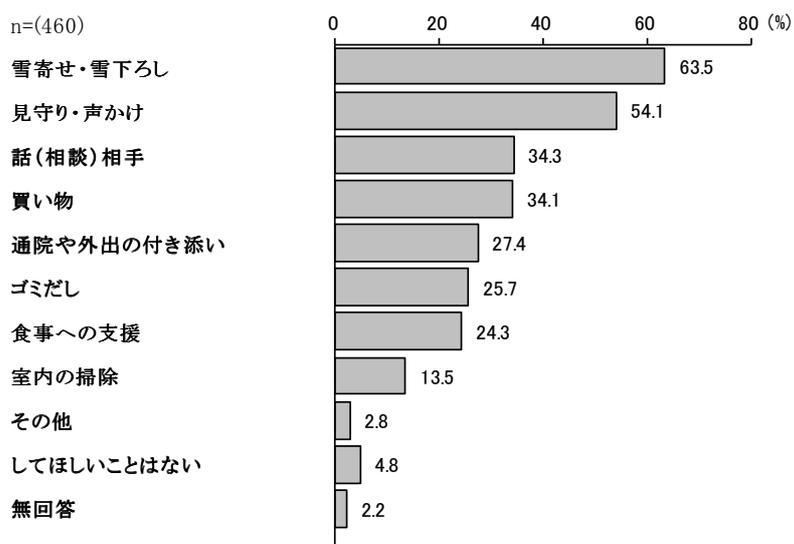
問 31 地域で高齢者を支えるために、何が必要だと思いますか（あてはまる項目すべてに○）



地域で高齢者を支えるために必要なことについてたずねたところ、「気軽に集える交流の場」が 60.0%と最も多く、以下「地域で支えあうための意識啓発」(42.0%)、「中心的役割を担う人材の確保」(40.0%)、「支援を提供するための資金」(35.9%)、「活動継続のための仲間づくり」(29.8%)となっている。

（2）日常生活に困ったとき地域や近所の方からしてほしいこと

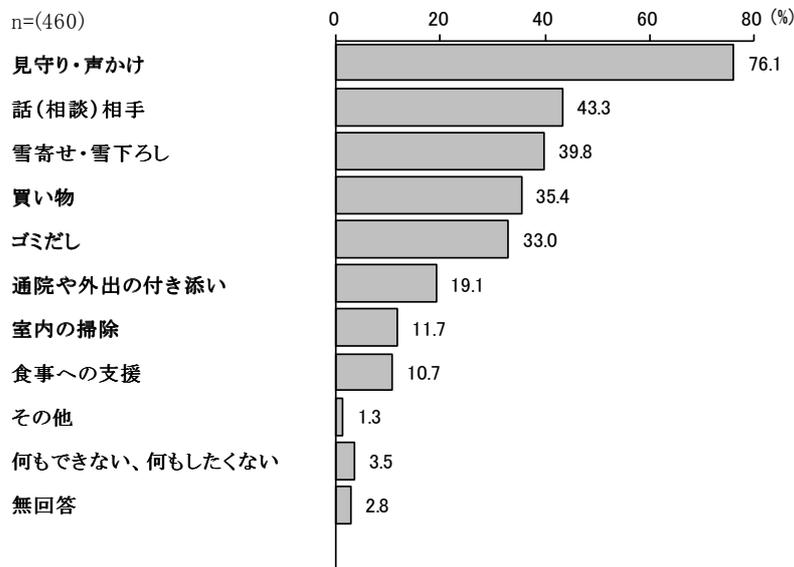
問 32 あなたが日常生活に困ったとき、地域や近所の方からどのようなことをしてほしいと思いますか（あてはまる項目すべてに○）



日常生活に困ったとき地域や近所の方からしてほしいことについてたずねたところ、「雪寄せ・雪下ろし」が 63.5%と最も多く、以下「見守り・声かけ」(54.1%)、「話(相談)相手」(34.3%)、「買い物」(34.1%)などとなっている。

（3）地域や近所の方が日常生活に困ったときできること

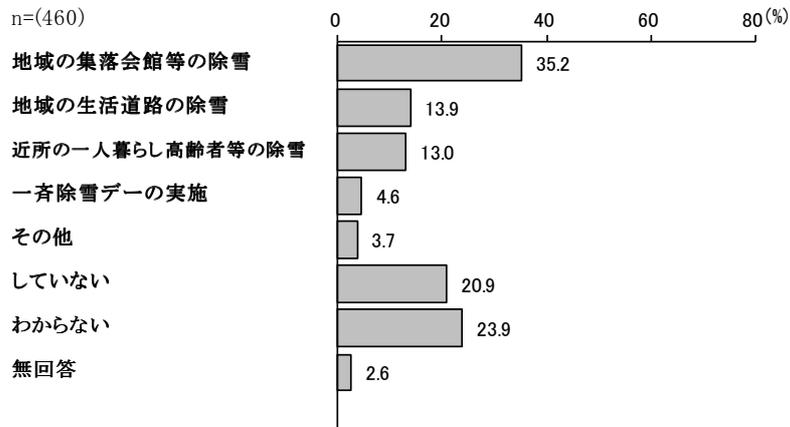
問 33 日常生活に困っている地域や近所の方に対して、あなたはどのようなことができると思いますか（あてはまる項目すべてに○）



地域や近所の方が日常生活に困ったときできることについてたずねたところ、「見守り・声かけ」が76.1%と最も多く、以下「話（相談）相手」（43.3%）、「雪寄せ・雪下ろし」（39.8%）、「買い物」（35.4%）、「ゴミだし」（33.0%）などとなっている。

（4）町内会や自治会における除雪の取り組み

問 34 町内会や自治会では、除雪についてどのような取り組みをしていますか（あてはまる項目すべてに○）

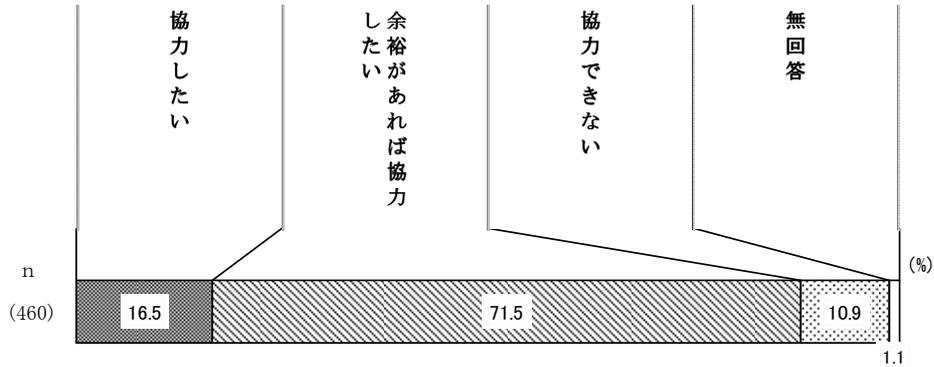


町内会や自治会における除雪の取り組みについてたずねたところ、「地域の集落会館等の除雪」が35.2%と最も多いが、「地域の生活道路の除雪」は13.9%、「近所の一人暮らし高齢者等の除雪」は13.0%にとどまっており、「していない」も20.9%あり、状況が「わからない」人は23.9%存在している。

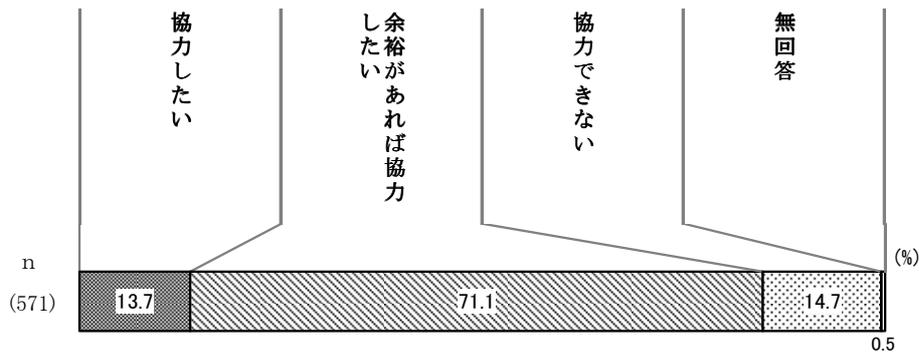
（5）除雪に困っている際の協力・手助け

問 35 近所で除雪に困っている高齢者世帯等があった場合、協力・手助けをしたいと思いますか
（1つに○）

《今回結果》



《前回結果》



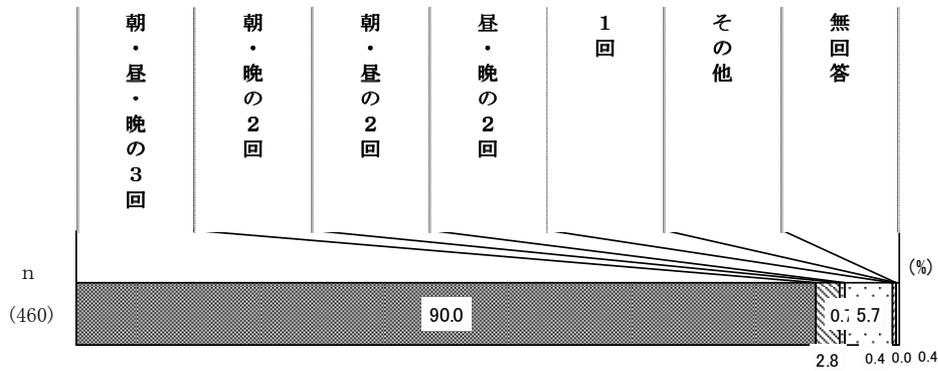
近所の除雪に困っている高齢者世帯などへの協力・手助けをしたいかたずねたところ、「協力したい」は16.5%で「余裕があれば協力したい」（71.5%）を合わせると88.0%の人が“協力したい”との意思がみられる。

前回結果と比較してみると、前回同様“協力したい”との意思は8割以上となっている。

6. 食事の準備と食生活について

（1）一日の食事の回数

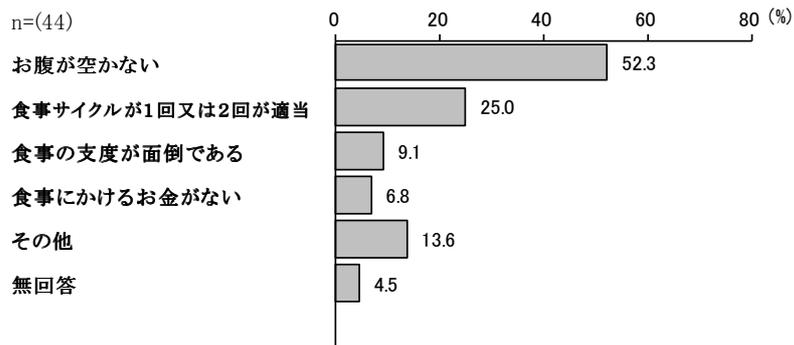
問 36 一日の食事の回数は何回ですか（1つに○）



一日の食事の回数についてたずねたところ、「朝・昼・晩の3回」が9割を占めている。

（2）食事を3回とらない理由

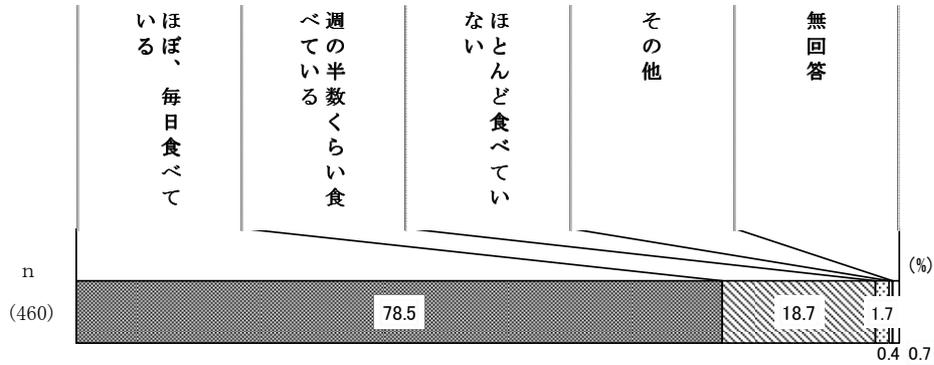
問 37 問 36 で、「朝・昼・晩の3回」以外に○を付けた人にお聞きします
食事を3回とらない理由はなんですか（あてはまる項目すべてに○）



食事を3回とらない理由についてたずねたところ、「お腹が空かない」が52.3%と最も多く、以下「食事サイクルが1回又は2回が適当」（25.0%）、「食事の支度が面倒である」（9.1%）、「食事にかかるお金がない」（6.8%）となっている。

（3）肉・魚などの動物性たんぱく質を毎日食べているか

問 38 肉・魚などの動物性たんぱく質を毎日食べていますか（1つに○）

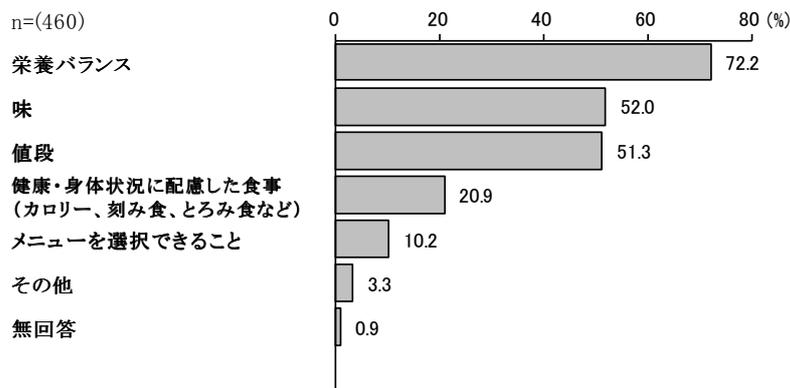


肉・魚などの動物性たんぱく質を毎日食べているかをたずねたところ、「ほぼ、毎日食べている」人が78.5%となっており、「週の半数くらい食べている」(18.7%)を合わせると97.2%の人が“週の半数以上食べている”と答えている。

一方、「ほとんど食べていない」人は1.7%とごく少数となっている。

（4）食事の準備や食べることに重視すること

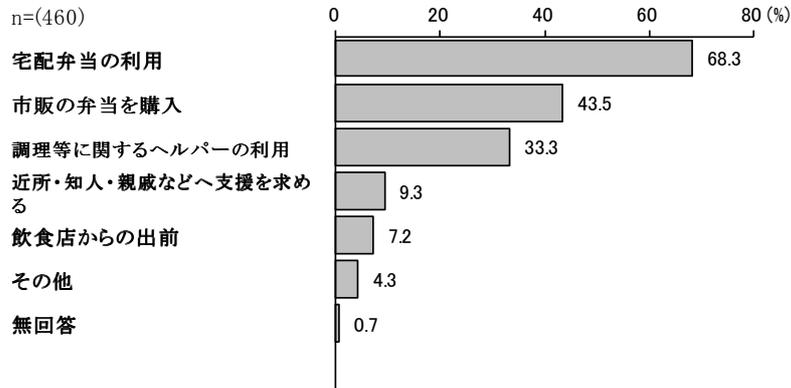
問 39 食事の準備や食べることに、重視することはなんですか
(あてはまる項目すべてに○)



食事の準備や食べることに重視することについてたずねたところ、「栄養バランス」が72.2%と最も多く、以下「味」(52.0%)、「値段」(51.3%)、「健康・身体状況に配慮した食事(カロリー、刻み食、とろみ食など)」(20.9%)、「メニューを選択できること」(10.2%)となっている。

（5）食事の準備が困難になったときの対応意向

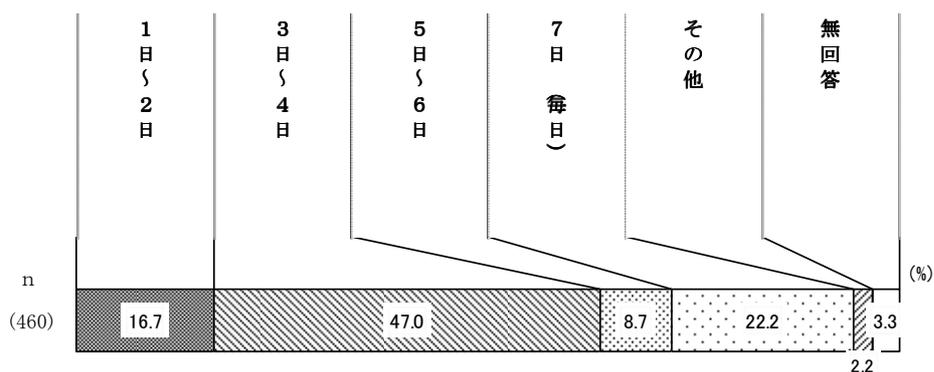
問 40 食事の準備が困難になったときに、どのような対応をしたいと思いますか
 （あてはまる項目すべてに○）



食事の準備が困難になったときの対応意向についてたずねたところ、「宅配弁当の利用」が68.3%と最も多く、以下「市販の弁当を購入」（43.5%）、「調理等に関するヘルパーの利用」（33.3%）などとなっている。

（6）希望の1週間の利用頻度（日数）

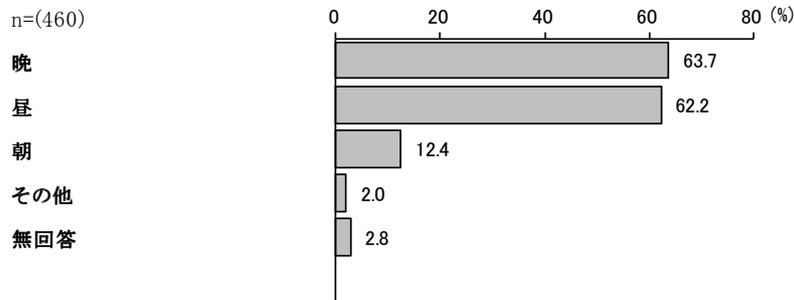
問 41 出前や弁当などを利用する場合、週に何日まで利用したいですか（1つに○）



希望の1週間の利用頻度（日数）をたずねたところ、「3日～4日」が47.0%と最も多く、以下「7日（毎日）」（22.2%）、「1日～2日」（16.7%）、「5日～6日」（8.7%）となっている。

（7）希望の利用時間帯

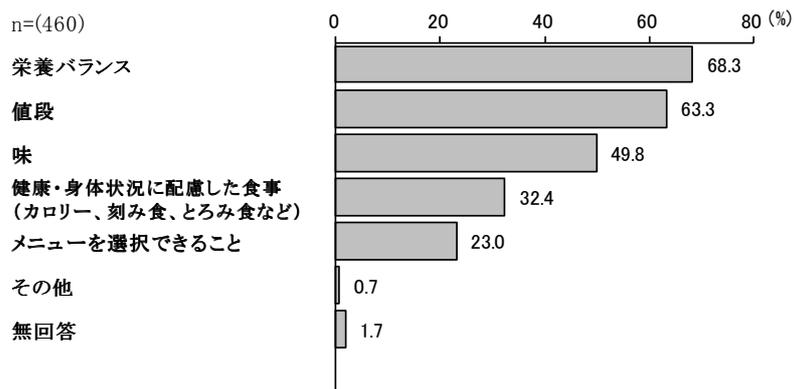
問 42 出前や弁当などを利用する場合、どの時間帯に利用したいですか
 （あてはまる項目すべてに○）



希望の利用時間帯をたずねたところ、「晩」が 63.7%、「昼」が 62.2%とほぼ同率となっている。「朝」は 12.4%と約 1 割程度にとどまっている。

（8）食事の準備や食べることに重点を置くこと

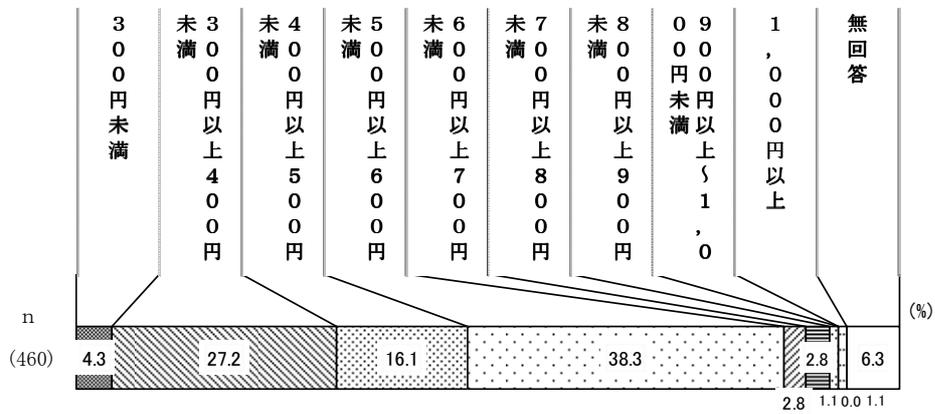
問 43 食事の準備や食べることに重点を置くこと、重視することはなんですか
 （あてはまる項目すべてに○）



食事の準備や食べることに重点を置くことについてたずねたところ、「栄養バランス」が 68.3%と最も多く、次いで「値段」(63.3%)、「味」(49.8%)、「健康・身体状況に配慮した食事 (カロリー、刻み食、とろみ食など)」(32.4%)、「メニューを選択できること」(23.0%)となっている。

（9）配食サービスを利用する場合の1食あたりの負担額

問44 配食サービスを利用することになった場合、1食につき料金の負担はいくらまでと考えますか。

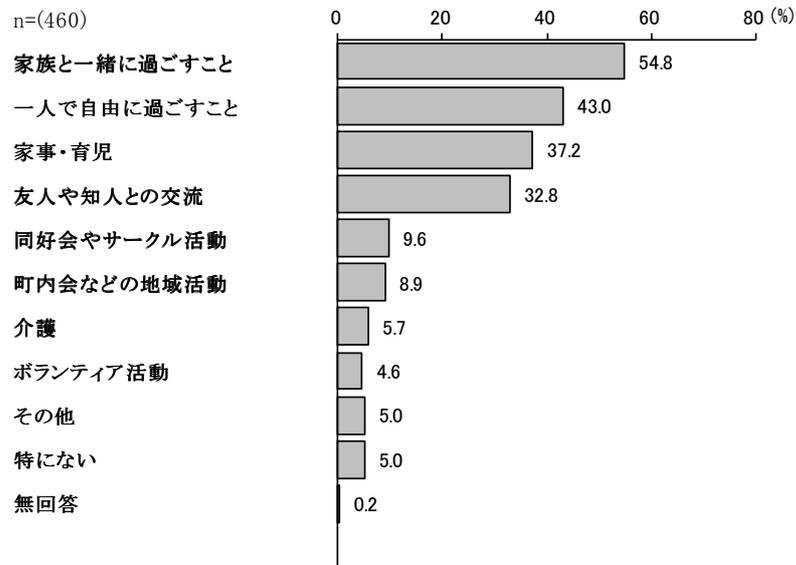


配食サービスを利用する場合の1食あたりの負担額をたずねたところ、「500円以上600円未満」が38.3%と最も多く、以下「3000円以上4000円未満」(27.2%)、「4000円以上5000円未満」(16.1%)となっており、「6000円未満」が85.9%と8割以上を占めている。平均金額は435.8円となっている。

7. 生きがいや社会参加の状況について

（1）現在、仕事以外での時間の使い方

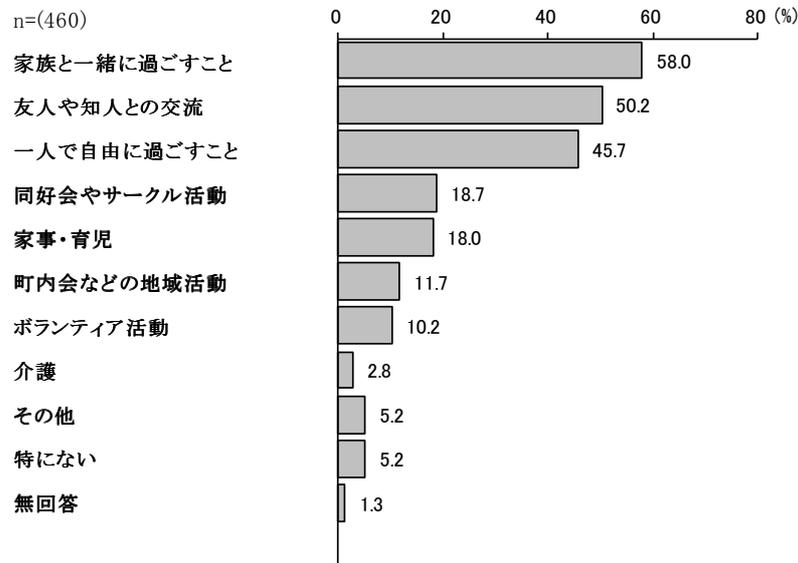
問 45 あなたは、現在、仕事以外でどのようなことに時間を多く使っていますか
(あてはまる項目すべてに○)



現在、仕事以外での時間の使い方についてたずねたところ、「家族と一緒に過ごすこと」が54.8%と最も多く、以下「一人で自由に過ごすこと」(43.0%)、「家事・育児」(37.2%)、「友人や知人との交流」(32.8%) などとなっている。

（2）今後希望する、仕事以外での時間の使い方

問 46 あなたは、今後、仕事以外でどのようなことに時間を多く使っていきたいですか
（あてはまる項目すべてに○）

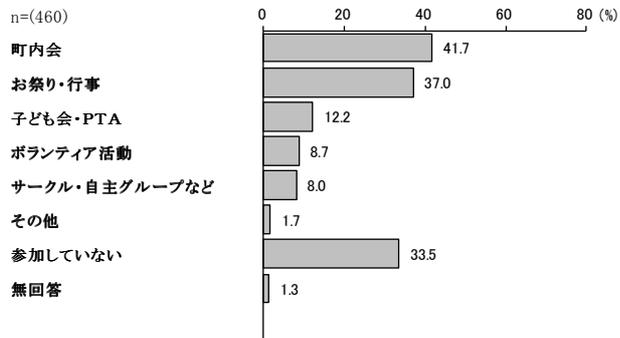


今後希望する、仕事以外での時間の使い方についてたずねたところ、「家族と一緒に過ごすこと」が 58.0%と最も多く、以下「友人や知人との交流」(50.2%)、「一人で自由に過ごすこと」(45.7%) などとなっており、「介護」及び「特にない」以外の全項目について希望が実際に使っている時間より多くなっている。

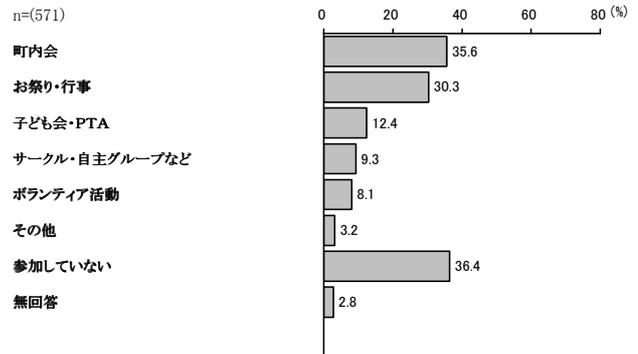
（3）地域活動の参加状況

問 47 あなたは、地域活動などに参加していますか（あてはまる項目すべてに○）

《今回結果》



《前回結果》



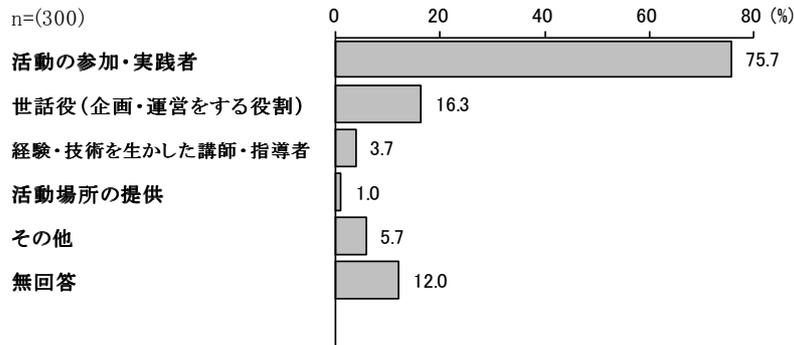
地域活動の参加状況をたずねたところ、「町内会」が 41.7%と最も多く、次いで「お祭り・行事」（37.0%）、「子ども会・PTA」（12.2%）、「ボランティア活動」（8.7%）、「サークル・自主グループなど」（8.0%）などとなっている。

一方、「参加していない」は 33.5%となっている。

前回結果と比較してみると、前回同様「町内会」が最も多くなっている。また、前回より「町内会」及び「お祭り・行事」に参加している割合が多い。

（4）地域活動などにおいてやっている役割

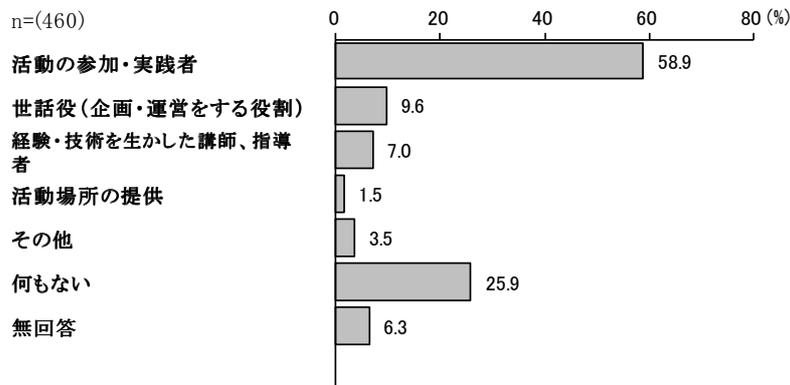
問 48 問 47 で、「参加していない」以外に○をした方にお聞きします
 あなたが、地域活動などにおいてやっていることはどのようなことですか
 （あてはまる項目すべてに○）



地域活動などにおいてやっている役割をたずねたところ、「活動の参加・実践者」が 75.7%と最も多く、以下「世話役（企画・運営をする役割）」（16.3%）、「経験・技術を生かした講師、指導者」（3.7%）、「活動場所の提供」（1.0%）となっている。

（5）今後、地域活動などにおいてできると思う役割

問 49 あなたは、今後地域活動などにおいてできることはあると思いますか
 （あてはまる項目すべてに○）



今後、地域活動などにおいてできると思う役割をたずねたところ、「活動の参加・実践者」が 58.9%と最も多く、以下「世話役（企画・運営をする役割）」（9.6%）、「経験・技術を生かした講師、指導者」（7.0%）、「活動場所の提供」（1.5%）となっている。

一方、「何もない」は 25.9%となっている。

8. 高齢者施策について

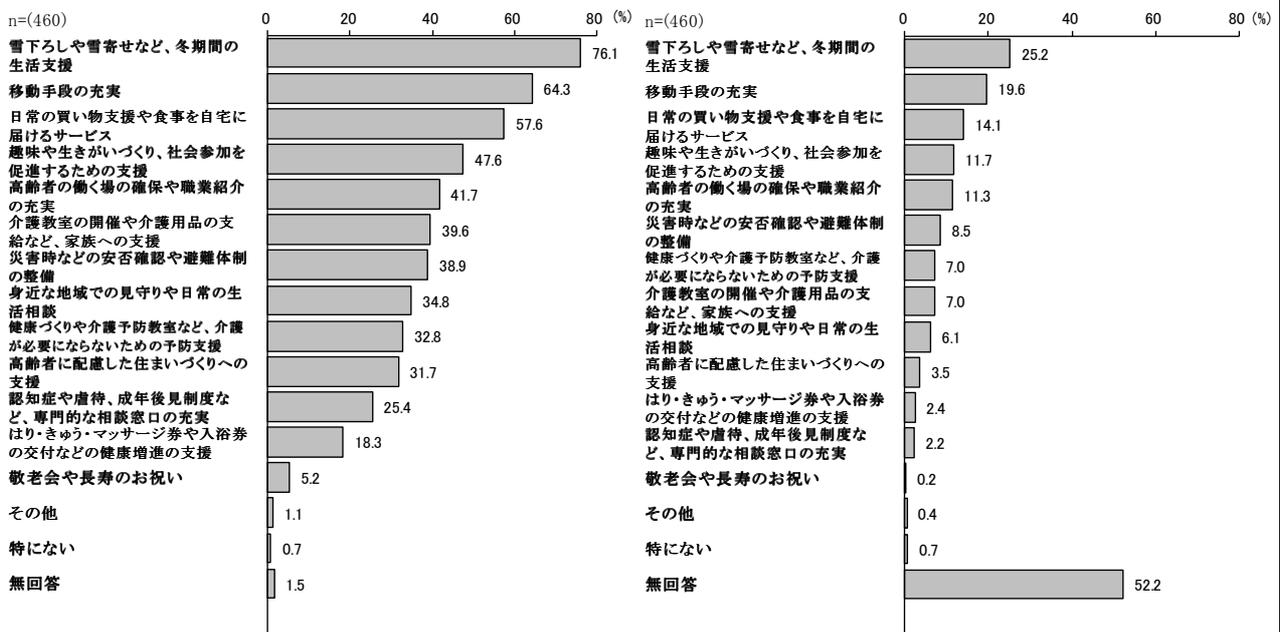
（1）いきいきと暮らし続けるために必要な施策・事業

問 50 自分が将来、高齢者になったとき、いきいきと暮らし続けることができる社会を築くために、どのような施策・事業が重要だと思いますか（あてはまる項目すべてに○、より重要だとする項目3つに◎）

《今回結果》

【必要だと思う項目】

【より重要だと思う項目】

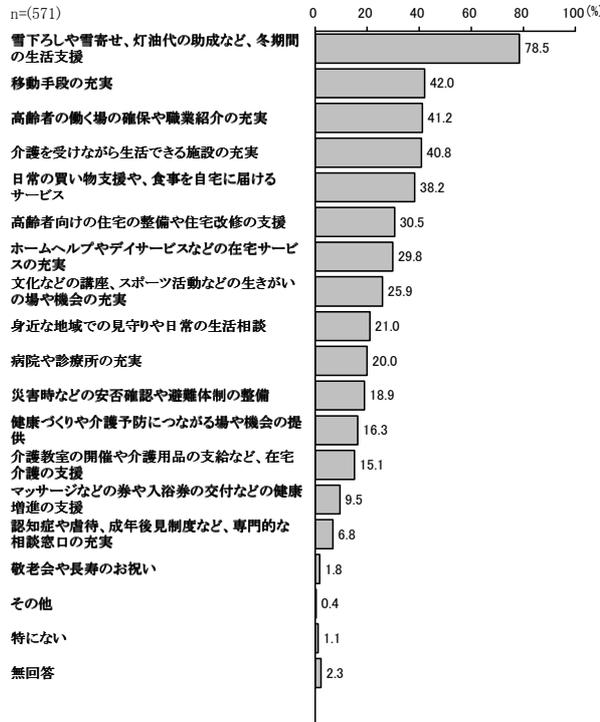


いきいきと暮らし続けるために重要な施策・事業をたずねたところ、「雪下ろしや雪寄せなど、冬期間の生活支援」が76.1%と最も多く、以下「移動手段の充実」(64.3%)、「日常の買い物支援や食事を自宅に届けるサービス」(57.6%)、「趣味や生きがいがづくり、社会参加を促進するための支援」(47.6%)、「高齢者の働く場の確保や職業紹介の充実」(41.7%)、「介護教室の開催や介護用品の支給など、家族への支援」(39.6%)、「災害時などの安否確認や避難体制の整備」(38.9%) などとなっている。

より重要な施策・事業をたずねたところ、「雪下ろしや雪寄せなど、冬期間の生活支援」が25.2%と最も多く、以下「移動手段の充実」(19.6%)、「日常の買い物支援や食事を自宅に届けるサービス」(14.1%)、「趣味や生きがいがづくり、社会参加を促進するための支援」(11.7%)、「高齢者の働く場の確保や職業紹介の充実」(11.3%)、「災害時などの安否確認や避難体制の整備」(8.5%)、「健康づくりや介護予防教室など、介護が必要にならないための予防支援」及び「介護教室の開催や介護用品の支給など、家族への支援」(ともに7.0%) などとなっている。

《前回結果》

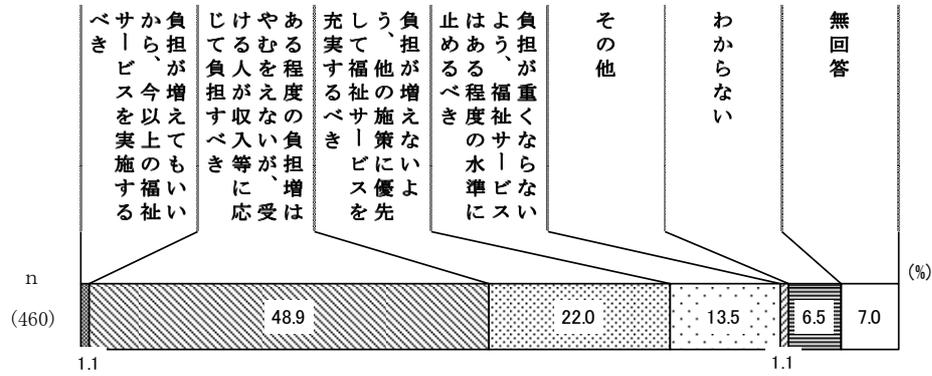
問 50 自分が将来、高齢者になったとき、いきいきと暮らし続けることができる社会を築くために、どのような施策・事業が重要だと思いますか（より重要だと思う項目5つまで◎）



前回結果と比較してみると、選択肢が異なるため参考程度となるが、前回同様「雪下ろしや雪寄せなど、冬期間の生活支援」が最も多く7割以上を占めている。また、「移動手段の充実」及び「日常の買い物支援や食事を自宅に届けるサービス」の割合が前回よりも多くなっている。

（2）高齢者にかかる福祉サービス費用負担について

問 51 市では介護保険サービス以外にも高齢者への福祉サービスを行っていますが、それにかかる費用負担についてどのように思いますか。（あなたの考えに最も近いもの一つに○）



高齢者にかかる福祉サービス費用負担についてたずねたところ、「ある程度の負担増はやむをえないが、受ける人が収入等に応じて負担すべき」が48.9%と最も多く、以下「負担が増えないよう、他の施策に優先して福祉サービスを充実すべき」(22.0%)、「負担が重くならないよう、福祉サービスはある程度の水準に止めるべき」(13.5%) などとなっている。

資料



資料

1. 自由意見

(1) 件数表

【第1号被保険者（65歳以上）】

意見数 419件（うち2件は自由意見のみ有効）

順位	意見内容	件数	順位	意見内容	件数
1	経済的負担	80	11	感謝	9
2	高齢者施策への要望・提言	62	12	（高齢者以外の）福祉サービス	5
3	日常生活	52	12	地域住民の相互協力や地域活動	5
4	介護保険制度	43	14	介護者負担	4
5	行政への要望・提言など	35	14	若年世代への施策	4
6	介護保険サービス	34	16	医療や医療機関等の充実	3
7	アンケートの感想	13	17	要介護認定への要望・提言	2
7	相談窓口や情報提供	13	18	社会環境の整備	1
9	交通手段の確保	12	19	その他	30
9	高齢者福祉サービス	12		総計	419

【第2号被保険者（40～64歳）】

意見数 103件

順位	意見内容	件数	順位	意見内容	件数
1	相談窓口や情報提供	13	11	（高齢者以外の）福祉サービス	3
2	経済的負担	11	11	アンケートの感想	3
2	日常生活	11	13	医療や医療機関等の充実	2
2	高齢者施策への要望・提言	11	13	感謝	2
5	介護保険サービス	10	13	高齢者福祉サービス	2
5	行政への要望・提言など	10	16	社会環境の整備	1
7	介護者負担	5	16	地域住民の相互協力や地域活動	1
7	介護保険制度	5	16	要介護認定への要望・提言	1
7	交通手段の確保	5	19	その他	2
7	若年世代への施策	5		総計	103

(2) 意見内容 (※本アンケートの趣旨にあった記載のみ掲載します。)

【第1号被保険者 (65歳以上)】

1位 経済的負担

- 福祉、福祉と言って介護保険料をあげられるとこまります。だって年金でくらしているのですから!!
- 私達にとっては高いなあと思っています。
- 年金生活で、生活できない。
- 税金が高すぎる。健康保険料、介護保険など年々高くなり、税金を納めて生活が出来ない。収入のないのにどこから税金を掛けて生きていくのか。年令が高くなるにつれ、高齢者の生きて行く負担は余りにも大きすぎる。国や県の施策をみんなで考えてもらいたい。
- 介護保険料が年金の額からすれば高すぎると思う!
- 介護保険料が少し高いと思う。
- これ以上私達の年金も下がらないようにおねがいします。
- 介護保険料が高すぎる。
- 介護保険料等の引き落とし(口座より)が多くなり、この先の生活に不安があります。国民年金生活ですので・・・。
- 将来、介護サービスや福祉施設を利用する場合、年金でまかなえられるか不安である。
- これ以上介護保険料が高くならないようお願いしたい。それぞれ家庭の事情が違い、生活費がかさむ家庭もある。年金引き下げとますます生活が大変になる感じです。
- これ以上の負担は増々生活を苦しくする。
- 子供達も親の年金等あてにして親に金を出させ生活しているものが多いようです。年金で介護等うけられるようにして欲しいです。子供達の負担を少なくして欲しいです。長生きして家族に申し訳がないと思わないような世の中であって欲しい。金がかかると今の子供達早く死ぬことを願っているようです。
- 高齢者の年金暮らしをして居る我々からあんまり税金を取らない様をお願いしたいものです。
- 介護保険料の高額にはびっくりです。小さな店をやっていますが売上の10%以上を納めています(収入ではありません)。
- 年金収入が少ない。子供の収入が少ない。(孫にもお金がかかり)税金は多い。介護保険をかけるのが(上げる)のが大変だと思っています。
- 介護保険料の負担が重い(高額すぎる)。
- 年金でまかなえるようになればよい。
- 今は動けますが、これからは介護は100%必要になると考えています。年金は少しづつ減っているのが現実であり、年金内で介護、福祉等受けられることが願いでもあり、心配でもあります。
- 年金の割合に対して介護保険料が高いと思います。
- 年金額が減る一方でいろんな保険料等の税金が上るのはいかがなものかと思う。少ない年金で生活する人は苦しくなる一方ではないかと思う。
- 今、自分が介護を受けていないから掛金ばかり目についている。利用している方ももっと負担させてもいいのでは?
- 年金生活者としてはこれ以上減らさないで欲しい。それなりに若い時から働いたが、税金は勿論の事、沢山払って来たつもり、仕事中は寄付もして来ましたので、今のままで暮らして生きれば幸せ。同居にしてもそれぞれ子供(孫)に教育がかかるから・・・。
- 私共はまだ一度も介護保険を利用しておりません。でも今後利用する機会がやってくると思います。年金のみの収入で支払い能力があるかどうか心配です。
- 介護保険料が高い。80才を超える高齢者で介護を受けていない者ですが・・・!

- 年金で生活に困らないようにお願いします。
- 介護保険の税金が高すぎる。
- 介護保険料も高いしもし有料施設など利用した時の負担は高いと思う。年寄りをかかえた家族は生活がなりたたなくなる。
- 後期高齢者の税、高すぎ大変です。
- 介護保険料が高いと思う。
- 介護保険料高すぎる。
- 保険料が高すぎる。年金からの引落しは止めた方が良い。国民全てが入らなければならないというのを止めてほしい。強制化しないでほしい。
- 年金額が少ないので、これから先のことを考えると不安になる時があります。介護保険制度とかよくわかりません。
- 介護保険が高すぎる。保健福祉等をもっと安く利用出来るように。
- 5~60年も医者にかからず来たのにこれから医師の手にかかるという時に保険料など上げるなんておかしい。今迄の保険料はどこへ行ったのかな。
- これ以上保険料を高くするのは勘弁して欲しい。
- 介護保険料等これから納めるのに負担が多すぎると生活が苦しくなる。
- 年金生活の為介護保険の上り方は大変です。
- 介護保険料が高い。後期高齢者医療保険が高すぎる。色々大変でしょうがよろしくおねがいします。
- 年金から介護保険等差し引かれていますが、色々な事情で出費の多い家庭は大変です。それは関係ない!!と言われるでしょうが、不安な生活が老後は待っているような気がします。
- 年金もらっても引かれるのが多くて、病院にも行かなきゃならないのに大変だと聞きます!!若い人達が地元で元気に働ける場所がいっぱいあり、子供達がたくさん生まれ、育てやすい環境作りの方を優先してほしいと思います。
- 国民年金では電気や水道や色々かかりますので、どこにも行かれません。固定資産税や色々かかります。国民年金も少しあげてほしい。お願いします。灯油や米やガス。
- 介護保険料が高すぎます。
- 介護保険をかけて一年なるころですが、もらう年金が少なくてびっくり。自分なりに家の生活費に出すと、自分の小遣いがぎりぎりです。
- 85才ですが介護保険利用していないので保険料安くしてほしいです。
- 保険料や税金は目にみえる年金や収入などに課税されて、貯金などたくさんある人には、いろいろ恩恵があるのでいつも不公平だと思っている。私のまわりに4人このアンケートが来たと言う人のことばとして、あまりにも面倒くさくていいかげんに書いてやると言う人がほとんどでした。これでは正しい意見や結果はでないのではないかと感じてしまいました。
- 私達は負担金がふえると何も出来ないと思っています。
- 夫婦二人の年金生活。まだなんとか介護は必要ではありませんが、冬になると雪下ろし代と灯油代に頭をなやませています。なにかよい方法はないものでしょうか・・・。
- 介護保険制度を維持するため、保健福祉施策を充実させるためにはお金が必要、と理解しているので、要望など何も言うことはありませんが、それにしても年金暮らしの者にとっては大変きびしい世の中です。
- 年金額が少ないので、介護保険料など上ると生活など苦しくなるので考えてほしいと思います。
- 介護保険制度を利用する人と利用しない人の保険料の差があってもよいのではないのでしょうか。
- 年金収入が少ないので、介護保険料の支払いが困難です。
- 収入の多い家庭から徴収する。
- 本人があまりお金をかけずに生活を出来る様に生活を望みます。私は年金だけの生活ですので、この先は心配です。1に2にもお金がなければ生きていけない毎日ですので心配です。よろしくお願いします。

- 収入が年金だけの場合、各種保険料の支出が家計を圧迫して苦しいので、これ以上は上げないで欲しい（収入が多い人の場合はやむを得ませんが・・・）。母の介護の日々で、介護者の心が不健康になります。そういう場合に対処していただければありがたいです。
- 今、私は76才で98才の介護（4）の母を、デイサービス、ショートステイ、訪問介護さんに行っていております。又、1ヶ月1回通院も有りタクシー代が大変です。町の方にもお願いしておりますが、よろしくお願ひします。
- 年金が下がり、物価の値上がりなどで生活が苦しい。大変です。
- 介護保険を65才～70才からの支払いにして欲しい。
- 介護保険が高すぎるので大変です。
- 介護保険料が高すぎる。
- 90才代の両親と身障者の配偶者を介護している身として、一番心配な事は経済的にどこまで持ち堪える事が出来るかという事です。自分が病気になるか家族がどうなるのか。総合的観点から抜本的政策を要望します。
- 年金受入金の多い人はそれなりに払うべきだと思う。低年金者は毎日が苦しいし悲しいが、その為生きる手段を必死に考え、無駄の無い生活を身につけられ元気に生活出来る様願っています。苦しくてもやりくり出来るのであれば、他人には話したくないものです。
- 年金を減らされるのは困る（国民年金）。
- 介護保険料、後期高齢者医療保険、これ以上（今迄よりも）高くしないで下さい。
- 年金は減る一方のようですが、介護保険料が高すぎる。介護を受ける方の負担を今より多くした方が良い（特に農業等の収入の度合が見えない家庭で）。
- 収入に対し介護保険料が高く負担が重い。
- 少ない国民年金の中から介護料金の負担は重すぎる。私達高齢者同士では、皆、負担が大きいと感じている。話題はいつも同じである。
- 福祉も大切ですが私共少ない年金で暮らす者の事も少しは改めてほしいと思います。年金から引かれるお金多すぎます。
- 少ない国民年金から介護保険を納めなければならないのは苦痛である。年金の多い人から多くとる様制度を改めて頂きたい。
- 介護保険については手取り収入に比べて率が高い。
- 個人の介護保険料負担の定め方には、充分な調査が必要に思う。この方がどうしてこの安価な支払いなのかと思う場合がある。
- 法律や（行政）の事は良くわかりませんが、介護保険料の年金からのてんびきが高い様に思う。
- 国民年金者は介護保険料、後期高齢者支援料を差引くと生活はゆるくありません。
- 介護保険が高く国民年金だけでは生活が大変です。
- 年金生活者にとって、今現在の介護保険料が高額で生活していく上でかなり大変です。先がとても不安です。
- さまざまな介護の話を書くと自分はまだ手がかからないが、本当に自分はどのようにして将来が不安でなりません。そればかり考えて毎日を過ごしてません。自分がそうになったら金がかかることが一番きになります。今の年金毎年介護で引かれてゆくの心配です。あまり引かれないようにおねがいします。政府の方たちばかり多くの金もらって、一般の方はどうして生活していったらとそればかりを毎日思っております。自分が立場になれば文なしになるよう考えてもらいたいです。それを考えると腹がたってやっぱり自殺したくなります。
- 利用した人もしない人も同じ金額はどうかと思う。多く使った人はそれなりに負担すべきではないでしょうか。
- 介護保険料が高すぎる。
- あまり税金を取らないようにしてほしい。
- 介護保険金もう少しやすくしてほしいです。お願いします。

2位 高齢者施策への要望・提言

- 1人で暮らしていると一日中誰とも話さない日があります。お忙しいとは思いますが、こんな事があります、気をつけて下さい、みたいな連絡がほしいものです。
- 介護の支援などはまだ受けていませんが、これ以上若い世代に負担かけるのが心苦しい気がしています。
- 制度、施策は良くわからないですけど、若く働く世代の負担が重くならない様にするべきだと思う。
- 支給年金額の低い家庭には、それなりの生活が出来る様な福祉サービスをお願いしたいです。
- 高齢者に配慮してほしい。
- 私達高齢者は、一時期の生活、社会を守って来た者ですが、だからと言って特にこうしてもらいたいとは申しませんし、これからの若い人にあまり負担にならない程度の対応をお願いします。
- 税金の面で、高齢者の保険料値上げ等理解出来ません。年金の減額等何とかしてほしいと思います。
- 出来る限り介護を受けず、自助努力で生活を続けたいが、いざ体が利かなくなった場合、施設不足で入れないとの声が多く聞こえる。少子高齢化で老々介護で難儀している姿を見るに付け、廃校等を利用し、仕事のない人達に対して少額でも仕方ないがボランティア方式で手伝って頂き、介護の道を開けないものか。
- 老人の人は医療費少ないからと言って、飲まない薬までもらってきている様なので、そんな事をもっと考えるべきと思う。
- 上記（問14）は②としたが、これは理想。現実には収入が少なく負担増は難しい。働く世代を気にしているが、若者が老人を養うのは古来よりの日本の文化。自己犠牲とは言わないが、そうした情操教育をもっと進めてもよいのでは。資源のない日本としては家族構成の在り方など親は使い捨てている。
- 病院に行ってみるとたいしたことのないような人もいるように感じる。もらって来る薬も多すぎる。貼り薬など余っている人もいる。これではいくら増額しても足りるわけがない。保険料を払っているからと言って病院に行きすぎる。
- 国民年金だけの低所得者への手厚い支援を要望。
- 高齢者だからといって、働く場を提供してくれなく何の生きがいもなく、経済的にも生活が大変な世相にあって、働く場があることは生きがいにもなり、高齢者に見合った職業の紹介を特に希望するものです。介護保険を使わない様にするためにも。
- 息子たちは県外でパート社員や派遣社員で働いています。部屋代を払っての生活で、親に仕送り出来る余裕はないようです。一年でも早く低国民年金の者でも入れるような施設が出来る事を願っています。年々体調の悪い所が増えていてもがまんしてしまいます。つらいです。どんなに貧しいサービスでも施設に入れるだけでもありがたいです。
- 数年前、親の介護では施設と病院の入退院の繰り返しで、その都度受け入れ先に苦勞致しました。家族の収入に応じた施設の紹介などあったらなあと思いました。格差社会ですが、介護だけは平等に受けられますように願っております。
- ある一定のサービス水準を落とすことのない様に願いたい水準維持のための負担増はやむを得ないが、同時に③も考慮すべきであると考えます。
- ある程度の負担増があっても、現在の介護サービス、福祉制度を維持してもらいたい。
- 元気な高齢者が働ける場所がもっとあれば良いと思う。
- 国民年金で入所出来る所がほしいです。
- 少子高齢化の進行に伴い、介護制度の充実は元より特養等の施設入所が難しい今後なんとか増設してほしい。(例)学校等廃校を利用。若手介護員の養成(待遇面でも)。市としても国、県と共に考えてほしい。
- 今後も核家族化が進んで来るので、介護施設を増設してもらいたい。問題は地方自治体だけでは解決できない。国の支援必須だ!!
- 私達には何の臨時給付金などありません。少しでもいいからみんなにお金をくださったら、高齢者は喜ぶことができると思います。近所の人達がもらって自分がもらうことができないので残念です。おもしろくありません。

- 少子高齢化進んでいる世の中、昔とちがって農業をやっていたら生活していただける社会でない、現金生活なので若い人達が大変だと思います。ですから65才から病気になって認知症になったら施設に入れる様にのぞみたい。受付けても待つ、待つなので、もう少し施設を増やして家族にあまり迷惑をかけないように廃校など利用してご要望したいです。
- 介護保険内で安心して暮らせる生活を望みます。
- 高齢になってもまだまだ動けるし作業が出来る方がたくさんおられると思います。ショートステイ、介護施設、高齢な1人住まいの方、買物等を手伝える方を活用して、動いた、働いた、作業した時間を点数制にして、預金のようにその分自分が使えるような制度を考えたら、高齢な元氣者が活用されるのではと思います。それだけ社会に貢献した証として、無駄に余生を費やさせない、甘やかさせないため。
- 今は元気でアルバイトなどをして働いてもいるので精神的にもハリがあると思う。働くこと活動することを望んでいる人も多いと思う。その機会作りが大切だ。福祉サービスと負担のバランスが難しいと思うが、必要な施策を見極めることも大切と思う。
- 私どもの様に国民年金だけの収入では施設に入れるか否か、それが心配です。年金でお世話になれる様にしてください。
- 設問に対する回答はあくまでも現時点での家庭環境等を考えてのものであります。家庭環境が崩れれば思いどおりにはいかないと思います。予防と健康維持の施策が必要だと思います。
- 一生かけて老後の準備をしてきました。しかし不足や自分ではどうにもならないことが出てくるでしょう。今の若い方も、年はすぐとります。御自分が高齢になったときどうしてほしいかを描いてから施策を立てて下さることを望みます。
- 年金で介護サービスを受けられる、サービス、施設の充実。いつでも、どこでも交流できる場所。老人が出来る趣味をもってる、人の紹介で交流の場所を作る。
- 高齢になってからも毎日何かやる事がある人ほど健康でいられると思います。何かやる事は仕事に限らず、趣味や近所との交流も含んでいます。とにかく何もする事がなく無味乾燥な時間を毎日過ごさなければならない事ほど、健康に良くない事はないと思います。高齢社会の長い先を見据えた効果的な施策をお願いします。
- 自宅で看取ることが出来る制度をもっと充実できないのでしょうか（医師の往診制度等）。
- 高齢者が年々増加して行くので、各自が自覚するような施策を考えて行くべきだと思っております。
- 一人暮らしが増えている現状、相互支え合う宅老の考えを持った福祉を望みたい。
- 高齢者が益々増えることを考え、福祉施設をもっと増やすべきだと思う。
- 国民年金で支払える様な施設が多く増えてほしい。
- 年寄りを大事にしすぎる。もっとこれからの若い人を考えるべき。年寄りにお金のかけすぎ。
- やれ福祉、福祉と社会に甘える制度は良くない。年寄も、福祉の面倒を受けている人も、あまり甘えず、自力で生活するよう考えるべきだ。今の社会は行きすぎだと思います。
- いろいろな事情があると思いますが、介護施設をもう少し増やして、入所しやすい様にしてもらいたい。入所待ちの人達がたくさん居るという事をよく聞きます。
- 現在週3～4日勤務をしておりますので、まだ実感として高齢者の気持ではありませんが、やがて生き生きと暮らし続ける為には施策として社会参加。健康な人への職業紹介、充実が重要であると思います。
- 病気の人が家族に居ても、見てくれる人がいればヘルパーさん方の手をかり、家族が見るべきではないですか？今のままでは決して良くはない気がします。みんなお金のために働き、お金のために困っている様でたまりません。
- 施設に希望があれば入れるように増やしてもらいたい。
- 個人個人の収入に応じた入所施設ができれば良い（ムリだけど）。
- 在宅福祉と施設福祉の格差ない（との記入と思われる）負担が必要でないか？
- 福祉施設等を人の集まりの少ない、または山中とか人の顔さえ良く見えない、見えない所に施設するのは止めた方がいい。

- 介護保険料、今以上高くない工夫、検討を要望します。介護予防、健康増進の教室、講話などの回数を増やし、参加費などの料金もあまり負担ならない程度にして欲しい。年末の忙しい時期のアンケートではなくもっと早い時期を希望します!!
- 高齢化の比率わるいので、やはり相応の対応が求められるのは当然のことなので、その観点から先ず健康であることへのテーマを、市全体でもっと重大に真剣に具体化への議論を深めることが肝要でありましょう。
- 問 14 (4) 項をもっと充実に考えてほしい。
- 少子高齢化、人口減少の続く今日、働く世代の負担軽減に配慮すべきだと思います。福祉サービスもある程度水準に止め置くべきです。働き盛り世代が老後に入ったときのことも十分考慮すべきではないでしょうか。
- 介護する人材の確保が大事だと思います。
- 年金だけで生活している人達が心配なく入れる施設を作ってほしい!
- 健康な人でも高齢な人が希望すれば入所出来る様な共同住宅があれば良いかと思っています。有料が良いです(国民年金内だと不足かな)。
- 年金で入れる施設を増やしてほしい。市営の施設を増やしてほしい。
- 可能な限り、介護・福祉サービスに頼らない「頑張って自分でやる」意識の推奨を進めるべきではないか?
- 問 13 の追加になりますが、自分達の年になるとまだまだ働ける人が沢山います。家に居て出来る事、外で出来る事がなかなかありません(シルバー人材に来るのは限られている)。あるとそれに向かってメリハリが出来る生活になるのではないかと思います。
- 制度については、国、県、市が決めた事なので変えられないと思うが、内容の充実を期待する。・施策についてはいろいろな工夫ができると思う。牛乳を飲むより、配達の方が健康といわれるように、「運動」「食事」「肥満防止」「ストレス解消」等、病気、老化の予防対策を充実してもらいたい。※一番の予防対策はできるだけ長く仕事をもち、収入と健康を保つことである。そのための努力も必要である。
- 高齢化の進行により、国の財政状況のひっばくにより支援と低下と負担の増加(年金の減少)。
- 少額の年金で施設を希望するとすると、同居している家族に負担を掛けるのが心配。家庭がこわれない幸せにする福祉施策を考えてもらいたい。
- 健康づくり活動を参加しやすい企画を作ってほしいと思います。
- 老人の遊び場を作ってほしい。
- 少し場違いの要望ですが、少子高齢化が進んでいます(特に横手では)。その為の少子化対策には特に予算を多く措置してもらいたい。高齢者が少子化歯止めの為に何かできないか考えてください。元気な高齢者が進んでボランティア活動(有償でも無償でも)出来る場所と機会を提供してほしい。老人は誰かの役に立ちたいと皆思っている。それが生きがいであり健康長寿につながると。
- 特養のような施設がほしい。年金生活者が入れる中の中か下でもよいと思う。1人で何とか生活できる人、少し手をかりる人、等位の人が入る施設。あと20年位で施設も余ると思います。それまでの間。

3位 日常生活

- 今現在は安定した生活を送っていると思います。この先はどう変わるかわかりませんが、皆さんと会話をしたり笑ったりしています。
- 足が悪いので困っています。
- これからも健康寿命でいたいし、自分なりに食に努めできる物は自分で作り、家族の健康に努めて福祉施策は充実していると思います。介護の保険使わないようにしたい。
- この先長生きすると、自分・相手に対して不安がある。
- 介護保険制度、保健福祉施策、共にみんなに配慮された良い政策だと思います。これに対する国や市の予算の割合は相当なものです。そこを考えながら個人がなるべく元気で暮らせるよう、自分が自分に配慮しながら暮らしたいと思います。

- 高血圧症の他は今迄入院したこともないし、毎週私にとっては生きがいのボウリングで毎回上位入賞出来る様、日々訓練、またジョギングしてるので、自分では今迄絶好調でかつ幸せの人生だったので、高齢とか福祉等について無関心だったので、施策、事業についてわかりません。
- まず、自分の事は自分でやれるよう健康で動けるように気を付ける事だと思う。前を向いて明るくいきましょう。気持ちだけでも・・・。
- 現在、仕事（自営）をしておる身なので、何とも答えられない部分があります（1人1人がもう少し他にたよらず、少しでも自分で出来る様努力するべきと思われる）。
- これいじょうみんなに迷惑かけないよう健康でいたい。
- お袋を100歳迄介護し自宅で死亡されました。デイサービス、ショートステイも受けましたが、高齢のショートステイは受けさせたくなかったと思っております。現在妻はまだ軽度のアルツハイマーですが、進んで来ておるのが分かります。正直ヘルパーや施設の世話にはなりたくありません。二人でやれるところ迄頑張りたいと思っております。
- 少ない年金で生活して居りますが、どうにか毎日先ずは過ごして居るわけで、もし介護が本当に必要になったらどのようなものやらそれはわからない。
- 息子は良くしてくれるが嫁さんは何もしてくれない。自分の事は今の所どうにか一人やっているがちょっときびしい。
- 年々体力の低下を感じつつ、それなりに動き、自力で出来るよう心がけて暮らそうと思っております。が、いつかはお世話になる時が来るやも知れず、そろそろ何か考えておかなければ、と今回思いました。
- 長く介護を経験して居たので介護は大変です。認知せぬよう私は・・・。頑張っていきたいと常日頃1日1生自分の事ですので子供達には迷惑かけぬよう趣味を重んじております。
- 高齢なので1人暮らしだし、だれかのためになるような事をしたいと思いますが、何も出来ません。せめて他人に迷惑をかけないようにと気をつけて生きて行きます。
- 自分はまだ前の仕事につきたいと考えていますが、大工と土工等をやっていくらでも稼ぎたいと思い、嫁さんもほしいと考えています。福祉には、とてもありがたいと、今はちょっと不満ですが！
- 私事ですが、今82才だけど、主人83才で介護サービス受けてます。主人の介護とひ孫見てます。2才と4才を。
- 今の所健康だと思っているので、その時になってみないと男3人の子がいるがみんな離れているので何とかかなと思う？
- 米作りの農家は収入が少なく、子供を育てるため若い人達はみんな働きに出ております。こんなとき元気な高齢者はいいいですが、病気になったりすると若い人達に大きな負担がかかります。お金の面でも。家庭内の空気も悪くなります。みんながまんしてがんばっておりますが、私はこの頃よく考えることがあります。私の様な(89才)老人が長生きして若い人達に負担をかけて申し訳なくなる。出来るだけ迷惑をかけないように病気しないよう1人で気をつけながら生きております。
- 私は母・夫・独身の息子と4人家族ですが、母と夫はできるところまで自分で介護する覚悟でいますが、自分は息子の世話にならず施設に入りたい。友人の中には、夫婦2人で生活しているが、夫に先立たれると年金も少なく施設にも入れず、どうなることかと悲観している人もいます。これからますます高齢者増になっていく訳だが、どうなっていくか心配している。
- できるだけそのような施策・制度を利用しないで生活したいです。
- 何をしても、人数がまとまりがない。私の思い。話をしても耳をむけてくれないと思っています。外に出る参加と言ってますが、車は出せない。教室の友達、その他の人、思いが一緒です。この年で書ける事はまとまりがないと思いますが読んでね。
- 現実に自分のことを考えた時に、わからないことがとても多く難問です。毎日高齢者と生活していて日々悩み考えさせられます。中々思うように(?)いかず、高齢者には”この年になった気持ちはわからねべ”と言われると返す言葉がありません。高齢者はあとは病院通いもいららないと言う。しかし、通院しています。家族の手助けなしでは出来る事ではありません。

- 未だあまり深刻に考えたことがない。家で終わるのが当たり前と思う。
- 私は68才です。90才の母と暮らしています。高齢者の健康と福祉に関するアンケートすべてが不安です。
- 毎日の生活が大変なのに、世間の変化が早過ぎて大変です。
- ※現在腰痛が悪く苦痛が出るので体を使用する事は無理です。
- 長生きしても何もたのしくないですね。
- 私の家は車道から坂を登って行かなければならないので、車いすは使えません。特に冬は大変です。1人で歩けなくなった時は施設等に入らなければならないと思っています。それが心配です。
- 老人になって、年金の格差、生活の格差等どうにもならない事ですが、この先を考える、と言う事は大変つらい、きびしい物があります。
- 介護とか福祉とかあまりにも頼りすぎてると思う。医療にしても肌がかさついたから医者へ行くとかバカみたい
に医者へ行きたがる人多すぎる。みんなで気をつけたいものです。
- 出来るだけ、自分自身気を付けて、介護を受けずに治せる生活を送りたいものと思っておりますが、数年先には
どうなるものか、不安が無いわけでは有りません。その節はよろしくお願い致します。
- 高齢にはなりましたがまだ介護に関しては関心がありませんでした。これから勉強します。
- 介護保険制度や保健福祉策があることがありがたいことだと思うし、かといって余りにも甘えることなく、自分
のことは出来るだけ自分で行動出来る様頑張ることも必要だと思います。
- 老人二人が動けない状況にあるので、息子が働けないで困っています。何かしらの支援等受けられたらと思っ
ています。
- 自分自身の健康に気を付けて、あまり制度を頼らないように気をつけて、長生きしても人に迷惑のかけないで終
れることを心がけたいです。働いている人達の重荷にならないために!!
- 日頃から体調管理に努め、健康寿命を延ばしたい。
- 近い将来現実のものとなるが・・・現在は実感として看護されるイメージが湧かない。でも出来れば家族に過度
の迷惑はかけたくないのが本音である。
- 大変に恥ずかしいのですが、末期状態を考えるのは恐くてなるべく避けて通って来まして、勇気のないことと反
省します。近いうちに自分の年齢、身体状態を考慮すれば決断する時期なのかと思います。
- 出来るだけ自分で出来るようにがんばりたいです。ボケが怖いです。
- 77才で、家内も元気で暮らしておりますので、介護が必要になったら大変だろうなと思います。今のところ実感
がないので、ご質問に対して”わからない”が多くすみませんでした。
- 今現在は足が痛いとか腰が痛いとか思いながらも何とか元気に暮らしていますが、将来の事は経済的不安や身体
的不安はあります。どうして欲しいかなどは今のところわかりません。
- なるべくなら介護保険をつかわないように生活して元気で長生きしたいと思います。
- 一般的に会話の中にて、制度の把握または施設の内容等について知識が薄い日常感じます。
- このような制度がある事に感謝し、さらに充実したものになるよう願っています。今、現在は何とか生活に支障
なく暮らしていますが、間もなく来るだろう介護の事を考えると不安はあります。一人暮らしだけど出来るだけ
地域の一員として生活して行けたらと思っています。
- 介護が必要になっても住み慣れた土地や住まいで生活をしたいと思えます。保健医療、福祉サービスはますます
高齢にむかう私にとってはありがたいです。ただ費用の事が心配です。
- 今はまだ介護保険を利用していませんが、いずれはなるだろうと思うので心配です。今介護3です。
- 介護保険制度がたびたび変わりますが、私は唯その方法にしたがうだけです、目まぐるしさに納得する迄時
間がかかります。老人でもあまり周りに迷惑かけず頑張りたいと思っています。
- 日本はありがたいと思っております。甘えない心がけで行きたいです。

- なるべく元気でいろいろ仕事をして毎日を楽しくすごして生きたいと思います。
- 高齢になると一日一日がつらく感じる。よい施設にでも入ったらよいのかな？
- 戦争でろくな食事なく一生懸命に生き、又働き、最後は施設に入れられ人生ではかない。何のために行きて来た事に不まんだらけ。情けない自分をなぐさめ毎日生きようと考えています（字がへたですまない）。良い世中を祈り勝負けの人生。正月も楽しみもない笑いあう事はない情けない人生で勝つ。

4位 介護保険制度

- 今現在介護保険は受けていないが、かならず受ける時がくるのであまり負担額がかかりません様をお願いしたいです！
- 介護保険制度がスムーズに運用可能な時代が望ましい。要は介護保険に頼らず暮らせるような老後を過ごしたいが・・・。
- 介護保険制度の活用をあまりよくわからない人が多い。もっとわかりやすく元気な内にみんながおぼえておく必要があると思う。
- 介護保険制度は保険料を納めているが高齢者の助け合いだと思い払っている。実際にどのような時にどのような制度なのか調べていないため不明です。
- 介護を受けた人、受けられない人、受けなくても良い人、等々、保険料の払い込みに対して格差が大きく不公平と思います。
- 介護保険は高くなる一方で、いざ介護を受けようとする、あれこれと規制があって、なかなか思う様にいかないと、よく知人や近所の人に聞きました。私の母もそうでした。もう少し満足のいくやり方を考えてもらいたいと思います。ケアマネジャーやヘルパーの人によっては、気分悪くする事も多いと聞きました。御苦労しているとは思いますが、そのへんのところを考慮してほしいと思います。
- 介護保険料が高すぎるような気がします。福祉サービスを受ける人にはもっと利用料金を上げるべきです。
- 諸税、介護保険料など一切支払わず、まだまだ動ける状態なのに、毎日ヘルパーが来て、除雪、買い物、フロ入浴などの援助を受けている人がいるが、あまりにも不公平だと思う。40代の男性が毎日出歩き、健康（やや）と思うのに、生活保護を受けて働く意欲を無くしている。きびしい指導も必要と思われるがー。
- 少額の年金で自給自足しているが、いつまで出来るかわからない。介護保険料の負担が大きくて、サービスを使っていない人にはそれなりの返金制度が必要だと思う。使っている人は返金を受けているらしいが、大いに不満だ。
- 強制的に支払う介護保険ですが、いざとなると利用できるのでしょうか。福祉を受ける者が多くなるのは確実に、元気でいたいと願っているが明日の事は不明。全く利用しないで終わる者もある。しかしこれらには何のメリットもない。不公平・・・。助け合いと言うけど!!
- 高齢年金生活者にも段階がありますが、年金額があがらず少にも関わらず、改正されるごとに介護保険料が増額されます。もっと福祉政策して頂きたい。あまり他人に迷惑かけずに終わりたい、昨今。
- 年金から介護保険が引き落としされますが、私はまだ介護受けておりませんが、保険をかけていけばただにならないのが不満です。介護される側になった時国民年金でするので淋しく感じます。その辺のことをわかりやすく知りたいです。
- 介護保険料が若い人方からも徴収されています。介護してくれる施設をもっと増やして、若い世代になるべく世話のかけないようになってほしいし、また軽い介護の必要な人でも気軽に入所できるようになれば良です。
- 年金生活なので保険制度もう少しいかんしてほしい。このままで私が介護を必要となった場合しせつ等に入れる状態ではない。私ばかりではないと思います。本当に年金生活は苦しいです。
- 介護保険料は60歳からにすべきと思います。（保険料を低く押さえることが出来ると思います。）施設への入居が出来ず待機している人が多いと聞いています。施設の充実を望みます。
- 介護保険制度をあまり重くならない制度にしてもらいたい。
- 65才になったばかりですが、介護保険料が高額なのでびっくりしました。やはりそれだけ利用している人が多いと思います。自分で健康維持が大事だと実感しました。体力作りをして、元気に暮らしたいと思います。

- 収入の高い高齢者には、ある程度の負担をさせてもいいと思います。
- 年金高額所得者はすべての負担を多くすべきだと思います。特に80才以上で200万以上を受け取っている方は。
- 介護サービスを受けている人と受けていない人の差があった方が良いでしょう。
- 負担を増やすのは高収入の人が望む事で（充実したサービスが受けれるため）良いでしょうが、年金の低い高齢者には介護保険料もきつい方が多く居られます。その事も考慮した差のない（多少の差は仕方ない）福祉サービス水準にしていきたいと思います。
- 自己負担額の基準を広く検討してほしい。例：収入、家族状況、健康状況、個人の考え方等々。現在の税金、保健制度の負担額の考え方を見直す事。
- 福祉サービスなどを利用していない自立の高齢者に何らかのメリットを与えてもらいたい。不公平感が大きい制度だと思う。
- 行政が無理やり介護保険を費やす様な施策で、希望もしていない者まで集めて運用している状況を理解しかねる。従って利用しない者程、保険料のつけが大きくて納得しがたい次第である。
- 介護保険を利用しない（一定の期間）場合に、保険料の減額制度があれば良い。
- 今のところは、まだ元気なので、介護保険をかけていても何にそれが使われているのか分からなくて、ただ保険料をかけ捨てる様な気がします。もっと皆に使われている分野を明確に分かる様にして欲しいと思います。
- 年を重ねるごとにとっても心配です。あまりよく制度のこともわかりません。これからの1人になってからの生活が不安です。
- 介護保険は納付しつつも申し込み使用法とかがわかりません。元気な内に保険制度とか施設の申し込み方とか、老後自分または配偶者のために勉強したいものです。
- 手づきに長くかかるので短めにしてほしい。
- 介護保険制度についてほとんど知識がないのでとても心配です。勉強する機会を与えていただきたいと思います。
- 介護保険料を年金から天引は止めてほしい。
- 介護保険を納入するのは致し方ないにしても、介護サービスを受けずに他界した場合は見返金があってもと思う。
- 利用したことがないし、そのつもりもないのに介護保険料が高く、生活費を圧迫している。利用者負担を原則とすべきだと思う。社会保障として国税負担が望ましいのはいうまでもない（なお介護保険というより明らかに介護税という特別税の制度だと思う）。
- 両親とも介護及び福祉施設等利用しないで亡くなったもので、あまり制度等がわからない状態です。
- 現状は自宅で介護をするのはとても難しいと思う。生活していかなければならないし、自分の健康も維持する自信がない。介護保険制度がなければ皆共倒れだと思います。介護（母）13年歴ホーム利用6年、自分がたおれたからよくわかります。家族の協力なしだったから。
- 年間を通して制度利用皆無の人への還元制度を考慮すべきだ。
- 保険料と自己負担の割合を知りたい（施設を利用した場合）。
- 65才になったら、介護保険料がすごく高くなったのは利用する可能性が高くなったからですか？
- 長い間介護保険料を納付しておりますが、介護サービスを受けないである一定の年齢になったら「健康祝」の品を交付する（無理承知ですが・・・）。
- 介護支給券を要介護3以上でなくすべての介護者にください。低所得者に福祉の光を当てて！
- 介護度に応じた負担はやむを得ないが、やっぱり収入等に応じた利用料は”増”にすべきだと思います。
- 介護保険制度について自己負担を現状維持のままで。
- 介護保険料を個人の年金額だけで決めてほしい。

5位 行政への要望・提言など

- 上記標題については意見などなし。税金を無駄に使って箱物はいらぬ。いまのままで間に合っている。ただし、ドーム型の競技場、サッカー場が横手にほしい。
- 安心して長続きする施策をお願いする。
- 公的な施設を作ってほしい。
- 税金の無駄遣いをなくす。本当に困っている人を助ける。
- 市の人口が年々少なくなります。議員等の員数を減らして、福祉にその費用を振り向ける等の対策を考える時期に来ていると思います。
- 人気とり政策を止めてもらいたい。
- 介護施設に携わる職員の生活の保障充実をはかる待遇改善が安心安全の基と考えます。
- 高齢者とはどういう人の事を基準に判断するか？福祉施策とは？福祉サービスを充実させるには金がかかるが、これからは実行していかなければ将来若い人の負担が増える事はわかっている。人が安心して一生を終える事ができる社会、行政としては一番の課題では。他の施策も大事と思うが人の道として思う。
- 高齢者にとって、冬期間の雪対策は最大の心配事である。特に早朝ブルドーザーが門口に積み上げる雪の塊を処理する作業は体にこたえます。高齢化時代、道路の除雪は雪寄せよりも排雪優先の方法でやるべきではないでしょうか。
- 健康・福祉は公共事業と考える。雇用を増やし地域経済を活性化する。
- 今後増々使えるお金が少なくなるし、市役所での予算決議においても困難な状況が生じる事と思われるので、急務な対策が必要である。横手市自体も自立をするべし。
- (1) 介護施設等に入所希望の有る場合、中々入所が出来ないと聞くが出来るだけこたえる様に努力してもらいたい。(2) 雪寄せの対策 一番の関心事は雪寄せである。かなりの重労働である。市、県の除雪ブルドーザーは道路の除雪はきれいにされるが、その雪は敷地、入口に寄せられて行く。うらめしく思うのは私一人ではないだろう。高齢、病気の者にとっては一大事である。多少有償でも良いと思うが、年寄りで困っている家の前は加減してもらいたいが、除雪時は多少かげんが出来ると思うが、又小型ブルのチャーターetc. 市は真剣に考えてほしい。
- 十文字町の西方にもう一か所くらい介護施設があれば良いと思います。
- 現在行政の施策で良いと思います。※個(との記入と思われる)人認識で健康的な生活を望みます。
- 老人が安心して暮らせる町づくり。高橋大市長に期待しております。
- 自分が介護を受けなければならなくなった時十分希望通り受けられる様、市担当部局に今から節をお願いしておきます。
- 年金活用の失敗の責任を取らない政府や担当者を問題にして罰するべきだ!! そうしないとムダな税金の負担が今後も発生する!! 年金のスタートは自分達が納めた額を複利で運用し、子や孫達の世話にはならないシステムであった!! しかし、国の失政を国民に負担させるようになってしまい、残念である!! 政治家や役人は担当を代わることで、責任をのがれるシステムになっており、引き継ぎや責任を明確にする書類を重要にする政策が必要です!!
- 税金を増やして年金を減らす。それで一億総活躍では老人は追いついて各制度施策に頼れば良いのだが。
- 親の介護を長年してきましたが、色々な案件や、要望など、会議に上げてもらう様に言いましたが、全く伝わっておりませんでした。文面の会議だけでなく、一般介護人の声を取り上げていただきたいものです。
- 本当に必要な人に必要な援助を。
- これからは介護が必要になるかもしれませんが、充実した福祉になる様に希望します。
- 老人世帯にとって(でなくても)、雪下ろしの必要のない、しなくてもよい対策はないものでしょうか？(構造の作り替え、水、電気の利用)何をとりあげても、個人の力では無理なものでしょうか？市でもすぐ莫大な経費が・・・で検討外なことでしょうか？
- 健康の駅の活動は多に役立っています。人材を増やして大きくしてほしい。

- 私は88才ですが、このアンケートは答える項目が非常に多く、大変酷なものでした。時間をかけて回答しましたので、ぜひ市政に生かしていただきたいです。
- 福祉とは関係ないと思うが、除雪の方法何とかならないものか。毎朝玄関先の除雪された雪の山にウンザリ。高齢者には本当に難儀。体を痛める。何十年も同じやり方で工夫ない。例えばせめて玄関先は少し加減して除雪するとか、やれば出きると思う。また、除雪の後融雪剤をまいて欲しい。転倒するのはほとんど除雪の後（車道も歩道も）。
- 介護士の手当が良くなければ、介護の中身がよくなると思うので、国、県でも考えてほしい。
- その制度や施策は本質的に国家、中央がより責任を負うこと。地方自治体も住民も常に要求していかねばならぬことだと思う。憲法違反の軍事費支出を国家にやめさせれば、そのことは完全に保証される。
- 友人との会話から。雪がどっさり降った際の雪寄せ（今年2回大雪あり）がスムーズにいかず、「早く来てくれ」とTELで大変な担当があると聞きます。もっと前もってすぐ出動するシステムはできないでしょうか。
- 現状では何の要望しても実現不可能と思う。国、県、市、自治会共に協力しあわなければ満足な結果は得られないと思う。
- 水害、地震の際に、何処に避難するか場所がわかりませんか？
- 今の政府はとにかく国民の負担ばかり、押しつけてきている。社会福祉政策はだんだん悪い方向だ。地方自治体に対しては何も言う事はない。空しいだけです。
- 自分も含めて物忘れ等認知症かなと思われる老人が周囲にたくさんいますが、行政では知っているのでしょうか。それでも普段の生活は周りが気を付けていれば、何等不自由はない。ですが、せめて通院等で苦勞して居る人だけでも手助けして下さいれば幸と思います（目の届かないところがたくさんありますよ）。
- 前述のとおり、現在の財政方針ではますます福祉関係は厳しくなるばかり。政府、政治の考え方が変わるように、予算関係の充実を望みます。
- 社会福祉等を充実すればするほど税金等の負担がふえる矛盾した政策だ。生活保護の対象者をもっと厳しくしてほしい。
- 増田地区に住んでいます。地域局に喫茶店が出来ましたが、コーヒーとケーキで800円位ですが、私の周囲の老人は皆高いと言っています。せめて中華そばや、生そばが500円位で済むと助かると話しています。テーブル、イスではなく、畳にして頂けたら幸いです。

6位 介護保険サービス

- 介護施設、介護職員不足等の情報を聞くたび、福祉サービスの充実は難しいと思い、経済的にも不安です。
- 老人ホーム、介護保険施設に入居するのが困難な状況にあると、よく耳にします。（特に収入の足りない方）困った時なるべくスムーズに入居できるようにしてほしいと思います。
- ケアマネとの相談で介護プランがくまれるので、中にはとんでもなくいじわるな方もおられましたので、もっとケアマネの育成に力を入れてほしいです。
- 家族の意見：本人が認定を受けようとしません。理由はミニデイサービスを今後も利用したいため。大分歩けなくなってきたので、リハビリのできるデイサービスをすすめているが、ミニデイが良いと言っているのに何もできない。いつまでミニデイは利用できるのでしょうか。週1回だけでなく、2回位りようできればありがたい。
- 保健施設に入っている友人が何人か居りますので、何度か行きました。認知症にかかっている患者さんが昼食たべてないと言った事に対し、職員の対応が頭ごなしの言い方をしているのに私も心を痛めました。病院につきそった方も同じ対応なのです。二度そんな対応を見て私だったら心が痛みます。脳病院で弟が手術した病院の看護婦さんとは雲泥の差なのです。好きで病気になるわけではない。施設の見学会もしてほしいです。ただし尋ねた私に対してはお茶を出したり喜んでくれるのか職員の方は親切でした。
- 券を頂いていますが、いざ店に行ってみると品物の範囲がなく、もっと価格も安くいいのでは？
- 介護支援の方のサービスがうち切られているようですが、支援、介護度がつかない様元気な内から何らかの支援が必要ではないでしょうか。

- 介護施設に入らなければならないとすれば、心配なく安心して入られる様平等に出来れば言う事ないのですが、現実には厳しいでしょうね！
- 介護を受ける時、なかなか入れないとの話がありますが、入りたい人がスムーズに入れるようになったらいいと思います。
- いずれ介護のお世話になると思います。自分の収入は少ない年金だけです。受給している年金の範囲で入居出来る施設を希望します。
- 今まで介護保険を利用したことがないので、要望がどんなことに対して利用出来るかわからない。自宅で介護出来ること幸いです。
- 介護サービスは充実していると思います。私が入る頃にも続きますように！
- 夫が介護3、私が支援2でヘルパーさんの世話になっています。私が受診の時などに夫の見守りを保険ではできないのでしょうか？
- 夫の介護に出してやるのに負担になる（出してやるのに二時間かかる）。
- 前に祖母の介護をしていた時の事です。慰労会で温泉、食事と歌などを聞いた事がありましたが、私は祖母をどこかに預かってくれて、自分が好きな時間を過ごせたら良いなと思いました。今まだ行っているのかわかりませんが？
- 支給券の利用する介護用品をもっと増やしてほしい。施設の料金を安くしてほしい。
- P11 の問 10⑧（介護を受けながら生活できる施設のこと）を充実されるように望みます。
- 介護保険制度のサービスの充実を希望します。
- 保険料の支払いは最高額であるが、わからないのでサービスを受けた事がない。配偶者も 81 才と高齢なので外出がままならないので、今は家族の支援のない時はタクシーを利用しているが、タクシーも頻繁には利用は無理なので、それに対する支援があればと思っています。
- 認知症が多くなりそう（私も含め）とのこと、福祉施設が充分にあるだろうか心配です。
- 国民年金では老人ホームに入る所がない様ですので見てもらいたい。
- 財政的に困難だろうが、特養のような費用の少ない施設がもっともっと欲しい。民間のは高過ぎるので。
- 特別養護老人施設の増加。
- 自宅で介護サービスなど利用する場合、訪問をして往診してくれるお医者さんなどわからない。
- 60 才からの年金では施設には入れない。
- 4. の働く世代の負担が重くならないように。介護を受けている人の認定に格差を感じます。家の中に居るよりはとデイサービスの人が多いようにも思います。くわしい現状はわかりませんが権利あるものは利用する一という考えに疑問も。
- 介護施設で私も働いて来ましたが、自分の家族もあまりよく見ない人が、ただ子供達にお金がかかるから、しかたなく介護施設で働いている人がけっこういました。本当に介護施設の仕事が好きでやっている人もいますが、（虐待）なんて外に出ないだけでいっぱいありますよネ。やられる人も悪いですが、それが自分のお金をもらう為の仕事だから頑張っしてほしいと思います。
- 利用する時はどのショートステイもデイサービスも料金は同じでしょうか？負担額が違い、高額になると選ぶ時（入所）考えてしまうのでは。出来るだけ健康でいたいと思う。
- 介護保険で住宅内装の使い方を少し考えた方がよいと思います。今までのように内装に使うのはこれからはもう少しきびしくやってほしい。
- 私は保健師、助産師、看護師の資格を持ち、病院、地域経験を持つものですが、介護保険制度と保健福祉施設施策にむすびつけるケアマネの診断が果たして正しいかというか。色々な民間利益集団の福祉サービスがありますが、ムダが多いのではないかと考えます。国家体験をもつ我々の見方とケアマネの見方と違うような気もするし、もう一度現状を見直す時ではないかと考えます。
- 去年主人がヘルパーさんの介護を週 1 回お世話になりましたが、いらして下さるヘルパーさんによって、かえって付き添っている私の方が教えてあげなければならなかったり、手伝ってやらなければならない方もあって、もう少しヘルパーさんの質が上がるような訓練を望ましいと思いました。

- 私は介護保険や保健福祉の施策については特に要望はありません。私は大雄ですが介護やデイサービスを受けられる人達も満足しておられる様です。皆さん御仕事御苦労様です。
- 今自分が納めている介護保険料は自分のために使えるのですか？いざ自分が利用したいとき、簡単に利用できないとか・・・。また、もし介護を必要としなかった場合、それまで何のために保険料を納めたのかわからなくなります（先のことはわかりませんが）。
- 最近ショートステイを利用する機会がありましたが、施設の職員の不足を耳にしました。育成が間に合わないのか、エッと思う様な事がありとても残念です。全体で不服という事でないが、人員不足は仕方ないとは言っても年老いてからは楽しく一生を終わりたいと思いました。お世話になり感謝!!

7位 アンケートの感想

- 問13の反対に、施策・事業で、残した事業、財政も無限でないので、カットした方が良い事業、3問を問うたら、首長と交渉しやすいのでは。
- 高齢者といえば、何でもかんでも同じ考えで質問しないで下さい。自分で考えて健康で毎日を送るために頑張っている高齢者に対しての明るい質問をして下さい。私はこのアンケート調査には協力しなくなかった!!
- 無記名でしたが大変でした・・・!!
- 「古い」について考えさせられた時間でした。そして非常に疲れました。
- 内容がよくわからない。
- 「わからない」回答が多く、役にたつか心配です。意識を高めて、また協力したいと思います。
- アンケートは毎年。福祉に対するアンケートは、これをやってもらいたい、と思います。だんだん年齢が年齢なので、わからない事がいっぱいなので、よろしくお願いします。
- 問3の家族構成で、高齢者で施設にお世話になっている人はどこにカウントしたらいいですか。2の夫婦2人暮らし+施設入所1人（高齢者 夫の母）でいいでしょうか。このアンケート結果が新しい計画のより良い政策になるよう期待します。
- アンケート調査について。いつもありがとうございます。事業推進目的から考えて当然だとは思いますが・・・。アンケートをいただいて違和感、とまどいを覚えました。気付いたことは私共高齢者も日々働いて暮らしており、その必要性が増す一方で色々な施策に対応する余裕が無いことだと思いました。
- 関係のない話にはなりますが、高齢者にはこのアンケートは少し長いかと・・・。私は代筆者でまだ10代ですが長く感じました。もう少しポイントをしぼり、わかりやすいアンケートにしたら高齢者も答えやすいかと。
- 問11あまりにもひどい質問だと思う。問13、問14わからないがどの程度してもらうによいか「ギモン」です。
- 軽い気持で回答しているうち難しくなり、大変頭の運動になりました。
- アンケートで考えたことがない事がたくさんある事に今更年ら大変考えさせられました。今の生活をこのまま続けておだやかにすごせる事を祈り乍ら答えました。94才で元気で一人生活できる事に仕合せを思いました。

7位 相談窓口や情報提供

- 老人ホームは種類が多く解らない。説明する本などがあると良い。
- 介護保険制度、保健福祉施策について、今さらと感じますが、もっとわかりやすく説明会をひらいてもらいたいと思っています。言葉だけがひとり歩きしている気がいつもしています。
- 市内にある介護施設の情報提供（公的・民間施設について）。
- 介護保険サービスの内容を介護が必要な状態になってから知るのではなく、健康な時に把握しておきたい。負担と給付等について分かりやすく説明したパンフレットや、受け入れ施設の有無も周知できるような体制にしてもらいたい。
- 高齢者の「なんでも相談窓口」が、公民館などにあれば良い。高齢者がピンピン生きて、コロリと人生を全うする為、心身の健康づくりがもっと欲しい。先日、元気だからと市の運営？するサービスを却下された。
- 保険料の法律や金額の変更の場合、解りやすく簡単に説明して欲しい。福祉給付金等色々の提出書類をもっと簡単に書けるよう工夫して欲しい。福祉施策については充分な説明と広報が不足だと思う。

- 少子高齢化と新聞、テレビでは言われるが、その内容が難しく良くわからない。そのとおりと思うが、もっと話が聞ける機会がほしい。訪問して話してくれるか、少人数で制度が聞ける会合がほしい。
- 実際に直面しておらずわからない事が多く、質問に答える事が出来ない事が多い様に思いました。これから学んで行き、その時になって困らない様にして行きたいと思しますので、学べる場を設けていただけたらと思いました。
- 介護保険がどのように使われているか知りたい（多額の保険料を納めてもどのようになっているか分からない）。
- 保険制度の内容の詳細が理解出来ていないので教えてください。
- 介護が必要になった時、まず最初はどこに連絡すべきかその後の流れを知りたいです。
- 分かりやすい説明が知りたいです。そして、有効的に活用したいです。
- 窓口業務の方々にも、色々な方が別々の事を説明してくれますが、いまいちわからない事が多々あり、質問すると雰囲気気まずくなり、そのままにして帰ることがありました。

9位 交通手段の確保

- 病院やどこに行くにも駅やバス停にも遠くて、タクシーは大変なのでこれが一番大変です。私は車は運転出来ないで、夏雨がない時はバイクで今の所はいいですが、その点が一番心配です。
- ○高齢者の移動手段が容易であるように、例えばタクシーの割引券の交付やバスの無料券の発行等
○働く世代の者が安心して働く場（将来の生活設計ができる）を与え、県内で生活し子供を育てることができる横手市に。
- ①高齢ドライバーの交通事故の多発を考えると、手軽な買い物や通院用のバス等の移動手段が欲しい。②歩行困難になりつつあるので、市内、町内、店内などに休息用のベンチ（椅子）など設置して欲しい。
- 年々足腰が困難になって来てるので、2、3日に1回でも路線バスを是非お願いします（買い物、病院、銀行などに）。
- 私は昨年11月に自動車の免許証を返納しました。大変不便です。問13の③（通院と買い物）の充実を特に希望します。
- やっぱり移動手段を充実していただき、高齢者が生き生きともう少し外出できるようにお願いします。
- 車の手配をお願いしたいです。買い物をする時、息子と土日だけでするので週二回出来ればいいと思います。宜しくお願いします。
- プロ意識と技術を持った介護士（さん）の育成に力をそそいでいただきたいと思ひます。自家用車が高齢で運転できなくなった時の生活すべての不安が大きいです。まず移動手段の充実が自立して生活できる第一歩だと（自分は）考えています。高齢者二人暮らしの場合、配偶者の入院等で片方が炊事能力のない場合、手軽に弁当など届けてくれる所を確保する手段を考えてほしい。
- 車の運転が不可能になり薬だけで貰いに行く時、帰る時、免許がなくて困っており困難しています。
- 交通手段の充実（いなかなかの）。
- 現在は自分で車で通院しているが、それができなくなった時の手段が一番心配。昨年秋田市の病院へ行くとき、デマンドタクシーをお願いしたら、平鹿町と旧横手市の境から普通のタクシー料金だと言われました。通院目的なら横手駅までぐらいはデマンド料金で行けたらと思ひました。
- 公民館にて色々集まりが有りますが、冬場は行きたいが足がないため行かれません。前田地区では送迎してくれますが、私達の八沢木公ではできません。冬場でも行けるよう送迎していただけないでしょうか。特に冬場です。福祉の話も聞きたいのでお願いします。八沢木公です。

9位 高齢者福祉サービス

- 高齢者が安心して暮らせる支援ができる事を願っています。
- 負担する方とされる方とバランスとれたサービスでないと長続きしないと思う。
- 見守りやふくし相談員の訪問を受けたことはなく、だれが担当かも知らない。80才女性。

- がまんして支援を受けない人、知らないでいる人、軽度でも支援を受けている人、申請しないと福祉サービスを受けられない不公平さ？を実感しました。両親の自宅介護（義父5年、義母8年、寝たきり、寝返り、食事排泄等何も出来なかった）で健康を害した。若いうちから福祉サービスを受けないように予防につながるようにスポーツや意識の啓蒙が必要。温泉施設は宝です。風邪や関節痛、腰痛にかかる医療費軽減には欠かせないと確信している。心身の疲れ軽減。温泉に入りましょうの広告が必要。
- 福祉何でも福祉をととなえ、誰がその負担をするのでしょうか。中流家庭は自分の家族を維持するので手一杯なはず。自己責任で他人に迷惑をかけないこの世の去り方を考えるべきです。
- これからは若い人達にあまり負担かけないで、年金で生活出来る福祉施設があれば、体が不自由になったらそこで暮らしたいと思う。
- 老人の福祉を一層充実させることで若者の負担が大きくなり若者の首を絞めることになる。老人の福祉サービスはほどほどでよい。我々が自分たちのことばかり考えるのは間違っている!!
- 福祉の利用はしていないが、年金暮らしのため見合う利用方法をお願いします。
- 横手地区での冬期間（半年間）の高齢者の生活は不安が大きくなると思います。訪問（福祉）よりも、電話での一声かけはどうでしょうか。御苦労さまです。よろしく。
- 質問の趣旨と異なるかもしれませんが、地区によっては民生委員の方の訪問が全くない所もあると聞きます。活発な民生委員の活動が高齢者の03日常生活に大きな力になる事と思います。
- これから若い人達が少なくなり、介護や福祉に人員の確保がどのようなのかとおもいます。
- 1人又は2人の高齢者所帯の年何回かの巡回は必要と思う（民生委員も含む）。

11位 感謝

- いくら高齢者になっても自分の出来る限り国の制度に甘えず、心身共に精一杯がんばるつもりです。感謝。
- 施設の人達が大変よくやってくれています。デイサービス利用中。
- 色々と長い事にて自分なりの考えに書きました。どうもありがとうございます。
- 介護制度のお世話になりました（家族）。大変よくしていただきありがたいと思いました。今後ともよろしくお願い申し上げます。
- 横手市は福祉のよくしてくれますので安心しております。役所に用事あって行ってもよくしてくれますし、親切です。感謝の気持ちでいっぱいです。隣近所集まっても、福祉サービスもよいし暮らしやすいのです。皆さんで話合っております。
- 介護保険や保健福祉などがあり、大変ありがたい事だと思っております。
- 制度や施策の充実に感謝しております。要は、個人の意識が一番重要と思います。
- 親、姉、2人の福祉施設で看取りましたが、介護人の行動に感謝申し上げます。今後も一層の努力を御願い申し上げます。御座います。
- いつもお世話になっております。おかげさまで本年も無事に暮らして居ます。ありがとうございます。

12位（高齢者以外の）福祉サービス

- 社協、民生委員の方から個人の情報が聞こえて来ることがある。民生委員の仕事をしている方の仕事が見えてこない。
- 地域における身近な相談者として民生委員の役割が大であるが、既委員の人間性の欠如等により不快で、相談者として不適格な方が見受けられる。その人選に慎重を期されたい!!情性化して安易な再任はすべきでは無い。
- 生活保護者は大名ぐらしに見えます。もっと厳しい現実を教育すべきだ！実子等の生活状況等も考慮すべき。自覚してもらわなければならないと思います。
- 精神障害者の居る家族です。今でも大変ですが障害者の入るアパートが無いのでしょうか。私も年と共に大変になって来ましたので、出来れば1人で暮らしたいと思います。お願いしたいと思います。
- 民生委員の担い手不足と高齢化により相談出来ない時がある。無給ではなくある程度の有給にするべきだと思います。

12位 地域住民の相互協力や地域活動

- ここに1千万円あったら、地域に小ぎれいなサロンを造りたい。日常的に足を運び、「おめも来てたのか!」と、そこに行けば誰かに会える。そこに行けば誰かと碁をうち、誰かと趣味を共有し、おしゃべりし、甘いお菓子でお茶をいっぱい。一人ぼっちのいない、自由なサロンが地域の補助を受けながらシニアで自主運営できたらいいな!
- 昨今75歳以上が高齢者の世の中になろうとしています。先行希望のないままに過ぎる自分が今何をしたい、しなければならぬ事が見えない人達が沢山居ると思いますので、年間何回かに分け集落に集いの場をつくってほしい。意見交カンのような・・・。
- 小さな事でも、ひとりの声でも大切にとりあげて、考えて、協力し合う地域になってほしい。生産増だけを考えている若者の意識改革。自分だけよければという考えが強くなってきている。などなど。20年以上公害(そう公害で自殺さえも考えたことがある)。
- 地域での連携が必要と思う。過疎地域ならばなおさら、町部では若者意識と高齢者意識に溝が有って、地域交流(心の交流)が出来ない。関係無い事として生活している様に思う。身近な事、簡単な事から交流の場を持って行動の足がかりにしてほしい。
- 老、壮、混合混然の交流の場が・・・いいの場が・・・少ない。生き生きサロンの拡充策を進めたらどうだろう。

14位 介護者負担

- 現在親の介護中で、自分のこととしてあまり考えられません。訪問介護等お世話になっていますが、デイサービス等行きたがりませんので、自分でできる限りのことは自宅でやっています。
- 私は義母(介護度5)を2年と8か月自宅介護をしましたが、本当に疲れきってしまいました。日中は毎日ヘルパーさんに来てもらいましたが、夜の私の休みはありませんでした。夜のヘルパーさんはあまりにも時給が高かったので、そこをどうにかならないでしょうか。
- 今私は、妻認知症の介護しており、勝手に外出、泊は一切出来ない。特に火や、ガス等から目を離せない。全て妻のために、病院(通院等)、食事のしたく、風呂(3日に1回位入浴)と1人で全てをやることは大変です。
- 家族からですが、とにかく自宅にいたいことばかりで、他県から毎週通うのは大変です。サービスは受けたくないとしか言いません。お金の関係もあります。遠くに住んでいるためなかなかうまくいかず老々介護です。

14位 若年世代への施策

- 赤ちゃん子育てに力を入れて支援したい。一人祝金5万円程度、二人目7万円、三人目は10万円。他地域よりの花嫁さんにも5年以上在住条件に。財源はまずは100万円オーバーした場合寄付金で。
- 福祉サービスといっても、市内のそうした施設は個人または法人経営のもので、所詮”企業的”な利益獲得の面もしっかりある。入所して暮らすにはかなりのお金もいるし、サービスも”死ぬまでのお世話”的な部分が基本。だからこそ地域性(優しい若者がいること等)をいかし、高校生の進路指導から考えてほしい。(もちろん地域で介護士になるなら、給料の保障にも行政が支援を!)おつかれさまです。
- 介護関係に従事している人(特に若い人)がやりがいを持って仕事ができる待遇(給料など)が充実すること。
- 高齢者よりも、若い人達が生活しやすく、あまり負担のない町であってほしい。

16位 医療や医療機関等の充実

- 昔の様に往診してくれる医師の居る病院はあるのでしょうか。(何かに表示されていますか。)一人暮らしになったら必ずやお世話になる事でしょう。(病院の在り方も変わり、受け付けしてもらえず止めて帰ったというような事も・・・)本当に深刻困難な状況は容易に相談出来ないし、理解しても貰えないという現実が在るのではと考えてしまいます。

- 在宅福祉、医療の充実をはかってもらいたい。特に地域医療機関の充実、親切的な在宅医療のための医師がもっといてほしい。
- 安心バトンは全戸配布を希望する。その存在を知らない市民が大半を占めている。透析は平鹿病院のみであり、目が悪く歩けない患者にとっては不便である。各地域の病院でできるようであれば助かるし、家族の負担（仕事を休む）も少なくなる。市助成金はありがたいが、平病へ通院するには、地域別に助成割合を決めてもらいたい。又、透析患者の組合組織でタクシー相乗り制度等あればよい。車で移動販売している魚屋さんも、車の改造が高額で廃業したときいた。直接高齢者宅を訪問し、見守り安否確認もしていただけに惜しい存在である。何か支援してくれるものがないだろうか。

17位 要介護認定への要望・提言

- 介護申請後認定までの期間が長いときいている。申請後の処理を早く行うシステム作りが必要と思う。
- 介護認定を気軽に受けやすい制度に。デマンド交通をもっと利用しやすく、わかりやすく周知させる方法を（わかりにくい）。

18位 社会環境の整備

- 防災無線放送について、①緊急放送雑音激しく、②連絡・通報用放送ほとんど入らず、防災無線の要なしておらず、早急の改善を要望する。

【第2号被保険者（40～64歳）】

1位 相談窓口や情報提供

- 「このようにすれば仕事、家事、介護が両立でき、家族の負担も少ない」「行政でこのような支援が可能」等、一人暮らし、遠方に家族、病弱などのケースに応じて、具体的で安易な言葉で書かれたハンドブック（Q&A方式）がほしいです。
- 今のところ介護を必要とする家族がいないので、サービス内容がわからない。また福祉サービス内容についてもわからないので、今後のために学べる機会があればいい。
- 介護が必要と判断される時、病院、施設、民生委員等の連絡体制がとれる様にしてほしい。窓口1つで対応できる事を望みたい。
- 介護相談の場や介護をより良く知ってもらう為に講演が必要かと思えます。
- これからの高齢化社会において、無知であることに気づきました。保険制度のわかりやすいパンフレット等があれば（どの様なサービスがあるか、どの様に利用するか等）助かりますし、勉強するきっかけになります。
- 最近では家族が県外に移住し、高齢者の一人暮らしが増えている。そのため高齢者に急病等のアクシデントが生じた場合、県外の家族が早急に対処することが困難な場合もありえる。その際に緊急的な対応を相談できる窓口が必要ではないかと考える。
- 様々な制度や施策について、市民が理解し、有効に利用するためには、窓口となる市役所の職員の方やケアマネジャーさんの助言などが不可欠だと思います。対応して下さる方の能力や親切さの度合に差がありすぎるような気がして、不安を感じることもあります。
- 市からの情報提供が少ない。
- 市の福祉サービスのことがよくわからないので、もっと利用できるように説明や案内をくわしく教えてほしい（家にも介護サービスを受けている人がいるので、他の利用できることがあれば知りたいです）。
- 知らないことがたくさんありました。もっとみなさんに周知させてほしい。
- 直接的に経験が少なく、これからかかえる事となる身としては勉強する機会があればと思います（私が知らないだけかも知れませんが）。

- 若い人達にももっとわかりやすくこの制度や施策を知ってもらうように、マンガなどを用いて説明とかしてもらいたい。
- 若い人もやりたいと思っていても、具体的に言われないと（直接）、何をやっていいか分からないと思う。災害の時のように、具体的にボランティアを募ったりすれば、けっこう困っている人の手助けになったりすると思う。困っている人もいろんな制度がある事を知らない人が多いと思う。若い人も何で困っている人がいるか分からないでいると思う。

2位 経済的負担

- 介護保険は所得の少ない人達からは高く徴収しないでほしいと思います。年金で生活していく上で大変だと思います。保険福祉施策については、ケアマネジャーさんとじっくり相談して、人間らしい生活を送りたいと思います。テレビ等で報道されていますが、お年寄りをいじめたりしております。そういう事は決してあってはならない事だと思います。なるべく”ボケ”ない様に体や頭を使い頑張りたいと思います。
- 介護保険を利用したことがまだ無いのでわからない事が多いですが、利用する本人や家族にお金（負担）の事で、あまり悩んだり心配することのないようなサービスをお願いしたいです。
- 義父の介護の時、介護サービスはお金に余裕がなければ利用できないとつくづく思い知らされた。国民年金で生活していくようになった時に、どうなるのだろうと不安でいっぱいになります。
- 健診や予防接種は自己負担をなくし、全員が受けられるようにする。ひとり親世帯の親が（福）を利用するのはどうかと思う。
- 社会福祉協議会から毎年お金を集金されるが、税金を払っての他に各家庭で払うのはどうかと思います。必要な福祉は市役所が主体となって、その分税金でやってほしいです。
- 収入によって受けるサービスに差が生じてはならないと思うが、介護や福祉の問題が自分にふりかかってきた時、はたして自分は自分にどれだけかけられるだろうか。自分のお金を自分の健康のために（予防のために）使える人になりたいと思う。
- 年金がどんどん減らされている今、高齢者の負担をあまり増やさないようにして福祉のサービスもその他も充実してほしい。
- 年金が不足で生活に困窮している人達が増えているようです。将来の不安から自殺者などが増えていくことが心配です。
- 年金生活なので負担が増えない事。
- 福祉サービス費用負担が少ないと助かります。よろしくお願い致します。
- 私は今年65才になります。91才と90才の義父母を見ながら生活しています。この先、二人が自分のことができなくなったり、歩けなくなったりすると、とても私では介護することができないと思いますが、介護施設に入れるような年金が支給されていない現実です。私と夫ですら、年金生活がやっとという状況です。もう少し、年金で入れることの出来る施設があるといいと思います。今の希望することはそれが一番です。老人が老人を看護する年になってしまいました。

2位 日常生活

- 40代となり、介護保険料を納めるようになり、自分が将来介護を必要となったらどうしたいのか考えるようになりました。まだ先のことなので、具体的にイメージができないことがあります。いつまでも自分で生活ができたらいいなと思います。そのためにも予防のために今から健康づくりに取り組みたいと思います。30年、40年後に生活しやすい横手市であってほしいと願います。
- 65才になれば自動的に介護保険料を引き落としされる訳ですが、それで我々が介護を受ける年齢になった時、果たして十分な介護を受けられるのかは多いに不安があります。行政にも家族にも迷惑をかけず、ポックリ死にたいと切に願っているのですが、こればかりはどうにもなりません。なるべくボケないように、体が不自由にならないように予防が大切なのかなあとと思います。
- 今の所健康なので働けるうちは働き、生きがいをしたい。制度や施策の事は良くわからない。

- 介護保険制度はやむを得ないと思っております。子供達も各家族になっています。私は、姑が92才でしっかりしていて、デイサービスもお医者さんにもかからず元気です。家族の支えは、大切なことだと思っています。私達にとっては有り難いことですが、私達が高齢者になった時はどういう時代になることでしょうか。不安でいっぱいです。私は今出来ることを姑のためにも頑張りたいです。
- 現在50代にて老後の事はあまり実感が無い。でも孤独は悲しい。なるべくなら、子供達には迷惑かけたくないと考えている。もう10年程したら、介護の事、福祉の事など、考えがわいてくると思います。まだまだ仕事が重視にて、働く場所を増やして欲しい。「貧乏、ひまなし」。
- 現在は病気もなく過ごしています。車の運転はもうしなくなり、今後病気になり病院に行く時が来たら、タクシー利用もお金がかかるので、雪も大変なので、雪の降らない町場に出て行くつもりでいる。
- 高齢者社会がますます加速して、私達50~60代の人間には長生きすることが良いことなのか・・・と思うこのごろです。できることなら若い世代の人達に負担をかけずに健康でいたいと毎日思います。ムダに長生きはしたくないと思うのです。これからの若い世代の人間が楽しく生活できる社会を目指してほしいです。
- これから体験する事と思いますが、自分の健康を守る事が何より大切と考えています。
- 年を重ねる毎に「明日は我が身」と言う言葉が気になって来ています。これから住み慣れた地域で少しでも多く充実した日常生活ができるように横手市に期待します。ご苦労様です。
- 母親を自宅で介護している時、保険を利用しヘルパーさんや福祉サービスを受けることが出来、助かりました。今は車椅子生活になり施設に入所しておりますが、保険が適用になり負担が軽減され安心して入所出来ております。この先個人負担が多くなる政策でいて欲しいと願います。
- 息子の代理に代筆させて頂きましたが、今母73才の自分の一生友にする病になった毎日を考えると、歩くのが大変な時は病院まで連れて行ってくれる人が居たらとつくづく実感しました。ハイヤー賃は高いし、子供が仕事の時、一寸時間をとって送ってくれたり、循環バスの所まで3分か4分も歩けなかった時、ブルの置いて行った雪、子供が居ない時流雪溝に流した時、スノーダンプに足をやると下腹が痛みだし・・・。本当に大変です。子供が書く時間一寸無かったので、私も大事な事は早く出さないといけない。こういう性格から代理の気持になって書きましたが、息子の名前で届いたので、子供が書くべき所すみません。私、具合が本当でないのに、字も踊っていて本当にお許し下さいませ。ダメな時は、用紙を又送っていただければ遅くなくても子供が書いて出すのでは・・・。解らなくて・・・。

2位 高齢者施策への要望・提言

- あまり知識はありませんが、自分の事は自分の責任で行うのが基本だと思う。過度に、市、県、国へ期待するのはいかがだと思います。
- 介護保険サービス、福祉サービスの実施がどういうタイミングで対応してもらえるのか、相談出来る事すら（近所、民生委員等）せずに生活している人がまだまだいると思います。各地域において踏み込めずにいる家庭もあるかと思うが、定期的な訪問を行いつつ、負担が重くならないよう必要としている人に対応出来ればと感じています。
- 高齢になって支えが必要になっても自宅で生活ができるよう、介護・福祉を充実させてほしい。よろしく願いいたします。
- これからは高齢者がますます増えます。年金も厳しくなるし、介護者に払えとはいえません。もう少し高齢者の立場を考えてほしい!!介護者になった時、福祉サービスが成り立つか心配ですね。
- 今後高齢者が増え、介護士の人材確保も厳しい時代、また、市の財政問題等々高齢者に特化した事は出来ない状況になると思います。高齢者も負担増はやむを得ないし、サービスもある程度低下も仕方ない。若者定着、市の人口増加により、高齢者も生き生きとした社会が生まれると思います。「老若男女」共に生き生きとした横手市。横手独自の制度、施策を皆で考え、心豊かな地域でありたいと願います。

- しりとりや計算をしながら運動すると、認知症の改善になると言います。各地で高齢者を対象として教室も多く開かれています。横手市でもぜひ、認知症予防改善のための運動教室を各地で、できるだけたくさん開催してほしいと思います。運動教室なら、公民館などを利用すれば費用もかからず、すぐに開けると思います。教室に参加した方の介護保険料を安くしたり、割引制度を作るとかなりの人が参加するのではないのでしょうか？認知症予防教室が開催されている市区町村・福岡県春日市・横浜市戸塚区・名古屋市西区など。以前、横手でもコグニサイズを見かけました。もっと広範囲に多くの教室で継続的に開かれると良いと思います。他の市区町村の運営を参考にして、高齢化率No.1の秋田県が、認知症患者が一番少ない県になれるよう、取り組んでいただきたいです。宜しくお願いします。
- 定年後の働き方を企業に考えてもらいたい。給料は下げられ、働く時間は今までと同じ長時間では、働ける者も働けなくなり納める事もできなくなります。老人が健康で生きがいを持てる社会を目指す方が先決かと思います。ここに書くのは場違いかもしれませんが・・・。年をとっても健康でいられれば一番です。誰もが安心してサービスを受けられるようになりますように！
- 一人暮らし、独居世帯への支援の充実。空き家の撤去の助成策などがもっと充実して欲しい。
- 表面に出て来る高齢者は問題ないと思いますが、表面に出て来ない方を救いあげる施策を希望します。介護保険の使える方、使えない方との格差も少なくして欲しいです。また、高齢者に理解しやすい内容、表現等を希望します。
- ほとんどの人たちは年金で生きる事と思う。これからはますますそうだと思う。サービスなんていうものはかかれぬ人が多いと思います。手に入る金額を考えろんなサービス、サービスというより、年よりにとっていかに生きるかが問題となる事であろうと思います。おじいさんおばあさん実家の両親、誰1人介護を受けるものはいなかった。又、孫がいればある程度この金額からあげてしまう。あたりを見まわすとそういう人が一杯です。私にとって介護サービスとって皆から吸い上げる、果たして何%の人が使っているんだろう。年寄から巻き上げるより先に総理大臣が外国でばらまく金額を考えたら取る必要はないと思う。年金だって、皆から集めた金をそのまま持っていたとしたら、年寄りが苦しむことは少なかったんだと思う。上の人たちは何をやっているんだと皆いいたいと思う。
- 私は病院勤めをしていて、日頃から何とかならないものかと思っていることがあります。昨今、特に老人夫婦のみ、老人の一人暮らしが増え、急に入院するという場で、子供たちは遠方ですぐに連絡がつかず、あるいは子供がいなくて、親せきもなかなか深入りするのは嫌だという人が多々あり、やはりそういう時に民生委員のような方が間に入って、スムーズに入院できたりできないものかと思います。夫婦の場合一人が入院しても、家に残る片方が何もできなかつたり、一人暮らしの人がペットの心配をしたり、色々あります。

5位 介護保険サービス

- 今以上に介護の受け易い状態をお願いしたいと思います。
- 今はお世話になっていないのですが、母の事を考えるとサービスを受ける事があると思います。又、私達もそういう時期がくる事もあると思います。生活面、精神面が安定できるよう願うところです。遅くなって申し訳ございませんでした。
- 親の介護を経験し、いろいろなサービスがあることをケアマネジャーさんに教えていただき、利用して父を自宅でみとりました。今、夫婦二人の生活の中でどうするかは今後の課題です。色々な情報をもとに考えていきたいと思っています。
- 介護施設への入所の基準が、介護度順、家族の状況などの判断からと聞いていますが、疑問に思えることが多くありました。手続きは、施設、ケアマネ、家族の三者による話し合いを密にして、申し込み者の今の状況で入れるまでの待ち時間の状態が定期的に知ることが出来ればと思いました。保護課、福祉課それぞれの業務はわかりませんが、もう少しそれぞれの仕事ではなく、連係の形で対応して欲しいです（対応した人に個人差があります）。
- 介護保険の負担が増えないように福祉サービスを充実するべき。介護用品の支給など家族への支援、在宅介護支援して、家族の日常生活に役に立つ事の出来る体制の整備をお願いしたいです。
- 気軽に介護サービスが受けられるようになってほしい。リハビリ（出張）や家事援助など。
- 現在家族が介護サービスを受けておりますが、どうしても自宅介護が出来なくなる様になったら施設も考えております。施設に入所するにしても空きがなく、かなりの負担もかかります。介護に携わる方々を優遇していただき、一人でも多く施設入所が出来る様、宜しくお願い致します。

- 施設が足りなく、ショートステイ等に入れない。
- 入居施設が少ないため家族の負担が重くなるのでは。以前ケアマネを通じて、入居について施設全所へ申し込したが一年以上何ら連絡がなく、結局入居できずに終わった。施設の充実について検討してほしい。
- 訪問介護の生活援助サービスは、同居家族がいる場合利用できないのは、いかがなものかと思います。

5位 行政への要望・提言など

- 介護施設に勤めている人の給料が非常に安い。労働に見合った賃金をもらえていない。他の職種に比べても割に合っていないので、辞めていく人がいて当然です。
- 介護を考える場合に？まず第一、秋田県全国一人口減少するので、それが一番考えることじゃないですか。横手市も考えることないです。人口減少ついて、全国では行動している。テレビ、マスコミなど？
- 各地域にある旧役場が発信基地となって、色々なサービス、情報提供してくれれば助かると思う。本庁でないと思慮決定ができないというのは、地域との距離を生んでしまう。身近な相談相手になっていくべきだと思う。
- 公平なサービスを目指してほしいです。よろしくお願いします。
- 低所得者にやさしくあってほしい。
- 場あたりの制度や施策には失望しています。厳しいことを言うようですが、サービスを受ける人には収入等（障害年金も含む）から、オプション契約的に負担をしてもらわなければならないと思います。あと一部ですが、上から目線に対応しているとそれとなく分かる職員がいるので自覚してもらいたいです。あと公的補助制度をもっとオープンにしてください。
- 負担する年代が、子育てで必要な額が高めの年代になるのではと思います。また高齢化とはいえ、今後人口としては減ることも予想され、長期人口推移を見こした政策を希望します。
- 山内地域はお年寄りの割合が多いので、デイサービスができる場所や老人ホーム等の施設が増えたら助かります。
- 横手市内ばかりにすべてが集中していると感じる。合併によって良い事がなくなって、それが年々加速されている。市職員の移動により、知らない職員ばかりで町民を知らなすぎて話にならない。市報も1回（月）で良い。記事がないのに2回も必要か？1回にまとめても良いと感じる。
- 横手市の将来の人口にみあう身のたけにあったサービスで良いと考えます。できない予算でできないサービスを無理して行ない、結果制度がハタンするのでは意味がありません。除雪のやり方が、個人宅へムリムリ大量の除雪した道路の雪をおいて行くのでは、将来年老いて横手に住みたいと思いません。以上。

7位 介護者負担

- 今は自分も家族も元気なので、あまりピンときませんが、今後家族の介護が必要になった時、退職したあとなら何の問題もありません。在職中にそうなった時、仕事を辞めるべきか、辞めないで介護するべきか。周りにそんな例がたくさんあって、いろんな話を聞くので、今後の悩みになると思います。
- 親が介護者なので、自分の身体に気をつけるひまがない。生活も厳しく、だからといって市役所の相談もたよりない。
- 介護と言えば女性（嫁）に重くのしかかります。ぜひ男性（夫）の協力を促す方法を考えてください。家族みんなががんばれる福祉サービスをお願いします。
- 将来別居している親の介護が不安です。自分自身も子供達が県外に暮らしているので、自分の主人に介護が必要になった場合を考えるとまた不安です。
- 私も今、実家の母の世話をしています。認知症で歩くのが困難で要介護2です。ショートに24日間、残りを自宅で介護していますが、寝たきりの人は、施設に入ると決まった時間のオムツ交換や食事の支援などで良いのに、介護度が重くなり個人の負担が多くなるのは不思議です。動けるボケ老人の方が手がかかって、ほんと助けてほしいと思うのに、国はなんか老人たちを見捨てていつている気がします。わけがわからなくなってしまいました。すみません。

7位 介護保険制度

- 親は介護保険を利用させてもらい、家族としては共倒れにならずに見送ることができた。けれど義父は全く利用することなく病気で逝ってしまった。けれど、わずかに収入があるために灯油券など全くもらえず、介護も受けず・・・返金（一時金）もない。制度とはいえ、ずっときちんと納めていても0円とは!?お金と家族のいない人は早く入所もできる。少しムジンをを感じる。家族があると施設は使いにくい。若い人にも生活があるのに、介護を経験したからこそ考えさせられる。お金の負担は多く税務署の人にもおどろかされた。一応あったから払ったけれど、収入だけではまかなえない金額だった。学生と違い、何年かかるか見通しのない介護は本当に大変です。介護される人、介護する人、どちらも幸せな方法はどこにあるのでしょうか。これからも横手のために努力してください。
- 介護の仕事に関わっている方も大変だと思います。介護しなければならない家族がいるのも大変だと思います。介護に関してのわかりやすい説明や、この様なサービスがあるんだという事を知らない場合が多いので、教えてほしいと思います。
- 介護保険の上昇は高齢者の年金では厳しいものがあると思う。若者への負担も無理を感じる。介護状態になりまわりに負担を掛けない様、自分自身健康に留意します。現在は頑張っていこうと思っている。家族の介護が必要となった時、ひとりで抱えこまず、まわりのサポートの大切さを実感しました。
- これまでの質問には介護保険制度を利用している人達の事ばかりですが、80才すぎ、90才すぎでも元気で介護を受けていない人もいます。それなのに保険料を年金の方から引いているのは、いかがなものかと思います。保険制度を全然利用しなくて、もし亡くなった場合には保険代金を少しでも返金してくれるとか、そういう事があってもいいと思いますがどうでしょうか・・・。
- 本制度の保険は納めてるが、具体的にどのような時、またはどうなったら利用出来るのかが無知である（提供してほしい）。介護保険には入ってるものの、老人同居ですと大小にかかわらず介護的な事案は多少発生している。どのような案件が保険適用になるのか詳しく知りたい。例えば紙おむつに変えたけどその補助はあるかどうか等。

7位 交通手段の確保

- 介護保険、福祉施策についてわからない事だらけですが、これからも進む高齢者社会に対して今から心がけていかなければと思いますが、地域的に車がなければ移動が出来ないのが現実であり、高齢の方が免許証を返納出来ない大きな要因になっていると思います。高齢の方のみならず、若い方が多く定住出来る環境作りも大きな課題だと思います。
- 自分を考えると、今後車の運転等出来なくなる。現在過疎化が進み、交通機関も削減されますますます不便になる。何をしても足がなければ進まない。その点を改善出来る様検討願いたい。保険、福祉が充実するのは結構だが、税が高くなるのは困る。人の心配をする訳ではないが、国民年金だけの老夫婦の方の生活は今後どうなっていくか、心配です。
- 将来自動車運転免許証返上となった場合、病院通院、買い物、その他機関に行く事が出来なくなります。公共交通確保維持、強く希望いたします。西部地区、循環バスがあれば何よりうれしいです。
- 制度、施策についてではないですが、高齢者に配慮した住いづくりで、小・中学生のバスでの送迎が朝、夕と有りますが、日中は車庫の中ですよネ。その車を利用して、地域ごとの買い物支援はできないのでしょうか。横手市外は買物が大変です。届けるのではなく、外出させる。高齢者が免許返上しないのは足が奪われるからです。それをカバーできるのは「市」ではないでしょうか。
- 私の地域でも子供は成人すると出て行き、老人世帯が増えてきています。バスはありますが、買い物等は難儀しているようです。横手市内に行けるような交通手段が充実していればと思う。将来の福祉のための若者層が介護を学べる学校がもっと増えればよいと思う。

7位 若年世代への施策

- 金銭で解決するには限界があることだと思う。自分の親は自分で面倒を見るように、幼少期から差し向ければ良いだけである。結婚せず、子供もいらなと思わせられてきた若者たちが不憫である。「一人が快適」と思っていることがいかに不自然なことで、未来のないことか、大人が子供に教育段階で体で示すのが一番良いと思う。

- 高齢者が多く負担増はやむを得ないが、若い人たちが働ける場所や、安心して子どもを産み、育てられる環境、補助を行ってほしい。家族が増えることが高齢者の幸せにもつながるのではないかと。以前はどこの家からも子どもの声が聞こえたが、今は10軒に1軒くらいで少子化対策もあわせてお願いしたい（不妊治療の補助も本人の負担が少なくてすむように）。
- 高齢者に手厚い福祉の必要はない。将来を担う子供たちにお金を使うべき。
- 福祉サービスも大切と考えますが、将来ある子供達にもっともっと十分なサービスが必要と考える。道や建物などのお金をこちらにまわせないものか。ご近所つき合いもとても大切と考える。
- 負担を増やさなければならぬ状況は、今後さらに厳しくなると思いますが、負担を増やした場合、子育て家庭への支援も出してほしいと思います。特に、中高生のいる家庭へもお願いします。子供手当を頂いていた頃より（12才までより）、中高生の部や教材費が増えているため、今以上の保険料になることは難しい家庭も多いと思います。市、住人の年代割合が変わるよう取り組み頂けるようお願いしています。

11位（高齢者以外の）福祉サービス

- 高齢者宅の草刈りをやっていますが、ガソリン代等が掛かるので、ある程度はお金を頂きたいと思うが、その辺を支援してもらえればいいですね。また、環境面でも手入れされている所は見た目も気持ち良いです。宅配弁当でも、一工夫、一手間加える事により味も変わります。例えば、納豆を掛ける、とろろ芋をかける。そうする事により美味しく食べる工夫で頭の回転もする。電動シニアカーの貸し出しがあれば良いと思う。学校給食が食べたい（子供が少ない時代、高齢者化が進み、給食センターを有効に活用できる）。
- 健康の駅を利用しているが、もっと多くの種類の機械を導入して欲しい。利用時間も長くして欲しい。7時頃まで。町内会などで介護保険を利用するときの説明などをして欲しい。
- よくわからないが、腰痛等のトレーニングなど定期的に行う行事など、1回受講すると受けられないが、何回も受講できるようにしたほうがよいと思う。また今回のアンケートもそうだが、横手市よりの文書や申請書等の文書内容が複雑で老人等にはわかりにくい文書になっていると思う。

11位 アンケートの感想

- アンケートの設問がわかりづらい。何を聞きたいかわからないので○のつけように困る。例えば問8、子供がいる場合の補足説明がない。問9、デマンド交通がわからない人もいる。問26、相談って何の相談のことですか？問41・42、食事の準備が困難で宅配を利用したいのに、週に1日～2日しか食べないってことですか？意味がわかりません。問42も三食食べないってことですか？イライラしながら頑張って書きました。もう少し市民に書きやすいアンケート内容にした方が良くと思います（税金を使ってこんな立派なアンケート調査をしているんですから・・・）。
- 結局世の中金次第だ！と再確認させるようなアンケートでしたね。
- まだ介護経験がないためあまり参考にならないアンケート結果です。現実をよく知りません。

13位 医療や医療機関等の充実

- 現在85才の義父を介護しているが、デイサービスやショートを利用させてもらい大変助けられている。対応してくれる職員の方々もいねいで気づかいがありがたい。ケアマネさんにも恵まれているので、今の所不自由はない。一つ願いがあるとすれば、病院受診の時とショート泊が重なった時、つきそいとして家族がつく事になっている。これは当たり前だと思うが、夫と自分の両親を看ている時があるので、その時のつきそいをたのめないので困ったことがあった。難しいと思うが、特に病状の変化のない定期受診はもう少し簡素化されてもよいのではないかと。これは医療関係への要望になるのかな？制度や施策、公共施設利用、他の充実は欠かせないが、基本的な家族関係の見直しが今後はもっと求められると良いと思う。経費や情報ばかり増えるのは、家族対応力の低下のほかならない状況だと思う。
- 病院、クリニック通いが今後もっと増えてくると思われる。薬局からの配達があれば非常に助かると思う。

13位 感謝

- 今の所不便を感じていないのでまだピンときていません。過去に義母を介護していた時は、色々と勉強できその時は福祉関係、介護保険サービスなど、充分満足していました。ケアマネジャーさんとかにもいろいろ親切にしてもらい感謝しています。
- 介護保険サービスは両親とも利用させていただいております（現在は母親）が、”福祉サービス”は具体的にどのようなサービスかわからずにあります。知らずに受けているのかもしれませんが……。介護している者としては、デイサービス、ショートステイ、ヘルパーさん、そしてケアマネジャーに助けられております。ありがとうございます。

13位 高齢者福祉サービス

- 30代の頃は、介護保険料を将来納めることに意味があるのかしら？などと思っていました。今、50代になり、ようやく必要性和、高い保険料を納めることになっても、充実した福祉が受けられるのであれば、更に納めることになっても良いと感じています。都会と違い、交通、病院、雪、高齢化と問題は山積みですが、将来的に田舎であっても不自由なく安心して暮らせるようになってほしいです。私はご近所との付き合いも無いので、今後一人になってしまったら不便なこの土地を離れて行かざるを得なくなるか……。と考えます。そうはなりたくありませんが……。 「住みよい環境づくり」をしていただきたいです。
- 介護施設が増えて、デイサービスやショートステイなどを利用することが出来るようになってきました。訪問看護ステーションも横手市内は充実してきており、それにたずさわってくださる看護師さんたちの頑張りには頭が下がります。利用される家族さんの気持ちに添った、迅速で思いやりのある対応が必要だと思えます。福祉にかかわるすべての方々に求められる事ですが、それを取り巻く地域の人達の思いやりは忘れてはいけないと思えます。他人事ではないいづれは我が身と思いを考えていきたいです。

16位 社会環境の整備

- ひとり暮らしをしているが、今はまだ元気だがこれから先の事を考えると、とても不安です。親族も年を取り、みんな自分の家の生活をしている。結局自分の事や自分の家の事は自分で、と言う事になってしまいます。ひとり暮らしの人にもあたたかく見守ってもらえるような環境作りをしてもらいたいと思います。

16位 地域住民の相互協力や地域活動

- 地域の話し合いが必要。

16位 要介護認定への要望・提言

- 介護認定を受けるのが煩雑。もっと簡素化になれば。（数回仕事を休まないといけない）各人の年金の範囲で、介護の施設にて最後まで見てもらえる所が欲しい。循環バスとデマンドタクシーは使った事はないが、非常に利用しにくそうと思われる。（乗り継ぎが必要）もっと利用しやすい設定にした方が良いと思われる。

2. 各種調査票

【65歳以上の方】

高齢者の健康と福祉に関するアンケート調査

市民のみなさまへ（お願い）

このアンケート調査は、65歳以上の方を対象に、健康や福祉、介護保険制度についての意識、ご希望などをおうかがいし、「どこに」「どのような支援を必要としている人が」「どのくらい生活しているか」を把握するために行うものです。

調査結果は、平成30年（2018年）度から3年間の、新しい介護保険と高齢者福祉の計画を作るため、大切な基礎資料となります。

質問が大変多くなっておりますが、趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。

平成28年12月

横手市長 高橋 大

- ◎ 封筒のあて名のご本人について記入してください。（代筆でもかまいません）
- ◎ 調査の基準日は平成28年（2016年）12月8日です。
- ◎ 65歳以上の方のうち、無作為に抽出した方（4,000人）を対象としています。（ただし、介護保険の要介護認定で「要介護1」以上の方を除く）
- ◎ 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、1月6日（金曜日）までに郵便ポストに投函してください。切手はいりません。
- ◎ この調査は無記名で、調査内容を統計的に処理します。

〈お問い合わせ先〉

横手市健康福祉部 高齢ふれあい課  **0182-35-2134(直通)**

受付時間：午前8時30分～午後5時15分 月～金曜日（祝日等を除く）

※年末年始の平成28年12月29日（木）～平成29年1月3日（火）は閉庁のため、受付できません

設問に「いくつでも」などという指定がない限り、選択肢1つに○をしてください。

1 あなたやご家族、生活状況について

☆問1 あなたの性別はどちらですか

1. 男 2. 女

☆問2 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか【平成28年12月8日現在】

1. 65～69歳 2. 70～74歳 3. 75～79歳 4. 80～84歳
5. 85～89歳 6. 90歳以上

●問3 家族構成をお教えてください

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
4. 息子・娘との2世帯
5. その他

【「4」、「5」を選択した方にお聞きします】

☆問3-1 ご自分を含めて何人で暮らしていますか

□ 人

☆問3-2 同居されている方はどなたですか（複数可）

1. 息子 2. 娘
3. 子の配偶者 4. 孫
5. 兄弟・姉妹 6. その他

☆問3-3 日中、1人になることがありますか

1. よくある 2. たまにある 3. ない

●問4 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、 【「2」を選択した方にお聞きします】

現在は受けていない

☆問4-1 主な理由は、次のどれですか（1つに○）

1. 経済的理由
2. 人との関わりがわずらわしい
3. 介護保険制度や手続きがよく分からない
4. その他（ ）

3. 現在、何らかの介護を受けている

（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

【「3」を選択した方にお聞きします】

☆問4-2 主にどなたの介護を受けていますか（1つに○）

1. 配偶者（夫・妻） 2. 息子
3. 娘 4. 子の配偶者
5. 孫 6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー 8. その他

☆問4-3 主に介護している方の年齢は、次のどれですか

1. 65歳未満 2. 65～74歳
3. 75～84歳 4. 85歳以上

○問8 外出を控えていますか		
1. はい -----▶	○問8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）	
2. いいえ		
	1. 病気	2. 障がい（脳卒中の後遺症など）
	3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配（失禁など）
	5. 耳の障がい（聞こえの問題など）	6. 目の障がい
	7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない
	9. 交通手段がない	10. その他（ ）
☆問9 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）		
1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
4. 自動車（自分で運転）	5. 自動車（人に乗せてもらう）	6. 電車
7. 路線バス	8. 横手デマンド交通	9. 循環バス（横手地域）
10. 病院や施設のバス	11. 車いす	12. 電動車いす（カート）
13. 歩行器・シルバーカー	14. タクシー	15. 介護タクシー
16. その他（ ）		

3 食べることについて

●問1 身長（ ）センチメートル、体重（ ）キログラム	
●問2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
○問3 お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ
○問4 口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ
○問5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか	1. はい 2. いいえ
●問6 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください （成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）	
1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
☆問7 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか	1. はい 2. いいえ
○問8 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ
☆問9 1日の食事の回数は何回ですか	
1. 朝昼晩の3食	2. 朝晩の2食
3. 朝昼の2食	4. 昼晩の2食
5. 1食	6. その他
☆問10 食事を抜くことがありますか	
1. 毎日ある	2. 週に何度かある
3. 月に何度かある	4. ほとんどない

○問8 新聞を読んでいますか	1. はい 2. いいえ
○問9 本や雑誌を読んでいますか	1. はい 2. いいえ
○問10 健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい 2. いいえ
○問11 友人の家を訪ねていますか	1. はい 2. いいえ
○問12 家族や友人の相談にのっていますか	1. はい 2. いいえ
○問13 病人を見舞うことができますか	1. はい 2. いいえ
○問14 若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい 2. いいえ
○問15 趣味はありますか	1. 趣味あり () 2. 思いつかない
○問16 生きがいがありますか	1. 生きがいあり () 2. 思いつかない

5 地域での活動について

問1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

①～⑧それぞれに回答してください

	週4回 以上	週2 ～3回	週1回	月1 ～3回	年に 数回	参加して いない
●①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
●②スポーツ関係のグループ やクラブ	1	2	3	4	5	6
●③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
●④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
☆⑤「健康の駅」などの健康 づくり活動	1	2	3	4	5	6
○⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
○⑦町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
○⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

●問2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない

●問3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない

☆問4 以下のような活動をどのくらいの頻度でしていますか
(※個人で行っている日頃の見守りや支援も含みます)

(1) 見守りが必要な高齢者を支援する活動

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない

(2) 介護が必要な高齢者を支援する活動

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない

(3) 子どもを育てている親を支援する活動

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない

(4) 地域の生活環境の改善（美化）活動

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない

☆問5 地域高齢者を支えるために必要なものは何であると考えますか（いくつでも）

1. 気軽に集える交流の場 2. 支援を提供するための資金
3. 中心的役割を担う人材の確保 4. 活動継続のための仲間づくり
5. 地域で支えあうための意識啓発 6. その他（ ）

☆問6 あなたが日常生活に困ったとき、地域や近所の方からどのようなことをしてほしいと思いますか（いくつでも）

1. 見守り・声掛け 2. 話（相談）相手 3. 買い物
4. 雪よせ・雪下ろし 5. ゴミだし 6. 室内の掃除
7. 食事への支援 8. 通院や外出の付添い 9. その他（ ）
10. してほしいことはない

☆問7 地域や近所の方が日常生活に困ったとき、あなたはどのようなことをできると思いますか（いくつでも）

1. 見守り・声掛け 2. 話（相談）相手 3. 買い物
4. 雪よせ・雪下ろし 5. ゴミだし 6. 室内の掃除
7. 食事への支援 8. 通院や外出の付添い 9. その他（ ）
10. 何もできない、何もしたくない

6

たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

●問1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

- | | | |
|--------------------------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない | |

●問2 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

- | | | |
|--------------------------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない | |

●問3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

- | | | |
|--------------------------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない | |

●問4 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

- | | | |
|--------------------------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない | |

○問5 家族や友人・知人以外で、何かあった時の相談相手を教えてください（いくつでも）

- | | | |
|------------------|------------------|------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 | 3. ケアマネジャー |
| 4. 医師・歯科医師・看護師 | 5. 地域包括支援センター・役所 | 6. その他 |
| 7. そのような人はいない | | |

○問6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

○問7 この1ヶ月間、何人の友人・知人と会いましたか
同じ人には何度会っても1人と数えることとします

- | | | | | |
|------------|---------|---------|---------|----------|
| 1. 0人（いない） | 2. 1～2人 | 3. 3～5人 | 4. 6～9人 | 5. 10人以上 |
|------------|---------|---------|---------|----------|

○問8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）

- | | | |
|---------------|---------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 2. 幼なじみ | 3. 学生時代の友人 |
| 4. 仕事での同僚・元同僚 | 5. 趣味や関心が同じ友人 | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 7. その他 | 8. いない | |

このページ以降は、横手市独自の調査項目です。

相談ごと・情報・災害対応について

問1 地震など災害が発生した場合、緊急の情報を得る方法がありますか。
(あてはまる項目すべてに○)

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. テレビ | 2. 横手市防災ラジオ |
| 3. ラジオ | 4. 民生委員など近所の方 |
| 5. 防災無線 | 6. 家族 |
| 7. インターネット | 8. 携帯電話・スマートフォン |
| 9. その他 () | 10. 特にない |

問2 平日の日中に、地震などの災害が発生した場合、誰と一緒に行動しますか。
(最も可能性の高い項目1つに○)

- | | |
|------------|------------------|
| 1. 家族 | 2. 近所の方 |
| 3. 1人で | 4. 勤務先や利用施設の職員など |
| 5. その他 () | |

問3 休日や夜間に、地震などの災害が発生した場合、誰と一緒に行動しますか。
(最も可能性の高い項目1つに○)

- | | |
|------------|------------------|
| 1. 家族 | 2. 近所の方 |
| 3. 1人で | 4. 勤務先や利用施設の職員など |
| 5. その他 () | |

問4 地域の避難場所をご存知ですか

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問5 自宅の雪寄せは、主にだれが行っていますか。(1つに○)

- | | |
|------------|-------------------|
| 1. 自分 | 2. 家族・親族 |
| 3. 近所の方 | 4. 市の支援事業に登録した事業者 |
| 5. 4以外の事業者 | 6. その他 () |

問10 地域の医療や介護のサービスについてどう感じていますか。

①～⑧それぞれに回答してください。

※ サービスの利用をしたことがない方は、周りの様子から感じたことをお知らせください。

	足りて いる	どちら とも いえない	足りて いない	わから ない
①訪問を受けて利用する介護サービス (訪問介護など)	1	2	3	4
②訪問を受けて利用する往診、訪問看護、訪問リハビリ などの医療系サービス	1	2	3	4
③通って利用するデイサービスなどの介護サービス	1	2	3	4
④通って利用する通所リハビリなどの医療系サービス	1	2	3	4
⑤短期間泊まって利用するショートステイなどの介護 サービス	1	2	3	4
⑥短期間泊まってリハビリなどを行う医療系サービス	1	2	3	4
⑦病院などの医療機関	1	2	3	4
⑧介護を受けながら生活できる施設	1	2	3	4

問11 あなたが最後を迎える場合は、どこで迎えたいですか。(1つに○)

1. 自宅
2. 特別養護老人ホームなどの介護保険施設
3. 病院などの医療機関
4. その他 ()
5. わからない

問12 あなたは、ご自分が介護施設で生活するとしたら、どのような環境を望みますか。
(1つに○)

1. 部屋は個室で、少人数の家庭的な雰囲気の中で生活したい
2. 部屋が個室であればよい
3. 2人部屋や4人部屋など
4. どれでもよい

※ 施設の部屋代は「3」が最も安く、3<2<1の順で高くなります。

高齢者施策について

問13 今後、あなたが元気でいきいきと暮らし続けるために、どのような施策・事業が必要だと思いますか。(あてはまる項目すべてに○、より重要だと思う項目3つに◎)

- 1 趣味や生きがいづくり、社会参加を促進するための支援
- 2 高齢者の働く場の確保や職業紹介の充実
- 3 移動手段の充実
- 4 日常の買い物支援や食事を自宅に届けるサービス
- 5 身近な地域での見守りや日常の生活相談
- 6 災害時などの安否確認や避難体制の整備
- 7 はり・きゅう・マッサージ券や入浴券の交付などの健康増進の支援
- 8 雪下ろしや雪寄せなど、冬期間の生活支援
- 9 健康づくりや介護予防教室など、介護が必要にならないための予防支援
- 10 敬老会や長寿のお祝い
- 11 認知症や虐待、成年後見制度など、専門的な相談窓口の充実
- 12 介護教室の開催や介護用品の支給など、家族への支援
- 13 高齢者に配慮した住まいづくりへの支援
- 14 その他 ()
- 15 特にない

問14 少子高齢化の進行に伴い、福祉サービスを維持・充実させるためには相応の経費が必要となり、税金など市民の負担増も考えられます。このことについてどのように思いますか。(あなたの考えに最も近いもの一つに○)

1. 負担が増えてもいいから、今以上の福祉サービスを実施すべきだ
2. ある程度の負担増はやむをえないが、福祉サービスを受ける人が、収入等に応じて利用料などを負担すべきだ。
3. 負担が増えないように、他の施策に優先して、福祉サービスを充実するべきだ
4. 働く世代の負担が重くならないよう、福祉サービスはある程度水準に止めるべきだ
5. その他 ()
6. わからない

問15 介護保険制度や保健福祉施策について、ご要望・ご意見などございましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

健康と福祉に関するアンケート調査

市民のみなさまへ（お願い）

このアンケート調査は、40歳以上65歳未満の方を対象に、健康や福祉、介護保険制度についての意識、ご希望などをおうかがいするものです。

調査結果は、平成30年（2018年）度から3年間の、新しい介護保険と高齢者福祉の計画を作るため、大切な基礎資料となります。

つきましては、この趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。

平成28年12月

横手市長 高橋 大

- ◎ 封筒のあて名のご本人について記入してください。
- ◎ 調査の基準日は平成28年（2016年）12月8日です。
- ◎ 40歳以上65歳未満の方のうち、無作為に抽出した方（1,000人）を対象としています。（ただし、介護保険の要介護認定で「要介護3」以上の方を除く）
- ◎ 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、1月6日（金曜日）までに郵便ポストに投函してください。切手はいりません。
- ◎ この調査は無記名で、調査内容を統計的に処理します。

<お問い合わせ先>

横手市健康福祉部 高齢ふれあい課 ☎ **0182-35-2134(直通)**

受付時間：午前8時30分～午後5時15分 月～金曜日（祝日等を除く）

※年末年始の平成28年12月29日(木)～平成29年1月3日(火)は閉庁のため、受付できません

ご本人について

問1 あなたの性別はどちらですか。（1つに○、配偶者の有無も○）

- 1 男（配偶者：有・無） 2 女（配偶者：有・無）

問2 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。【平成28年12月8日現在】

- 1 40～49歳 2 50～59歳 3 60～64歳

問3 あなたの就労状況についておたずねします。（1つに○）

- 1 正社員（常用雇用） 2 パート、アルバイト、臨時雇用
3 派遣労働 4 自営業
5 その他（ ） 6 仕事はしていない

問4 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じますか。（1つに○）

- 1 大変苦しい 2 やや苦しい
3 ふつう 4 ややゆとりがある
5 大変ゆとりがある

問5 あなたは、介護保険の要介護認定を受けていますか。（どちらかに○）
「1」を選んだ場合は、要介護認定の区分を記入してください。

- 1 受けている（ 要支援 ・ 要介護 ） 2 受けていない

お住まいと世帯などについて

問6 あなたがお住まいの地域はどこですか。（1つに○）

- 1 横手地域 2 増田地域
3 平鹿地域 4 雄物川地域
5 大森地域 6 十文字地域
7 山内地域 8 大雄地域

問7 現在のお住まいについておたずねします。(1つに○)

- | | |
|------------|----------|
| 1 持ち家・家族の家 | 2 民間賃貸住宅 |
| 3 公営住宅 | 4 借間 |
| 5 その他 () | |

問8 あなたの世帯の状況についておたずねします。(1つに○)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 ひとり暮らし | 2 あなたと親・祖父母 |
| 3 あなた夫婦と親・祖父母 | 4 あなた夫婦のみ |
| 5 その他 | |

例) 「あなた」と「あなたの祖母」の2人暮らしの場合は、「2」を選んでください。
 ※「1」～「4」にあてはまらない場合は、すべて「5 その他」を選んでください。

問9 今後、外出のために充実してほしいものは何ですか。
 (あてはまる項目すべてに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 電車 | 2 路線バス |
| 3 横手デマンド交通 | 4 循環バス(横手地域) |
| 5 タクシー | 6 介護タクシー |
| 7 自動車が通行しやすい道路 | 8 自転車が安全に通行できる道路 |
| 9 歩行者が安全に通行できる道路 | 10 その他 () |

健康・医療について

問10 ご自分は健康だと思いますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 とても健康だと思う | 2 まあまあ健康だと思う |
| 3 あまり健康ではないと思う | 4 健康ではないと思う |

問11 年に1回程度、健診を受けていますか。(1つに○)

- | | |
|---------|----------|
| 1 受けている | 2 受けていない |
|---------|----------|

問12 あなたは、かかりつけ医がいますか。(1つに○)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

問13 健康のために気を付けていることはありますか。(あてはまる項目すべてに○)

- 1 歯科健診を受けたり、歯磨きの習慣など、口の健康に気を付けている
- 2 体調によって医師に診てもらっている
- 3 禁酒やお酒を飲みすぎないように心がけている
- 4 禁煙・節煙を心がけている
- 5 体温や血圧、体重などをチェックしている
- 6 食事に気を付けている(塩分、食べ過ぎなど)
- 7 運動をしている
- 8 睡眠や休養を十分とるようにしている
- 9 規則正しい生活をするようにしている
- 10 特にない
- 11 その他()

問14 持病または現在治療中の病気、後遺症のある病気はありますか。

(あてはまる項目すべてに○)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 高血圧 | 2 脳卒中(脳出血・脳梗塞など) |
| 3 心臓病 | 4 糖尿病 |
| 5 高脂血症(脂質異常) | 6 呼吸器の病気(肺炎、気管支炎など) |
| 7 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | 8 腎臓・前立腺の病気 |
| 9 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症など) | 10 外傷(転倒・骨折など) |
| 11 がん | 12 血液・免疫の病気 |
| 13 うつ病 | 14 認知症(アルツハイマー病など) |
| 15 パーキンソン病 | 16 目の病気 |
| 17 耳の病気 | 18 その他() |
| 19 ない | |

問15 毎日の生活の様子についておたずねします。

(下記のア～キについて、それぞれあてはまる項目のどちらかに○)

ア	週に1回は仕事以外で外出している。	1 はい	2 いいえ
イ	1年前に比べて外出の回数が減った。	1 はい	2 いいえ
ウ	最近、毎日の生活に充実感がない。	1 はい	2 いいえ
エ	最近、これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった。	1 はい	2 いいえ
オ	最近、以前楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる。	1 はい	2 いいえ
カ	最近、自分が役に立つ人間だと思えない。	1 はい	2 いいえ
キ	最近、わけもなく疲れたような感じがする。	1 はい	2 いいえ

介護保険について

問16 同居の家族の介護経験についておたずねします。(1つに○)

- 1 現在、介護が必要な家族がいる 2 以前、介護が必要な家族がいた
3 家族介護の経験はない

問17 同居していない家族の介護経験についておたずねします。(1つに○)

- 1 現在、介護が必要な家族がいる 2 以前、介護が必要な家族がいた
3 家族介護の経験はない

問18 介護保険制度について、次のことを知っていますか。
(下記のア～オについて、それぞれあてはまる項目のどちらかに○)

ア	原則として40歳以上の方全員が加入し、40～64歳の方は、医療(健康)保険料と一緒に介護保険料を納める。	1 はい	2 いいえ
イ	65歳以上の方の介護保険料は、地域の状況に応じて市町村ごとに決められ、3年に1度見直される。	1 はい	2 いいえ
ウ	介護保険のサービスを利用するには、まず市役所の窓口申請し、介護の必要度について認定を受ける。	1 はい	2 いいえ
エ	自宅でサービスを利用する場合、「ケアマネジャー」が適切なサービスの利用を支援してくれる。	1 はい	2 いいえ
オ	サービスを利用したときは、かかった費用の1割又は2割を利用者が負担し、残りは介護保険から給付される。	1 はい	2 いいえ

問19 介護保険で利用できるサービスの種類や内容を知っていますか。
(1つに○)

- 1 よく知っている 2 ある程度なら知っている
3 あまり知らない 4 まったく知らない

問20 負担（介護保険料）と給付（介護保険サービス）の関係について、あなたのお考えに最も近い項目1つに○をつけてください。

- 1 保険料が高くても、利用できるサービスが充実している方がよい
- 2 保険料もサービス水準も中程度でよい
- 3 利用できるサービスを抑制しても、保険料は安い方がよい
- 4 その他（ ）

問21 あなたは、ご自分に介護が必要な状態になったとき、どのような介護を受けたいと思いますか。（1つに○）

- 1 主に家族の介護を受けながら、自宅で生活したい
- 2 主に介護サービスを利用しながら、自宅で生活したい
- 3 介護が受けられる施設や住宅で生活したい
- 4 その他（ ）
- 5 わからない

問22 あなたは、ご家族に介護が必要な状態になったとき、どのようにしてあげたいと思いますか。（1つに○）

- 1 主に家族の介護を受けながら、自宅で生活させたい
- 2 主に介護サービスを利用しながら、自宅で生活させたい
- 3 介護が受けられる施設や住宅で生活させたい
- 4 その他（ ）
- 5 わからない

問23 あなたは、ご自分が介護施設で生活するとしたら、どのような環境を望みますか。（1つに○）

- 1 部屋は個室で、少人数の家庭的な雰囲気の中で生活したい
- 2 部屋が個室であればよい
- 3 二人部屋や四人部屋
- 4 どれでもよい

※ 施設の部屋代は「3」が最も安く、 $3 < 2 < 1$ の順で安くなります。

問24 あなたは、ご家族が介護施設で生活するとしたら、どのような環境を望みますか。
(1つに○)

- 1 部屋は個室で、少人数の家庭的な雰囲気の中で生活させたい
- 2 部屋が個室であればよい
- 3 二人部屋や四人部屋
- 4 どれでもよい

※ 施設の部屋代は「3」が最も安く、 $3 < 2 < 1$ の順で安くなります。

問25 地域の医療や介護のサービスについてどう感じていますか。

①～⑧それぞれに回答してください。

※ サービスの利用をしたことがない方は、周りの様子から感じたことをお知らせください。

	足りて いる	どちら とも いえない	足りて いない	わから ない
①訪問を受けて利用する介護サービス (訪問介護など)	1	2	3	4
②訪問を受けて利用する往診、訪問看護、訪問リハビリ などの医療系サービス	1	2	3	4
③通って利用するデイサービスなどの介護サービス	1	2	3	4
④通って利用する通所リハビリなどの医療系サービス	1	2	3	4
⑤短期間泊まって利用するショートステイなどの介護 サービス	1	2	3	4
⑥短期間泊まってリハビリなどを行う医療系サービス	1	2	3	4
⑦病院などの医療機関	1	2	3	4
⑧介護を受けながら生活できる施設	1	2	3	4

相談ごと・災害対応について

問26 あなたは、何かあった時、誰に相談しますか。（あてはまる項目すべてに○）

- | | | |
|-------------------------------|------------|--------|
| 1 家族・親族 | 2 友人・知人 | 3 近所の方 |
| 4 市役所の窓口 | 5 ケアマネジャー | 6 民生委員 |
| 7 その他（ ） | 8 相談相手がいない | |

問27 ご家族が認知症と疑われるようになった場合、相談できる公的窓口をご存知ですか（ご存じのものすべてに○）

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 1 市役所の窓口 | 2 地域包括支援センター |
| 3 社会福祉協議会 | 4 在宅介護支援センター |
| 5 ケアマネジャー | 6 その他（ ） |

問28 地域の避難場所をご存知ですか。（1つに○）

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問29 平日の日中に、地震などの災害が発生した場合、誰と一緒に行動しますか。（最も可能性の高い項目1つに○）

- | | |
|-------------------------------|---------|
| 1 家族 | 2 近所の方 |
| 3 一人で | 4 勤務先の方 |
| 5 その他（ ） | |

問30 休日や夜間に、地震などの災害が発生した場合、誰と一緒に行動しますか。（最も可能性の高い項目1つに○）

- | | |
|-------------------------------|---------|
| 1 家族 | 2 近所の方 |
| 3 一人で | 4 勤務先の方 |
| 5 その他（ ） | |

地域の支え合い・日常生活支援について

問31 地域で高齢者を支えるために、何が必要だと思いますか。
(あてはまる項目すべてに○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 気軽に集える交流の場 | 2 支援を提供するための資金 |
| 3 中心的役割を担う人材の確保 | 4 活動継続のための仲間づくり |
| 5 地域で支えあうための意識啓発 | 6 その他 () |

問32 あなたが日常生活に困ったとき、地域や近所の方からどのようなことをしてほしいと思いますか。(あてはまる項目すべてに○)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 見守り・声かけ | 2 話(相談)相手 |
| 3 買い物 | 4 雪寄せ・雪下ろし |
| 5 ゴミだし | 6 室内の掃除 |
| 7 食事への支援 | 8 通院や外出の付き添い |
| 9 その他 () | 10 してほしいことはない |

問33 日常生活に困っている地域や近所の方に対して、あなたはどのようなことができると思いますか。(あてはまる項目すべてに○)

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1 見守り・声かけ | 2 話(相談)相手 |
| 3 買い物 | 4 雪寄せ・雪下ろし |
| 5 ゴミだし | 6 室内の掃除 |
| 7 食事への支援 | 8 通院や外出の付き添い |
| 9 その他 () | 10 何もできない、何もしたくない |

問34 町内会や自治会では、除雪についてどのような取り組みをしていますか。
(あてはまる項目すべてに○)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 一斉除雪デーの実施 | 2 近所の一人暮らし高齢者等の除雪 |
| 3 地域の集落会館等の除雪 | 4 地域の生活道路の除雪 |
| 5 その他 () | 6 していない |
| 7 わからない | |

問35 近所で除雪に困っている高齢者世帯等があった場合、協力・手助けをしたいと思いますか。(1つに○)

- | | | |
|---------|---------------|----------|
| 1 協力したい | 2 余裕があれば協力したい | 3 協力できない |
|---------|---------------|----------|

問51 市では介護保険サービス以外にも高齢者への福祉サービスを行っていますが、それにかかる費用負担についてどのように思いますか。
(あなたの考えに最も近いもの一つに○)

- 1 負担が増えてもいいから、今以上の福祉サービスを実施すべきだ
- 2 ある程度の負担増はやむをえないが、福祉サービスを受ける人が、収入等に応じて利用料などを負担すべきだ
- 3 負担が増えないように、他の施策に優先して、福祉サービスを充実すべきだ
- 4 負担が重くならないよう、福祉サービスはある程度の水準に止めるべきだ
- 5 その他 ()
- 6 わからない

問52 介護保険制度や保健福祉施策について、ご要望・ご意見などございましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

横手市
健康と福祉に関するアンケート調査
報告書

平成 29 年 2 月

調査主体：横手市 健康福祉部 高齢ふれあい課

〒013-8601 秋田県横手市中央町 8 番 2 号

TEL 0182-35-2134/FAX 0182-32-9709

集計機関：株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所

〒980-0811 仙台市青葉区一番町 2 丁目 4 番 1 号

TEL 022-225-3871/FAX 022-225-3866